

令和5年度 老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

介護離職者の離職理由の詳細等の調査及び
勤労世代の介護離職防止に資する
介護保険制度の広報資料等の作成

令和6年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目次

1.	事業実施概要	1
1-1.	事業目的	1
1-2.	事業内容	1
1-3.	本事業の実施体制	5
1-4.	成果の公表方法	5
1-5.	利用上の注意	5
2.	本事業のとりまとめ	7
3.	就業継続者に関するアンケート調査結果	9
3-1.	回答者属性	10
3-2.	介護の経緯や介護の期間などについて	18
3-3.	介護や「仕事と介護の両立」に関する相談や情報収集について	19
3-4.	介護の状況、介護保険サービスの利用状況	42
3-5.	手助・介護をしているときの仕事の状況	61
3-6.	就業継続の見込み	77
4.	介護離職者に関するアンケート調査結果	83
4-1.	回答者属性	84
4-2.	介護の経緯や介護の期間などについて	94
4-3.	介護や「仕事と介護の両立」に関する相談や情報収集について	96
4-4.	介護の状況、介護保険サービスの利用状況	118
4-5.	手助・介護をしているときの仕事の状況	137
4-6.	就業継続の見込み	153
4-7.	介護離職経験について	157
5.	就業継続者と介護離職者の比較	174
6.	資料編	
6-1.	アンケート調査票	184

1. 事業実施概要

1-1. 事業目的

- 高齢社会において、介護者の就労継続が重要な政策課題となっている。政府は、介護を理由に離職することなく仕事を継続できる社会の実現に向けて、必要な介護サービスの確保と、働く環境改善・家族支援を両輪とすることを掲げている。
- 直近の介護離職の状況をみると、「令和4年就業構造基本調査」（総務省）によれば、「介護・看護のため」に直近1年間に前職を離職した者の数は10.6万人となっている。
- 令和3年度に厚生労働省雇用環境・均等局が実施した「仕事と介護の両立等に関する実態把握のための調査研究事業」（以下、令和3年度調査）によれば、労働者が40歳となり介護保険の被保険者となった際などにおいて、介護保険制度の周知が十分なされていないことや介護保険サービス等を離職理由とする場合に、介護保険制度を十分に知らなかったことなどが、介護離職が発生する理由として挙げられる。
- 介護離職防止の推進のためには、労働者に介護保険制度や育児・介護休業法に基づく両立支援制度に関する理解を促すことが重要と考えられる。制度の周知については、厚生労働省において、2016年に「介護離職ゼロ ポータルサイト」が立ち上げられ、企業や労働者への情報提供がされている。また、企業における仕事と家庭の両立に関する取組を支援する情報サイトである「両立支援のひろば」において、仕事と介護の両立に関する情報提供がされている。そのほか、厚生労働省ウェブサイト内にて「両立に向けての具体的ツール」が公開されている。このように既存の周知広報物が不十分とは言い難いものの、労働者にまで行き届いていないという実態があると考えられる。
- こうした背景から、本事業では、アンケート調査やヒアリング調査を通じて、仕事と介護の両立や介護離職者の実態を改めて把握する。また、介護者や要介護者の住所地における具体的な情報提供が難しい点など、これまでの周知広報物で対応しきれいなかった点に留意しながら、本事業における調査で得られた知見や有識者意見を踏まえて、企業等で活用してもらえる研修資料等の作成を行う。

1-2. 事業内容

(1) アンケート調査

①調査目的

- 令和3年度調査によると、「労働者が40歳となり、介護保険の被保険者となった際などにおいて、介護保険制度の周知が十分なされていないこと」、「介護保険サービス等を離職理由とする場合に、介護保険制度を十分に知らなかったこと」などが、介護離職の要因として上位に挙げられた。
- こうしたことから、本調査では、仕事と介護の両立を支援できるような介護保険サービスの周知・情報提供のあり方の検討に向け、介護をしながら働く労働者や介護離職者の介護保険制度・サービスの認知状況や利用状況などに係る実態把握を通じ、介護離職の理由を深掘することを目的とした調査を実施する。

②調査方法

- インターネットモニター調査

③調査対象

- 手助・介護を開始した時点で20代～60代、かつ、雇用されていた者を対象とする。
- 下記の割付に従い、就業継続者・介護離職者から2,000件ずつ回答を得ることを目標とする。

	介護離職 経験	現在の「手助・ 介護」の状況	手助・介護開始 時点の就業形態	離職時点	回収目標
① 就業継続者	なし	(※1)	正社員 (※2)	—	2,000件
② 介護離職者	あり	(※1)	正社員 (※2)	2017年以降 (※3)	2,000件

※1：現在手助・介護をしているかどうかは割付の区分とはしない。

※2：「正規の職員・従業員」を優先して回収する。回収目標に達しない場合は「正規の職員・従業員」以外の者の回答も回収する。

※3：離職時点は2017年以降を優先する。

- なお、「手助・介護」の定義は、令和3年度調査と同様に以下とする。被介護者には高齢者のほか障害児者等も含め、常時介護を必要とする状態に当てはまる場合を対象とする。

日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けをすること。なお、具体的には、排せつや入浴等の「身体介助」、施設や遠距離での「介護」に加え、定期的な声掛け（見守り）、食事の支度や掃除、洗濯などの家事、ちょっとした買い物やゴミ出し、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理等の手助けも含むこととする。

④調査設計の考え方

- 手助・介護を始めてから、離職経験があるかどうか、手助・介護開始から離職まではどれくらいの期間か、手助・介護を終了しているかどうかなど、手助・介護の状況や就労の状況、時点が様々であることから、どのような回答者のどの時点の状況を把握するかが重要になる。
- 令和3年度調査において、手助・介護を始めてから仕事を辞めた時までの期間は「6か月未満」が55.8%と半数以上を占めていたこと、また、本事業において作成する周知・広報資料の主な対象が介護を始めて間もない労働者であることから、就業継続者層（離職経験なし層）については、手助・介護を始めてから6ヶ月以内の状況について把握した。
- 離職経験あり層については、離職をした当時（離職をする前）の状況について把握する。令和3年度調査において、手助・介護を始めてから仕事を辞めた時までの期間は「6か月未満」が55.8%と半数以上を占めていたことから、介護離職を経験した多くの回答者が「6か月未満」の状況を回答するものと想定した。

⑤調査時期

- 2023年11月2日（木）～2023年11月7日（火）

⑥回収状況・有効回答数

- 就業継続者・介護離職者についてそれぞれ2,060件の回答を得た。
- 回収後、データクリーニングを行った。また、回答内容から介護を始めた年が2000年よりも前であると推測される回答者は集計から除いた。結果、就業継続者については1,894件、介護離職者については1,675件を有効回答とした。
- なお、回答者の手助・介護を始めた際の就業形態について、就業継続者はすべて「正規の職員・従業員」のみであり、介護離職者では「正規の職員・従業員」以外の者も含まれている。また、手助・介護を理由に離職をしたことがある回答者について、離職した年はいずれの回答者も2017年以降である。

(2) 周知・広報資料の作成

- 介護保険制度や仕事と介護の両立支援制度等を十分に知らなかったことによる介護離職を防ぐことを狙いとして、介護を始める前や介護を始めて間もない労働者に対し、職場や地域包括支援センターへの相談を促すことを目的とした労働者向け周知・広報資料を作成する。
- また、事業主・人事労務担当者に向けて、介護を始める前や介護を始めて間もない労働者に対し、職場や地域包括支援センターへの相談を促してもらえるよう企業向け周知・広報資料を作成する。
- 上記の方針から、労働者向けに地域包括支援センター等への相談を経て仕事と介護の両立ができる環境を整える事例の動画(3本)および事業主・人事労務担当者を対象とした動画(1本)を作成した。なお、労働者向け動画には、石山 麗子氏(国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授)にご出演いただいた。また、企業向け動画には、川内 潤氏(NPO 法人となりのかいご 代表理事)にご出演いただいた。
- また、事業主・人事労務担当者から労働者へ各種周知・広報資料を案内する際に活用いただくことを想定した周知用チラシを作成した。
- 作成した動画は事業実施主体および厚生労働省にてインターネット上に公開することを予定する。

(3) ヒアリング調査

- (2) 周知・広報資料の作成において制作する動画内で、仕事と介護の両立を経験した者や介護離職を経験した者の体験談や実際の声を紹介するため、個人に対するヒアリング調査を実施した。
- ヒアリング調査は(1) アンケート調査の回答者への依頼、または、(4) 検討委員会の構成委員から紹介をいただいた方への依頼により、対象者の抽出を行った。
- 2023年12月にオンラインにて計6件のヒアリング調査を実施した。実施状況は以下の通りである。なお、ヒアリング対象となった個人はいずれも手助・介護を理由に離職をした経験がない者である。

	抽出方法	実施日
A氏	アンケート調査の回答者	2023年12月1日
B氏	アンケート調査の回答者	2023年12月1日
C氏	アンケート調査の回答者	2023年12月2日
D氏	委員からの紹介	2023年12月13日
E氏	委員からの紹介	2023年12月21日
F氏	委員からの紹介	2023年12月26日

(4) 検討委員会の運営

- 本事業の実施にあたり、有識者等による検討委員会を設置・運営した。構成委員および開催状況は以下の通りである。

①検討委員会委員

(敬省略、五十音順、○:座長)

氏名	所属等(2024(令和6)年3月時点)
池田 心豪	独立行政法人労働政策研究・研修機構 副統括研究員
○石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授
川内 潤	NPO法人となりのかいご 代表理事
白川 亜弥	株式会社白川プロ 代表取締役社長
牧野 史子	NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長
安野 真由美	全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員会 専門委員 (社会福祉法人飯田福祉会 よこかわ地域包括支援センター 社会福祉士)

②オブザーバー

(敬省略)

氏名	所属等(2024(令和6)年3月時点)
菊池 一	厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐
川田 さくら	厚生労働省 老健局 総務課 係長
河野 将己	厚生労働省 老健局 総務課 係員
新井 敬大	厚生労働省 老健局 介護保険計画課 係長
武村 光一郎	厚生労働省 老健局 介護保険計画課 企画法令係
延 育子	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 地域包括ケア推進官
水津 秀幸	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 係長
高橋 遼	厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 生活支援サービス係
金谷 美奈	厚生労働省 雇用環境・均等局 職業生活両立課 係長
伊藤 美樹	厚生労働省 雇用環境・均等局 職業生活両立課 一般事業主行動計画係長
水口 怜斉	経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐
鶴山 あかね	経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 係長

③開催状況

回	日程	主な議題
第1回	2023年 8月9日	・ 事業実施概要について ・ アンケート調査実施概要について ・ ヒアリング調査実施概要について ・ 周知・広報資料の作成について
第2回	2023年 9月29日	・ 周知・広報資料の作成について ・ アンケート調査方法の検討 ・ アンケート調査票の検討
第3回	2023年 11月17日	・ 周知・広報資料の内容の検討 ・ アンケート調査結果の速報について
第4回	2024年 1月26日	・ 周知・広報資料の制作状況報告 ・ アンケート調査結果について
第5回	2024年 2月29日	・ 周知・広報資料の制作状況報告 ・ アンケート調査報告案について

1-3. 本事業の実施体制

氏名	所属等（2024（令和5）年3月時点）
鈴木 陽子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生・社会政策部 主任研究員
服部 保志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生・社会政策部 副主任研究員
森芳 竜太	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生・社会政策部 研究員
鶴見 まい	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 共生・社会政策部 研究員

1-4. 成果の公表方法

- 本事業の成果をとりまとめた報告書、企業向け動画・労働者向け動画を三菱UFJリサーチ&コンサルティングのホームページにて公開する。
- 企業向け動画・労働者向け動画、動画周知広報用チラシは厚生労働省においても活用を予定している。

1-5. 利用上の注意

- 本報告書に掲載している回答結果の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある。
- 本報告書に掲載している統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。
- 「-」は、調査又は集計したが、該当数字がないもの、又は数字が得られないものを示す。
- 「0」、「0.0」は、調査又は集計したが、該当数字が表章単位に満たないものを示す。

- 本事業において作成した各種動画は、令和5年度老人保健事業推進費等補助金を受けて、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が作成をしたものであり、著作権は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に帰属する。

2. 本事業のとりまとめ

- 政府は、介護を理由に離職することなく仕事を継続できる社会の実現に向けて、必要な介護サービスや介護人材の確保と働く環境改善・家族支援を両輪として推進してきた。
- 介護保険法において、「国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け」ることとされているように、介護保険制度は、従来家族内で担われてきた介護を、社会全体で支え合うための仕組みとして創設されたものであり、また、介護を 専門的な知識や技術が必要なものとして位置付け、制度創設以来専門的な人材の育成にも取り組んできた。
- また、育児・介護休業法はその理念として、「職業生活の全期間を通じてその能力を有効に発揮して充実した職業生活を営むとともに、育児又は介護について家族の一員としての役割を円滑に果たすことができるようにすること」としている。
- これらの法律の趣旨を踏まえると、働く介護者やその家族が介護を抱え込んでしまい、職業生活を営めなくなった結果として、やむを得ず離職に至ることは防ぐべき事態といえる。
- 介護離職が発生する理由について、令和3年度調査では、労働者が40歳となり介護保険の被保険者となった際などにおいて、介護保険制度の周知が十分なされていないことや介護保険サービス等を離職理由とする場合に、介護保険制度を十分に知らなかったことなどが挙げられていた。こうした背景から、本事業は、周知不足等により介護保険制度や両立支援制度が十分に利用されていないことや、勤務先や地域包括支援センター等への相談が不十分であることが、介護離職の主な要因であるとの仮定からスタートした。
- このように周知に取り組むことを政策課題とし、調査や広報資料の作成などがこれまでも行政や関係団体により行われてきたところである。しかし、制度やサービスの情報の周知にあたって、情報の受け取り手である働く介護者において、自分や家族が介護をできるだけ担うのがよいといった考え方を持っている場合には、そうした考え方自体に介護離職のリスクが潜んでいる可能性があることが、本事業の検討委員会において指摘された。
- こうした視点からアンケート調査結果を分析したところ、介護離職者層では就業継続者層に比べて以下の傾向がみられた（詳細は p. 181 5. ④介護に関する考え方に掲載）。

- 「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高い (+5.9%)
- 「地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高い (+9.8%)
- 「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が低く (-9.9%)、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が高い (+6.6%)

- 本事業のアンケート調査からは、就業継続者に比べて介護離職者が相談ができていない、あるいは、サービスの利用が十分にできていないとは言い切れず（詳細は p. 174 5. 就業継続者と介護離職者の比較に掲載）、相談やサービスにつながっていても離職に至る可能性が示唆される。介護に対するそもそもの考え方の違いがあることを踏まえれば、自分や家族が介護をできるだけ担うのがよいと考えている場合、職場・関係機関への相談や制度・サービスの利用につながっても、家族が介護を担うことが前提となり、相談や制度・サービスの利用が離職を防止する方向に機能しないことから、離職に至る可能性が高くなるものと考えられる。

- こうした傾向を踏まえると、介護離職を防止するためには、単に介護保険制度や育児・介護休業法に基づく両立支援制度を周知するだけでなく、手助・介護を機に仕事を辞めた方の約6割が経済的な負担が増したと回答していることも踏まえ、その周知に当たっては、介護が終わっても介護者自身の人生がその後も続いていくことを想像してもらい、
 - ① 介護者自身の人生を生きること
 - ② 介護者自身で介護をし尽くそうとせずに専門家や介護保険サービス等を頼ることが重要であることを発信し、そうした考えを醸成することが重要といえる。

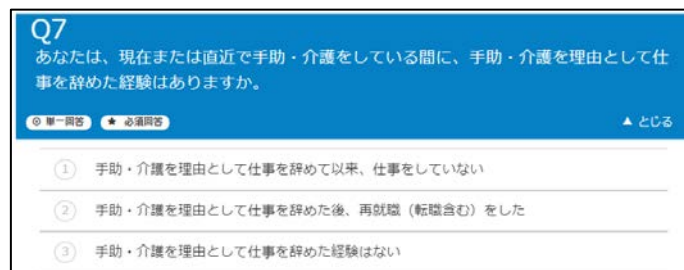
- 一方、突然の介護に直面し仕事と介護に迫られるなか、働く介護者が介護に対する考え方を変えることは容易ではない。このため、介護が始まる以前の早期の段階からこうした考え方を醸成することが重要であり、特に就業者に対しては、働く介護者の日常的な接点である企業を通じた情報提供が1つの方法として考えられる。企業を通じて、両立支援制度や地域包括支援センター等の制度・サービスに関する情報とともに、上記の①②といった 介護に対する考え方やメッセージを強調して伝えることも重要であろう。

- 介護離職の背景として、働く介護者自身やその家族における「介護」に対する意識が影響していることが今回のアンケート調査から示唆された。介護保険制度の創設から 23 年が経過し、国民生活に定着をした今日において、「介護」とは、単に高齢者の身の回りの世話をを行うということではなく、高齢者「本人」が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための「自立支援」であり、まさに介護保険法第4条において、「国民は（略）要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努める」こととされているように、「本人」を主体とした制度であることを改めて確認することが必要と考えられる。

- 本人と家族が 相互に人格と個性を尊重し合い、家族が介護の全てを抱え込むことなく、専門的・技術的な面を介護の専門職に委ねる意思決定が可能となるよう、国においては、介護に対する考え方の醸成を含む啓発及び支援を 続けていくことが求められているのではないか。

3. 就業継続者に関するアンケート調査結果

- 以下では、SQ7 において「手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない」と回答した者の集計結果を報告している。本章における「全体」は SQ7 において「手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない」と回答した者全体を指す。



Q7
あなたは、現在または直近で手助・介護をしている間に、手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はありますか。

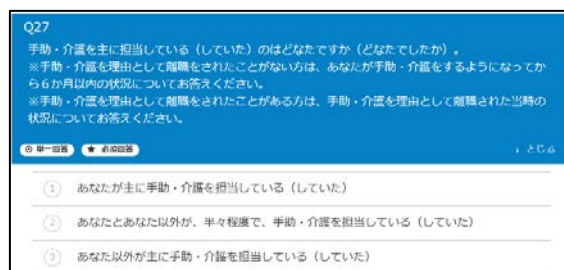
① 手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない

② 手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした

③ 手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない

※上図では単に「Q7」との表示であるがスクリーニング設問における Q7 であり、上記の SQ7 に該当する。

- 本章における集計結果のうち、「主に担当・半分程度担当」は Q27 において「あなたが主に手助・介護を担当している（していた）」または「あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）」と回答した者である。「ほとんど担当していない」は Q27 において「あなた以外が主に手助・介護をしている（していた）」と回答した者である。



Q27
手助・介護を主に担当している（していた）のほどなですか（どなたでしたか）。
※手助・介護を理由として解職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。
※手助・介護を理由として解職をされたことがある方は、手助・介護を理由として解職された当時の状況についてお答えください。

① あなたが主に手助・介護を担当している（していた）

② あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）

③ あなた以外が主に手助・介護を担当している（していた）

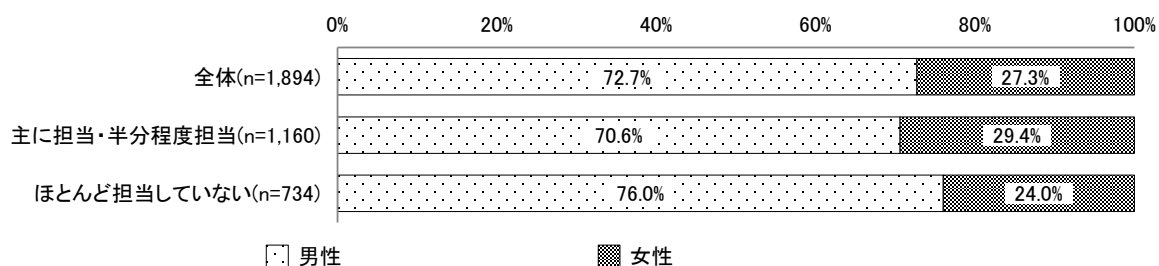
- 「手助・介護を始めた当時」とは、特に断りが無い限り、手助・介護をするようになってから6ヶ月以内の状況を指す。

3-1. 回答者属性

(1) 性別

性別をみると、「全体」では、「男性」が72.7%、「女性」が27.3%となっている。

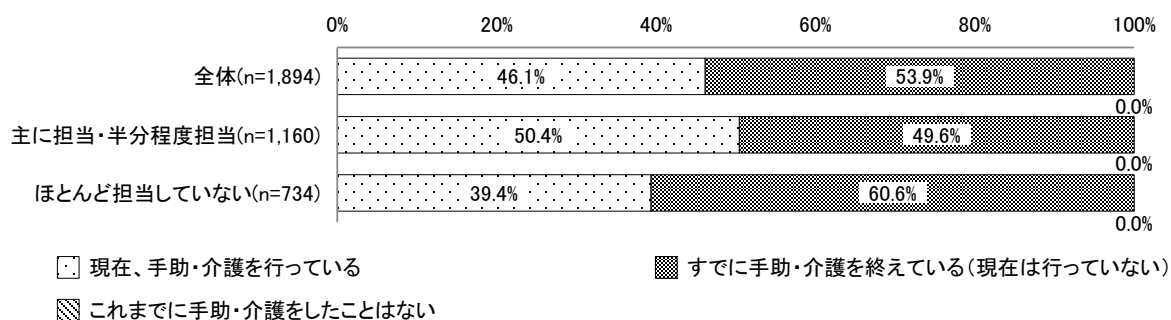
図表 1 性別:単数回答 (SQ1)



(2) 手助・介護をした経験

手助・介護をした経験みると、「全体」では、「すでに手助・介護を終えている（現在は行っていない）」が53.9%でもっとも割合が高く、次いで「現在、手助・介護を行っている」が46.1%となっている。

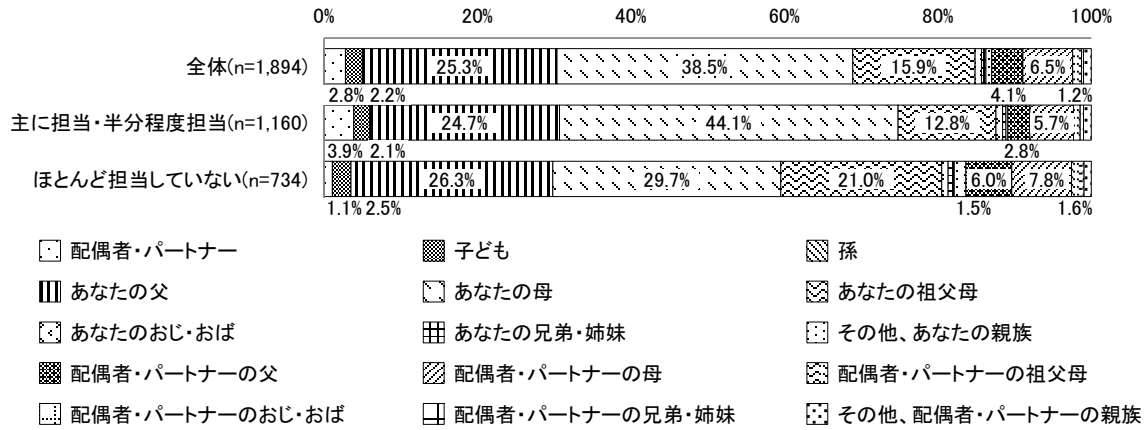
図表 2 手助・介護をした経験:単数回答 (SQ2)



(3) 手助・介護をしている（していた）家族の続柄

手助・介護をしている（していた）家族の続柄をみると、「全体」では、「あなたの母」が38.5%でもっとも割合が高く、次いで「あなたの父」が25.3%となっている。

図表 3 手助・介護をしている（していた）家族の続柄：単数回答（SQ3）



注) グラフ中では、割合の小さいものについて表示を省略している。以下同様。

<数値表>

	合計	SQ3.手助・介護をしている(していた)家族の続柄							
		配偶者・パートナー	子ども	孫	あなたの父	あなたの母	あなたの祖父	あなたのおじ・おば	あなたの兄弟・姉妹
全体	1,894	2.8	2.2	0.0	25.3	38.5	15.9	0.8	0.6
主に担当・半分程度担当	1,160	3.9	2.1	0.0	24.7	44.1	12.8	0.9	0.4
ほとんど担当していない	734	1.1	2.5	0.0	26.3	29.7	21.0	0.8	0.8

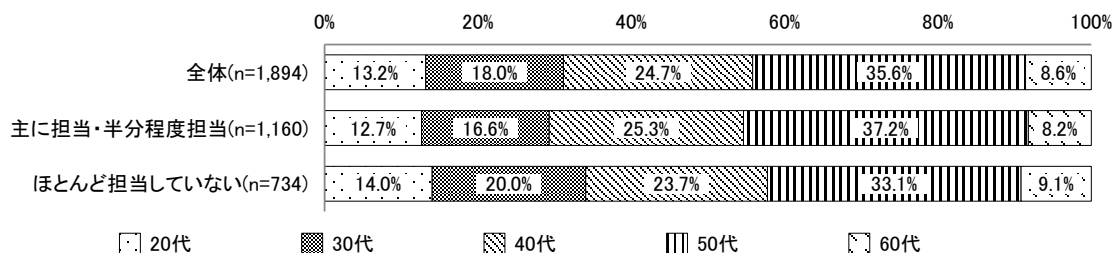
	合計	SQ3.手助・介護をしている(していた)家族の続柄							
		その他、あなたの親族	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	配偶者・パートナーの祖父	配偶者・パートナーのおじ・おば	配偶者・パートナーの兄弟・姉妹	その他、配偶者・パートナーの親族	不明
全体	1,894	0.7	4.1	6.5	1.2	0.3	0.0	1.0	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	0.3	2.8	5.7	0.9	0.4	0.0	1.0	0.0
ほとんど担当していない	734	1.5	6.0	7.8	1.6	0.0	0.0	1.0	0.0

注) 複数回の手助・介護の経験がある場合には、回答時現在からみて直近の手助・介護の経験について回答するよう指示した。また、直近の手助・介護の経験において、同時に複数の方の手助・介護をしていた場合には、最も時間をかけて手助・介護をしていた方への介護について回答するよう指示した。以下同様。

(4) 手助・介護を始めたときの回答者の年齢

手助・介護を始めたときの回答者の年齢をみると、「全体」では、「50代」が35.6%でもっとも割合が高く、次いで「40代」が24.7%となっている。

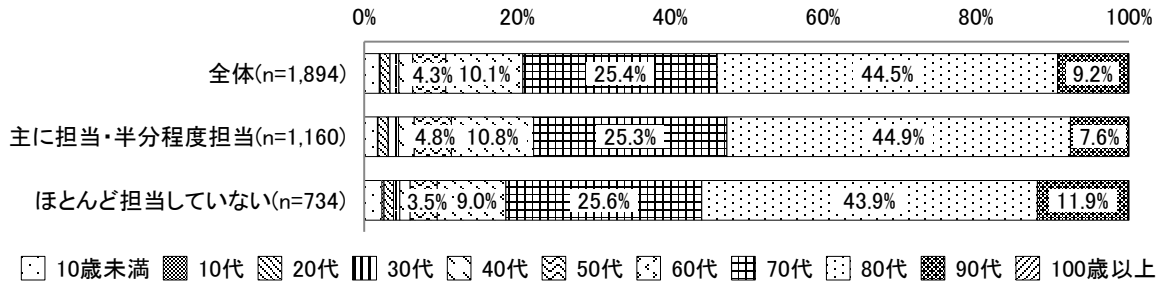
図表 4 手助・介護を始めたときの回答者の年齢：単数回答（SQ4S1）



(5) 手助・介護を始めたときの被介護者の年齢

手助・介護を始めたときの被介護者の年齢をみると、「全体」では、「80代」が44.5%でもっとも割合が高く、次いで「70代」が25.4%となっている。

図表 5 手助・介護を始めたときの被介護者の年齢:単数回答 (SQ4S2)



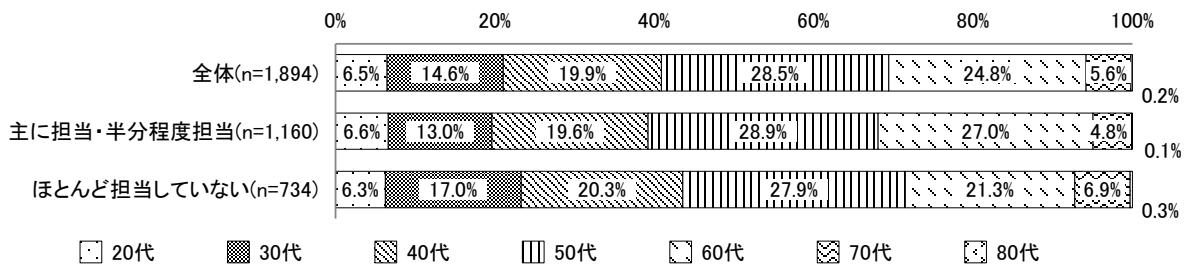
<数値表>

	合計	SQ4S2.手助・介護を始めたときの被介護者の年齢											
		10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不明
全体	1,894	2.0	0.2	1.3	1.2	1.8	4.3	10.1	25.4	44.5	9.2	0.1	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	1.7	0.1	1.3	1.4	2.1	4.8	10.8	25.3	44.9	7.6	0.1	0.0
ほとんど担当していない	734	2.3	0.3	1.2	0.8	1.4	3.5	9.0	25.6	43.9	11.9	0.1	0.0

(6) 現在の回答者の年齢

現在の回答者の年齢をみると、「全体」では、「50代」が28.5%でもっとも割合が高く、次いで「60代」が24.8%となっている。

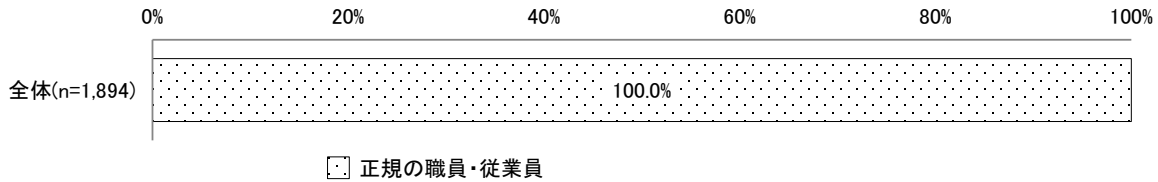
図表 6 現在の回答者の年齢:単数回答 (SQ4S3)



(7) 手助・介護を始めた際の就業形態

調査対象の設定の通り、回答者が手助・介護を始めた際の就業形態は「正規の職員・従業員」が100%となっている。

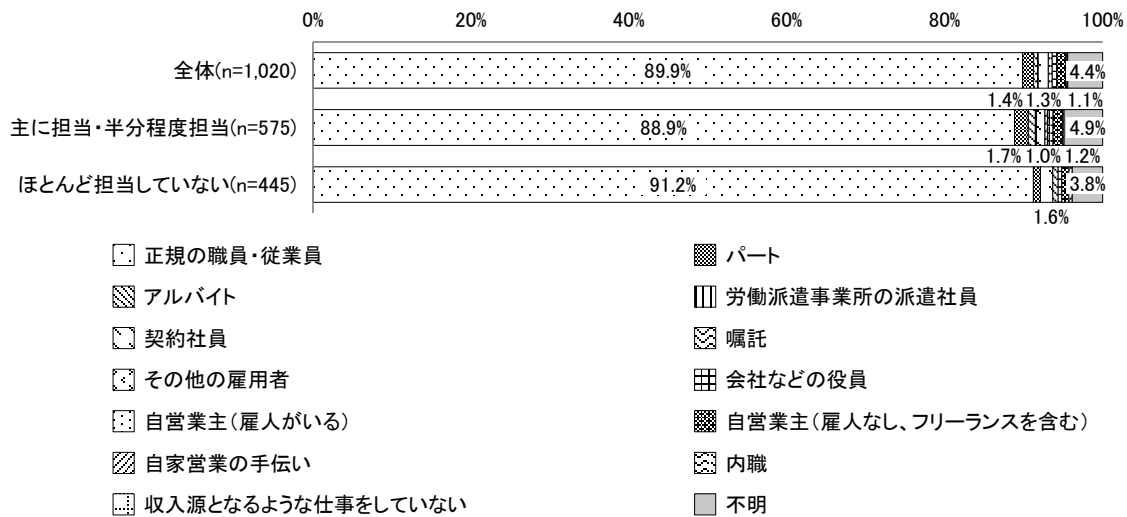
図表 7 手助・介護を始めた際の就業形態:単数回答 (SQ5)



(8) 手助・介護を終えた時点の就業形態

すでに手助・介護を終えている（現在は行っていない）者のうち、手助・介護を終えた時点の就業形態をみると、「全体」では、「正規の職員・従業員」が89.9%となっている。

図表 8 手助・介護を終えた時点の就業形態:単数回答 (SQ10S2)



<数値表>

	合計	SQ10S2.手助・介護を終えた時点の就業形態													
		正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他の雇用者	会社などの役員	自営業主(雇人がいる)	自営業主(雇人なし、フリーランスを含む)	自家営業の手伝い	内職	収入源となるような仕事をしていない	不明
全体	1,020	89.9	1.4	0.5	0.1	1.3	0.5	0.0	0.6	0.0	1.1	0.2	0.1	0.0	4.4
主に担当・半分程度担当	575	88.9	1.7	0.9	0.2	1.0	0.3	0.0	0.7	0.0	1.2	0.0	0.2	0.0	4.9
ほとんど担当していない	445	91.2	0.9	0.0	0.0	1.6	0.7	0.0	0.4	0.0	0.9	0.4	0.0	0.0	3.8

(9) 手助・介護をしていた当時の居住地（都道府県）

手助・介護をしていた当時の居住地（都道府県）をみると、「東京都」が14.2%でもっとも割合が高く、次いで「大阪府」が9.1%となっている。

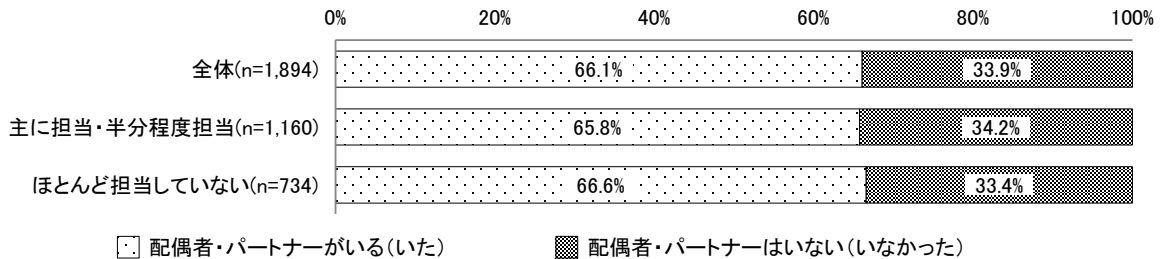
図表 9 手助・介護をしていた当時の居住地（都道府県）：単数回答（Q1）

Q1. 居住地	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
全体	1,894	3.2	0.3	0.5	1.6	0.7	1.0	1.3	1.5	1.1	1.6
Q1. 居住地	合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
全体	1,894	5.5	5.3	14.2	7.1	1.9	1.2	0.9	0.9	0.5	1.4
Q1. 居住地	合計	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
全体	1,894	0.9	2.5	6.5	1.6	1.1	2.3	9.1	5.1	1.4	0.4
Q1. 居住地	合計	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
全体	1,894	0.3	0.4	1.7	2.3	0.8	0.8	0.7	1.3	0.5	3.8
Q1. 居住地	合計	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
全体	1,894	0.8	0.7	0.6	0.5	0.6	1.0	0.3			

(10) 手助・介護をしていた当時の婚姻状況

手助・介護をしていた当時の婚姻状況をみると、「全体」では、「配偶者・パートナーがいる（いた）」が66.1%、「配偶者・パートナーはいない（いなかった）」が33.9%となっている。

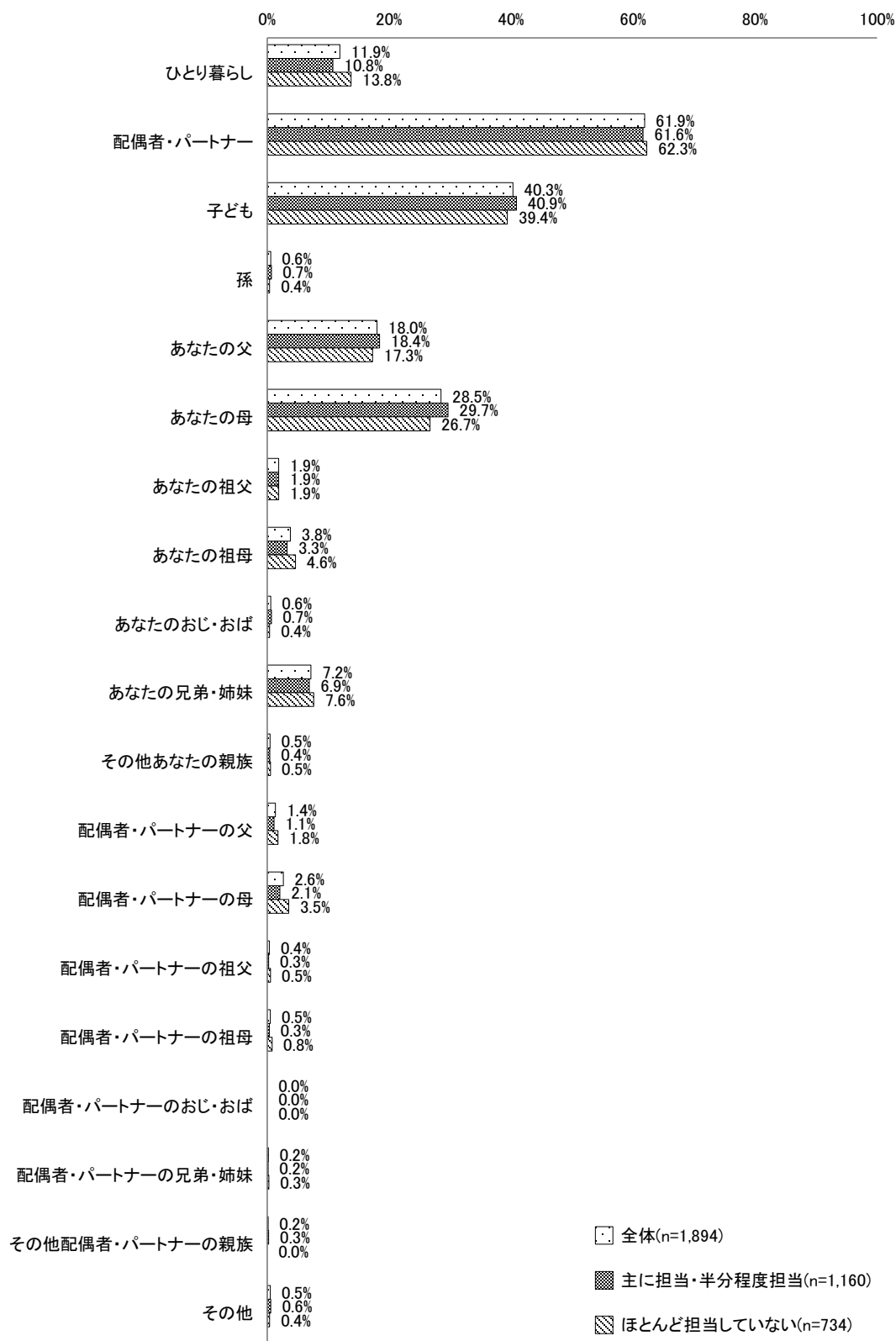
図表 10 手助・介護をしていた当時の婚姻状況：単数回答（Q2）



(11) 手助・介護をしていた当時の同居者

手助・介護を始めた当時の同居者をみると、「全体」では、「配偶者・パートナー」が61.9%で最も割合が高く、次いで「子ども」が40.3%となっている。

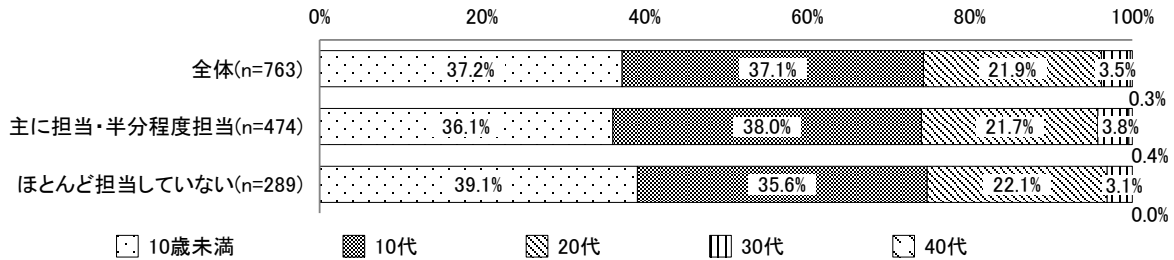
図表 11 手助・介護をしていた当時の同居者：複数回答（Q3）



(12) 当時の末子年齢

手助・介護を始めた当時に子どもと同居していた回答者について、同居していた末子の年齢をみると、「全体」では、「10歳未満」が37.2%でもっとも割合が高く、次いで「10代」が37.1%となっている。

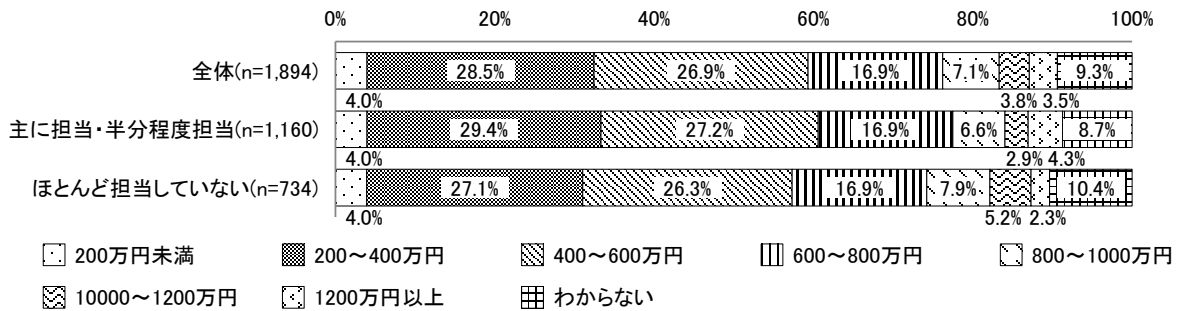
図表 12 当時の末子年齢:単数回答 (Q3_3)



(13) 手助・介護をしていた当時の個人年収

手助・介護をしていた当時の回答者個人の年収をみると、「全体」では、「200～400万円」が28.5%でもっとも割合が高く、次いで「400～600万円」が26.9%となっている。

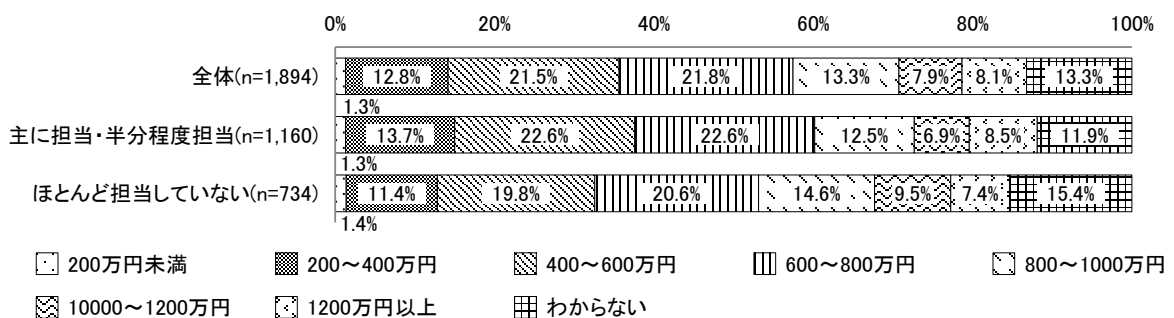
図表 13 手助・介護をしていた当時の個人年収:単数回答 (Q4S1)



(14) 手助・介護をしていた当時の世帯年収

手助・介護をしていた当時の世帯年収をみると、「全体」では、「600～800万円」が21.8%でもっとも割合が高く、次いで「400～600万円」が21.5%となっている。

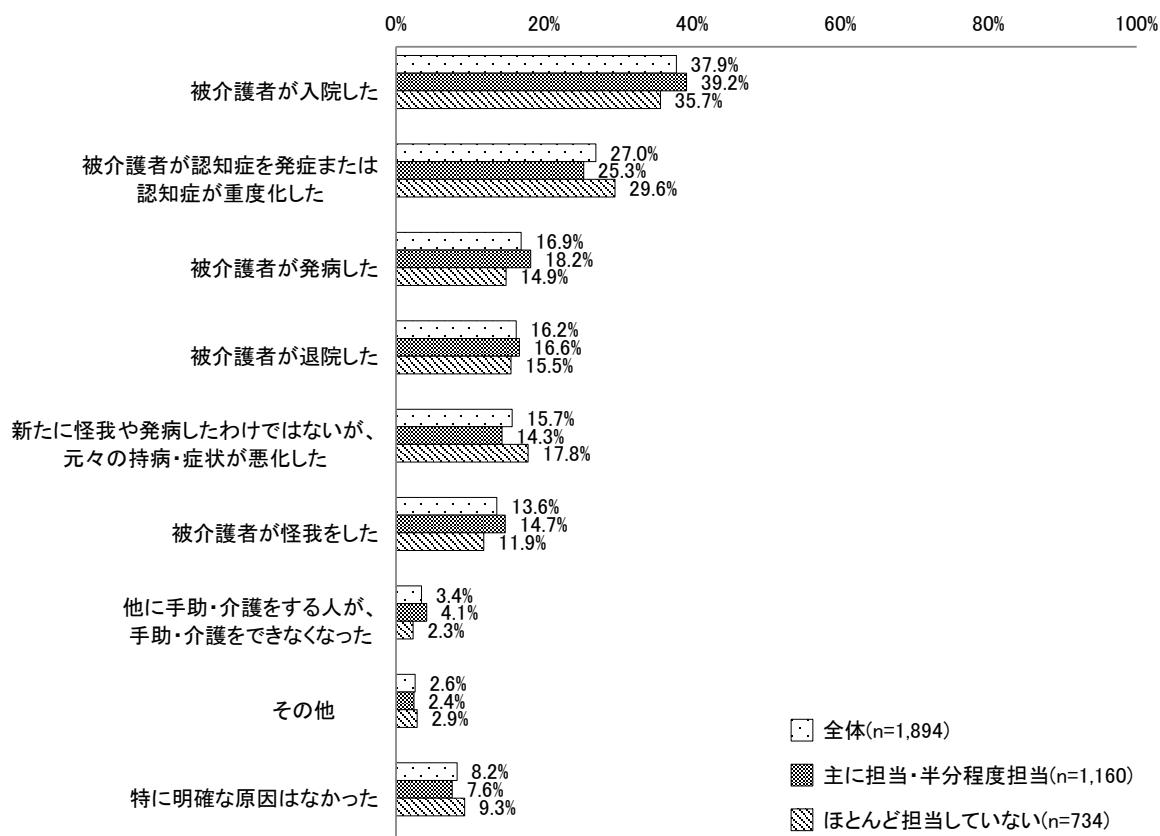
図表 14 手助・介護をしていた当時の世帯年収:単数回答 (Q4S2)



(15) 手助・介護をするようになった主な経緯

手助・介護をするようになった主な経緯をみると、「全体」では、「被介護者が入院した」が37.9%でもっとも割合が高く、次いで「被介護者が認知症を発症または認知症が重度化した」が27.0%となっている。

図表 15 手助・介護をするようになった主な経緯：複数回答（Q6）

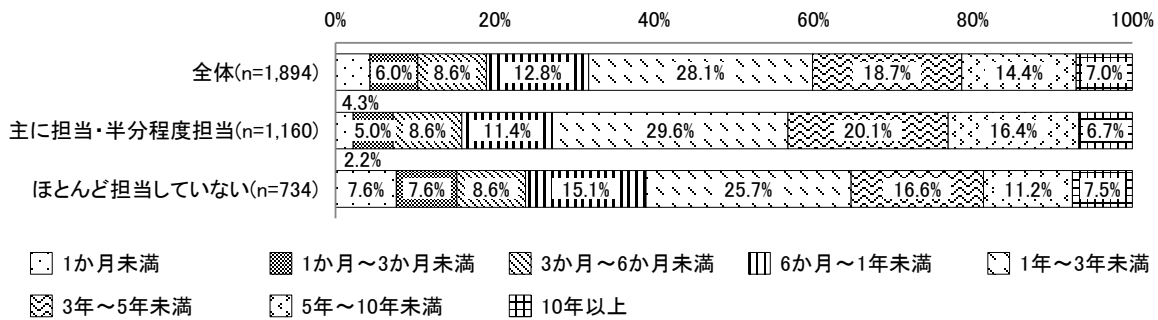


3-2. 介護の経緯や介護の期間などについて

(1) 通算の手助・介護期間

通算の手助・介護期間をみると、「全体」では、「1年～3年未満」が28.1%でもっとも割合が高く、次いで「3年～5年未満」が18.7%となっている。

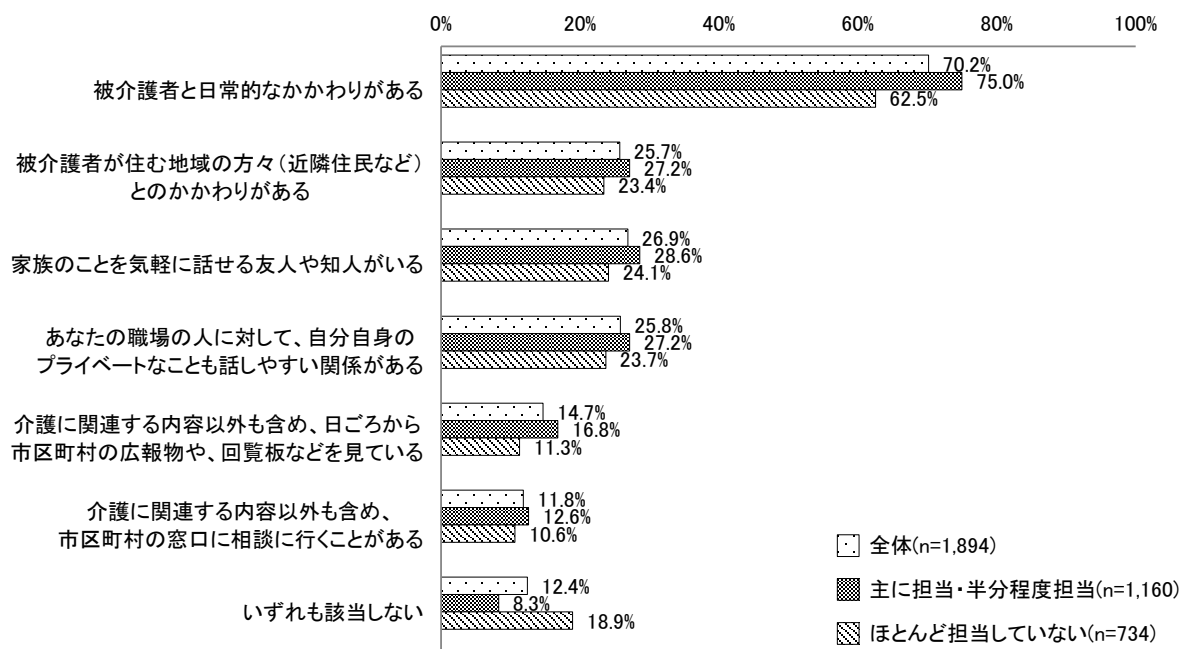
図表 16 通算の手助・介護期間:単数回答 (Q7)



(2) 介護を始める以前の家庭や職場、地域との関わり

介護を始める前に回答者自身が、被介護者を含む家庭や職場、地域とどのような関わりがあったかをみると、「全体」では、「被介護者と日常的なかかわりがある」が70.2%、「家族のことを気軽に話せる友人や知人がいる」が26.9%、「あなたの職場の人に対して、自分自身のプライベートなことも話しやすい関係がある」が25.8%などとなっている。

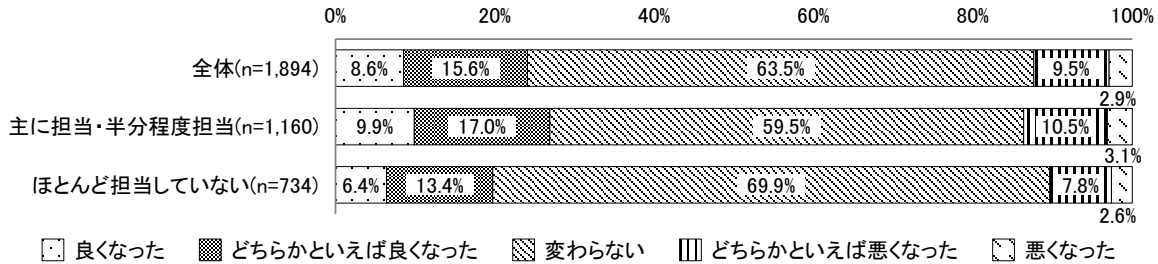
図表 17 介護を始める以前の家庭や職場、地域との関わり:複数回答 (Q8)



(3) 手助・介護開始後の、被介護者との関係性の変化

手助・介護開始後に被介護者との関係性が変化したかどうかをみると、「全体」では、「変わらない」が63.5%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかといえば良くなった」が15.6%となっている。

図表 18 手助・介護開始後の、被介護者との関係性の変化：単数回答（Q9）



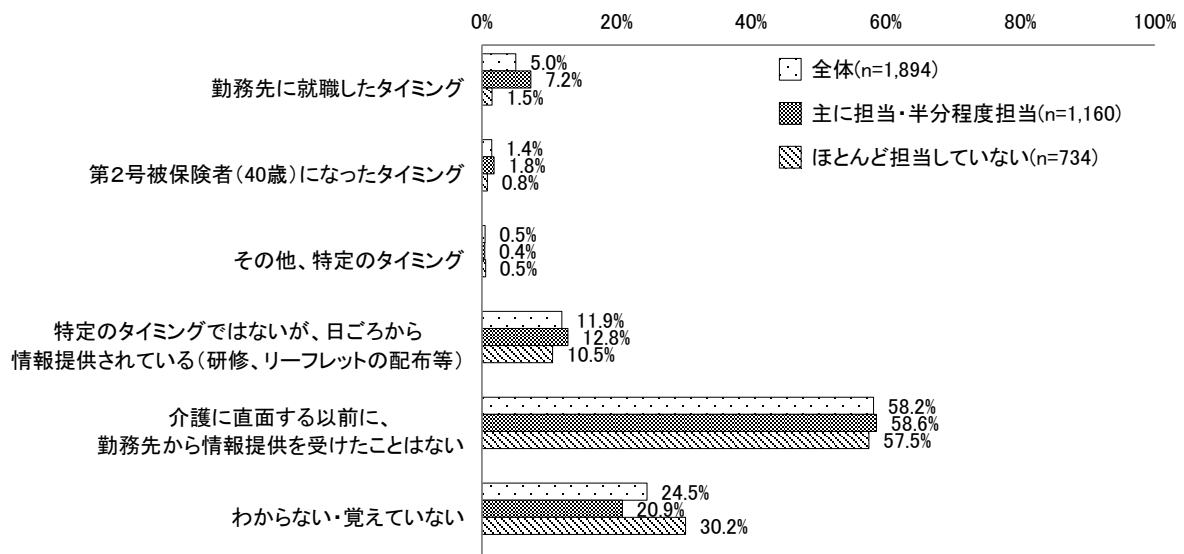
3-3. 介護や「仕事と介護の両立」に関する相談や情報収集について

(1) 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供

①両立支援制度について

手助・介護を始める以前に両立支援制度に関して職場からの情報提供があったかどうか、また、どのような機会に情報提供があったかをみると、「全体」では、「介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない」が58.2%となっている。情報提供の機会としては、「特定のタイミングではないが、日ごろから情報提供されている(研修、リーフレットの配布等)」が11.9%となっている。

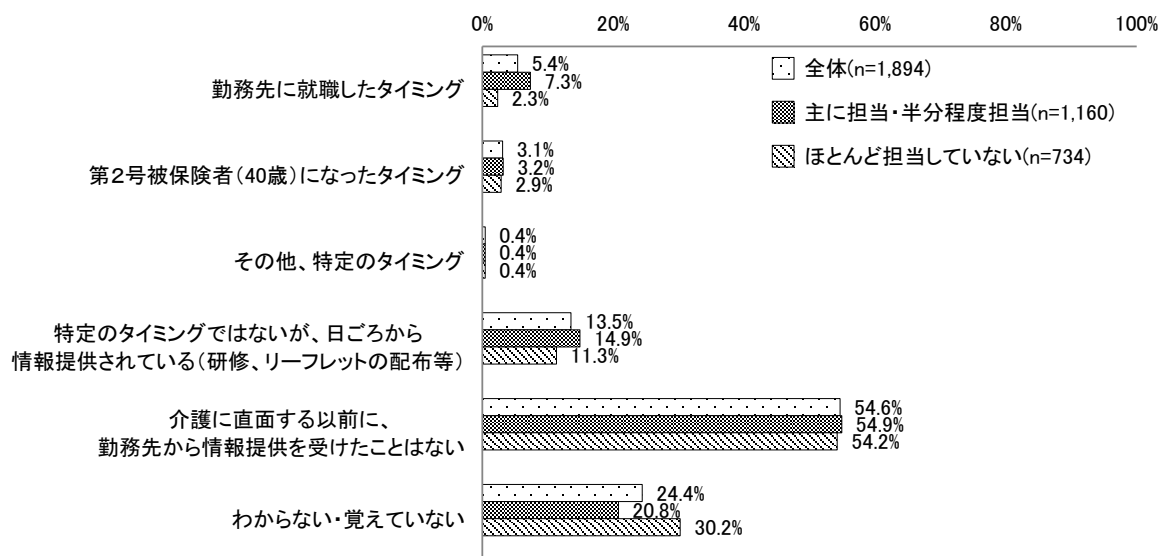
図表 19 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ①両立支援制度について：複数回答（Q10S1）



②介護保険制度について

手助・介護を始める以前に介護保険制度に関して職場からの情報提供があったかどうか、また、どのような機会に情報提供があったかをみると、「全体」では、「介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない」が 54.6% となっている。情報提供の機会としては、「特定のタイミングではないが、日ごろから情報提供されている（研修、リーフレットの配布等）」が 13.5% となっている。

図表 20 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ②介護保険制度について：複数回答 (Q10S2)

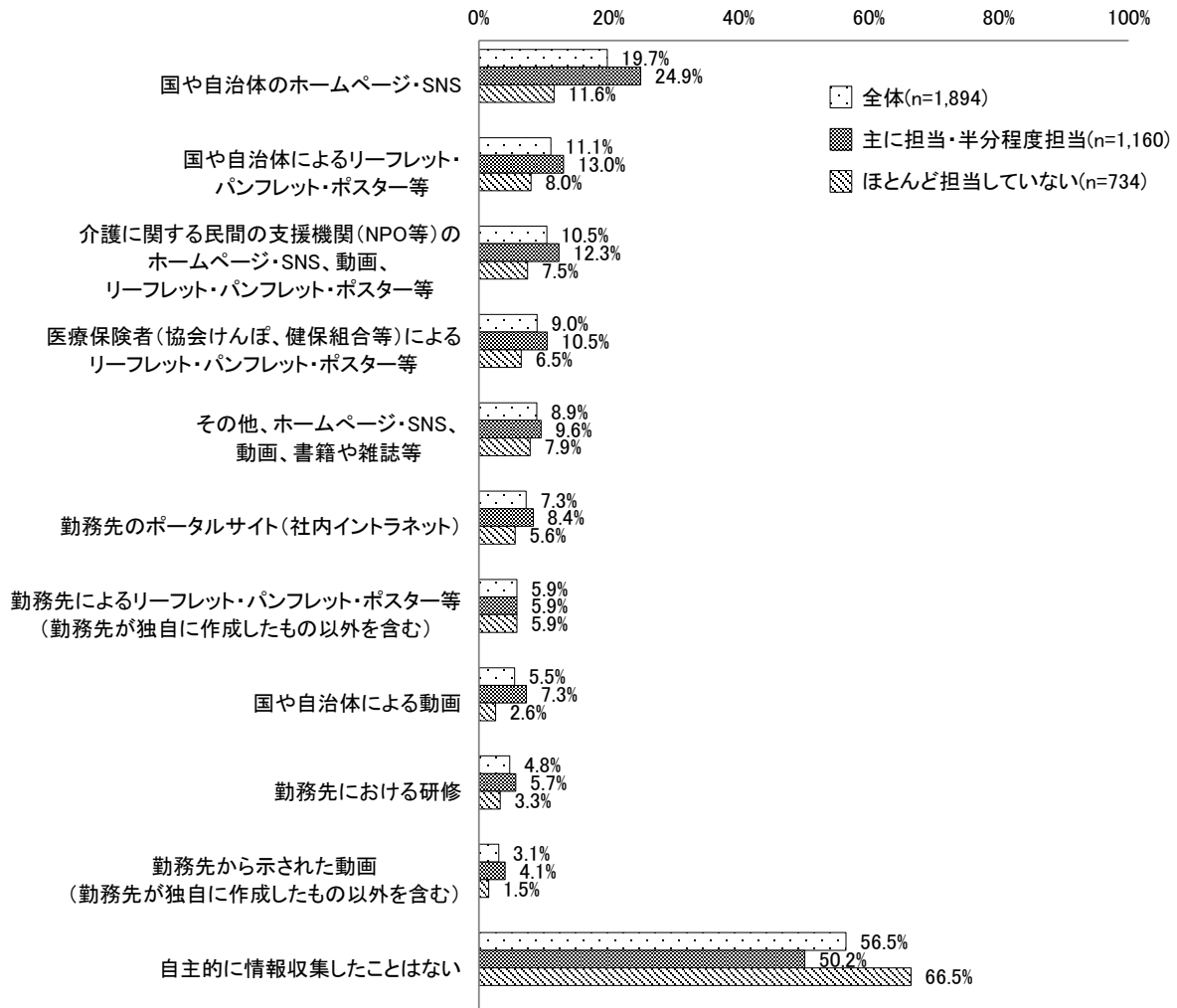


(2) 自主的に情報収集した経験

①両立支援制度について

手助・介護を始める以前・以後を問わず、両立支援制度に関して自主的に行った情報収集の経験をみると、「全体」では、「自主的に情報収集したことはない」が56.5%となっている。情報収集をした経験がある場合の情報収集先は、「国や自治体のホームページ・SNS」が19.7%、「国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等」が11.1%などとなっている。

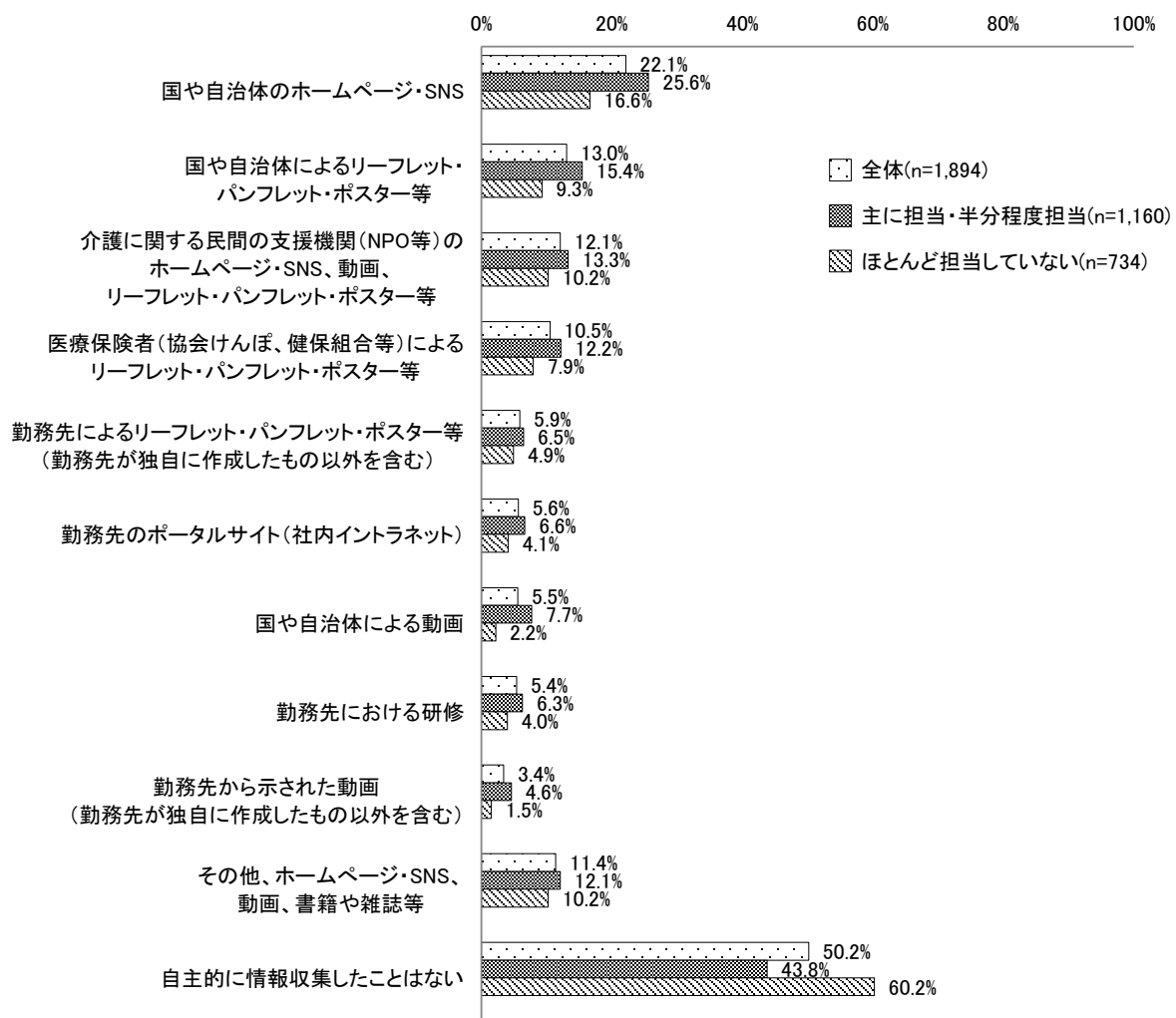
図表 21 自主的に情報収集した経験 ①両立支援制度について：複数回答（Q11S1）



②介護保険制度について

手助・介護を始める以前・以後を問わず、介護保険制度に関して自主的に行った情報収集の経験をみると、「全体」では、「自主的に情報収集したことはない」が50.2%となっている。情報収集をした経験がある場合の情報収集先は、「国や自治体のホームページ・SNS」が22.1%、「国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等」が13.0%などとなっている。

図表 22 自主的に情報収集した経験 ②介護保険制度について：複数回答（Q11S2）

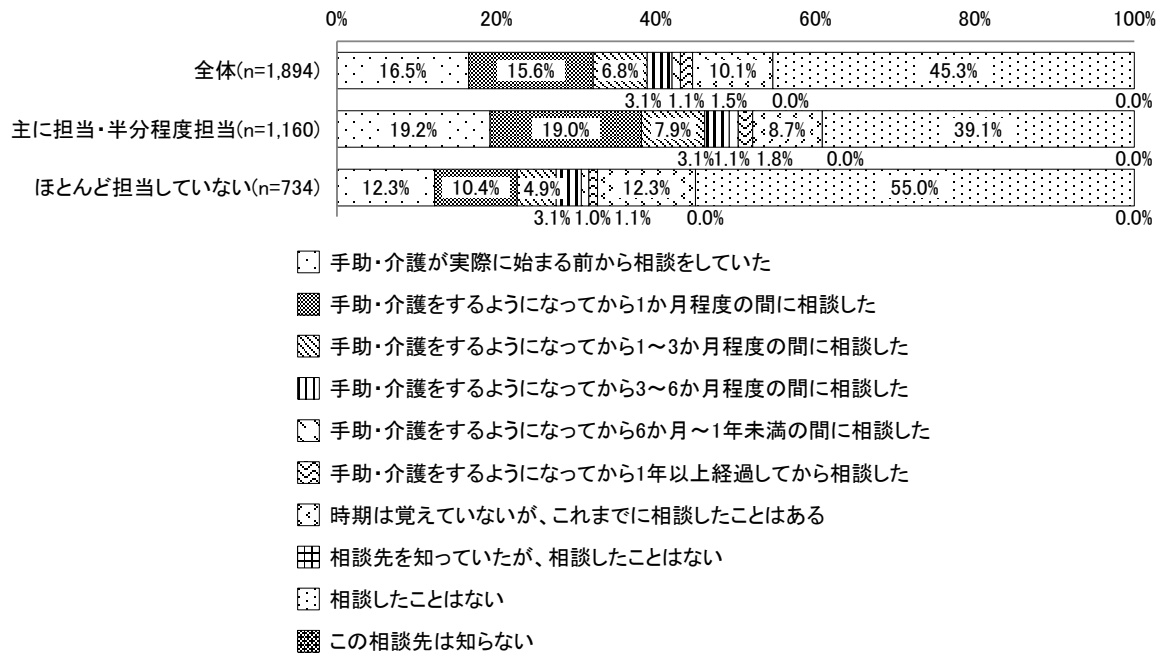


(3) 手助・介護に関する相談の状況

①手助・介護が必要な本人（被介護者）

手助・介護について、被介護者に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談したことはない」が 45.3%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた」が 16.5%となっている。

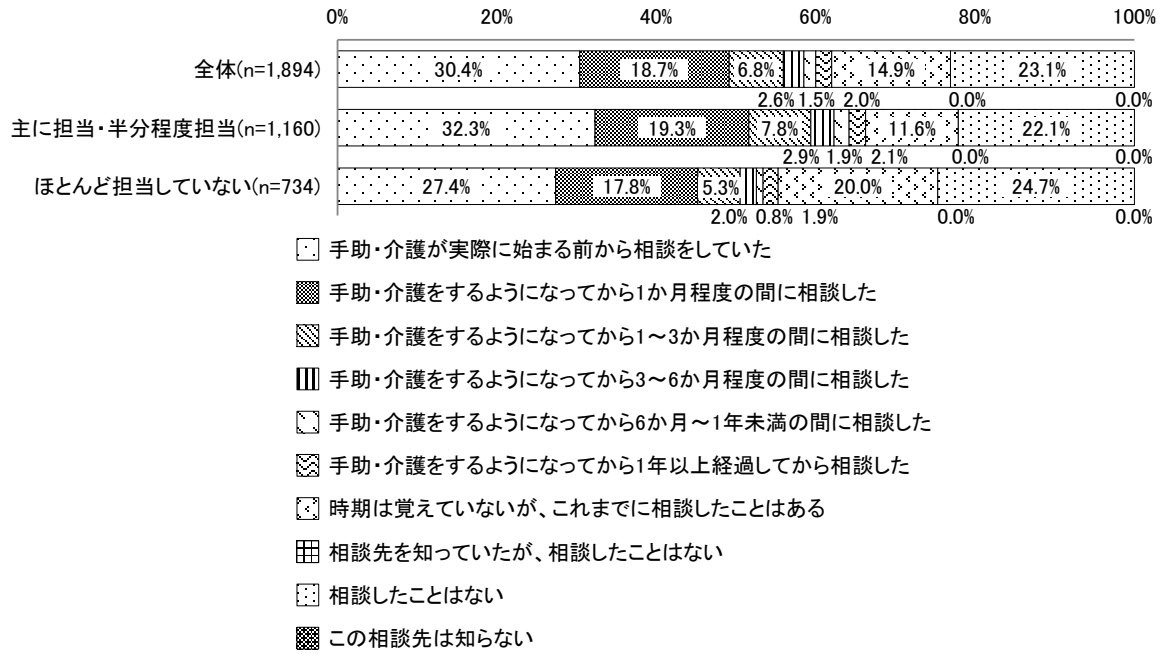
図表 23 手助・介護に関する相談の状況 ①手助・介護が必要な本人：単数回答（Q12S1）



②家族・親族

手助・介護について、家族・親族に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた」が30.4%でもっとも割合が高く、次いで「相談したことはない」が23.1%となっている。

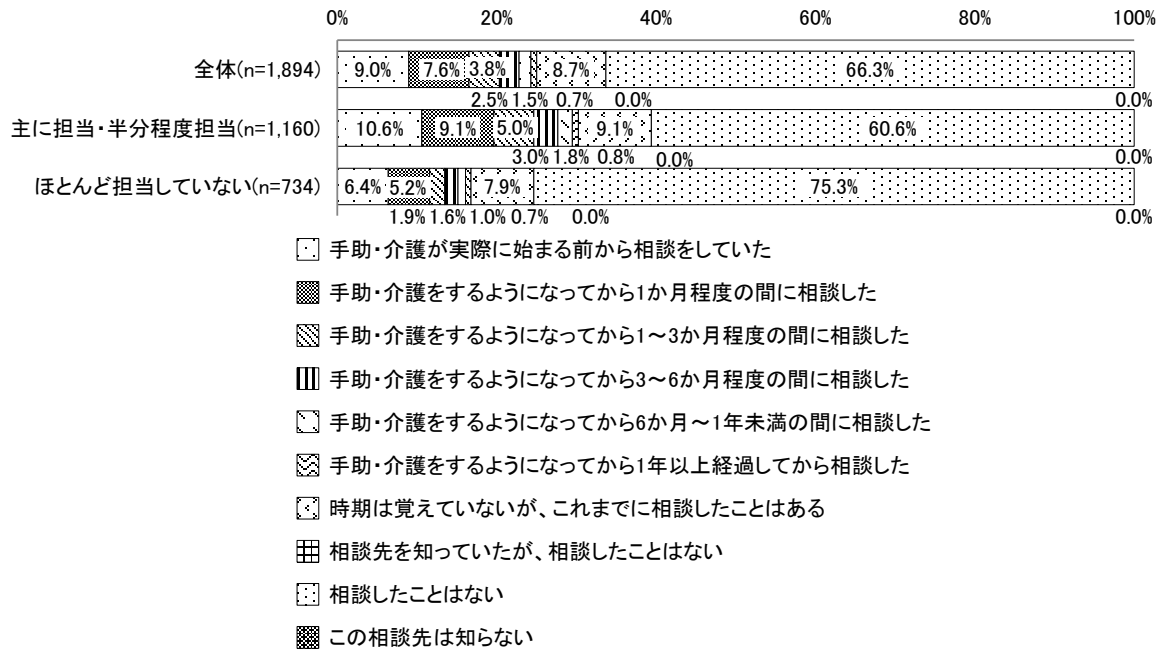
図表 24 手助・介護に関する相談の状況 ②家族・親族:単数回答 (Q12S2)



③友人・知人

手助・介護について、(回答者の)友人・知人に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談したことはない」が66.3%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた」が9.0%となっている。

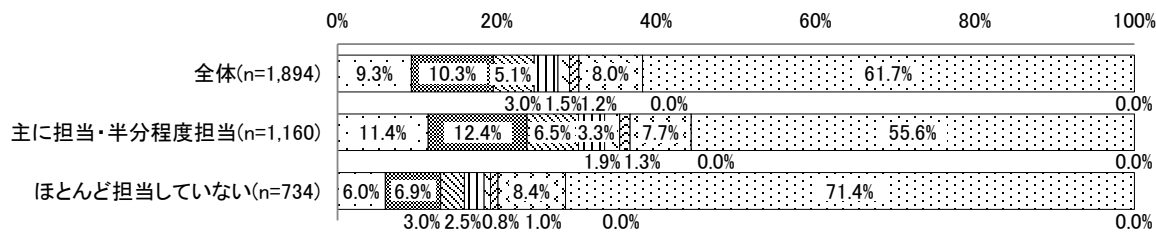
図表 25 手助・介護に関する相談の状況 ③友人・知人:単数回答 (Q12S3)



④勤務先

手助・介護について、勤務先に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談したことはない」が 61.7%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間に相談した」が 10.3%となっている。

図表 26 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先:単数回答 (Q12S4)

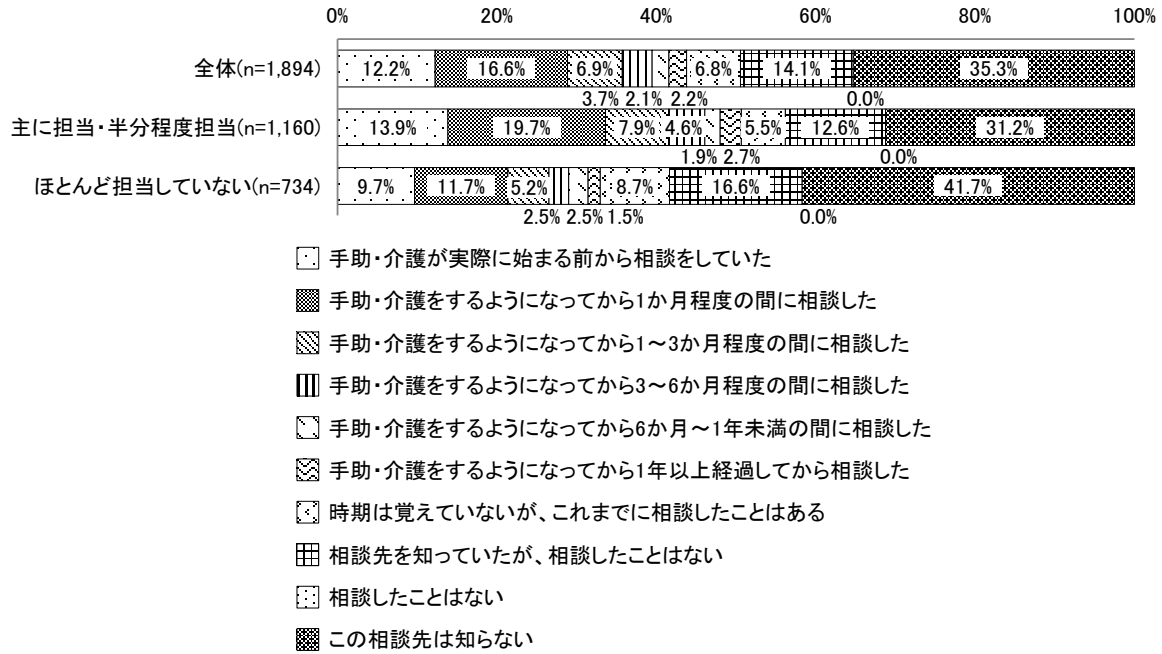


- 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- 手助・介護をするようになってから1か月程度の間に相談した
- 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間に相談した
- 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間に相談した
- 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間に相談した
- 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
- 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- 相談先を知っていたが、相談したことはない
- 相談したことはない
- この相談先は知らない

⑤市区町村の窓口

手助・介護について、市区町村の窓口で相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が35.3%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が16.6%となっている。

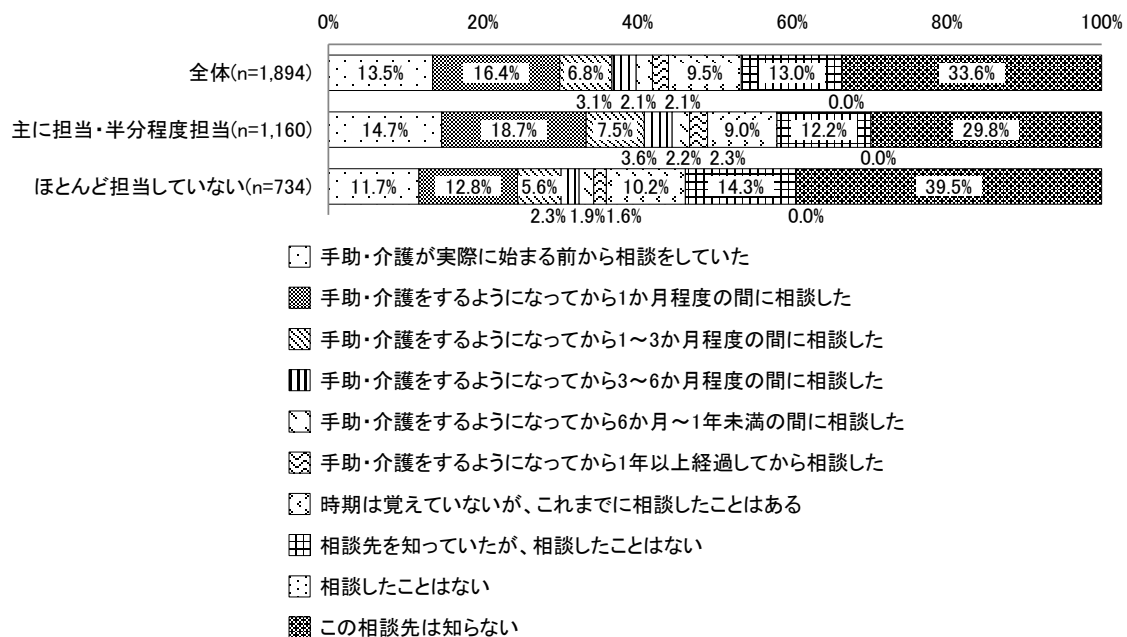
図表 27 手助・介護に関する相談の状況 ⑤市区町村の窓口：単数回答（Q12S5）



⑥病院の医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師

手助・介護について、病院の医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が33.6%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が16.4%となっている。

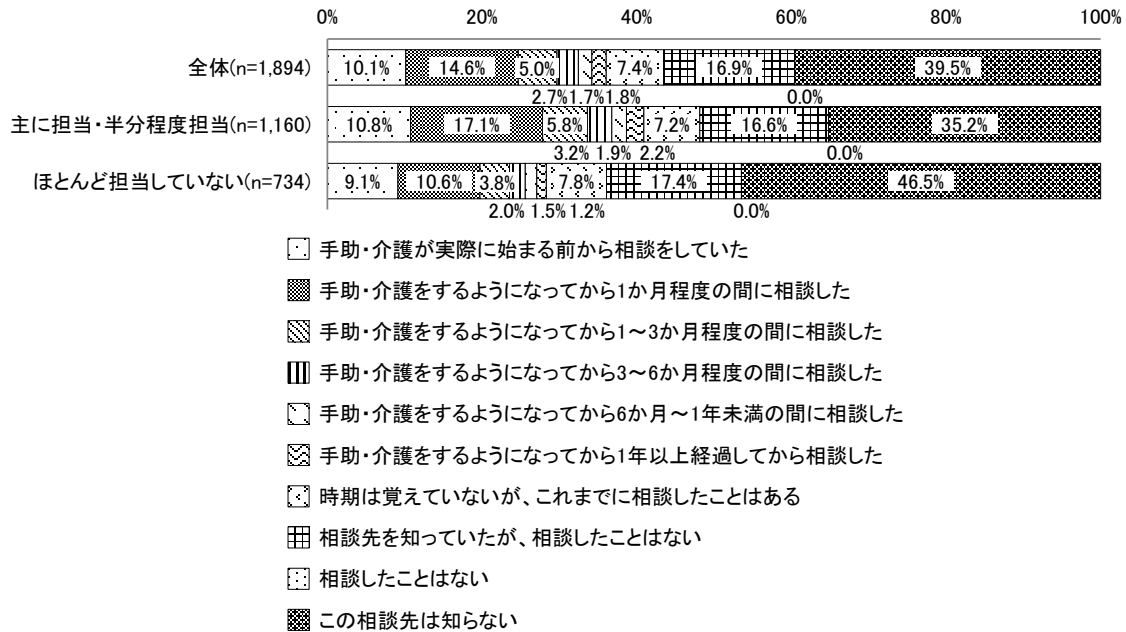
図表 28 手助・介護に関する相談の状況 ⑥病院の医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師：単数回答（Q12S6）



⑦地域包括支援センター

手助・介護について、地域包括支援センターに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が39.5%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が16.9%となっている。

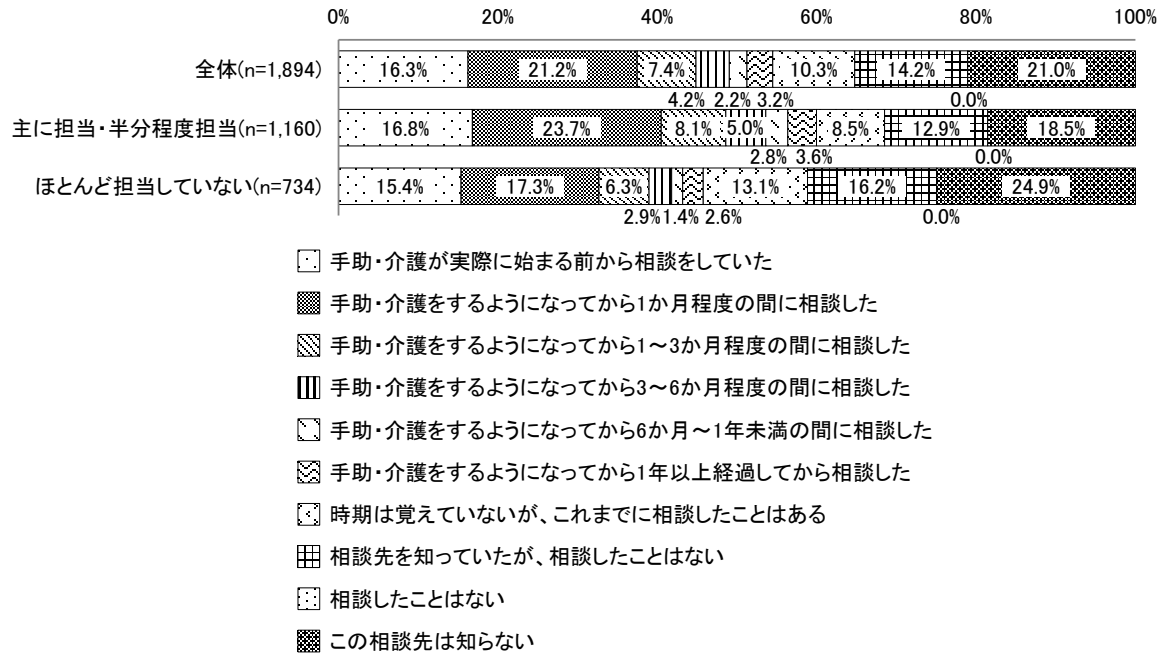
図表 29 手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター：単数回答（Q12S7）



⑧ケアマネジャー

手助・介護についてケアマネジャーに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間に相談した」が21.2%で最も割合が高く、次いで「この相談先は知らない」が21.0%となっている。

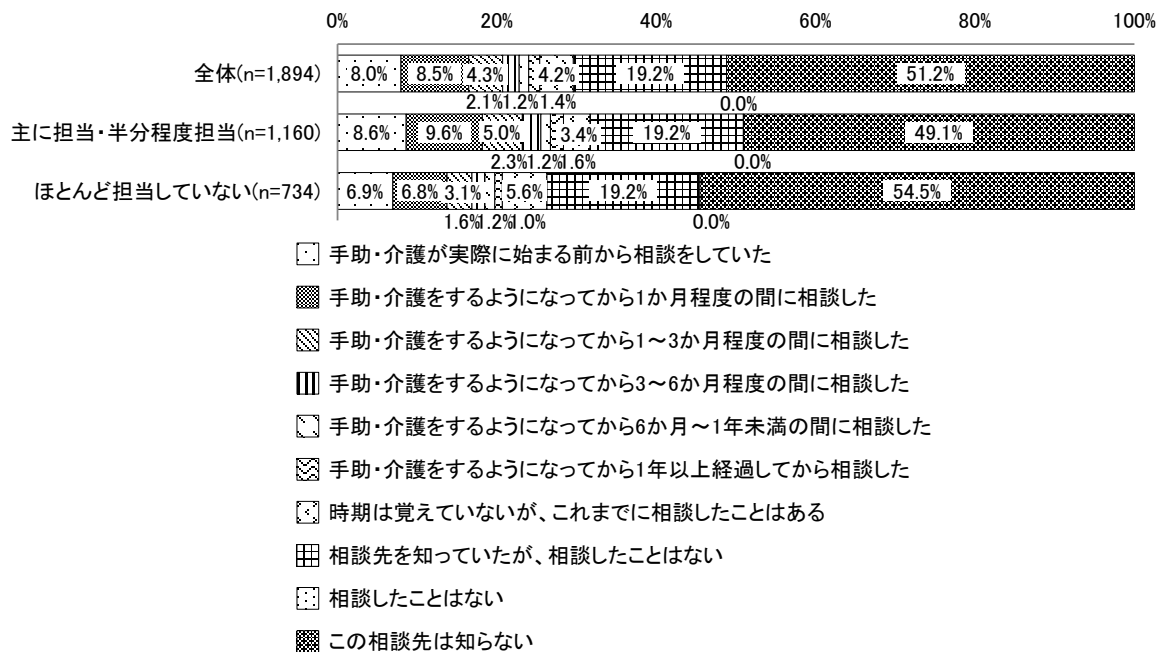
図表 30 手助・介護に関する相談の状況 ⑧ケアマネジャー：単数回答（Q12S8）



⑨相談支援専門員

手助・介護について、相談支援専門員に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が51.2%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が19.2%となっている。

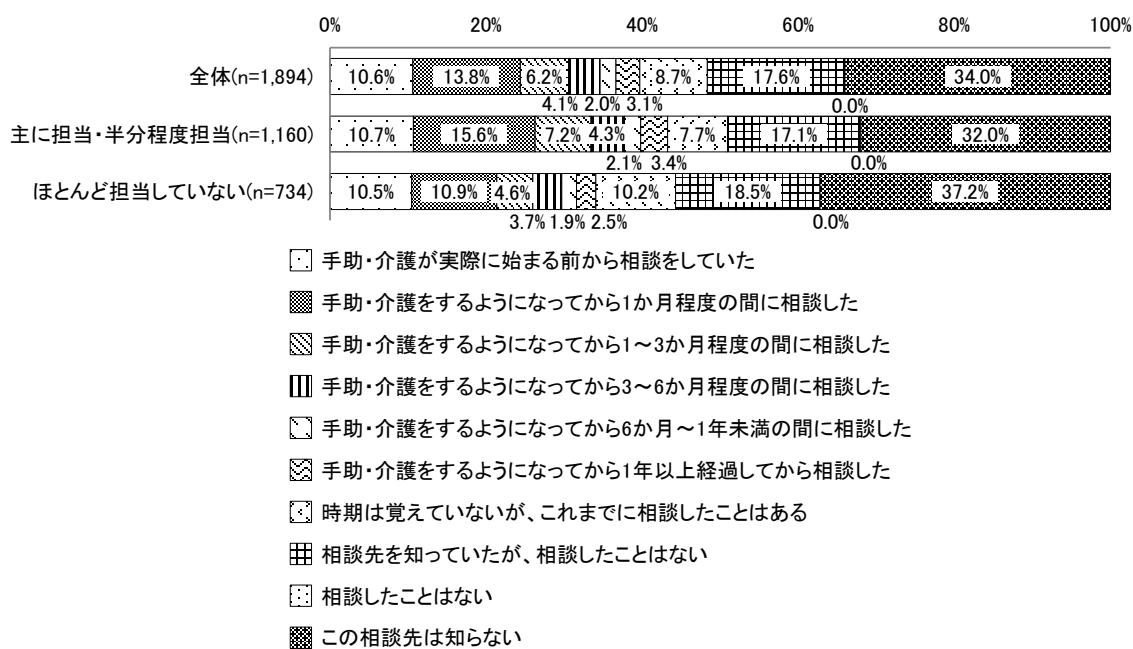
図表 31 手助・介護に関する相談の状況 ⑨相談支援専門員：単数回答（Q12S9）



⑩介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者

手助・介護について、介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が34.0%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が17.6%となっている。

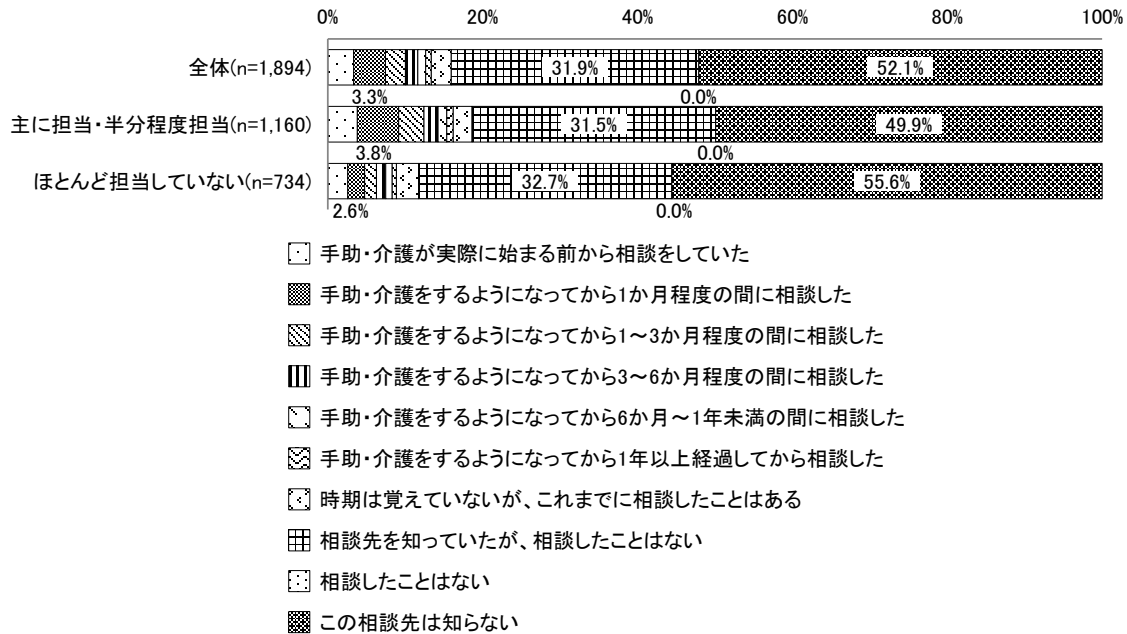
図表 32 手助・介護に関する相談の状況 ⑩介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者：単数回答 (Q12S10)



①民生委員・児童委員

手助・介護について、民生委員・児童委員に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が52.1%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が31.9%となっている。

図表 33 手助・介護に関する相談の状況 ①民生委員・児童委員：単数回答（Q12S11）



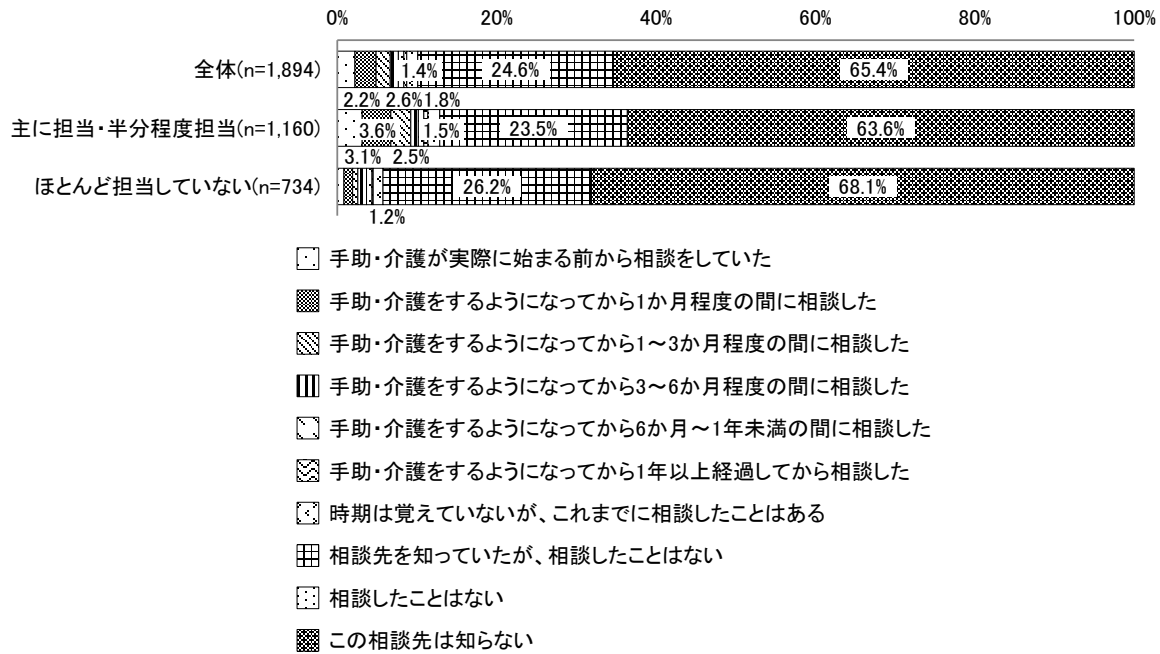
< 数値表 >

	合計	Q12S11.手助・介護に関する相談の状況 ①民生委員・児童委員										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,894	3.3	4.1	2.6	1.6	1.0	0.7	2.6	31.9	0.0	52.1	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	3.8	5.3	3.3	1.8	1.1	0.9	2.4	31.5	0.0	49.9	0.0
ほとんど担当していない	734	2.6	2.2	1.5	1.2	0.8	0.5	2.9	32.7	0.0	55.6	0.0

⑫NPO・ボランティア

手助・介護について、NPO・ボランティアに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が65.4%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が24.6%となっている。

図表 34 手助・介護に関する相談の状況 ⑫NPO・ボランティア：単数回答（Q12S12）



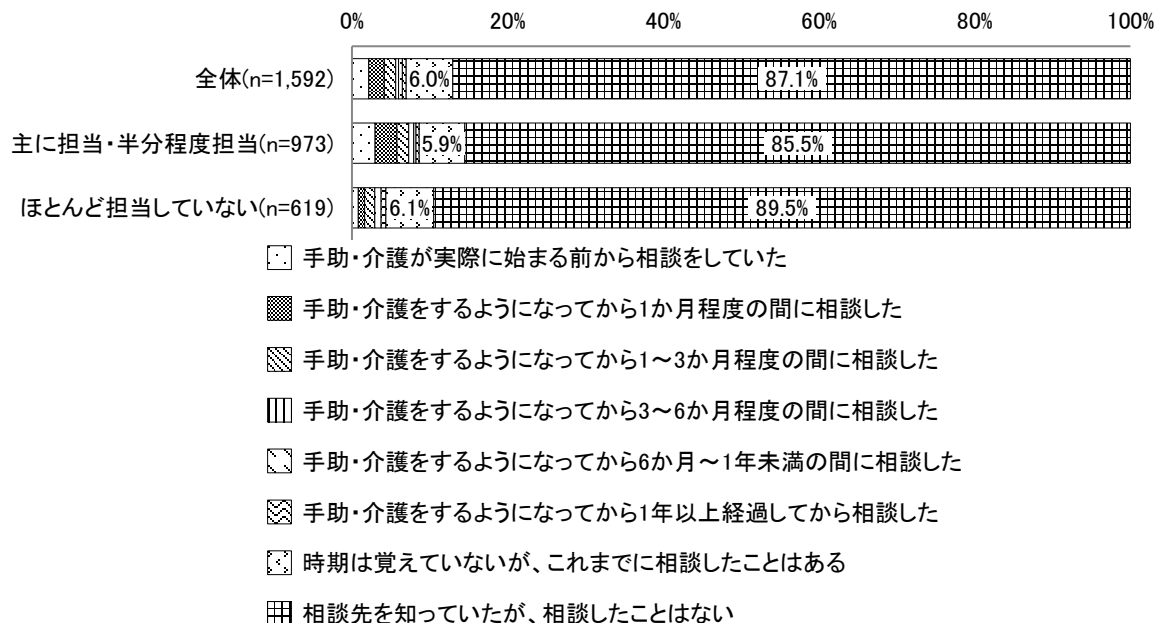
<数値表>

	合計	Q12S12.手助・介護に関する相談の状況					⑫NPO・ボランティア					
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,894	2.2	2.6	1.8	1.0	0.7	0.4	1.4	24.6	0.0	65.4	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	3.1	3.6	2.5	0.9	0.7	0.5	1.5	23.5	0.0	63.6	0.0
ほとんど担当していない	734	0.8	1.1	0.7	1.1	0.7	0.1	1.2	26.2	0.0	68.1	0.0

⑬その他の窓口

手助・介護について、①～⑫以外の相談先に相談をしたことがあるか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談先を知っていたが、相談したことはない」が87.1%でもっとも割合が高く、次いで「時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある」が6.0%となっている。

図表 35 手助・介護に関する相談の状況 ⑬その他の窓口：単数回答（Q12S13）



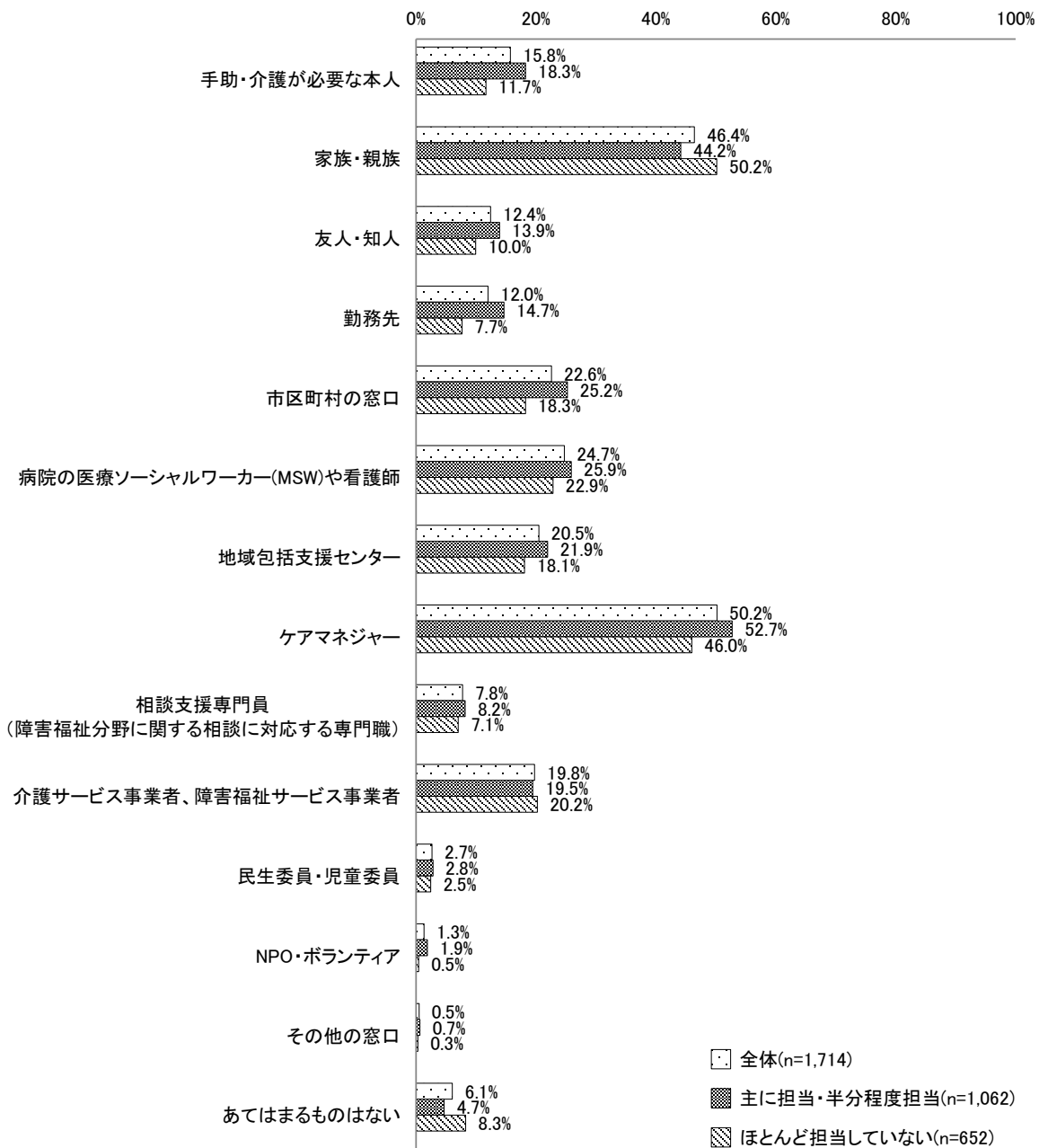
<数値表>

	合計	Q12S13.手助・介護に関する相談の状況						⑬その他の窓口				
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,592	2.1	2.0	1.4	0.4	0.5	0.5	6.0	87.1	0.0	0.0	0.0
主に担当・半分程度担当	973	3.0	2.8	1.5	0.6	0.3	0.4	5.9	85.5	0.0	0.0	0.0
ほとんど担当していない	619	0.8	0.8	1.3	0.0	0.8	0.6	6.1	89.5	0.0	0.0	0.0

(4) 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先

手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先をみると、「全体」では、「ケアマネジャー」が50.2%でもっとも割合が高く、次いで「家族・親族」が46.4%となっている。

図表 36 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先：複数回答 (Q13)



手助・介護に関する考え（Q32S3）別にみると、「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」という考え方について、「そう思わない」または「あまりそう思わない」回答者において、相談して役に立った・助けになったと思うものとして「ケアマネジャー」や「地域包括支援センター」を挙げる割合が高い。

図表 37 手助・介護に関する考え（Q32S3）別、手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思うもの：複数回答（Q13）

	合計	Q13. 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思うもの							
		手助・介護が必要な本人	家族・親	友人・知人	勤務先	市区町村の窓口	病院の医療ソーシャルワーカー(MSW)や看護師	地域包括支援センター	ケアマネジャー
全体	1,714	15.8	46.4	12.4	12.0	22.6	24.7	20.5	50.2
Q32S3. 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい									
そう思う	285	17.9	54.4	14.7	13.7	24.9	29.8	21.4	49.8
ややそう思う	549	19.5	50.1	16.0	14.4	22.8	24.4	16.6	46.1
どちらともいえない	578	15.4	42.7	9.0	10.6	22.5	23.4	21.1	50.0
あまりそう思わない	217	9.2	40.1	9.7	8.3	18.4	21.7	24.4	55.8
そう思わない	85	3.5	37.6	11.8	10.6	24.7	27.1	28.2	64.7

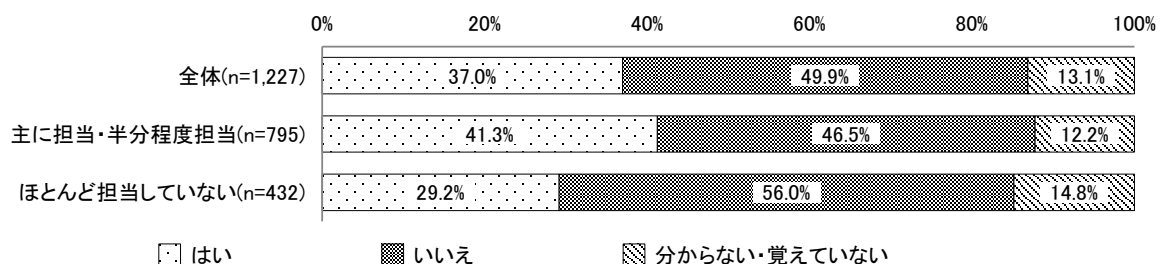
	合計	Q13. 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思うもの						
		相談支援専門員(障害福祉分野に関する相談に対応する専門職)	介護サービス事業者(障害福祉サービス事業者)	民生委員・児童委員	NPO・ボランティア	その他の窓口	あてはまるものはない	不明
全体	1,714	7.8	19.8	2.7	1.3	0.5	6.1	0.0
Q32S3. 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい								
そう思う	285	8.8	19.3	4.9	2.5	2.1	6.0	0.0
ややそう思う	549	7.5	17.1	2.6	1.3	0.4	6.4	0.0
どちらともいえない	578	8.1	21.3	2.1	1.2	0.2	6.4	0.0
あまりそう思わない	217	5.5	19.8	0.9	0.9	0.0	5.5	0.0
そう思わない	85	9.4	28.2	4.7	0.0	0.0	3.5	0.0

(5) ケアマネジャーへの相談の状況

①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)かどうかをみると、「全体」では「はい」が37.0%、「いいえ」が49.9%となっている。

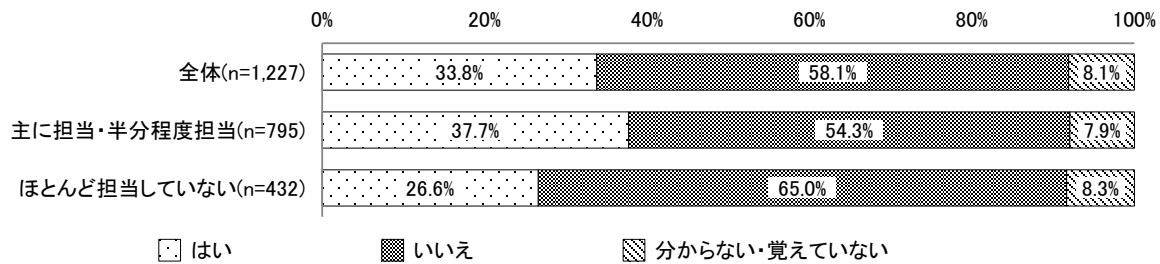
図表 38 ケアマネジャーへの相談の状況 ①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)か：単数回答（Q14S1）



②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある（あった）か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある（あった）かどうかをみると、「全体」では「はい」が33.8%、「いいえ」が58.1%となっている。

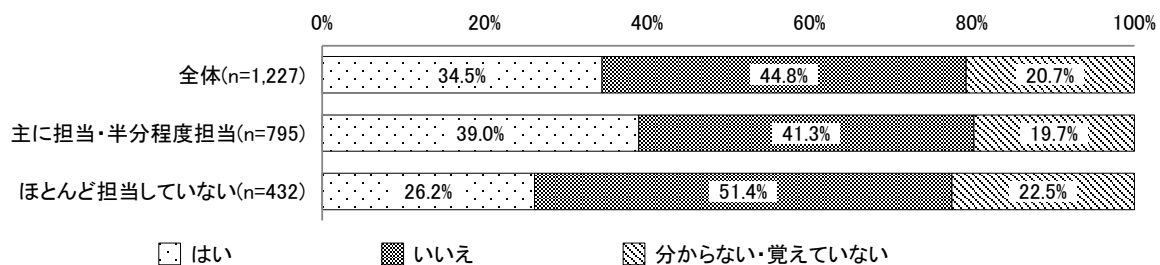
図表 39 ケアマネジャーへの相談の状況 ②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある（あった）か：単数回答（Q14S2）



③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）かどうかをみると、「全体」では「はい」が34.5%、「いいえ」が44.8%となっている。

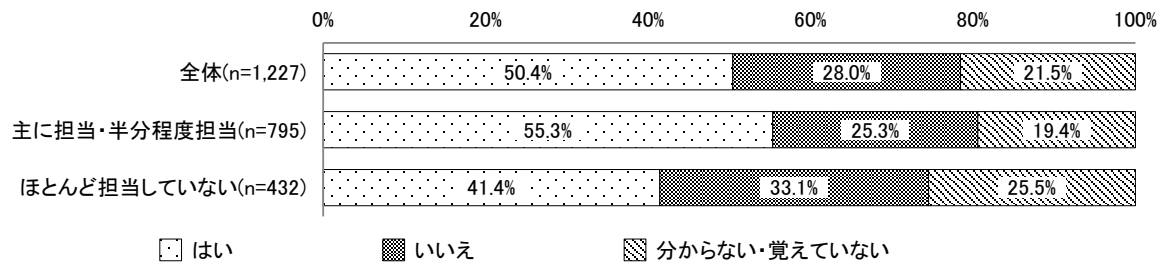
図表 40 ケアマネジャーへの相談の状況 ③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）か：単数回答（Q14S3）



④ケアマネジャーとの間で、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）かどうかをみると、「全体」では「はい」が50.4%、次いで「いいえ」が28.0%となっている。

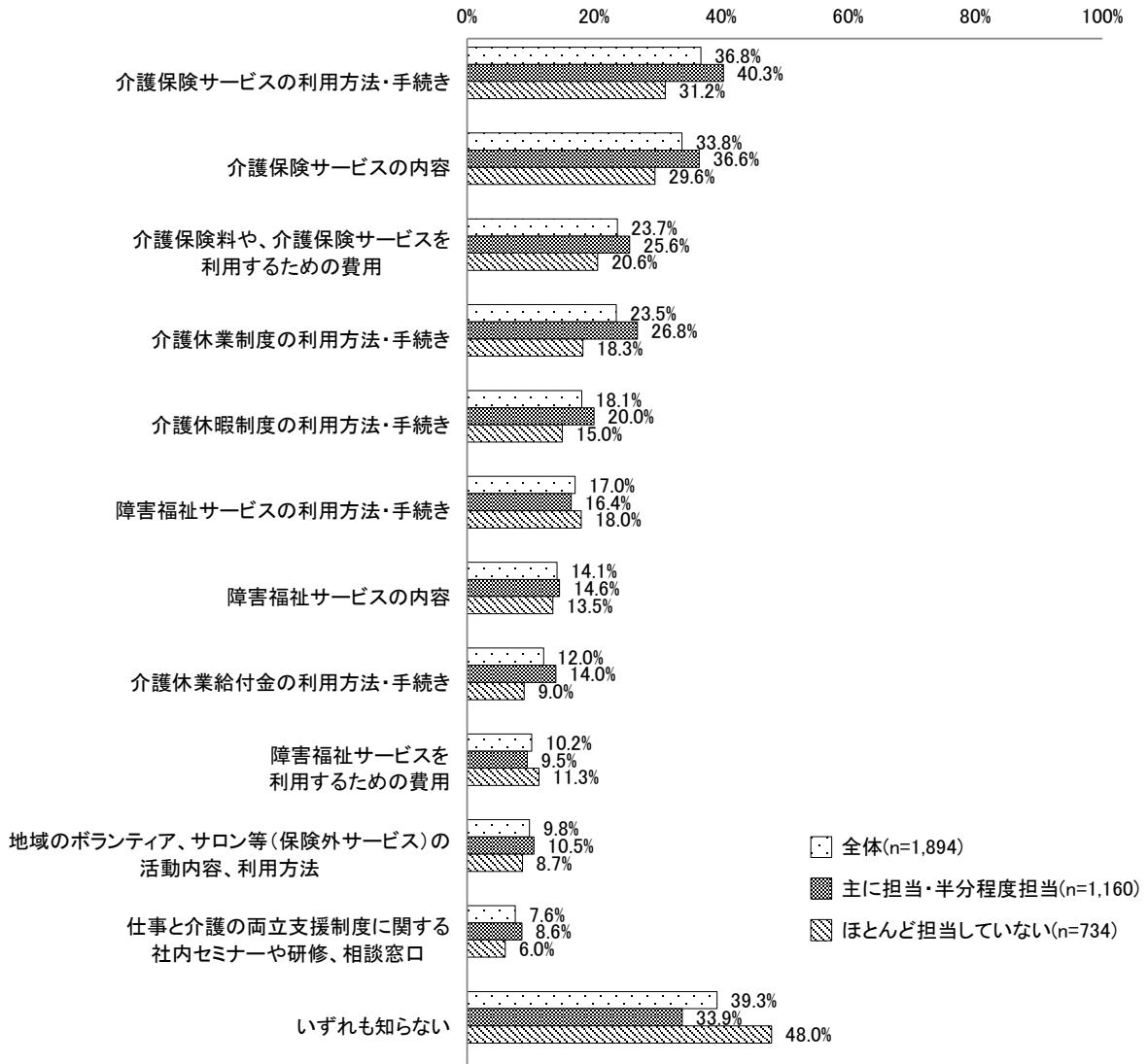
図表 41 ケアマネジャーへの相談の状況 ④ケアマネジャーとの間で、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）か：単数回答（Q14S4）



(6) 両立支援制度や介護保険制度の認知状況

手助・介護を始めた当時の両立支援制度や介護保険制度の認知状況をみると、「全体」では、「いずれも知らない」(知らなかった)が39.3%となっている。次いで「介護保険サービスの利用方法・手続き」が36.8%、「介護保険サービスの内容」が33.8%などとなっている。

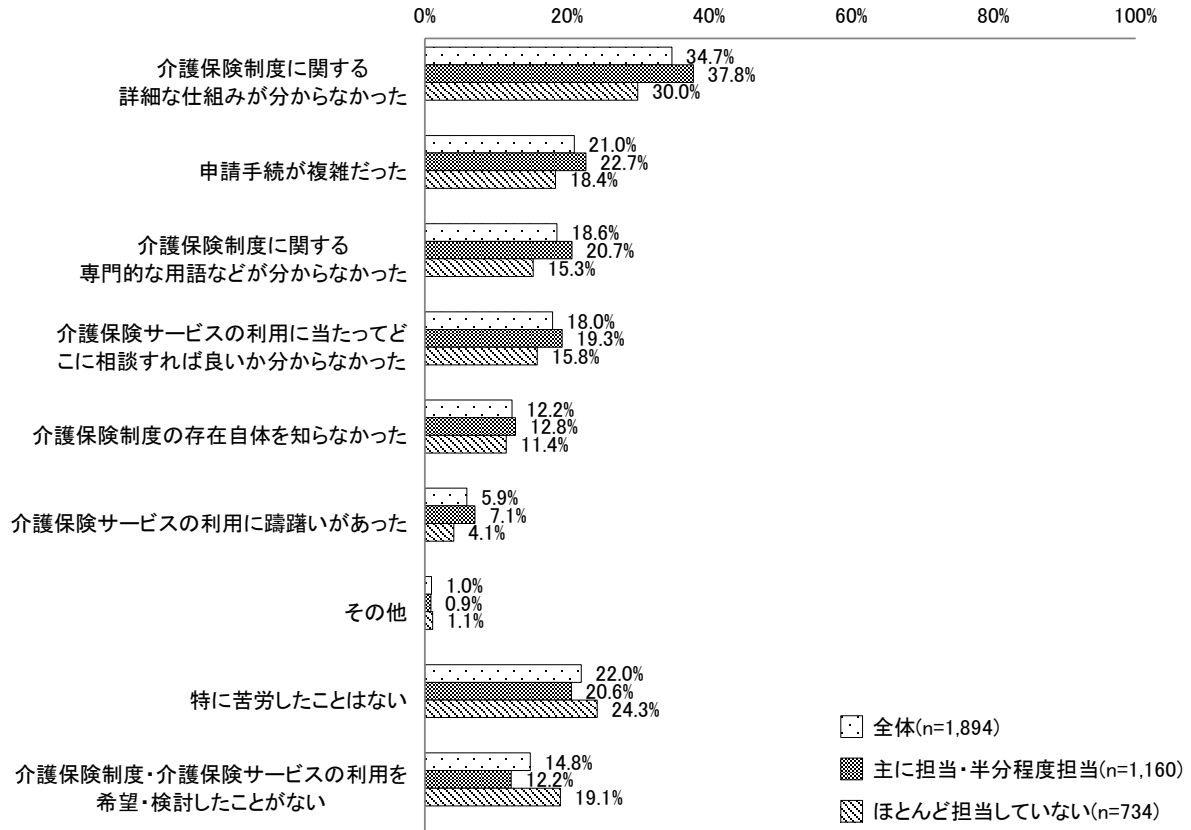
図表 42 両立支援制度や介護保険制度の認知状況:複数回答 (Q15)



(7) 介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したこと

介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したことをみると、「全体」では、「介護保険制度に関する詳細な仕組みが分からなかった」が34.7%でもっとも割合が高く、次いで「特に苦労したことはない」が22.0%となっている。

図表 43 介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したこと：複数回答（Q16）

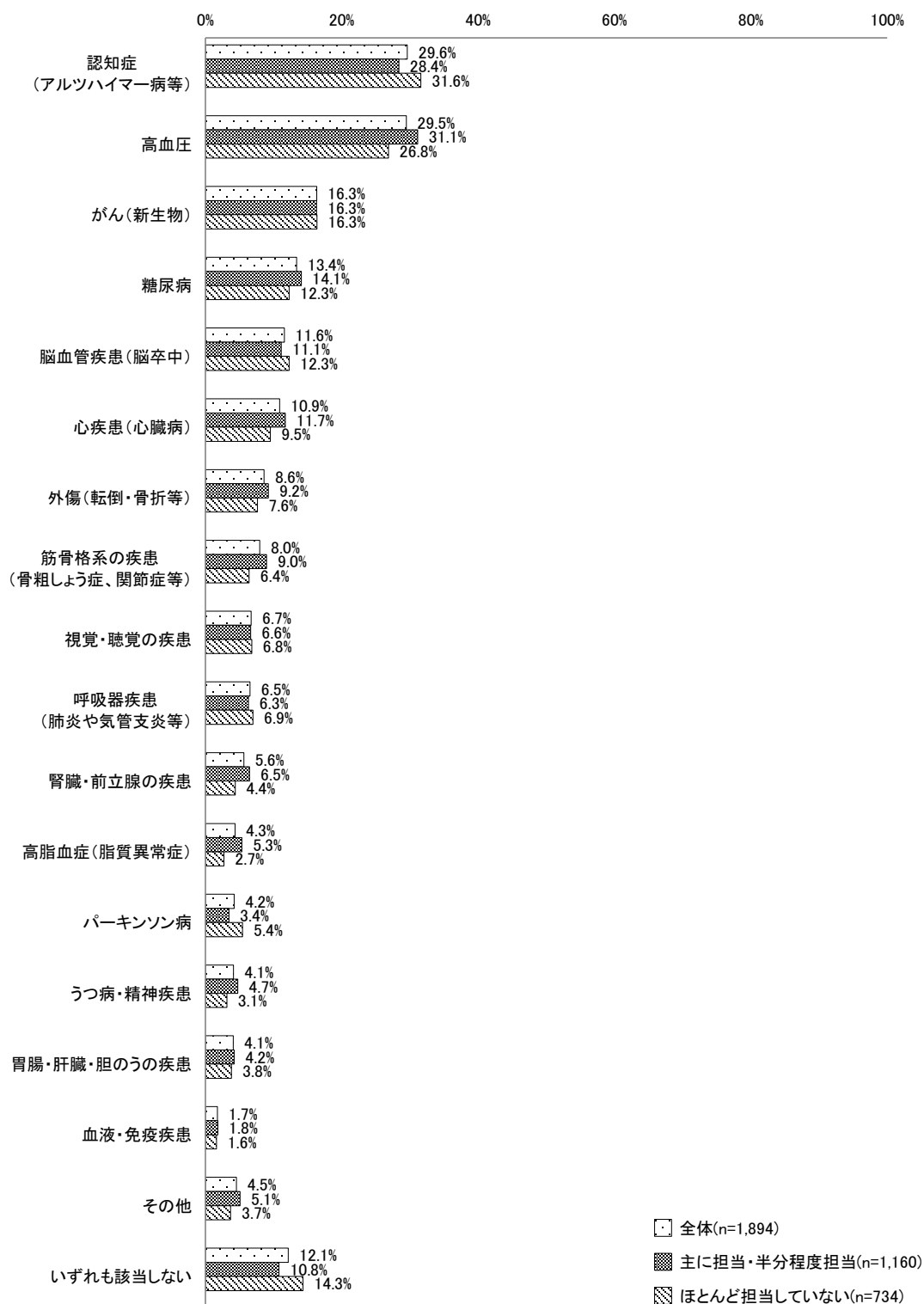


3-4. 介護の状況、介護保険サービスの利用状況

(1) 被介護者の疾患

手助・介護を始めた当時の被介護者の疾患の状況をみると、「全体」では、「認知症（アルツハイマー病等）」が29.6%でもっとも割合が高く、次いで「高血圧」が29.5%となっている。

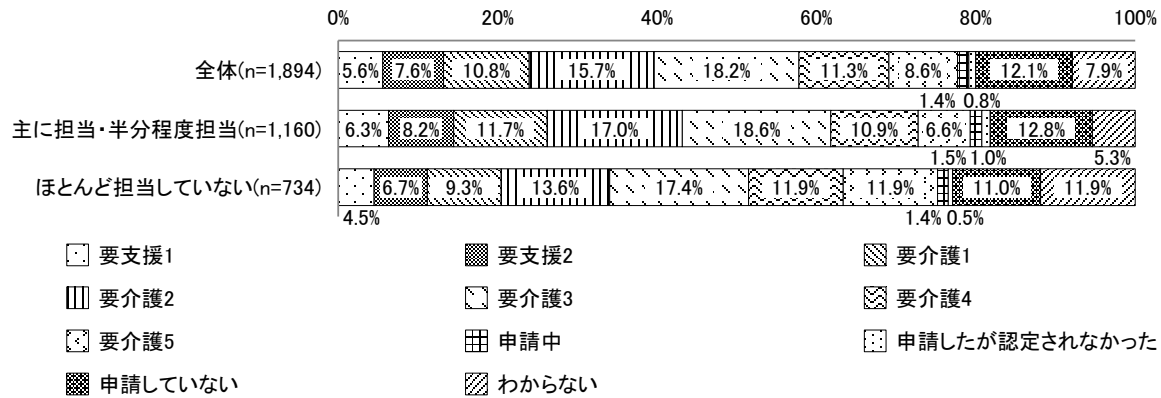
図表 44 被介護者の疾患：複数回答（Q17）



(2) 被介護者の要介護度

手助・介護を始めた当時の被介護者の要介護度をみると、「全体」では、「要介護3」が18.2%でもっとも割合が高く、次いで「要介護2」が15.7%となっている。

図表 45 被介護者の要介護度:単数回答 (Q18)



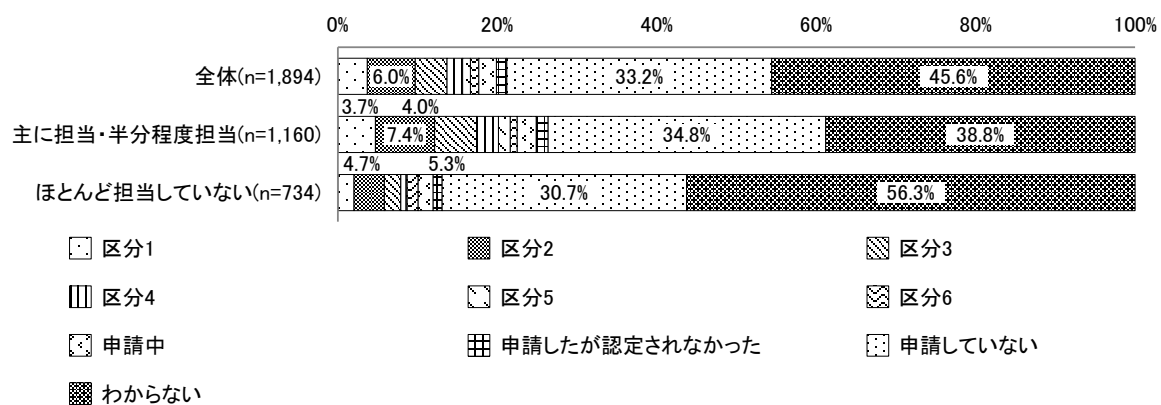
<数値表>

	合計	Q18.被介護者の要介護度											
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
全体	1,894	5.6	7.6	10.8	15.7	18.2	11.3	8.6	1.4	0.8	12.1	7.9	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	6.3	8.2	11.7	17.0	18.6	10.9	6.6	1.5	1.0	12.8	5.3	0.0
ほとんど担当していない	734	4.5	6.7	9.3	13.6	17.4	11.9	11.9	1.4	0.5	11.0	11.9	0.0

(3) 被介護者の障害支援区分

手助・介護を始めた当時の障害支援区分をみると、「全体」では、「わからない」が45.6%でもっとも割合が高く、次いで「申請していない」が33.2%となっている。

図表 46 被介護者の障害支援区分:単数回答 (Q19)



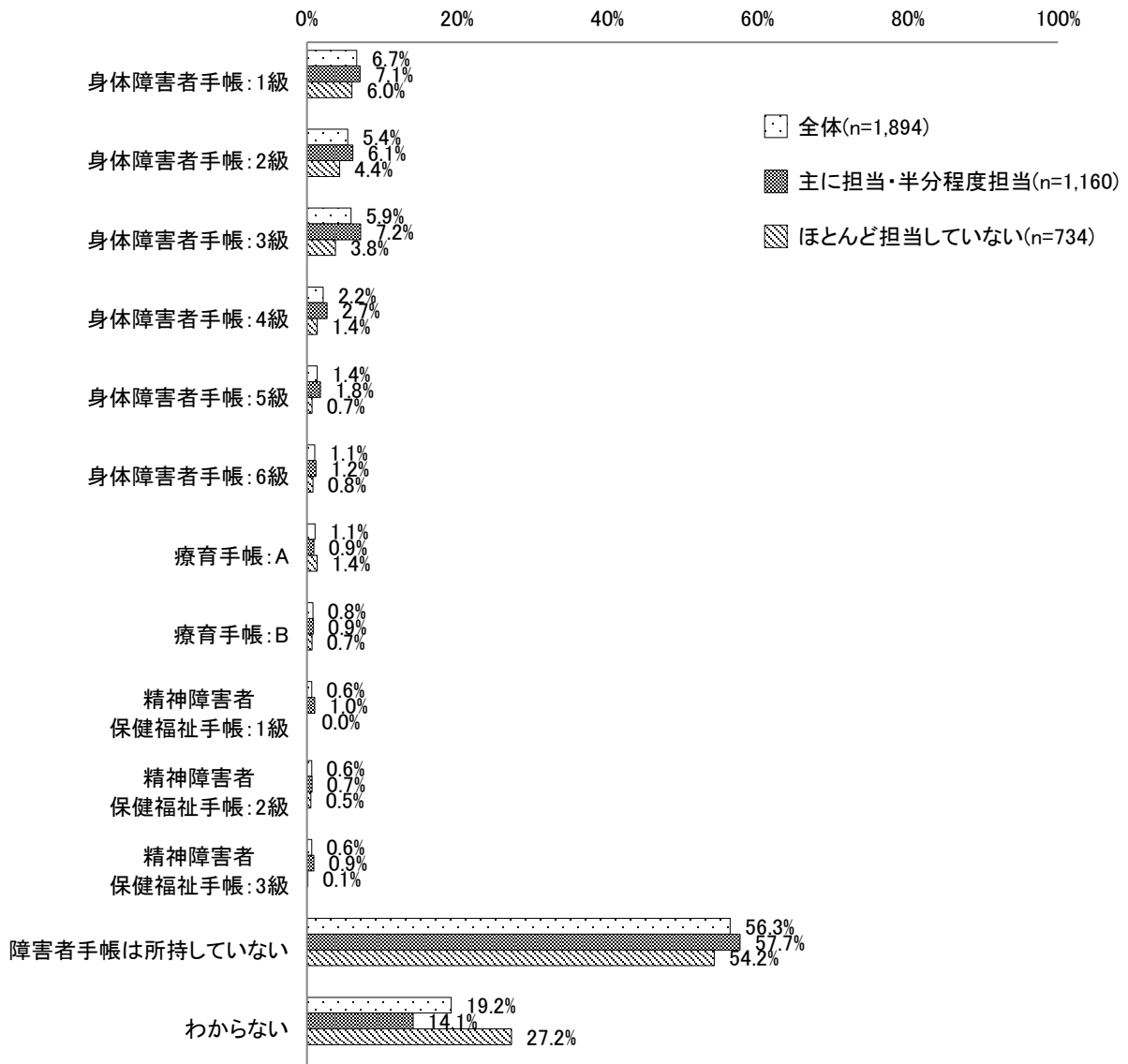
<数値表>

	合計	Q19.被介護者の障害支援区分										
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
全体	1,894	3.7	4.0	6.0	2.0	1.0	1.1	2.2	1.3	33.2	45.6	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	4.7	7.4	5.3	2.8	1.5	0.9	2.4	1.5	34.8	38.8	0.0
ほとんど担当していない	734	2.0	3.8	2.0	0.7	0.1	1.4	1.9	1.1	30.7	56.3	0.0

(4) 被介護者の障害者手帳の所持状況

手助・介護を始めた当時の被介護者の障害者手帳の所持状況をみると、「全体」では、「障害者手帳は所持していない」が56.3%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が19.2%となっている。手帳を所持している場合には、「身体障害者手帳：1級」が6.7%、「身体障害者手帳：3級」が5.9%などとなっている。

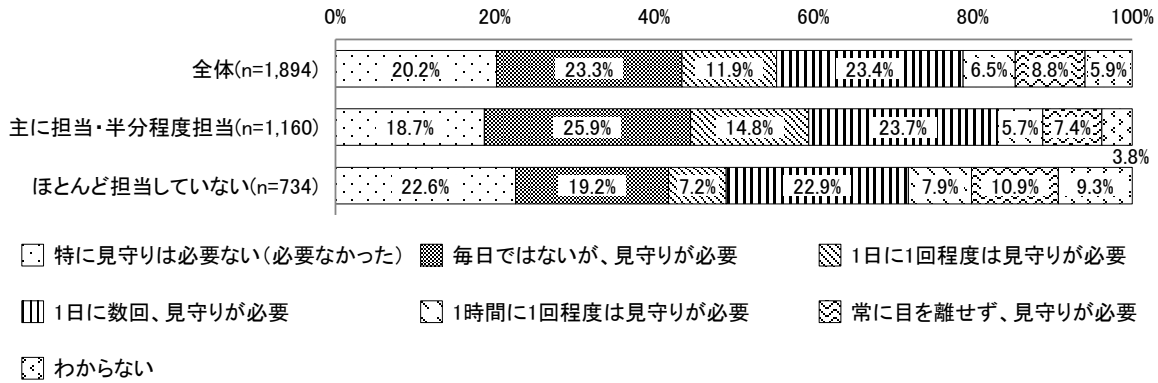
図表 47 被介護者の障害者手帳の所持状況：複数回答（Q20）



(5) 被介護者の見守りの必要性

手助・介護を始めた当時の被介護者の見守りの必要性をみると、「全体」では、「1日に数回、見守りが必要」が23.4%でもっとも割合が高く、次いで「毎日ではないが、見守りが必要」が23.3%となっている。

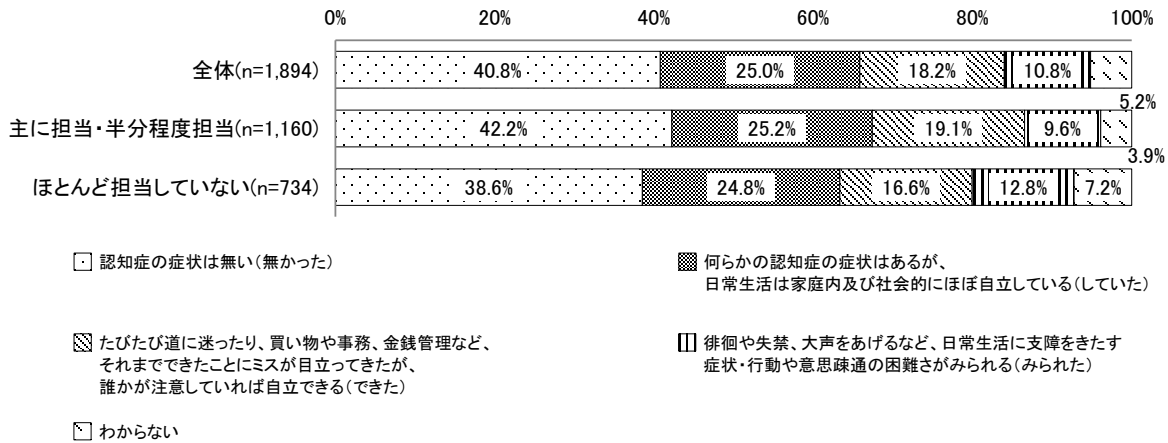
図表 48 被介護者の見守りの必要性:単数回答 (Q21)



(6) 被介護者の認知症の状況

手助・介護を始めた当時の被介護者の認知症の状況をみると、「全体」では、「認知症の症状は無い(無かった)」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している(していた)」が25.0%となっている。

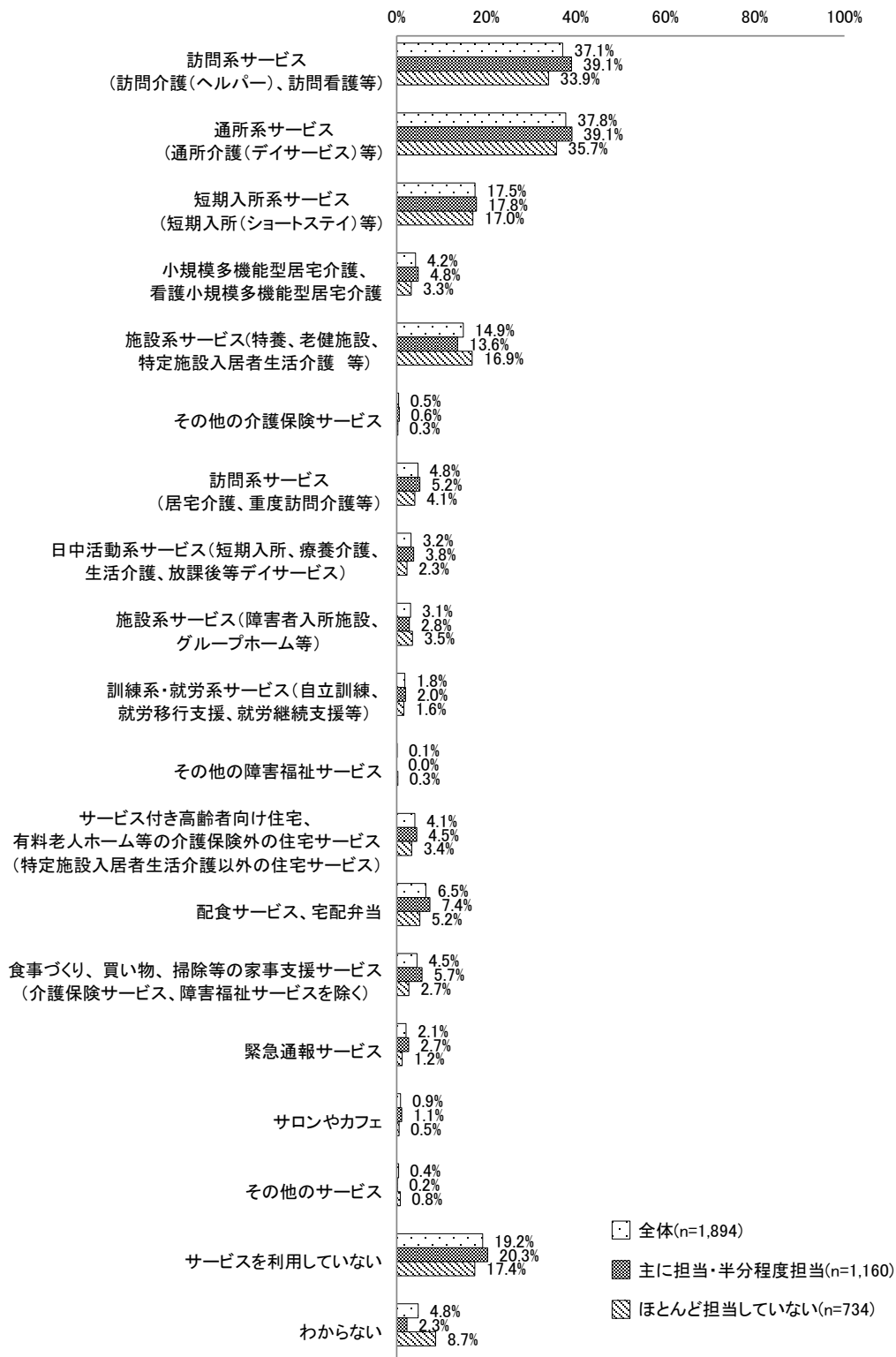
図表 49 被介護者の認知症の状況:単数回答 (Q22)



(7) 利用している（していた）サービス

手助・介護を始めた当時に利用していたサービスをみると、「全体」では、「通所系サービス(通所介護(デイサービス)等)」が37.8%でもっとも割合が高く、次いで「訪問系サービス(訪問介護(ヘルパー)、訪問看護等)」が37.1%となっている。

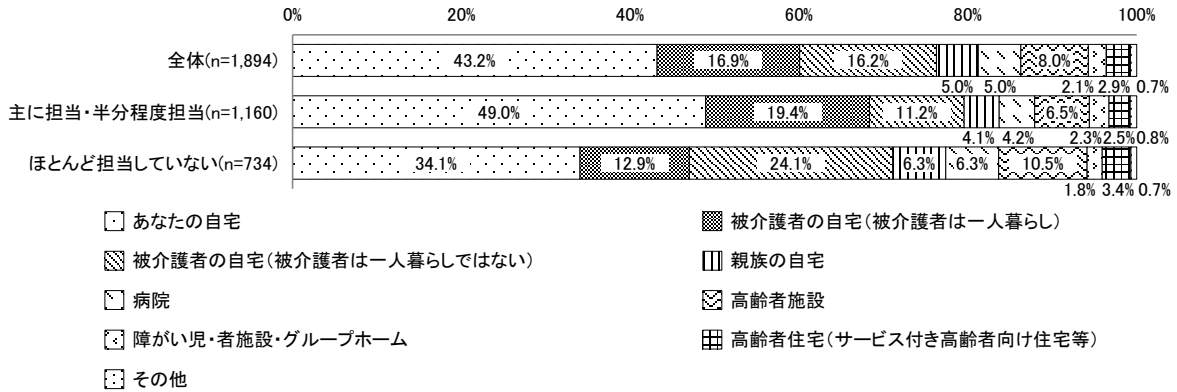
図表 50 利用している（していた）サービス:複数回答 (Q23)



(8) 被介護者の生活場所

手助・介護を始めた当時の被介護者の生活場所をみると、「全体」では、「あなたの自宅」(回答者の自宅)が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「被介護者の自宅(被介護者は一人暮らし)」が16.9%となっている。

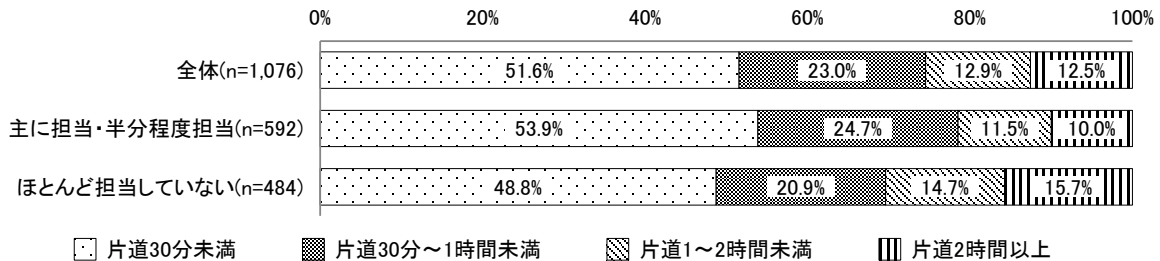
図表 51 被介護者の生活場所:単数回答 (Q24)



(9) 被介護者の生活場所への移動時間

手助・介護を始めた当時の被介護者の生活場所への移動時間をみると、「全体」では、「片道30分未満」が51.6%でもっとも割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が23.0%となっている。

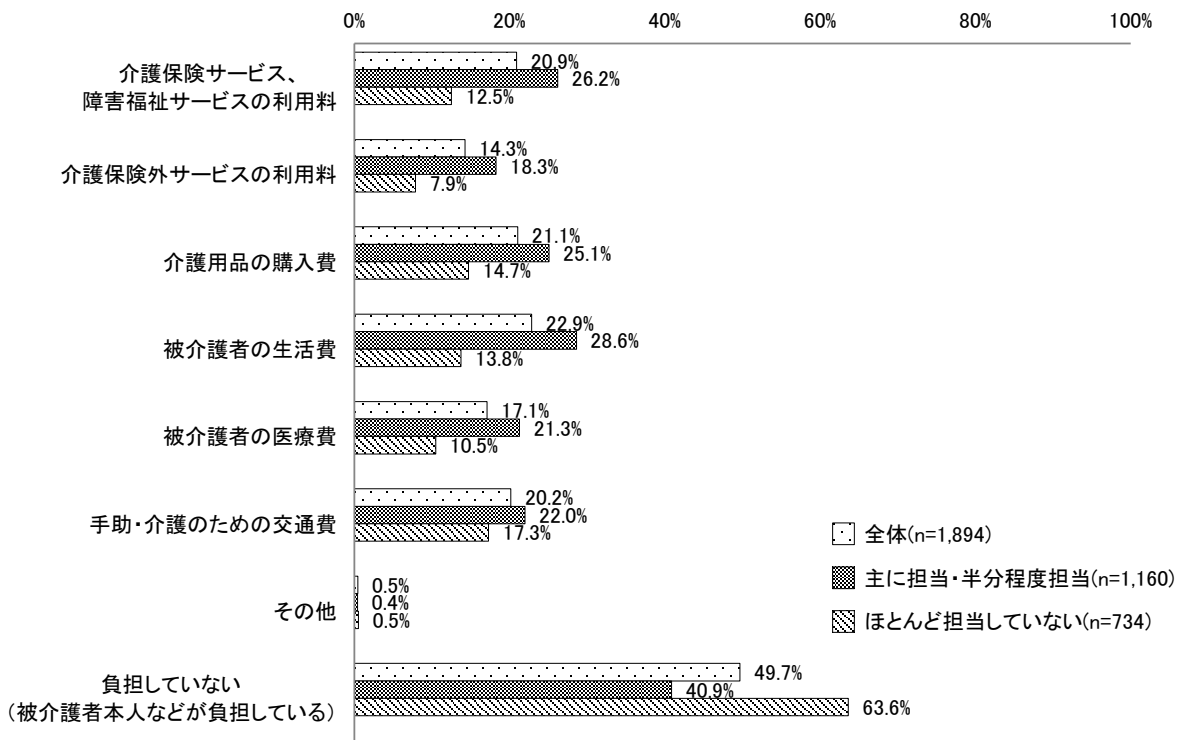
図表 52 被介護者の生活場所への移動時間:単数回答 (Q25)



(10) 手助・介護に関わる費用で負担している（していた）もの

手助・介護を始めたときに手助・介護に関わる費用として回答者が負担していたものをみると、「全体」では、「負担していない（被介護者本人などが負担している）」が49.7%でもっとも割合が高く、次いで「被介護者の生活費」が22.9%となっている。

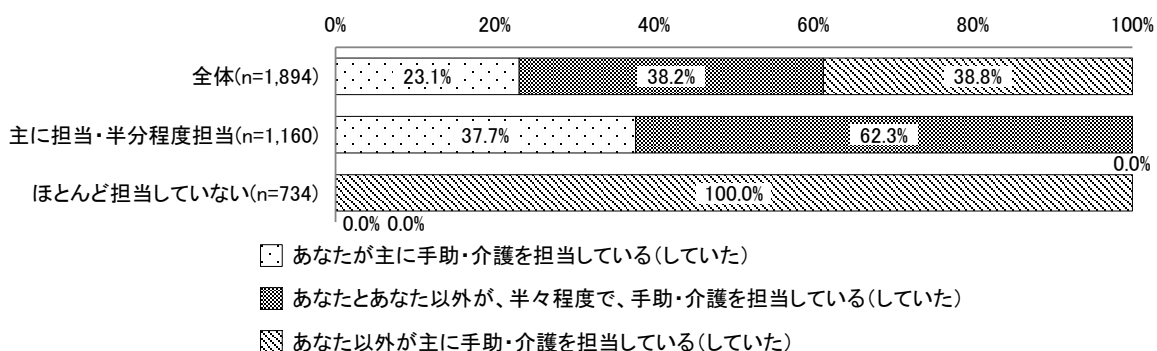
図表 53 手助・介護に関わる費用で負担している（していた）もの：複数回答（Q26）



(11) 手助・介護の主担当

手助・介護を始めた当時の手助・介護の担当状況をみると、「全体」では、「あなた以外が主に手助・介護を担当している（していた）」が38.8%でもっとも割合が高く、次いで「あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）」が38.2%となっている。

図表 54 手助・介護の主担当：単数回答（Q27）

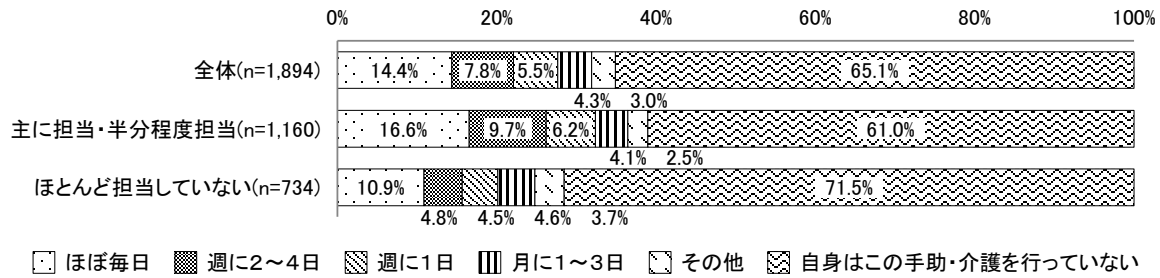


(12) 回答者が手助・介護を担う頻度

①排せつの介助

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていた排泄の介助の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が 65.1%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 14.4%となっている。

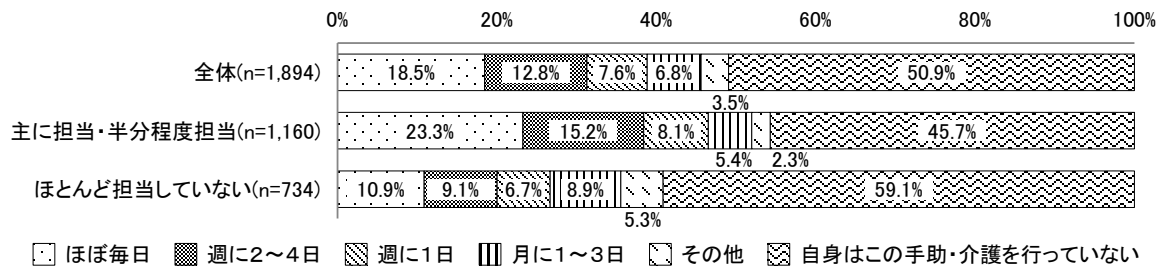
図表 55 回答者が手助・介護を担う頻度 ①排せつの介助:単数回答 (Q28S1)



②食事の介助

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていた食事の介助の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が 50.9%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 18.5%となっている。

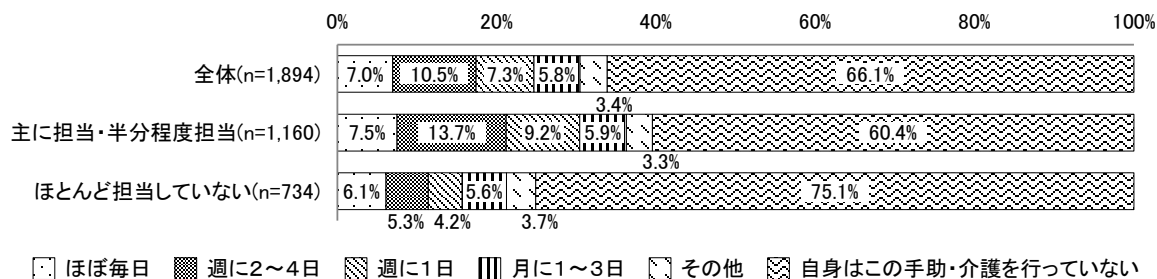
図表 56 回答者が手助・介護を担う頻度 ②食事の介助:単数回答 (Q28S2)



③入浴の介助

手助・介護を始めたときに回答者が担っていた入浴の介助の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が 66.1%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が 10.5%となっている。

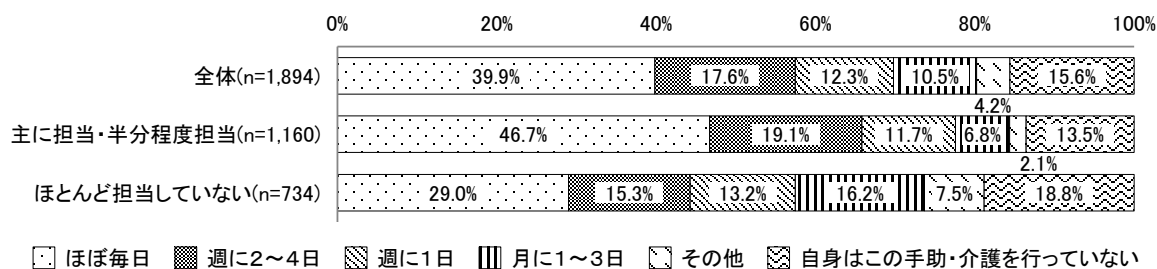
図表 57 回答者が手助・介護を担う頻度 ③入浴の介助:単数回答 (Q28S3)



④定期的な見守り・声かけ

手助・介護を始めたときに回答者が担っていた定期的な見守り・声かけの頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が 39.9%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が 17.6%となっている。

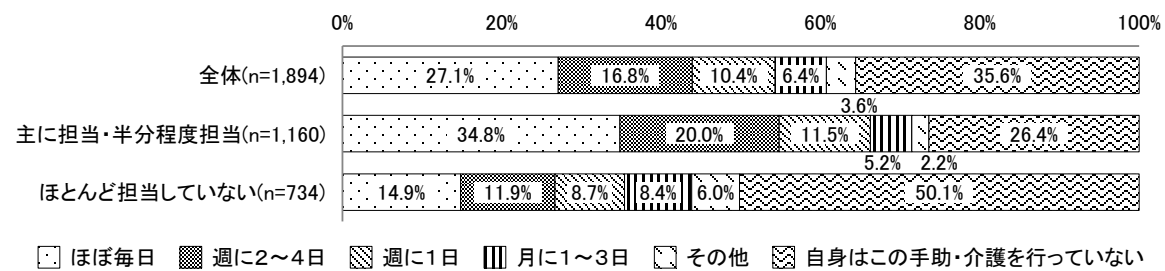
図表 58 回答者が手助・介護を担う頻度 ④定期的な見守り、声かけ:単数回答 (Q28S4)



⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていた食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が35.6%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が27.1%となっている。

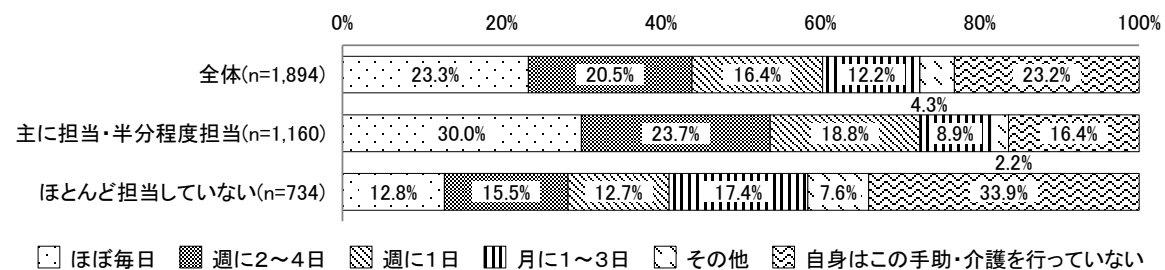
図表 59 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援:単数回答 (Q28S5)



⑥ちょっとした買い物やゴミ出し

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていたちょっとした買い物やゴミ出しの頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が23.3%でもっとも割合が高く、次いで「自身はこの手助・介護を行っていない」が23.2%となっている。

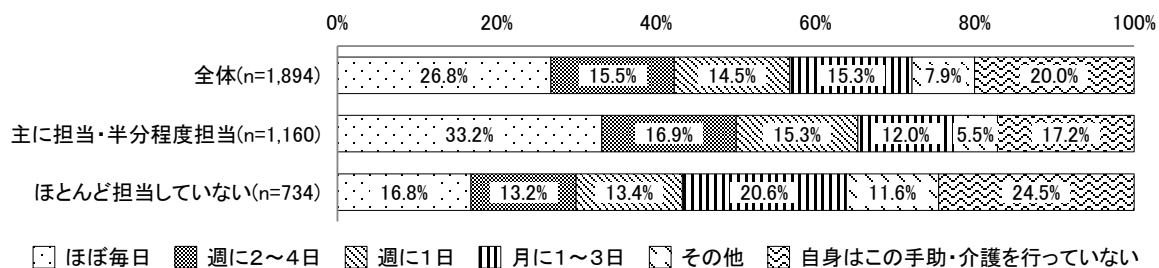
図表 60 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑥ちょっとした買い物やゴミ出し:単数回答 (Q28S6)



⑦被介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）

手助・介護を始めた当時に回答者が被介護者とともに過ごす頻度（外出や旅行、話相手など）をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が26.8%でもっとも割合が高く、次いで「自身はこの手助・介護を行っていない」が20.0%となっている。

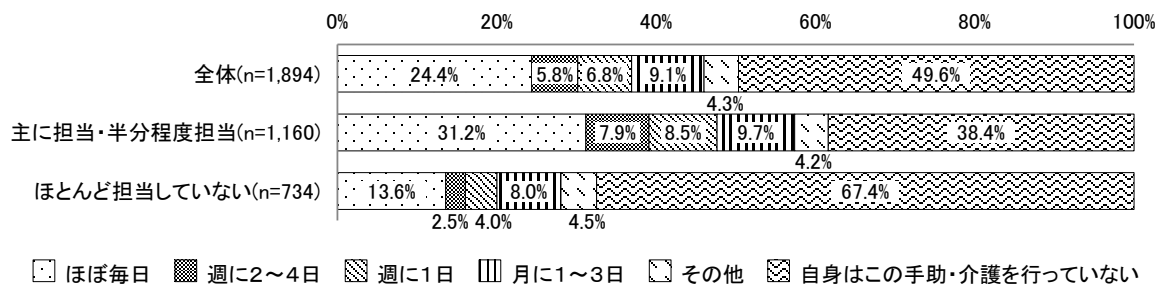
図表 61 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑦被介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）：単数回答（Q28S7）



⑧金銭の管理

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていた金銭の管理の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が49.6%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が24.4%となっている。

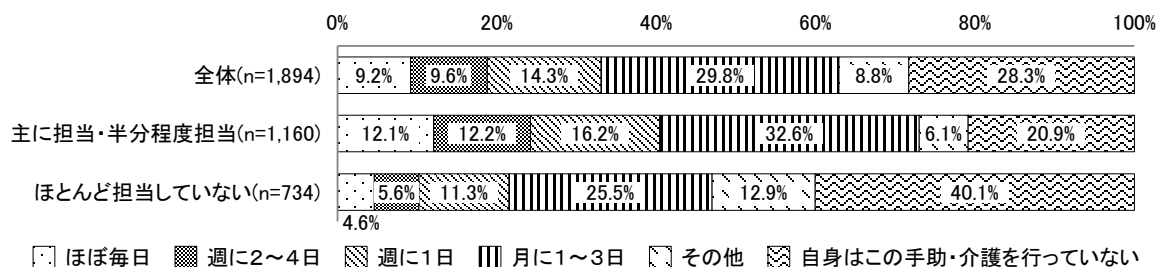
図表 62 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑧金銭の管理：単数回答（Q28S8）



⑨通院（通所）の送迎や外出の手助

手助・介護を始めた当時に回答者が担っていた通院（通所）の送迎や外出の手助の頻度をみると、「全体」では、「月に1~3日」が29.8%でもっとも割合が高く、次いで「自身はこの手助・介護を行っていない」が28.3%となっている。

図表 63 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑨通院（通所）の送迎や外出の手助：単数回答（Q28S9）

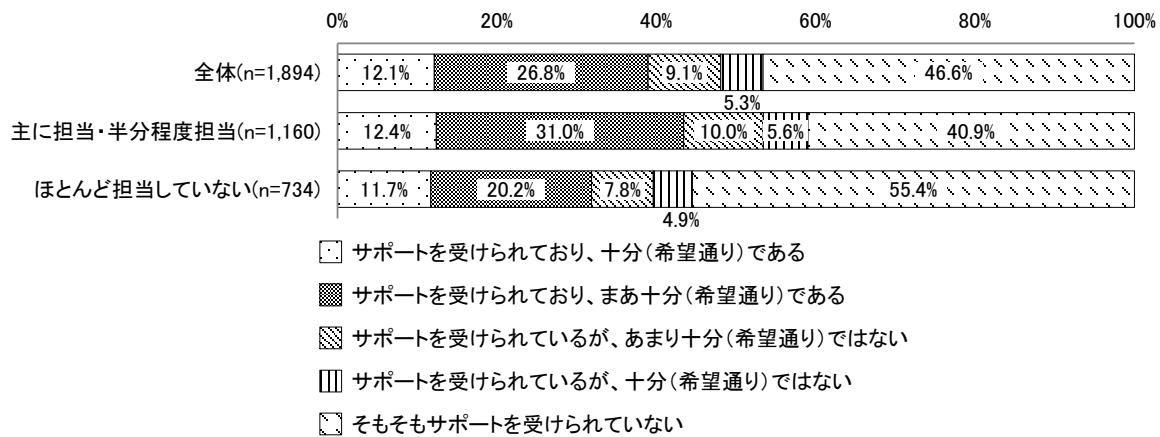


(13) 手助・介護に関する周囲からのサポート

①介護のことで心配事や愚痴を聞いてもらうこと

手助・介護を始めた当時の周囲からのサポートとして、介護のことで心配事や愚痴を聞いてもらうサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「そもそもサポートを受けられていない」が46.6%でもっとも割合が高く、次いで「サポートを受けられており、まあ十分(希望通り)である」が26.8%となっている。

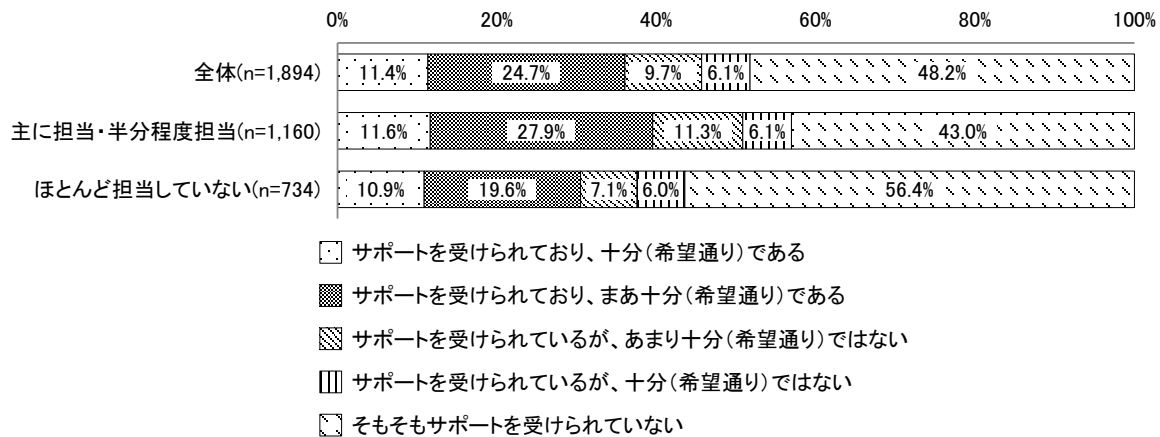
図表 64 手助・介護に関する周囲からのサポート ①介護のことで心配事や愚痴を聞いてもらうこと:単数回答 (Q29S1)



②励ましたり思いやりしてもらいたいこと

手助・介護を始めた当時の周囲からのサポートとして、励ましたり思いやりしてもらいたいサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「そもそもサポートを受けられていない」が48.2%でもっとも割合が高く、次いで「サポートを受けられており、まあ十分(希望通り)である」が24.7%となっている。

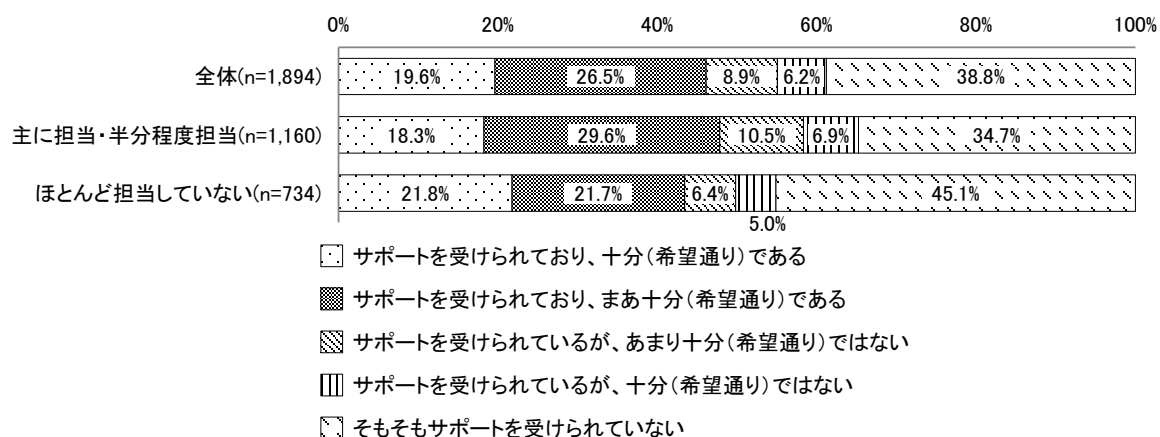
図表 65 手助・介護に関する周囲からのサポート ②励ましたり思いやりしてもらいたいこと:単数回答 (Q29S2)



③用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと

手助・介護を始めた当時の周囲からのサポートとして、用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「そもそもサポートを受けられていない」が38.8%でもっとも割合が高く、次いで「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が26.5%となっている。

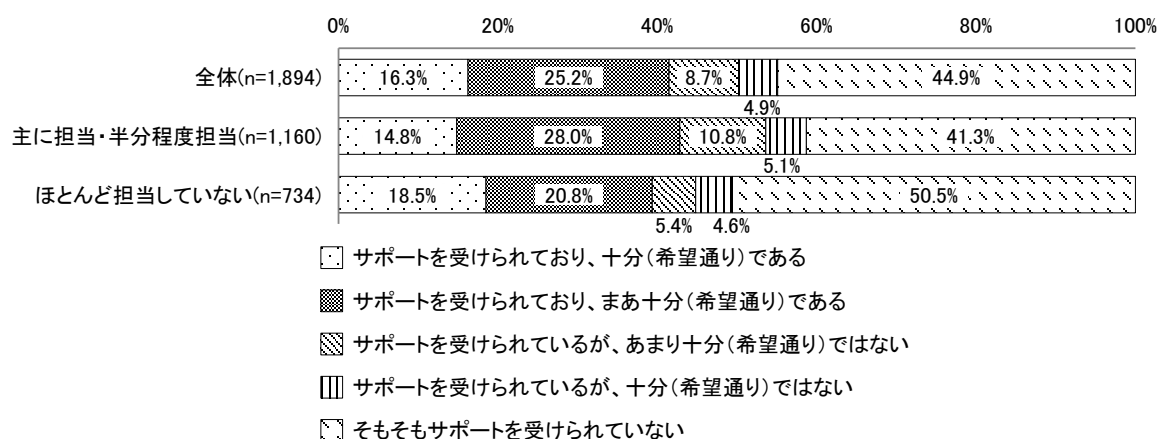
図表 66 手助・介護に関する周囲からのサポート ③用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと：単数回答（Q29S3）



④お使いや留守番などのちょっとした用事を頼むこと

手助・介護を始めた当時の周囲からのサポートとして、お使いや留守番などのちょっとした用事を頼むことができていたかどうかをみると、「全体」では、「そもそもサポートを受けられていない」が44.9%でもっとも割合が高く、次いで「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が25.2%となっている。

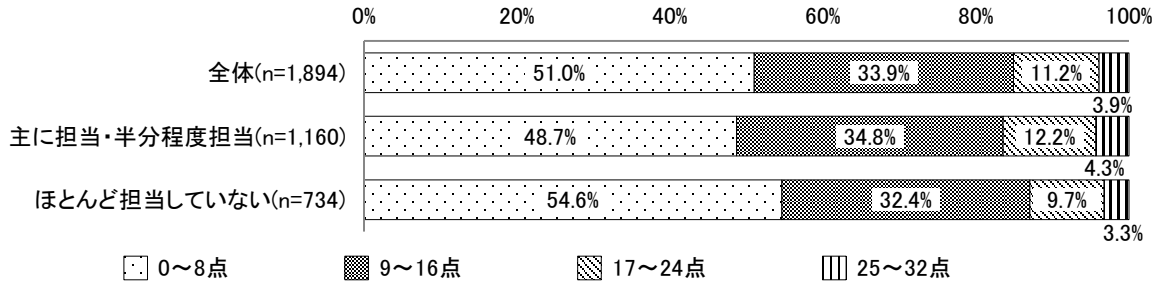
図表 67 手助・介護に関する周囲からのサポート ④お使いや留守番などのちょっとした用事を頼むこと：単数回答（Q29S4）



(14) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8)

介護負担の状況として、Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) のスコアをみると、「全体」では、「0～8点」が 51.0%でもっとも割合が高く、次いで「9～16点」が 33.9%となっている。

図表 68 Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) のスコア: (Q30 より作成)



注) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) の全 8 項目について、「そう思う」～「そう思わない」の 5 件法で把握を行った。「そう思う」= 4 点、「そう思わない」= 0 点と得点化のうえ、全 8 項目の得点を合計した値を集計した。

注) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) については下記文献に基づく。

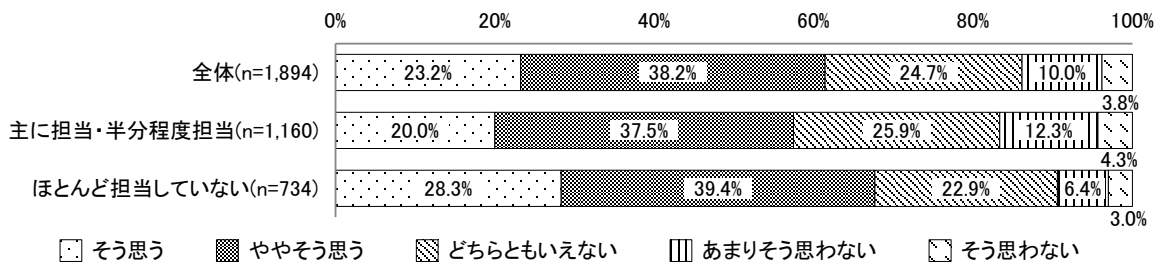
- ・荒井由美子, 田宮菜奈子, 矢野栄二. Zarit 介護負担尺度日本語版の短縮版 (J-ZBI_8) の作成: その信頼性と妥当性に関する検討. 日本老年医学会雑誌 2003; 40 (5): 497-503
- ・荒井由美子著: Zarit 介護負担尺度日本語版/短縮版 使用手引. 三京房, 2018 年.

(15) 手助・介護の評価

①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている

手助・介護を始めた当時の状況として、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」(できていた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 38.2%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 24.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 61.5%となっている。

図表 69 手助・介護の評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている: 単数回答 (Q31S1)



手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先 (Q12S4) 別に、被介護者への手助・介護に関する評価をみると、勤務先に早期に相談している人ほど、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」と思う割合が高い傾向が示唆される。(ただし、「手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間に相談した」「手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した」はサンプルサイズが小さいため留意が必要。)

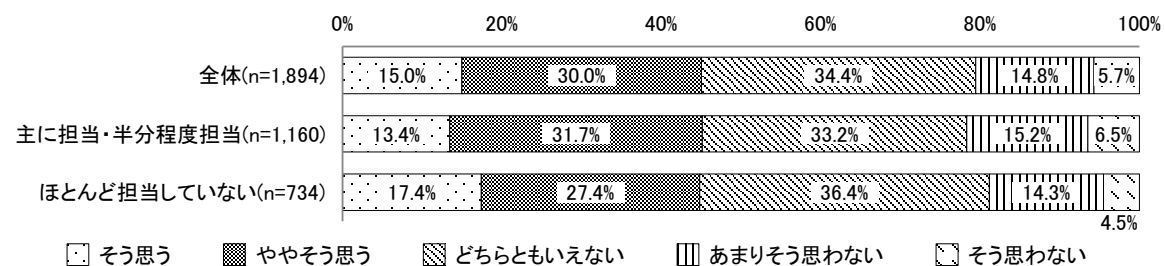
図表 70 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先 (Q12S4) 別、被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている:単数回答 (Q31S1)

	合計	Q31S1. 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている					不明
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
全体	1,894	23.2	38.2	24.7	10.0	3.8	0.0
Q12S4. 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先							
手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	176	29.0	38.6	19.3	10.2	2.8	0.0
手助・介護をするようになってから1か月程度の間に相談した	195	22.1	39.0	20.5	13.3	5.1	0.0
手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間に相談した	97	18.6	42.3	25.8	13.4	0.0	0.0
手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間に相談した	56	12.5	35.7	37.5	10.7	3.6	0.0
手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間に相談した	28	10.7	42.9	25.0	17.9	3.6	0.0
手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	22	18.2	18.2	40.9	22.7	0.0	0.0
時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	151	23.2	34.4	23.8	13.2	5.3	0.0
相談先を知っていたが、相談したことはない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談したことはない	1,169	23.9	38.6	25.3	8.3	3.9	0.0
この相談先は知らない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②自分にとって納得のいく形での介護ができている

手助・介護を始めた当時の状況として、「自分にとって納得のいく形での介護ができている」(できていた) かどうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が34.4%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が30.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は45.0%となっている。

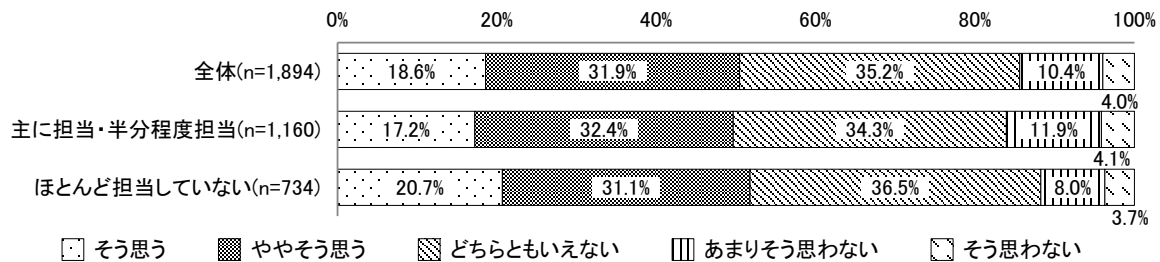
図表 71 手助・介護の評価 ②自分にとって納得のいく形での介護ができている:単数回答 (Q31S2)



③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる

手助・介護を始めた当時の状況として、「外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる」（できていた）かどうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が35.2%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が31.9%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は50.5%となっている。

図表 72 手助・介護の評価 ③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる：単数回答（Q31S3）

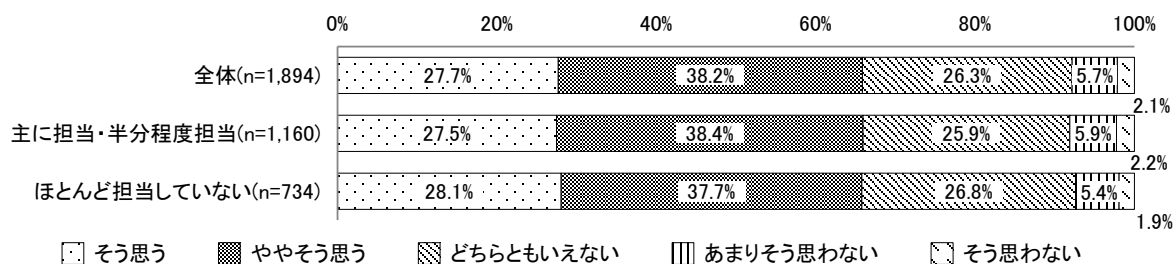


(16) 手助・介護に関する考え

①自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる

手助・介護を始めた当時の考え方として、「自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が38.2%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が27.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は65.9%となっている。

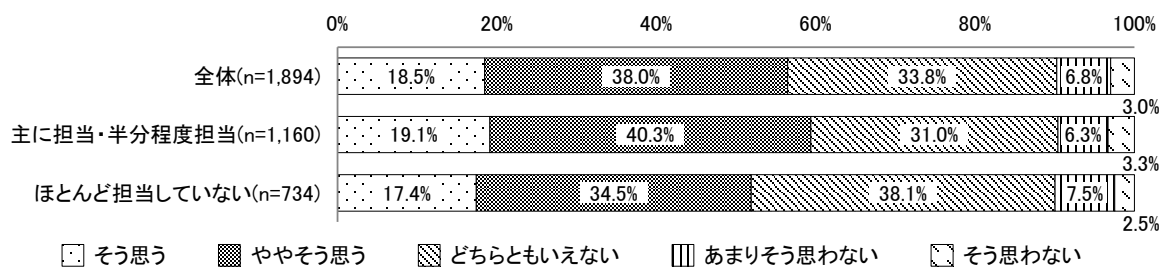
図表 73 手助・介護に関する考え ①自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる：単数回答（Q32S1）



②家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ

手助・介護を始めた当時の考え方として、「家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が38.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が33.8%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は56.5%となっている。

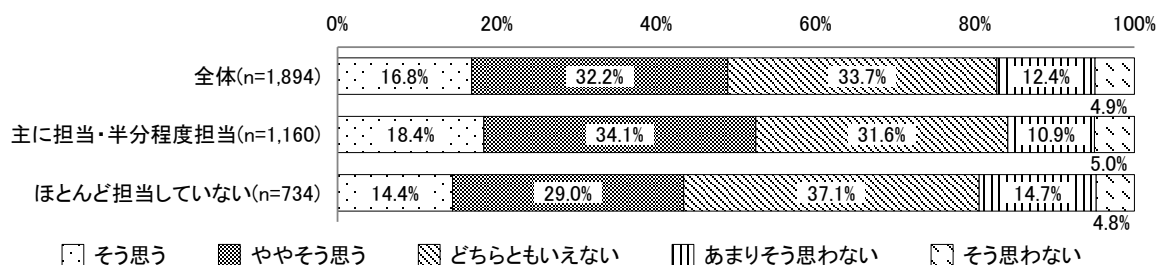
図表 74 手助・介護に関する考え ②家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ:単数回答 (Q32S2)



③できる限り自分や家族が介護をする方がよい

手助・介護を始めた当時の考え方として、「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が33.7%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が32.2%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は49.0%となっている。

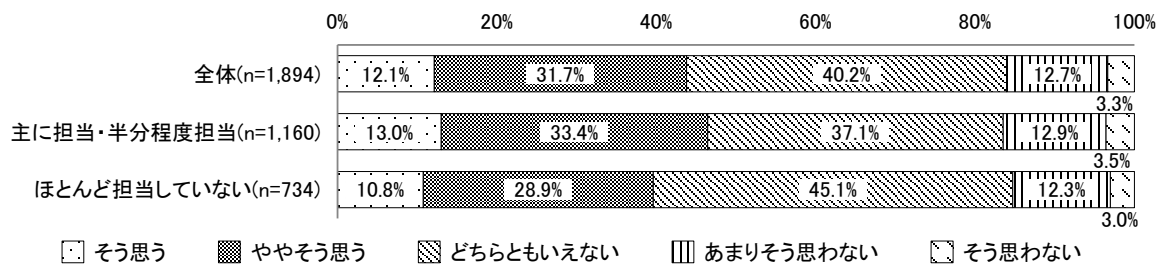
図表 75 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい:単数回答 (Q32S3)



④地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う

手助・介護を始めた当時の考え方として、「地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が40.2%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が31.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は43.8%となっている。

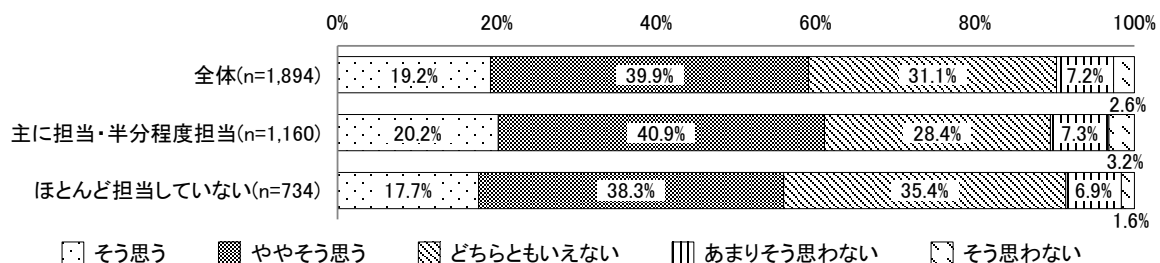
図表 76 手助・介護に関する考え ④地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う：単数回答 (Q32S4)



⑤被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ

手助・介護を始めた当時の考え方として、「被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が39.9%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が31.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は59.1%となっている。

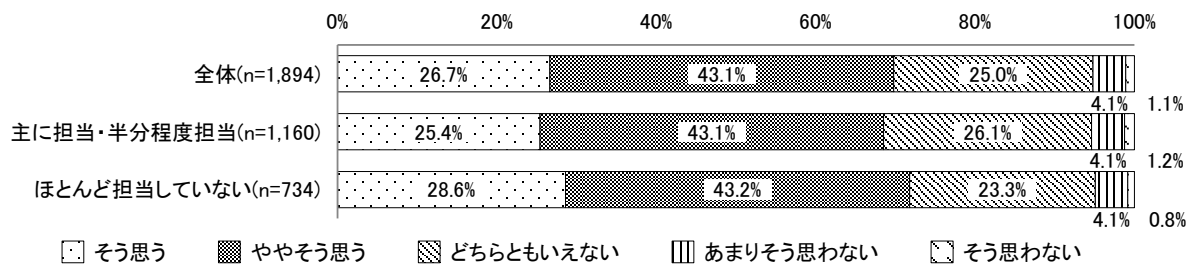
図表 77 手助・介護に関する考え ⑤被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ：単数回答 (Q32S5)



⑥介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい

手助・介護を始めた当時の考え方として、「介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が43.1%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が26.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は69.8%となっている。

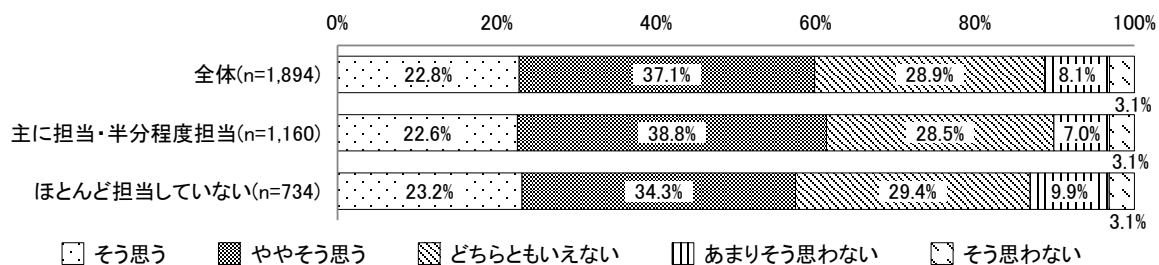
図表 78 手助・介護に関する考え ⑥介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい:単数回答 (Q32S6)



⑦介護のことは会社にも相談するべきだ

手助・介護を始めた当時の考え方として、「介護のことは会社にも相談するべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が37.1%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が28.9%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は59.9%となっている。

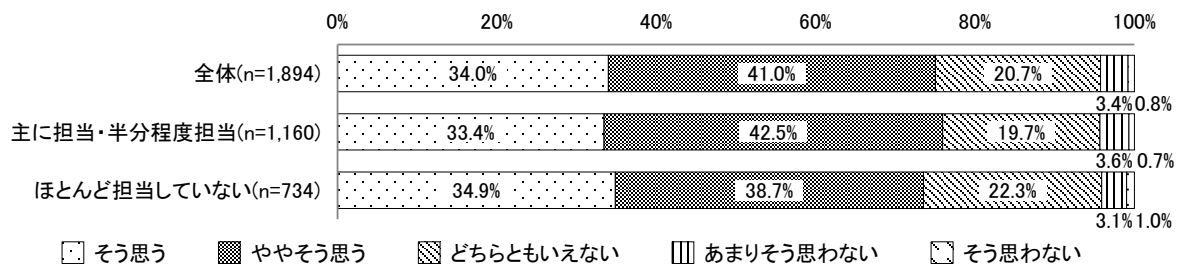
図表 79 手助・介護に関する考え ⑦介護のことは会社にも相談するべきだ:単数回答 (Q32S7)



⑧社会全体で介護を支えていくべきだ

手助・介護を始めた当時の考え方として、「社会全体で介護を支えていくべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が34.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は75.0%となっている。

図表 80 手助・介護に関する考え ⑧社会全体で介護を支えていくべきだ:単数回答 (Q32S8)

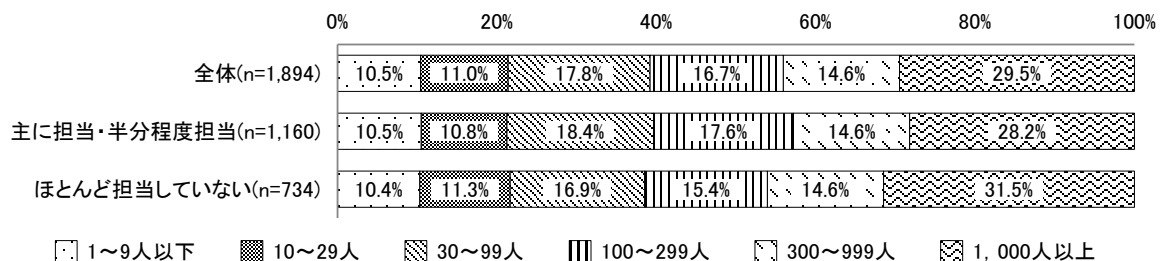


3-5. 手助・介護をしているときの仕事の状況

(1) 勤務先の従業員規模

手助・介護を始めた当時の勤務先の従業員規模をみると、「全体」では、「1,000人以上」が29.5%でもっとも割合が高く、次いで「30~99人」が17.8%となっている。

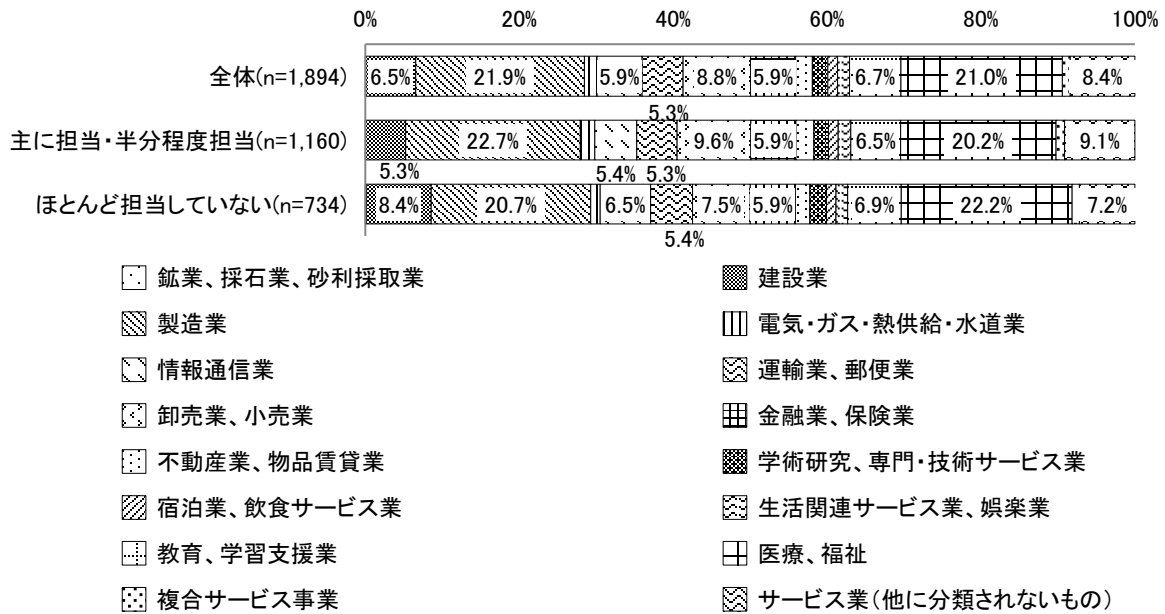
図表 81 勤務先の従業員規模:単数回答 (Q33)



(2) 勤務先の業種

手助・介護を始めた際の勤務先の業種をみると、「全体」では、「製造業」が21.9%でもっとも割合が高く、次いで「医療、福祉」が21.0%となっている。

図表 82 手助・介護を始めた際の勤務先の業種:単数回答 (SQ6)



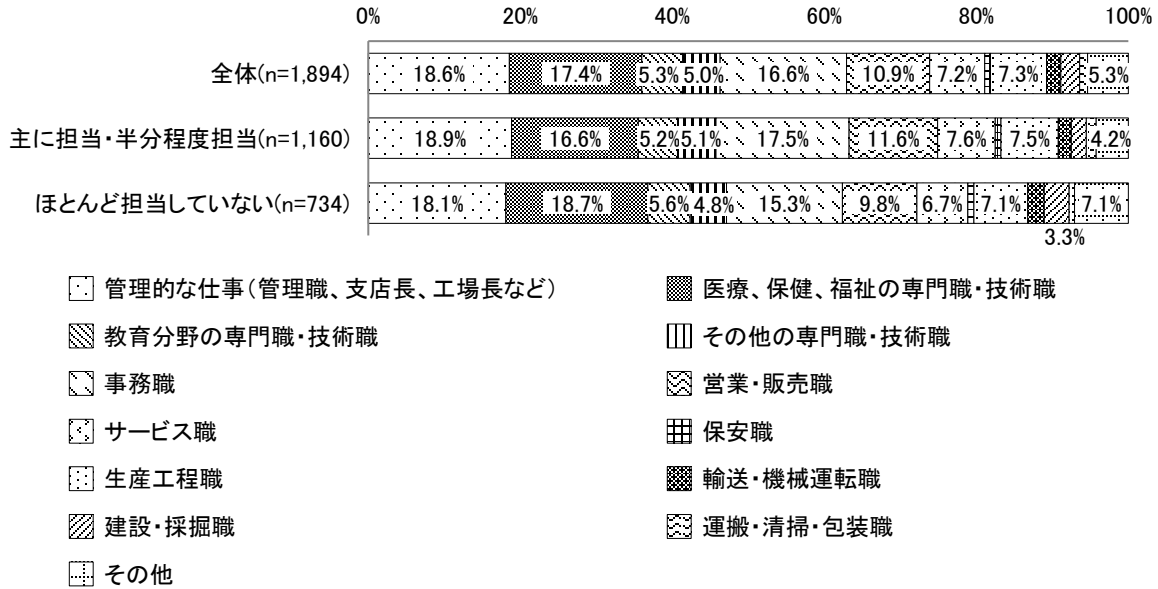
<数値表>

	合計	SQ6.手助・介護を始めた際の業種														不明		
		鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉		複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)
全体	1894	0.1	6.5	21.9	1.6	5.9	5.3	8.8	5.9	2.2	2.0	1.3	1.6	6.7	21.0	1.1	8.4	0.0
主に担当・半分程度担当	1160	0.0	5.3	22.7	1.9	5.4	5.3	9.6	5.9	2.3	1.9	1.3	1.6	6.5	20.2	1.1	9.1	0.0
ほとんど担当していない	734	0.1	8.4	20.7	1.2	6.5	5.4	7.5	5.9	1.9	2.2	1.2	1.5	6.9	22.2	1.0	7.2	0.0

(3) 職種

手助・介護を始めた際の職種をみると、「全体」では、「管理的な仕事（管理職、支店長、工場長など）」が18.6%でもっとも割合が高く、次いで「医療、保健、福祉の専門職・技術職」が17.4%となっている。

図表 83 職種：単数回答（Q34）



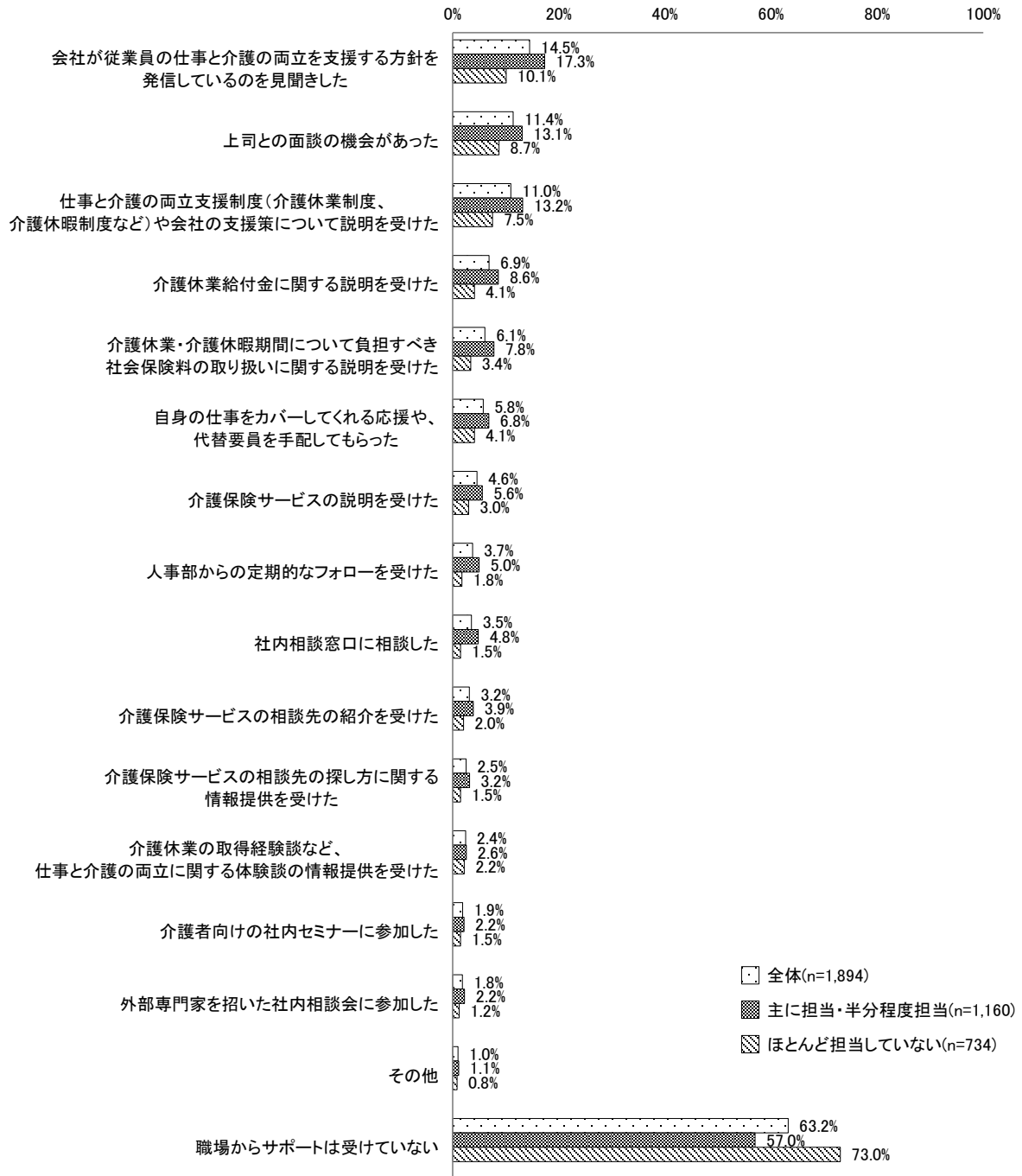
<数値表>

	合計	Q34.職種													不明
		管理的な仕事(管理職、支店長、工場長など)	医療、保健、福祉の専門職・技術職	教育分野の専門職・技術職	その他の専門職・技術職	事務職	営業・販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・採掘職	運搬・清掃・包装職	その他	
全体	1,894	18.6	17.4	5.3	5.0	16.6	10.9	7.2	0.8	7.3	1.9	2.5	1.1	5.3	0.0
主に担当・半分程度担当	1,160	18.9	16.6	5.2	5.1	17.5	11.6	7.6	0.8	7.5	1.7	2.0	1.3	4.2	0.0
ほとんど担当していない	734	18.1	18.7	5.6	4.8	15.3	9.8	6.7	0.8	7.1	2.2	3.3	0.7	7.1	0.0

(4) 手助・介護に関する職場からのサポート

手助・介護を始めた当時の職場からのサポートの状況をみると、「全体」では、「職場からサポートは受けていない」が63.2%でもっとも割合が高く、次いで「会社が従業員の仕事と介護の両立を支援する方針を発信しているのを見聞きした」が14.5%となっている。

図表 84 手助・介護に関する職場からのサポート：複数回答（Q35）

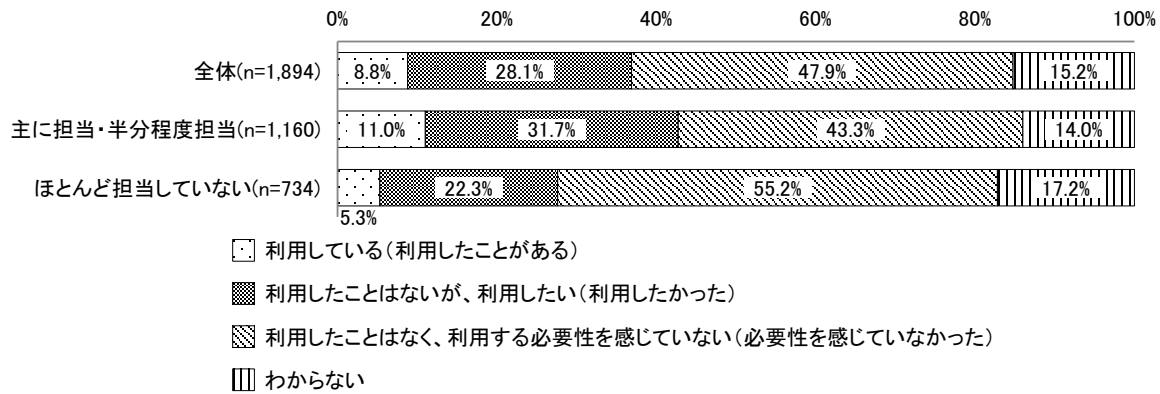


(5) 両立支援制度の利用状況

①介護休業制度

手助・介護を始めた当時の介護休業制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 47.9%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 28.1%となっている。

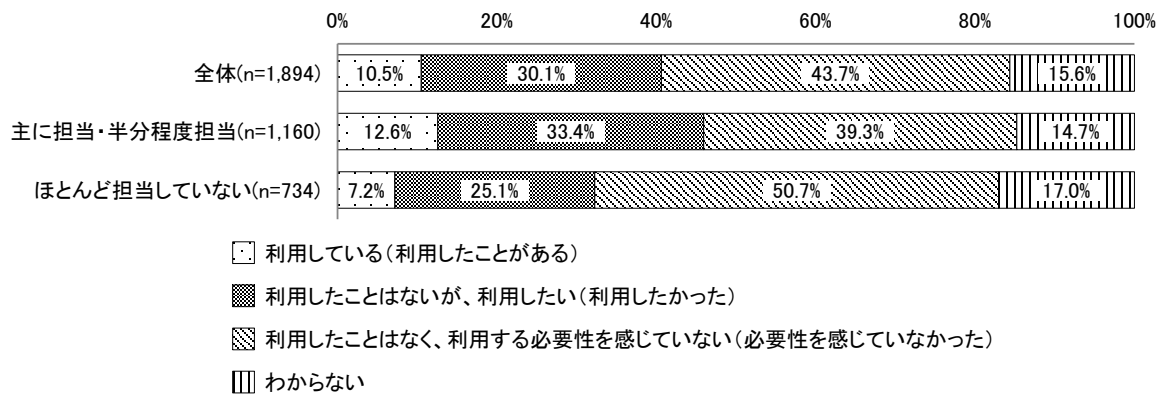
図表 85 両立支援制度の利用状況 ①介護休業制度：単数回答（Q36S1）



②介護休暇制度

手助・介護を始めた当時の介護休暇制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 43.7%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 30.1%となっている。

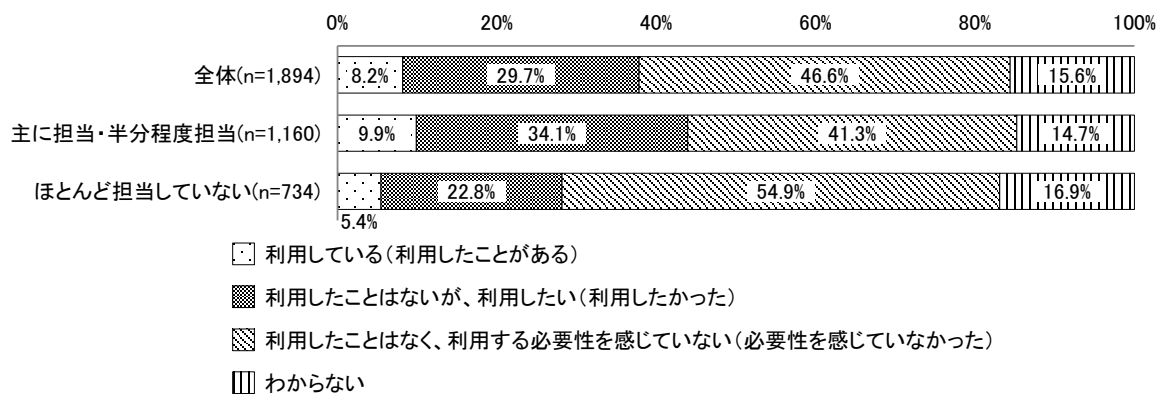
図表 86 両立支援制度の利用状況 ②介護休暇制度：単数回答（Q36S2）



③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度

手助・介護を始めた当時の所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 46.6%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 29.7%となっている。

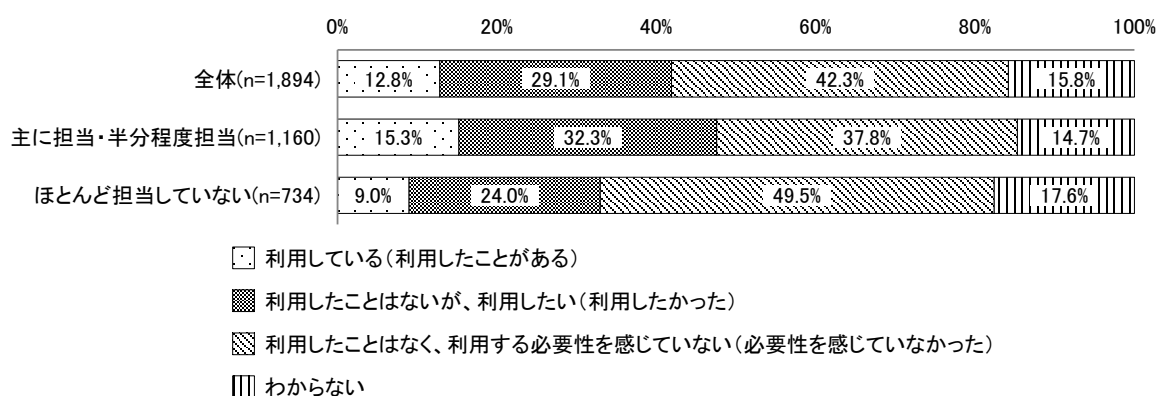
図表 87 両立支援制度の利用状況 ③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度：単数回答（Q36S3）



④早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度

手助・介護を始めた当時の早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 42.3%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 29.1%となっている。

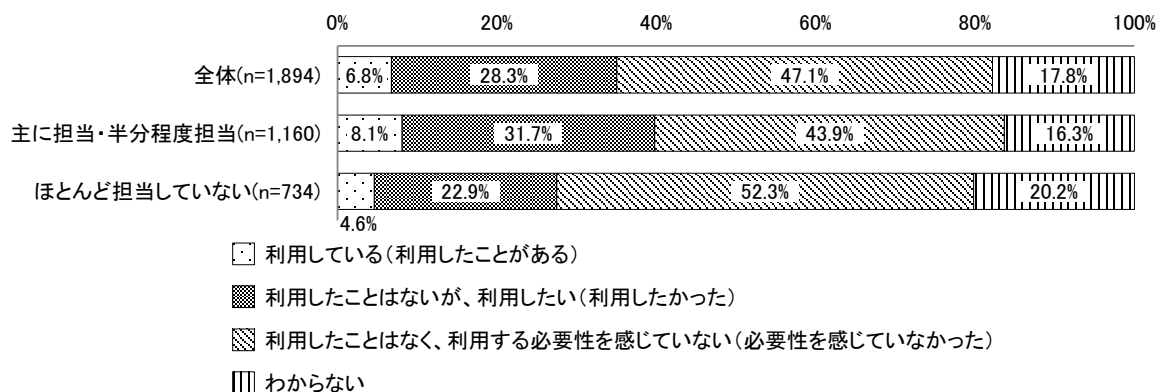
図表 88 両立支援制度の利用状況 ④早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度：単数回答（Q36S4）



⑤所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度

手助・介護を始めた当時の所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 47.1%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはないが、利用したい（利用しなかった）」が 28.3%となっている。

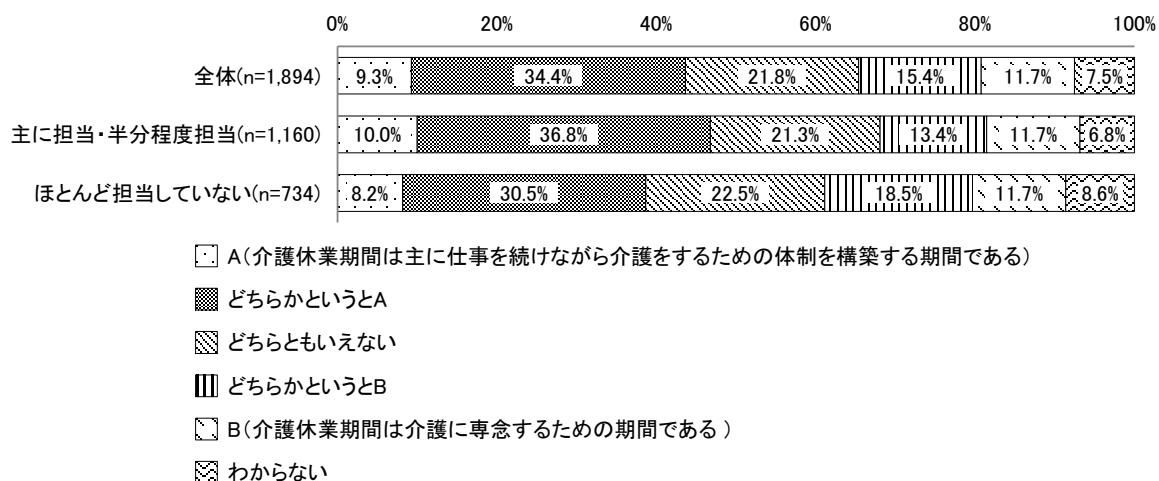
図表 89 両立支援制度の利用状況 ⑤所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度：単数回答 (Q36S5)



(6) 介護休業制度の趣旨に関する考え

介護休業制度の趣旨の認識について「A：介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」または「B：介護休業期間は介護に専念するための期間である」のどちらに近いかを把握した。結果をみると、「全体」では、「どちらかというともA」が 34.4%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 21.8%となっている。「A」と「どちらかというともA」を合わせた割合は 43.7%となっている。

図表 90 介護休業制度の趣旨に関する考え：単数回答 (Q37)

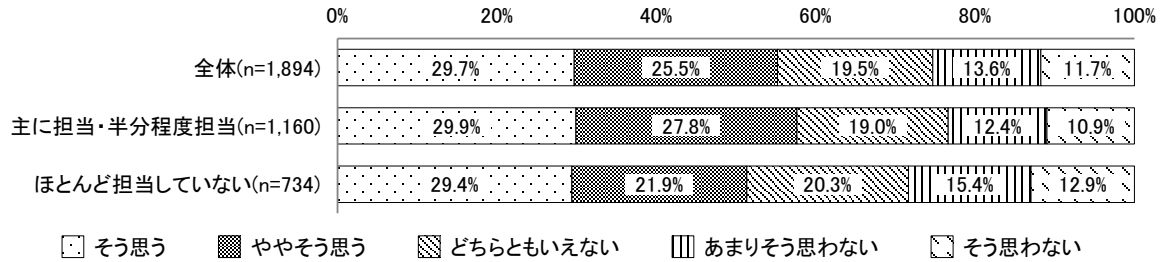


(7) 働き方や仕事の進め方の状況

① 残業が少ない

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「残業が少ない」(少なかった)かどうかをみると、「全体」では、「そう思う」が29.7%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が25.5%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は55.2%となっている。

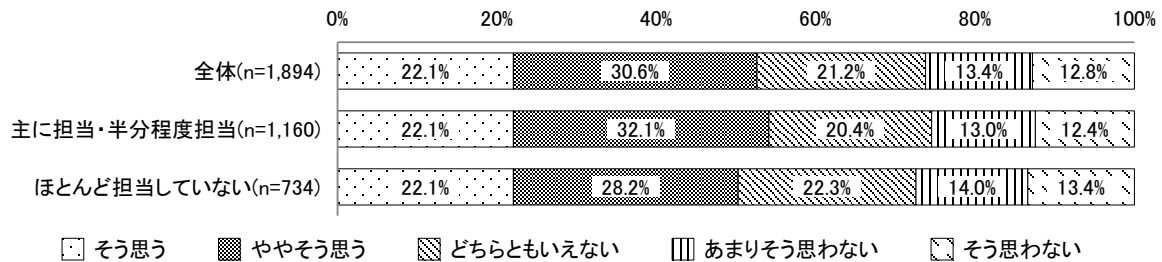
図表 91 働き方や仕事の進め方の状況 ① 残業が少ない: 単数回答 (Q38S1)



② 1日の作業量を自分で決めることができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「1日の作業量を自分で決めることができる」(できた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が30.6%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が22.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は52.6%となっている。

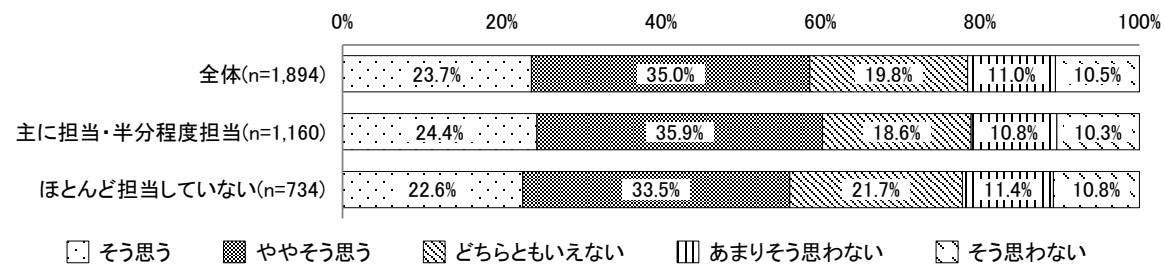
図表 92 働き方や仕事の進め方の状況 ② 1日の作業量を自分で決めることができる: 単数回答 (Q38S2)



③作業のスケジュールを自分で決めることができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「作業のスケジュールを自分で決めることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 35.0%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が 23.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 58.7%となっている。

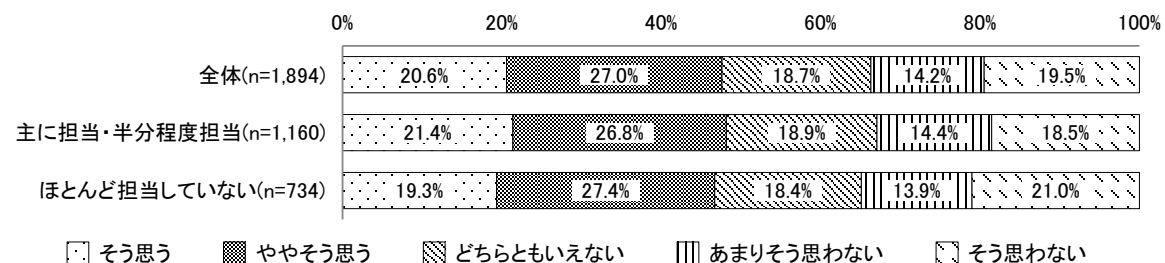
図表 93 働き方や仕事の進め方の状況 ③作業のスケジュールを自分で決めることができる：単数回答 (Q38S3)



④早出・遅出など出退勤時間を調整できる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「早出・遅出など出退勤時間を調整できる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 27.0%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が 20.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 47.6%となっている。

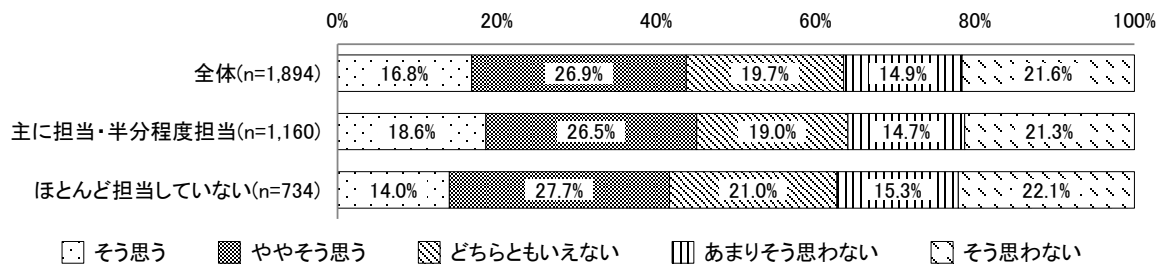
図表 94 働き方や仕事の進め方の状況 ④早出・遅出など出退勤時間を調整できる：単数回答 (Q38S4)



⑤就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が26.9%でもっとも割合が高く、次いで「そう思わない」が21.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は43.8%となっている。

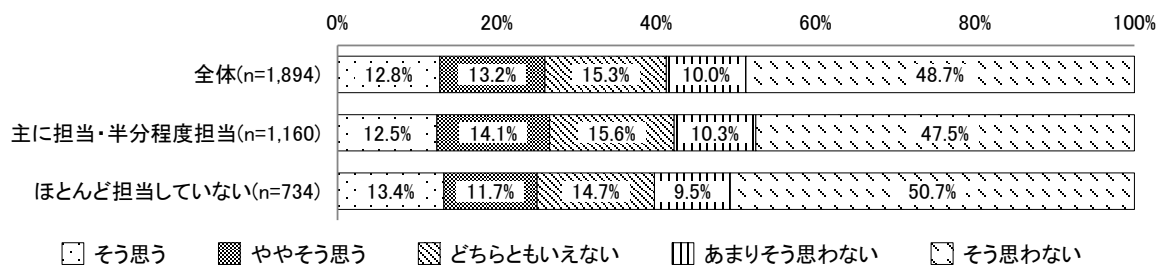
図表 95 働き方や仕事の進め方の状況 ⑤就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる：単数回答（Q38S5）



⑥テレワークをすることができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「テレワークをすることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「そう思わない」が48.7%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が15.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は26.0%となっている。

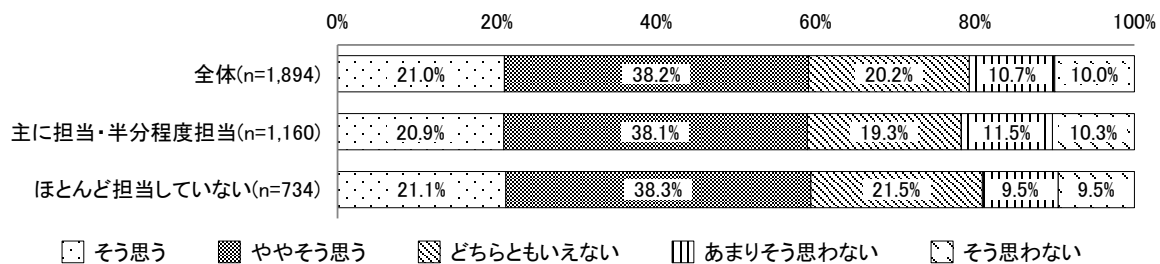
図表 96 働き方や仕事の進め方の状況 ⑥テレワークをすることができる：単数回答（Q38S6）



⑦希望どおりに休暇を取ることができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「希望どおりに休暇を取ることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 38.2%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が 21.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 59.1%となっている。

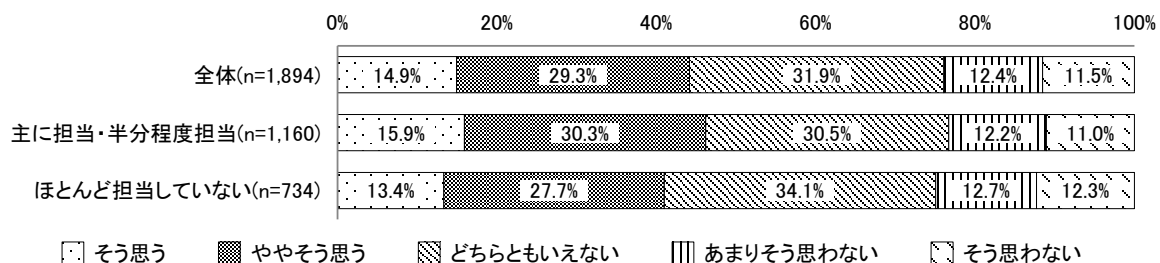
図表 97 働き方や仕事の進め方の状況 ⑦希望どおりに休暇を取ることができる：単数回答 (Q38S7)



⑧仕事と介護の両立がしやすい働き方ができる

手助・介護を始めた当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「希望どおりに休暇を取ることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が 31.9%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が 29.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 44.2%となっている。

図表 98 働き方や仕事の進め方の状況 ⑧仕事と介護の両立がしやすい働き方ができる：単数回答 (Q38S8)

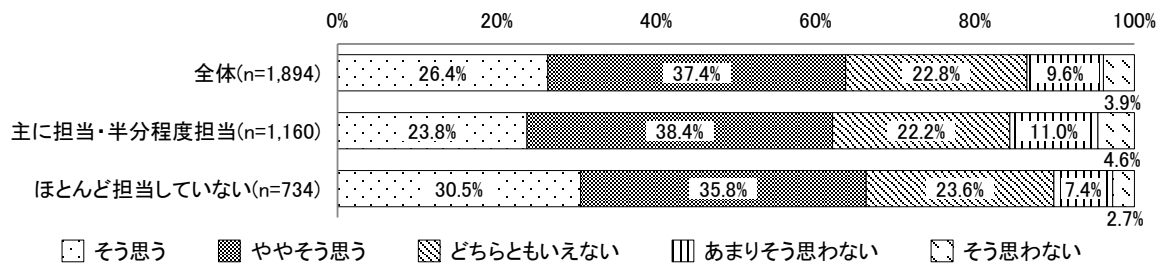


(8) 手助・介護開始後の仕事や職場の変化

①介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が37.4%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が26.4%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は63.8%となっている。

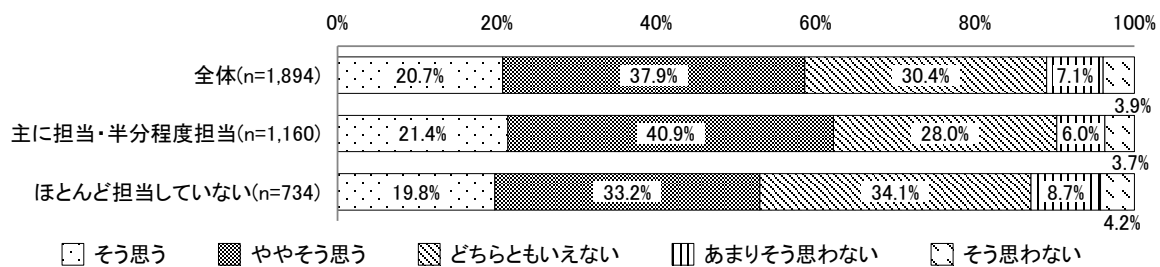
図表 99 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ①介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か：単数回答（Q39S1）



②限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が37.9%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が30.4%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は58.7%となっている。

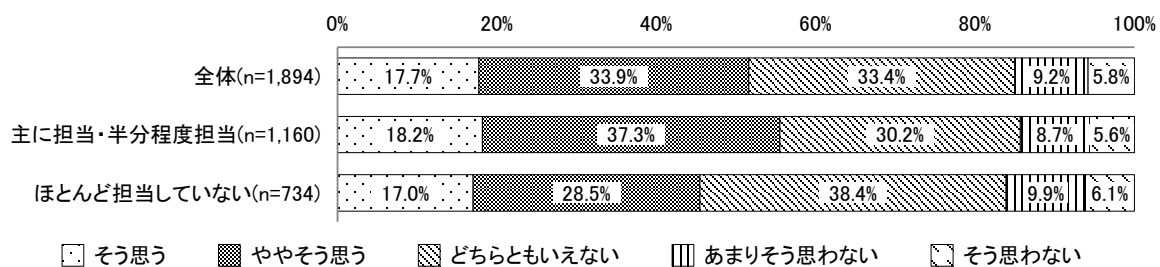
図表 100 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ②限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか：単数回答（Q39S2）



③仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が33.9%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が33.4%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は51.6%となっている。

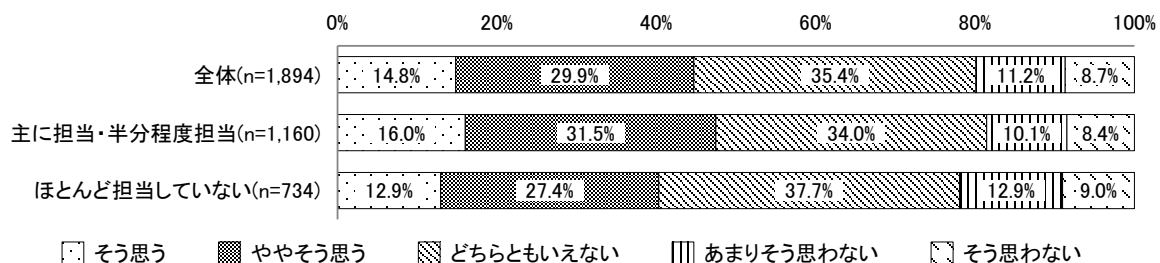
図表 101 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ③仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか:単数回答 (Q39S3)



④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が35.4%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が29.9%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は44.7%となっている。

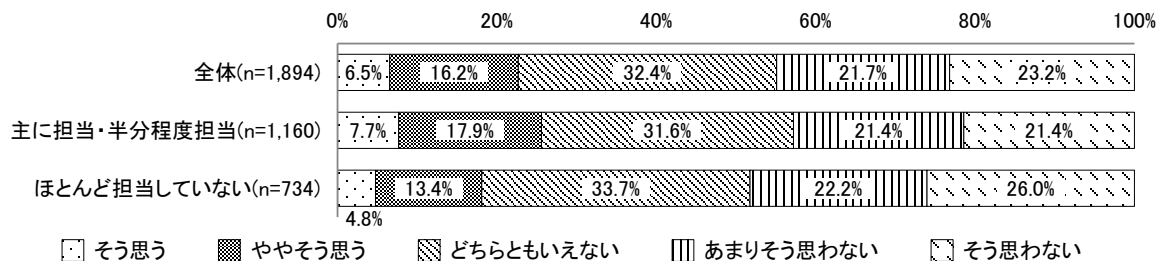
図表 102 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か:単数回答 (Q39S4)



⑤労働時間が短くなったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「労働時間が短くなったか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が32.4%でもっとも割合が高く、次いで「そう思わない」が23.2%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は22.7%となっている。

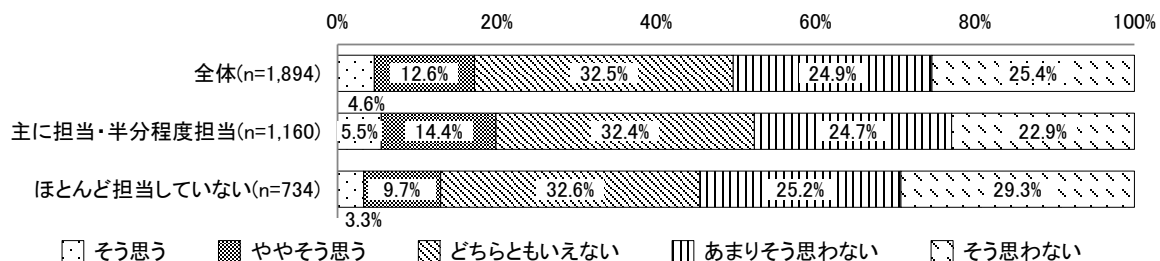
図表 103 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑤労働時間が短くなったか:単数回答 (Q39S5)



⑥担当する業務の量が減少したか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「担当する業務の量が減少したか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が32.5%でもっとも割合が高く、次いで「そう思わない」が25.4%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は17.2%となっている。

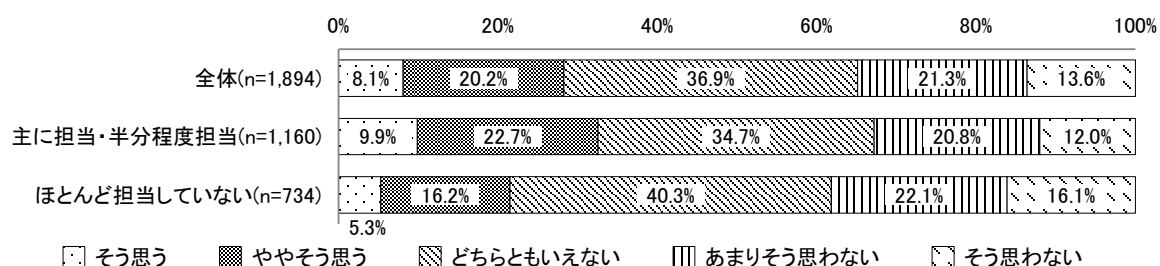
図表 104 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑥担当する業務の量が減少したか:単数回答 (Q39S6)



⑦スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が36.9%でもっとも割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が21.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は28.3%となっている。

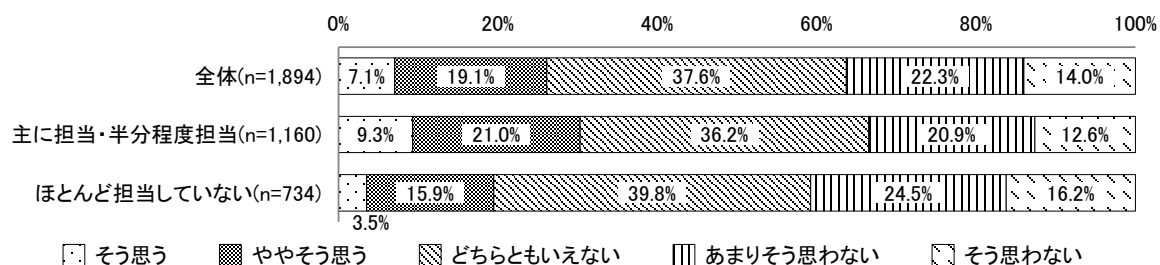
図表 105 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑦スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか：単数回答（Q39S7）



⑧自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が37.6%でもっとも割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が22.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は26.1%となっている。

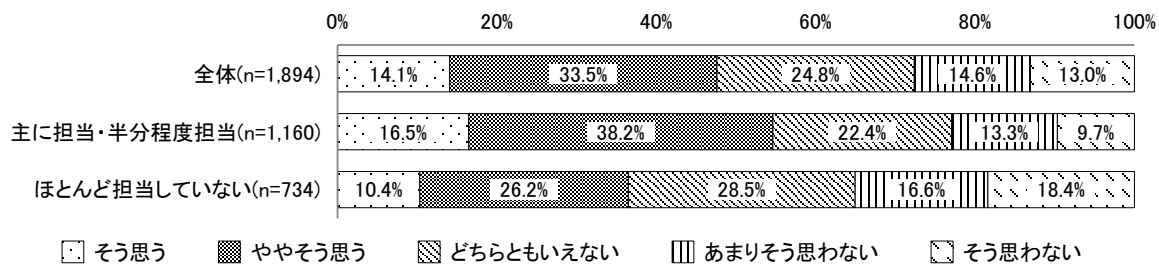
図表 106 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑧自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか：単数回答（Q39S8）



⑨被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が33.5%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が24.8%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は47.6%となっている。

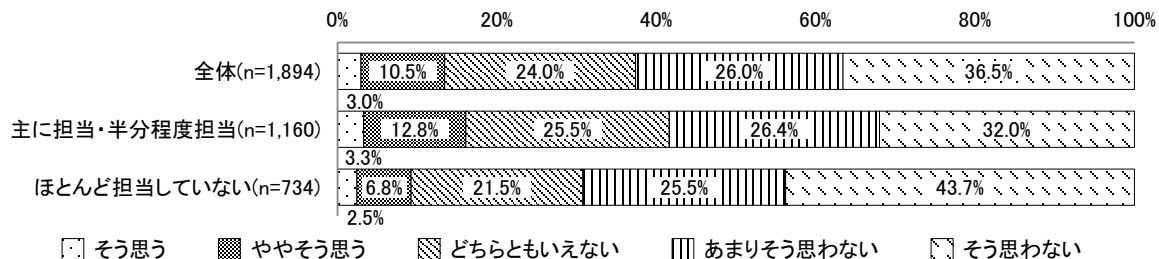
図表 107 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑨被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか：単数回答（Q39S9）



⑩職場に居づらくなったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「職場に居づらくなったか」どうかをみると、「全体」では、「そう思わない」が36.5%でもっとも割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が26.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は13.5%となっている。

図表 108 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑩職場に居づらくなったか：単数回答（Q39S10）



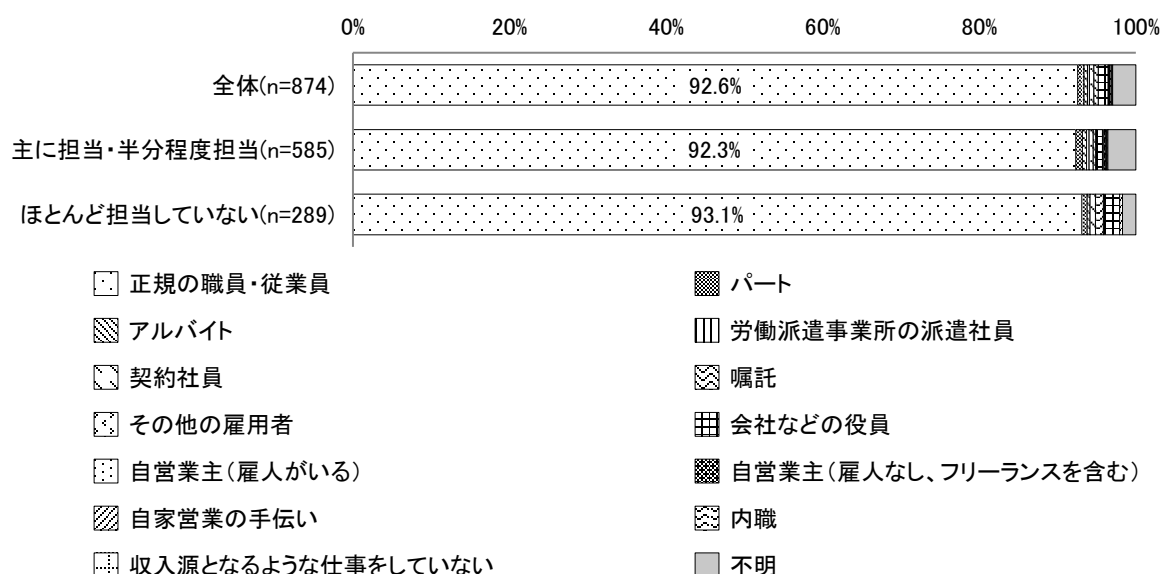
3-6. 就業継続の見込み

- 以下では、SQ7において「手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない」と回答し、かつ、SQ2で「現在、手助・介護を行っている」と回答した者を集計対象としている。

(1) 現在の就業形態

現在の就業形態をみると、「全体」では、「正規の職員・従業員」が92.6%となっている。

図表 109 現在の就業形態:単数回答 (SQ10S3)



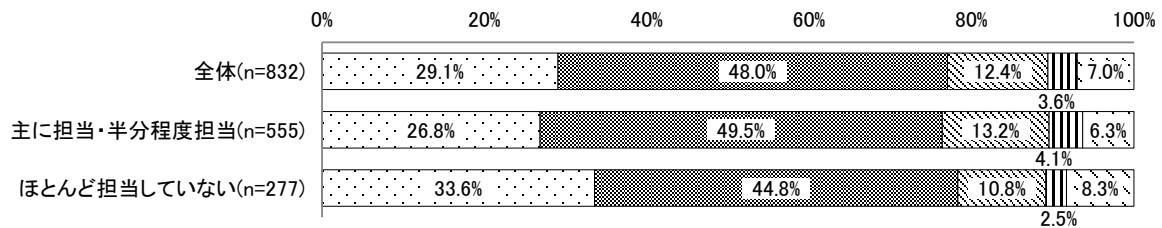
<数値表>

	合計	SQ10S3 現在の就業形態													
		正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他の雇用者	会社などの役員	自営業主(雇人がいる)	自営業主(雇人なし、フリーランスを含む)	自家営業の手伝い	内職	収入源となるような仕事をしていない	不明
全体	874	92.6	0.8	0.5	0.2	0.6	0.6	0.0	1.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	3.0
主に担当・半分程度担当	585	92.3	0.9	0.5	0.3	0.5	0.3	0.0	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	3.6
ほとんど担当していない	289	93.1	0.7	0.3	0.0	0.7	1.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.7

(2) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うか

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うかどうかをみると、「全体」では、「おそらく続けられると思う」が 48.0%でもっとも割合が高く、次いで「続けられると思う」が 29.1%となっている。「続けられると思う」と「おそらく続けられると思う」を合わせた割合は 77.0%となっている

図表 110 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うか:単数回答 (Q40)



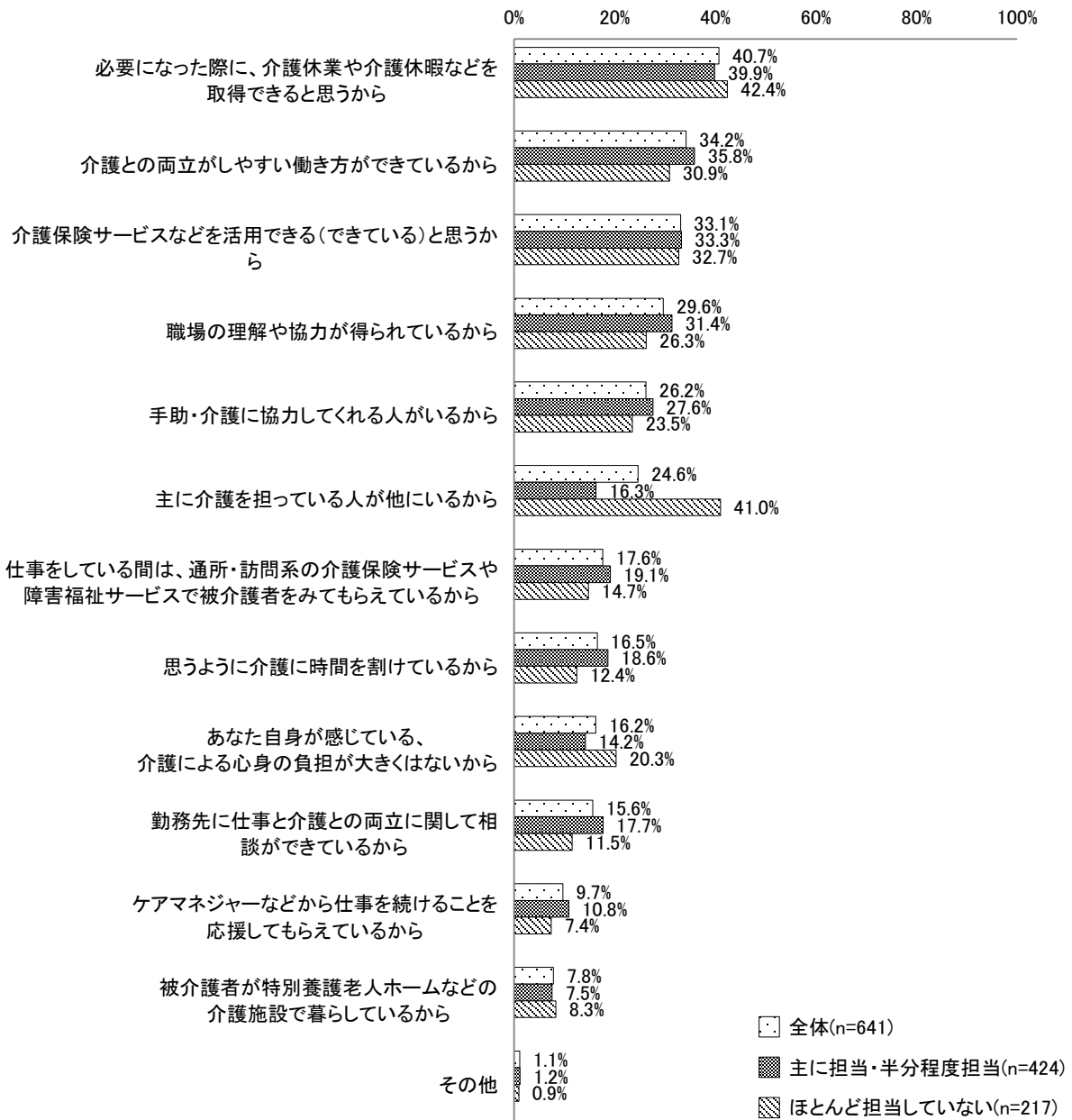
□ 続けられると思う ■ おそらく続けられると思う ▨ おそらく続けられないと思う ▩ 続けられないと思う □ わからない

注) SQ2で「現在、手助・介護を行っている」と回答した者のうち、SQ10S3で「正規の職員・従業員」～「その他の雇用者」のいずれかを回答した者を集計対象とする。

(3) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられると思う理由

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思う回答者（Q41で「続けられると思う」「おそらく続けられると思う」と回答した者）について、その理由をみると、「全体」では、「必要になった際に、介護休業や介護休暇などを取得できると思うから」が40.7%でもっとも割合が高く、次いで「介護との両立がしやすい働き方ができているから」が34.2%となっている。

図表 111 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられると思う理由：複数回答（Q41）



(4) 介護をしながら仕事続けるうえで役立ったこと (自由回答)

介護をしながら仕事続けるうえで役立ったことを自由回答で把握した。主な回答は以下の通りであった。

図表 112 介護をしながら仕事続けるうえで役立ったこと:自由回答 (Q44S1)

(たまたま知人にケアマネジャーが居たこともあり) 介護について全く知らなかったが、そこから地域包括支援センターや入院手続きなど、積極的に調べて動いたことで、仕事を両立できるところまでもっていった。
区役所や地域包括支援センターに相談し、介護保険サービスを勧めてくれたおかげで精神的、体力的負担が無くなり仕事続けることができました。
他の従業員が介護休暇を取っていることを知ったので、いざという時は私も介護休暇が取れると分かったこと。
親兄弟と連絡を取り合い、それぞれ時間を融通しあい協力し合う体制があったこと。

(5) 介護をしながら仕事続けるために自身で工夫したこと (自由回答)

介護をしながら仕事続けるために自身で工夫したことを自由回答で把握した。主な回答は以下の通りであった。

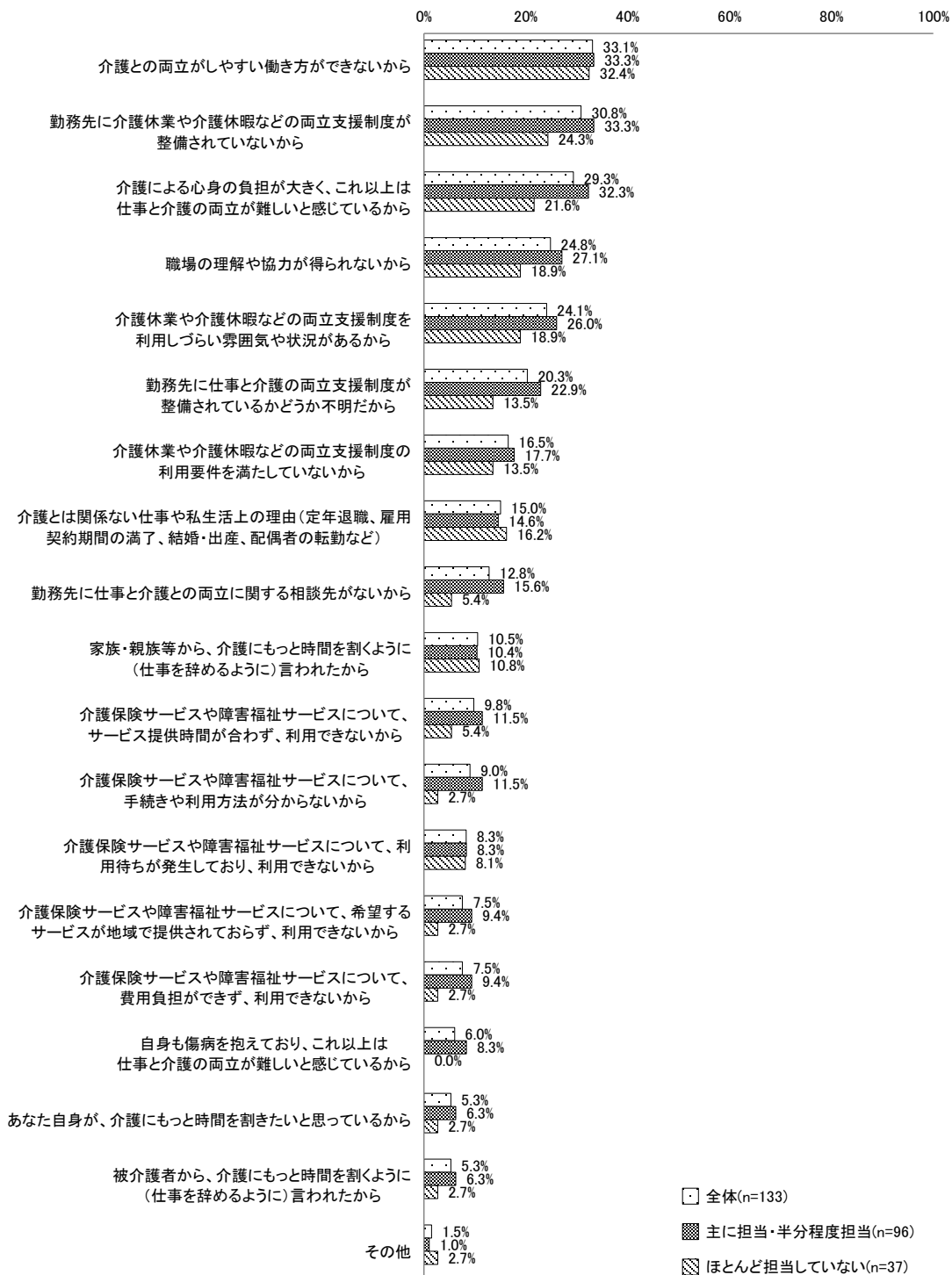
図表 113 介護をしながら仕事続けるために自身で工夫したこと:自由回答 (Q44S2)

無理してやらない。出来ないことは家族・親族にしっかり伝え理解してもらい。介護保険サービスを上手に利用し自分の負担を減らす。出来ることは本人になるべくやってもらい、自立してもらい。
自身担当の仕事内容について同僚にも説明し、自分が不在でも仕事が進むように調整した。
ホームヘルパーに依頼したことで介護の負担が軽減されてかなり楽になりました。
手すりの設置や介護用品を充実させて、1人である程度行動が出来るようにする。

(6) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられないと思う理由

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができないと思う回答者(Q41で「おそらく続けられないと思う」「続けられないと思う」と回答した者)について、その理由をみると、「全体」では、「介護との両立がしやすい働き方ができないから」が33.1%でもっとも割合が高く、次いで「勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから」が30.8%となっている。

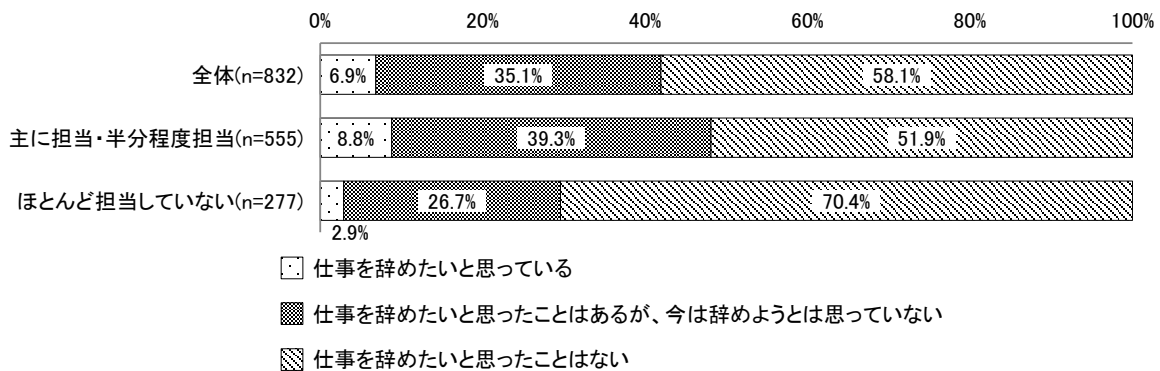
図表 114 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられないと思う理由:複数回答(Q42)



(7) 手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるか

これまでに、手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるかどうかをみると、「全体」では、「仕事を辞めたいと思ったことはない」が 58.1%でもっとも割合が高く、次いで「仕事を辞めたいと思ったことはあるが、今は辞めようとは思っていない」が 35.1%となっている。回答時現在において「仕事を辞めたいと思っている」割合は 6.9%となっている。

図表 115 手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるか：単数回答 (Q43)



注) SQ10S3 で「正規の職員・従業員」～「その他の雇用者」のいずれかを回答した者を集計対象とする。

(8) どのような相談窓口があると相談したいと思えるか (自由回答)

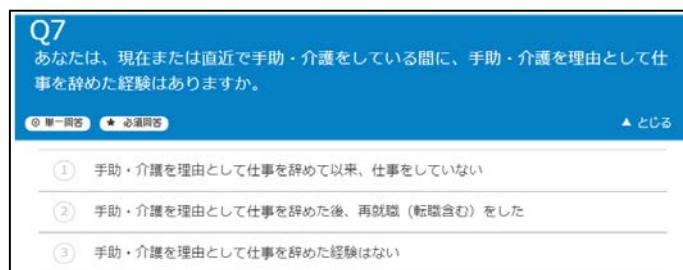
どのような相談窓口があると相談したいと思えるかを自由回答で把握した。主な回答は以下の通りであった。

図表 116 どのような相談窓口があると相談したいと思えるか：自由回答 (Q51S1)

私自身の事を教えてくれる事がなく相談窓口など考えた事、暇がありませんでした。相談窓口というよりは教えてくれる人、機関があれば良かったと思います。
中小企業に勤めていたので介護を目的として辞めずに自分の体が壊れて辞めたのでそのような状態になって相談するような考えを判断出来る思考がなかった。窓口があっても本当に追い込まれている人間は行くことが出来ないの会社を訪問して聞いていただけたら辞めることもなかったのかもとは思いますが違った考えを持てたかも知れません。
自由選択ではなく具体的に市役所に行って手続きする様に促して欲しいです。自分の意思を尊重されるのはよいが、一回説明を聞いただけでは不十分で後になってから手続きしとけばよかったと気づく。
私は医療機関に勤めていたしお友達の親も介護が必要で色々なお話を聞いていて知っていたからすぐに包括センターなどに相談できたが、そもそも相談窓口がわからない人が多いと思う。
専門的な内容を分かり易く説明してくれ、具体的に自身の場合のアドバイスを受けられる。駅から近いところで、時間も平日なら遅い時間でも、もしくは土日でも相談可能なところ。
気軽に相談できるようにオンラインで相談でき、困っていることや悩んでいることなどについて適切なアドバイスを受けられること。

4. 介護離職者に関するアンケート調査結果

- 本章では、介護離職をした者に関する集計結果を掲載している。本章における「全体」は介護離職を経験しており（SQ7 において「手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない」および「手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした」と回答した者）、介護を主に担当または半分程度分担していた者（Q27 において「あなたが主に手助・介護を担当している（していた）」および「あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）」と回答した者）全体を指す。



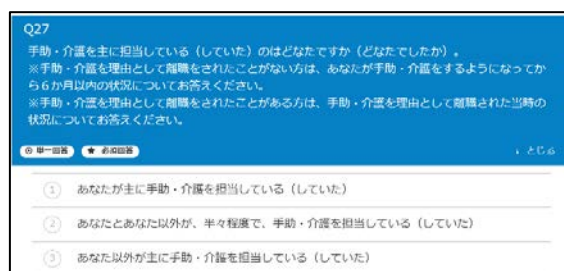
Q7
あなたは、現在または直近で手助・介護をしている間に、手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はありますか。

① 手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない

② 手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした

③ 手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない

※上図では単に「Q7」との表示であるがスクリーニング設問における Q7 であり、上記の SQ7 に該当する。



Q27
手助・介護を主に担当している（していた）のはどなたですか（どなたでしたか）。
※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。
※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

① あなたが主に手助・介護を担当している（していた）

② あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）

③ あなた以外が主に手助・介護を担当している（していた）

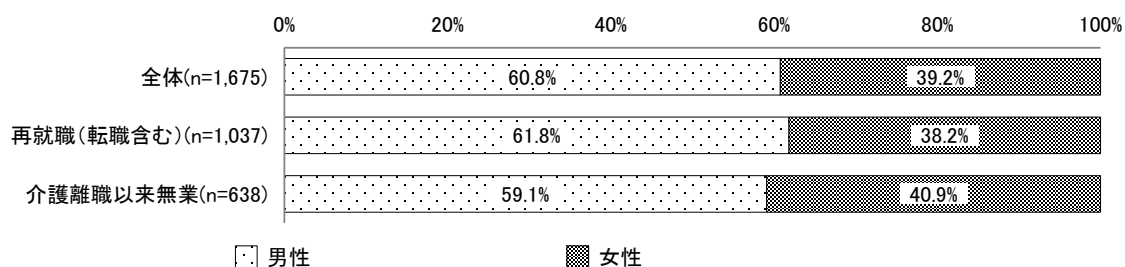
- 本章における集計結果のうち、「再就職（転職含む）」は Q7 において「手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした」と回答した者である。また、「介護離職依頼無業」は Q7 において「手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない」と回答した者である。
- 「手助・介護を始めた当時」とは、特に断りがない限り、手助・介護をするようになってから6ヶ月以内の状況を指す。

4-1. 回答者属性

(1) 性別

性別をみると、「全体」では、「男性」が60.8%、「女性」が39.2%となっている。

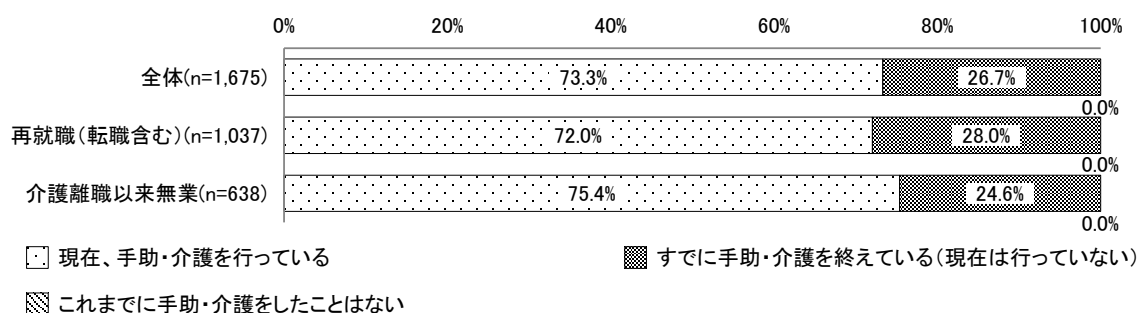
図表 117 性別:単数回答 (SQ1)



(2) 手助・介護をした経験

手助・介護をした経験をみると、「全体」では、「現在、手助・介護を行っている」が73.3%で最も割合が高く、次いで「すでに手助・介護を終えている(現在は行っていない)」が26.7%となっている。

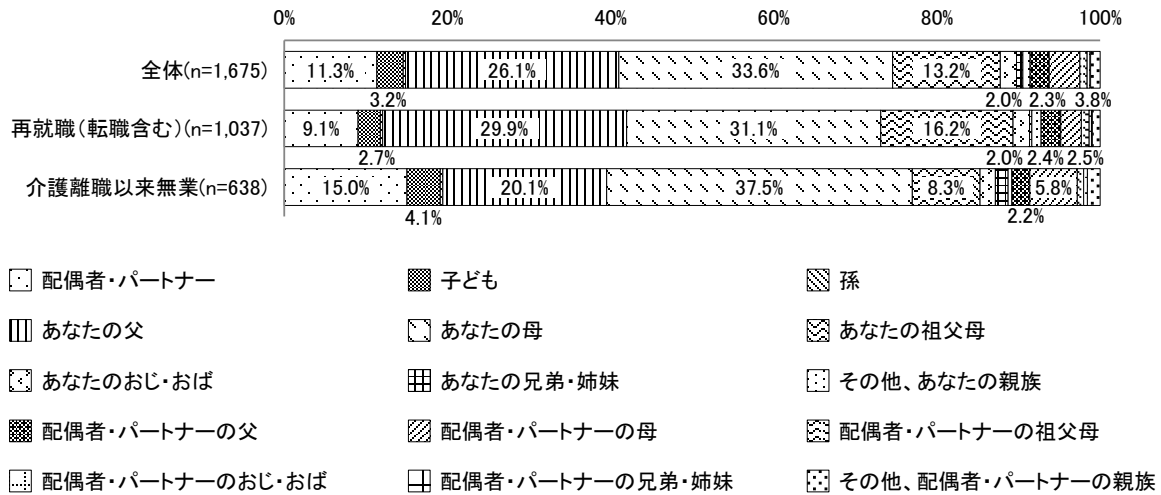
図表 118 手助・介護をした経験:単数回答 (SQ2)



(3) 手助・介護をしている（していた）家族の続柄

手助・介護をしている（していた）家族の続柄をみると、「全体」では、「あなたの母」が33.6%でもっとも割合が高く、次いで「あなたの父」が26.1%となっている。

図表 119 手助・介護をしている（していた）家族の続柄：単数回答（SQ3）



<数値表>

	合計	SQ3.手助・介護をしている(していた)家族の続柄							
		配偶者・パートナー	子ども	孫	あなたの父	あなたの母	あなたの祖父母	あなたのおじ・おば	あなたの兄弟・姉妹
全体	1,675	11.3	3.2	0.3	26.1	33.6	13.2	2.0	0.8
再就職(転職含む)	1,037	9.1	2.7	0.3	29.9	31.1	16.2	2.0	0.3
介護離職以来無業	638	15.0	4.1	0.3	20.1	37.5	8.3	1.9	1.6

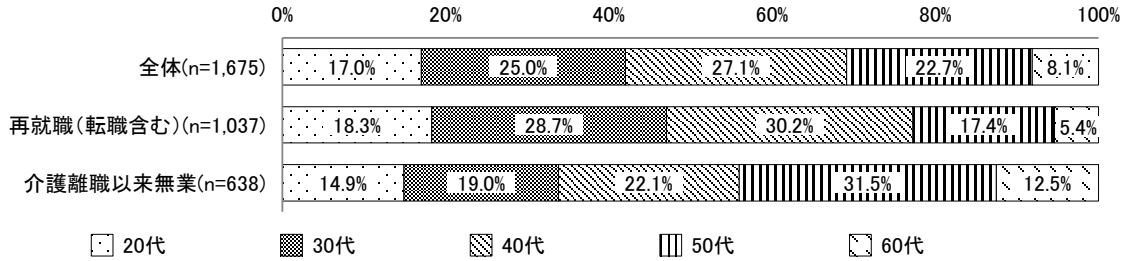
	合計	SQ3.手助・介護をしている(していた)家族の続柄							
		その他、あなたの親族	配偶者・パートナーの父	配偶者・パートナーの母	配偶者・パートナーの祖父母	配偶者・パートナーのおじ・おば	配偶者・パートナーの兄弟・姉妹	その他、配偶者・パートナーの親族	不明
全体	1,675	0.9	2.3	3.8	0.9	0.4	0.1	1.2	0.0
再就職(転職含む)	1,037	1.2	2.4	2.5	1.0	0.3	0.1	1.0	0.0
介護離職以来無業	638	0.5	2.2	5.8	0.8	0.5	0.0	1.6	0.0

注) 複数回の手助・介護の経験がある場合には、回答時現在からみて直近の手助・介護の経験について回答するよう指示した。また、現在または直近の手助・介護の経験において、同時に複数の方の手助・介護をしていた場合には、最も時間をかけて手助・介護をしていた方への介護について回答するよう指示した。以下同様。

(4) 手助・介護を始めたときの回答者の年齢

手助・介護を始めたときの回答者の年齢をみると、「全体」では、「40代」が27.1%でもっとも割合が高く、次いで「30代」が25.0%となっている。

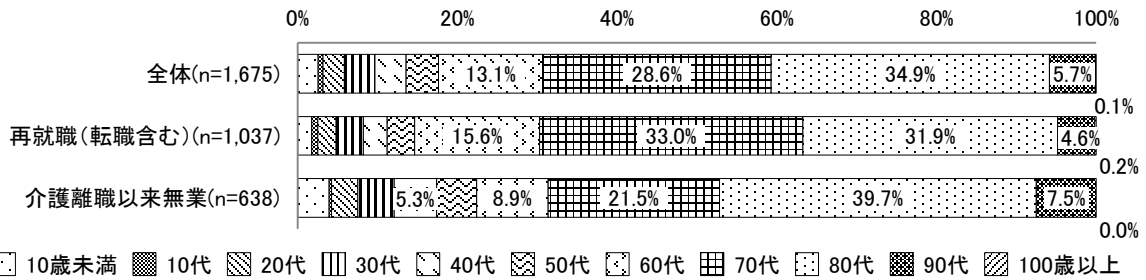
図表 120 手助・介護を始めたときの回答者の年齢:単数回答 (SQ4S1)



(5) 手助・介護を始めたときの被介護者の年齢

手助・介護を始めたときの被介護者の年齢をみると、「全体」では、「80代」が34.9%でもっとも割合が高く、次いで「70代」が28.6%となっている。

図表 121 手助・介護を始めたときの被介護者の年齢:単数回答 (SQ4S2)



注) グラフ中では、割合の小さいものについて表示を省略している。以下同様。

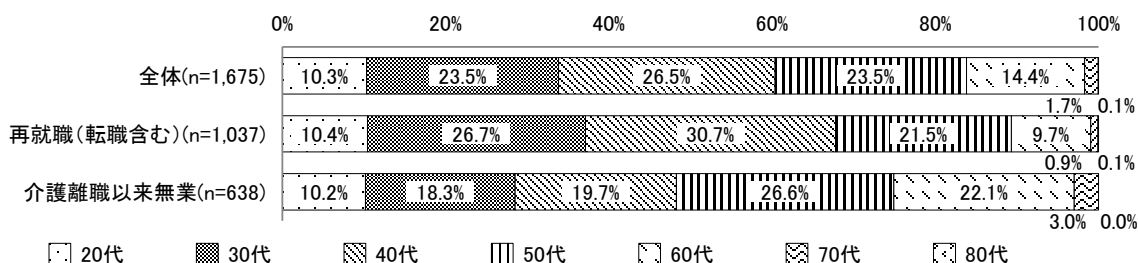
<数値表>

	合計	SQ4S2.手助・介護を始めたときの被介護者の年齢											
		10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	不明
全体	1,675	2.6	0.6	2.7	3.8	3.9	4.1	13.1	28.6	34.9	5.7	0.1	0.0
再就職(転職含む)	1,037	1.7	0.8	2.3	3.4	3.0	3.5	15.6	33.0	31.9	4.6	0.2	0.0
介護離職以来無業	638	3.9	0.3	3.3	4.5	5.3	5.0	8.9	21.5	39.7	7.5	0.0	0.0

(6) 現在の回答者の年齢

現在の回答者の年齢をみると、「全体」では、「40代」が26.5%でもっとも割合が高く、次いで「30代」が23.52%、「50代」が23.46%となっている。

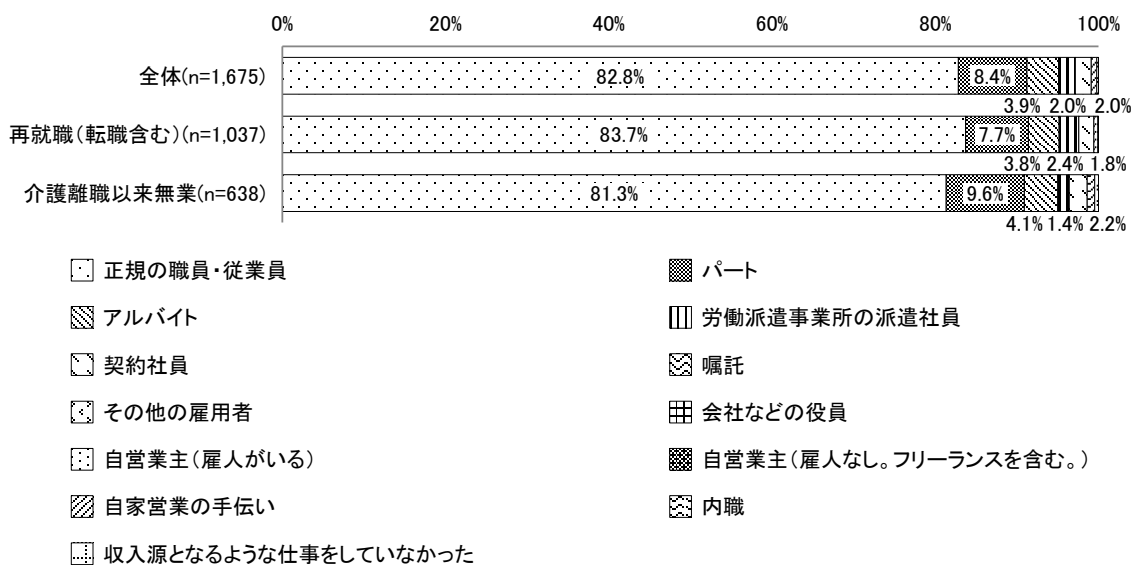
図表 122 現在の回答者の年齢:単数回答 (SQ4S3)



(7) 手助・介護を始めた際の就業形態

調査対象の設定の通り、回答者が手助・介護を始めた際の就業形態は「正規の職員・従業員」を優先して回収したため、「全体」では、「正規の職員・従業員」が82.8%となっている。

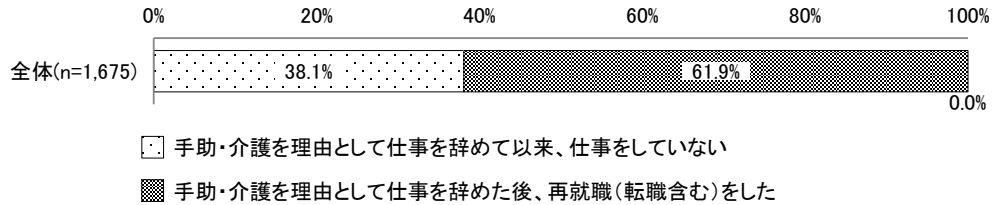
図表 123 手助・介護を始めた際の就業形態:単数回答 (SQ5)



(8) 手助・介護を理由として仕事を辞めた経験

手助・介護を理由として仕事を辞めた経験をみると、「全体」では、「手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした」が61.9%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない」が38.1%となっている。

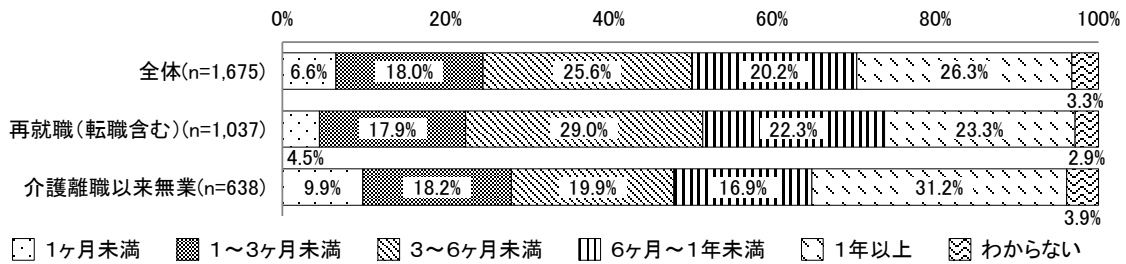
図表 124 手助・介護を理由として仕事を辞めた経験：単数回答（SQ7）



(9) 手助・介護を理由として仕事を辞めるまでの期間

手助・介護を理由として仕事を辞めるまでの期間をみると、「全体」では、「1年以上」が26.3%でもっとも割合が高く、次いで「3～6ヶ月未満」が25.6%となっている。

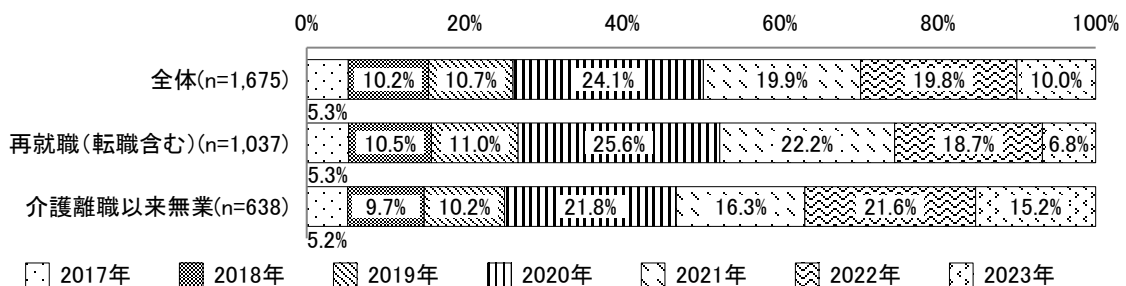
図表 125 手助・介護を理由として仕事を辞めるまでの期間：単数回答（SQ8）



(10) 手助・介護を理由として離職した時期

手助・介護を理由として離職した時期をみると、「全体」では、「2020年」が24.1%でもっとも割合が高く、次いで「2021年」が19.9%となっている。

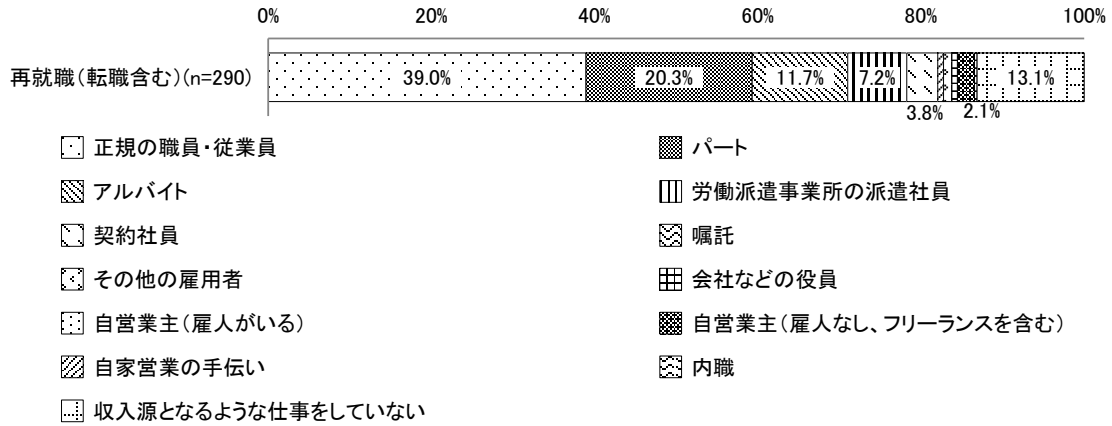
図表 126 手助・介護を理由として離職した時期（年）：単数回答（SQ9S1）



(11) 手助・介護を終えた時点の就業形態

すでに手助・介護を終えている（現在は行っていない）者のうち、手助・介護を終えた時点の就業形態をみると、「全体」では、「正規の職員・従業員」が39.0%でもっとも割合が高く、次いで「パート」が20.3%となっている。

図表 127 手助・介護を終えた時点の就業形態：単数回答（SQ10S2）



<数値表>

	合計	SQ10S1.手助・介護のために離職する直前の就業形態													
		正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他の雇用者	会社などの役員	自営業主(雇人がいる)	自営業主(雇人なし、フリーランスを含む。)	自家営業の手伝い	内職	収入源となるような仕事をしていない	不明
全体	1,675	78.7	9.3	4.4	3.1	3.0	0.8	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
再就職(転職含む)	1,037	81.0	7.9	3.6	3.2	3.0	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
介護離職以来無業	638	74.9	11.4	5.6	3.0	3.0	1.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0

(12) 手助・介護をしていた当時の居住地（都道府県）

手助・介護を理由として離職した当時の居住地（都道府県）をみると、「東京都」が15.3%でもっとも割合が高く、次いで「大阪府」が9.3%となっている。

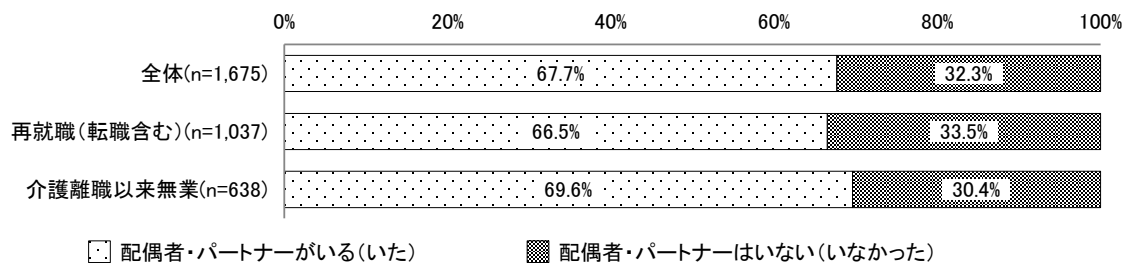
図表 128 手助・介護をしていた当時の居住地（都道府県）：単数回答（Q1）

Q1. 居住地	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
全体	1,675	3.8	0.7	0.7	1.4	0.7	0.8	1.4	1.7	0.9	0.9
Q1. 居住地	合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
全体	1,675	5.7	5.6	15.3	7.0	1.6	0.7	0.9	0.5	0.5	1.3
Q1. 居住地	合計	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
全体	1,675	1.1	2.6	6.2	1.0	0.8	2.6	9.3	5.0	1.3	0.8
Q1. 居住地	合計	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
全体	1,675	0.5	0.4	1.3	2.3	0.5	0.7	0.7	1.4	0.7	4.0
Q1. 居住地	合計	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
全体	1,675	0.4	1.1	0.6	0.4	0.7	0.9	0.7			

(13) 手助・介護をしていた当時の婚姻状況

手助・介護を理由として離職した当時の婚姻状況をみると、「全体」では、「配偶者・パートナーがいる(いた)」が67.7%、「配偶者・パートナーはいない(いなかった)」が32.3%となっている。

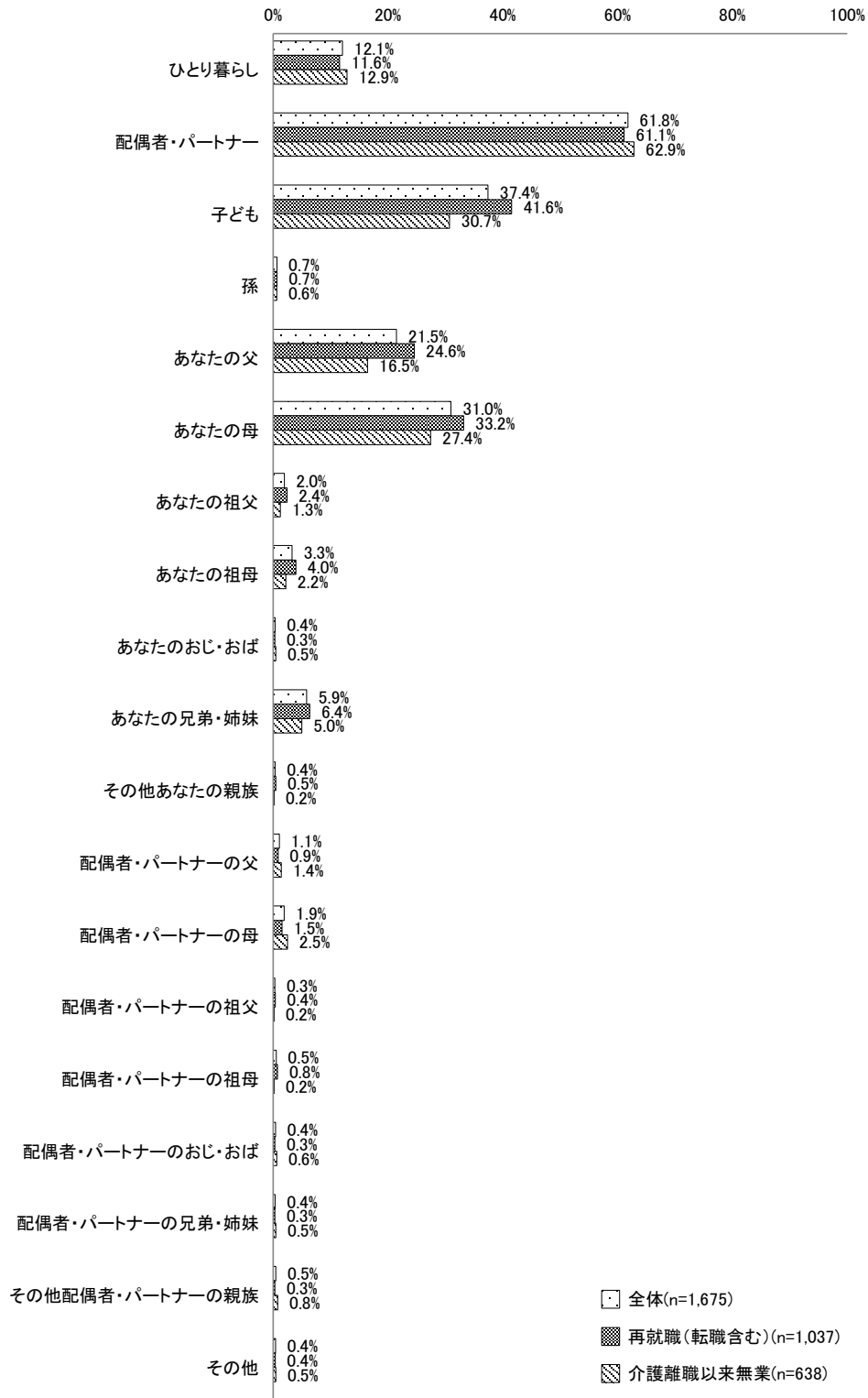
図表 129 手助・介護をしていた当時の婚姻状況:単数回答(Q2)



(14) 手助・介護をしていた当時の同居者

手助・介護を理由として離職した当時の同居者をみると、「全体」では、「配偶者・パートナー」が61.8%でもっとも割合が高く、次いで「子ども」が37.4%となっている。

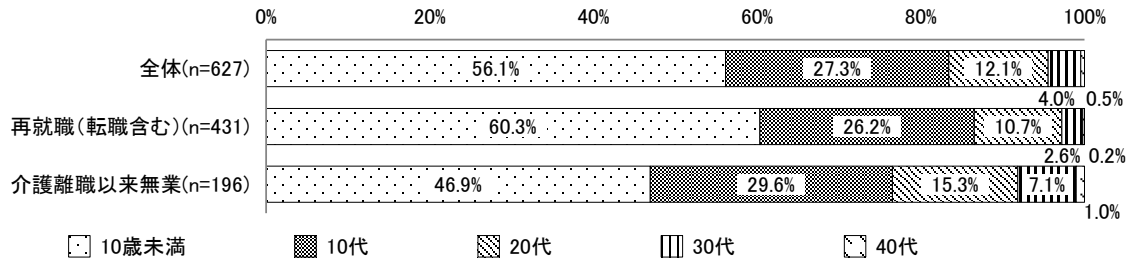
図表 130 手助・介護をしていた当時の同居者：複数回答 (Q3)



(15) 当時の末子年齢

手助・介護を理由として離職した当時子どもと同居していた回答者について、同居していた末子の年齢をみると、「全体」では、「10歳未満」が56.1%でもっとも割合が高く、次いで「10代」が27.3%となっている。

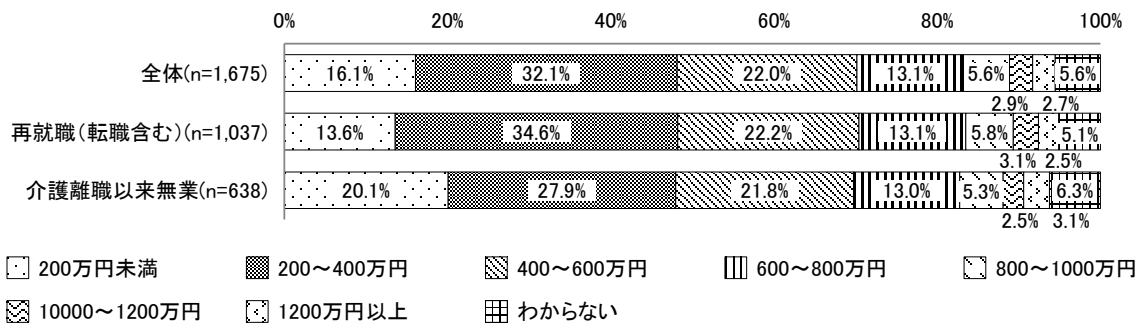
図表 131 当時の末子年齢:単数回答 (Q3_3)



(16) 手助・介護をしていた当時の個人年収

手助・介護を理由として離職した当時の回答者個人の年収をみると、「全体」では、「200～400万円」が32.1%でもっとも割合が高く、次いで「400～600万円」が22.0%となっている。

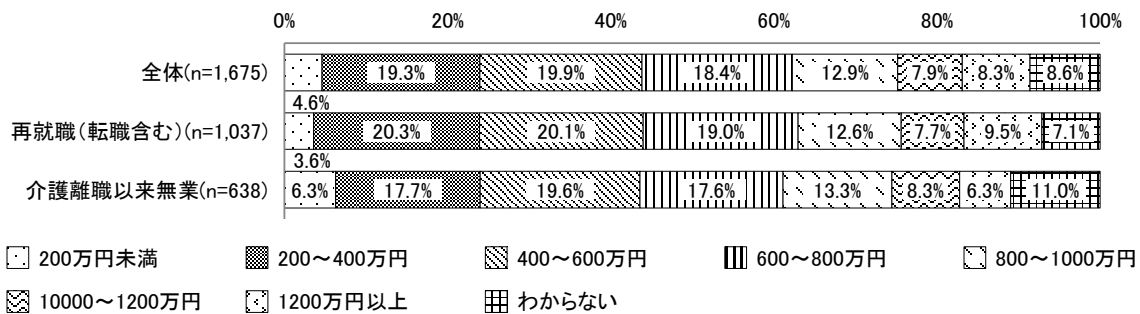
図表 132 手助・介護をしていた当時の個人年収:単数回答 (Q4S1)



(17) 手助・介護をしていた当時の世帯年収

手助・介護を理由として離職した当時の世帯年収をみると、「全体」では、「400～600万円」が19.9%でもっとも割合が高く、次いで「200～400万円」が19.3%となっている。

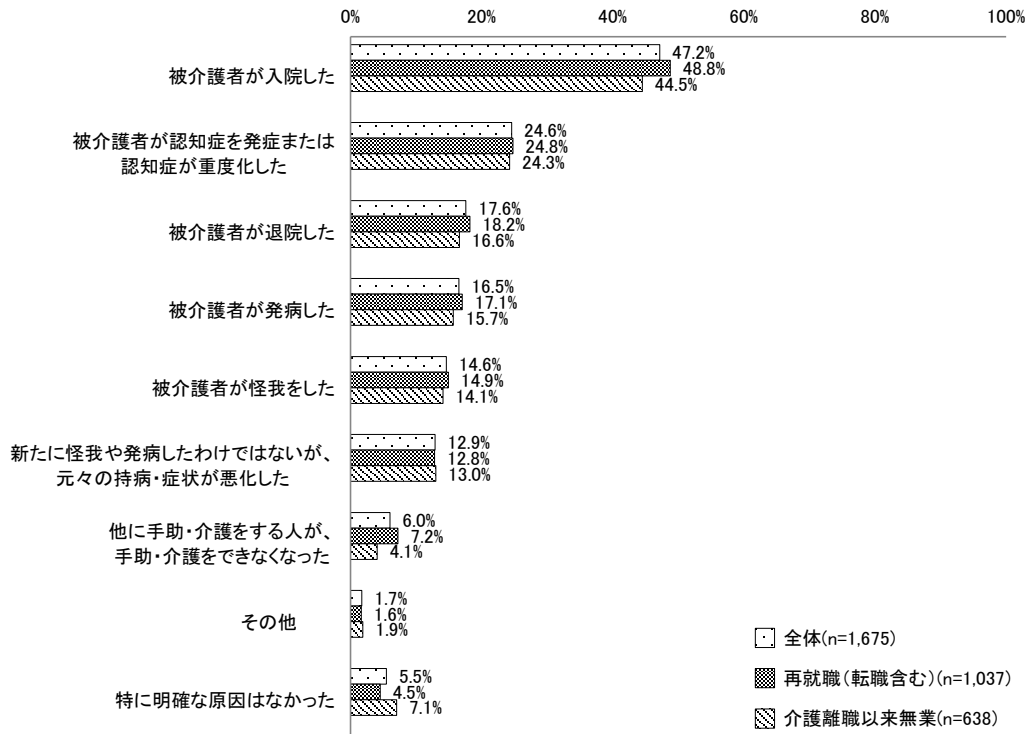
図表 133 手助・介護をしていた当時の世帯年収:単数回答 (Q4S2)



(18) 手助・介護をするようになった主な経緯

手助・介護をするようになった主な経緯をみると、「全体」では、「被介護者が入院した」が47.2%でもっとも割合が高く、次いで「被介護者が認知症を発症または認知症が重度化した」が24.6%となっている。

図表 134 手助・介護をするようになった主な経緯：複数回答（Q6）



また、被介護者の要介護度別に手助・介護をするようになった主な経緯をみると、「要支援1」では、「被介護者が入院した」が61.9%と高くなっている。「要介護1」～「要介護3」では「被介護者が認知症を発症または認知症が重度化した」の割合が高くなっている。

図表 135 被介護者の要介護度（Q18）別、手助・介護をするようになった主な経緯：複数回答（Q6）

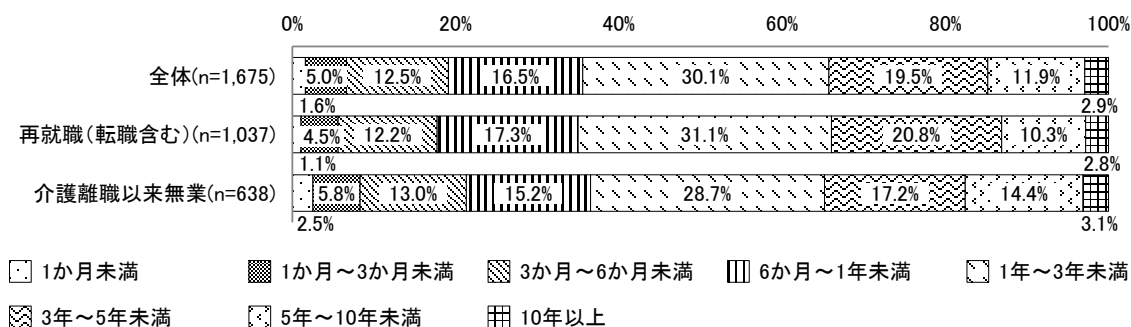
	合計	Q6. 手助・介護をするようになった主な経緯									
		被介護者が入院した	被介護者が退院した	被介護者が認知症を発症または認知症が重度化した	被介護者が怪我をした	被介護者が発病した	新たに怪我や発病したわけではないが、元々の持病・症状が悪化した	他に手助・介護をする人が、手助・介護をできなくなった	その他	特に明確な原因はなかった	不明
全体	1,675	47.2	17.6	24.6	14.6	16.5	12.9	6.0	1.7	5.5	0.0
Q18. 被介護者の要介護度											
要支援1	176	61.9	16.5	9.1	11.9	11.4	13.1	4.0	0.6	6.8	0.0
要支援2	198	46.0	15.7	18.2	13.6	13.6	9.1	5.1	0.5	5.6	0.0
要介護1	200	49.5	16.5	33.0	14.0	16.0	9.0	4.5	1.5	4.0	0.0
要介護2	313	41.2	16.6	30.7	18.2	16.6	14.4	7.0	1.6	1.9	0.0
要介護3	310	52.6	16.5	33.9	16.1	14.8	11.6	7.4	0.6	3.2	0.0
要介護4	134	42.5	21.6	26.9	15.7	15.7	18.7	6.7	5.2	4.5	0.0
要介護5	84	34.5	23.8	29.8	15.5	19.0	11.9	8.3	3.6	7.1	0.0
申請中	37	40.5	18.9	13.5	10.8	27.0	13.5	8.1	0.0	10.8	0.0
申請したが認定されなかった	20	50.0	30.0	5.0	15.0	20.0	15.0	10.0	0.0	0.0	0.0
申請していない	123	48.8	18.7	14.6	11.4	22.8	18.7	5.7	4.9	13.0	0.0
わからない	80	35.0	17.5	10.0	8.8	26.3	12.5	2.5	1.3	16.3	0.0

4-2. 介護の経緯や介護の期間などについて

(1) 通算の手助・介護期間

通算の手助・介護期間をみると、「全体」では、「1年～3年未満」が30.1%でもっとも割合が高く、次いで「3年～5年未満」が19.5%となっている。

図表 136 通算の手助・介護期間：単数回答（Q7）



被介護者の要介護度（Q18）別に通算の手助・介護期間をみると、みると、「要支援1」では他と比べて、通算の手助・介護期間が「3か月～6か月未満」の割合が高い傾向がみられる。

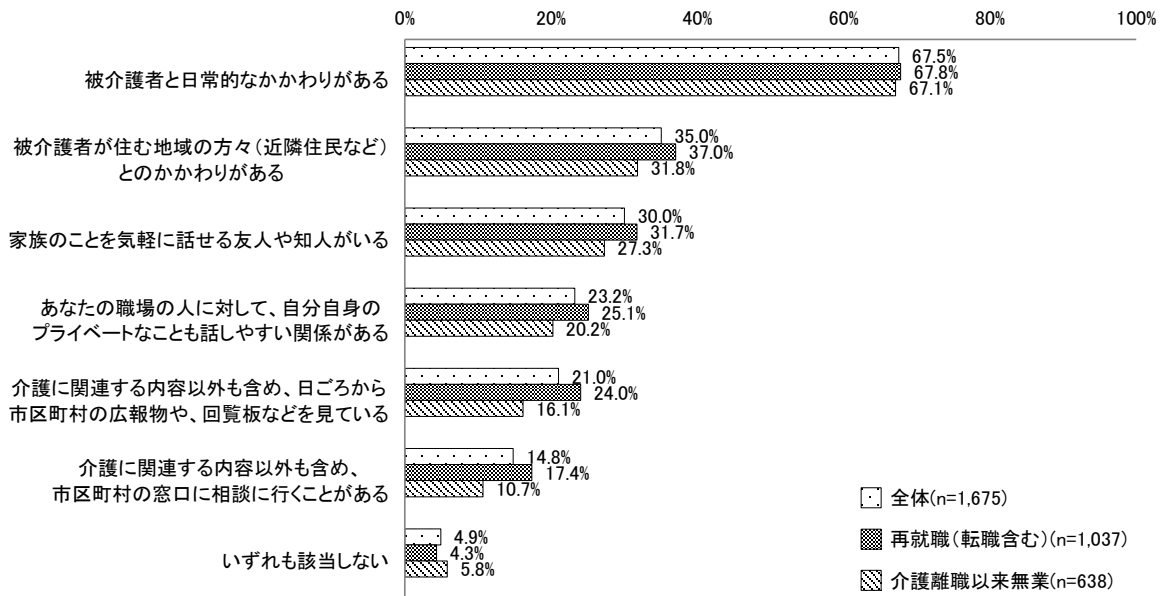
図表 137 被介護者の要介護度（Q18）別、通算の手助・介護期間：単数回答（Q7）

	合計	Q7. 通算の手助・介護期間								
		1か月未満	1か月～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	不明
全体	1,675	1.6	5.0	12.5	16.5	30.1	19.5	11.9	2.9	0.0
Q18. 被介護者の要介護度										
要支援1	176	5.1	9.7	22.7	21.6	26.7	7.4	5.7	1.1	0.0
要支援2	198	1.0	4.5	17.2	21.7	31.3	15.7	7.6	1.0	0.0
要介護1	200	0.5	2.5	12.0	17.5	33.0	19.0	13.5	2.0	0.0
要介護2	313	0.3	3.2	8.6	18.8	35.8	20.1	9.9	3.2	0.0
要介護3	310	0.3	3.5	9.4	11.9	26.8	29.0	14.5	4.5	0.0
要介護4	134	0.0	3.7	6.7	14.2	26.9	23.9	20.1	4.5	0.0
要介護5	84	0.0	7.1	4.8	8.3	36.9	15.5	20.2	7.1	0.0
申請中	37	8.1	5.4	10.8	29.7	27.0	13.5	5.4	0.0	0.0
申請したが認定されなかった	20	5.0	10.0	15.0	20.0	30.0	15.0	5.0	0.0	0.0
申請していない	123	4.1	8.9	17.1	11.4	22.0	20.3	14.6	1.6	0.0
わからない	80	5.0	7.5	17.5	11.3	31.3	16.3	7.5	3.8	0.0

(2) 介護を始める以前の家庭や職場、地域との関わり

介護を始める前に回答者自身が、被介護者を含む家庭や職場、地域とどのような関わりがあったかをみると、「全体」では、「被介護者と日常的なかかわりがある」が67.5%、「被介護者が住む地域の方々（近隣住民など）とのかかわりがある」が35.0%、「家族のことを気軽に話せる友人や知人がいる」が30.0%などとなっている。

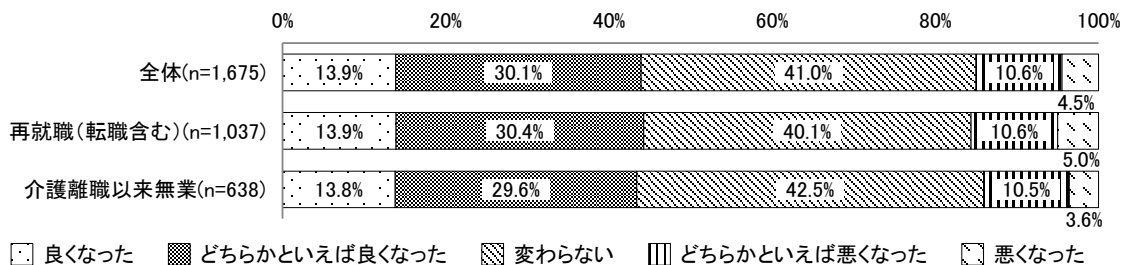
図表 138 介護を始める以前の家庭や職場、地域との関わり：複数回答（Q8）



(3) 手助・介護開始後の、被介護者との関係性の変化

手助・介護開始後に被介護者との関係性が変化したかどうかをみると、「全体」では、「変わらない」が41.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらかといえば良くなった」が30.1%となっている。

図表 139 手助・介護開始後の、被介護者との関係性の変化：単数回答（Q9）



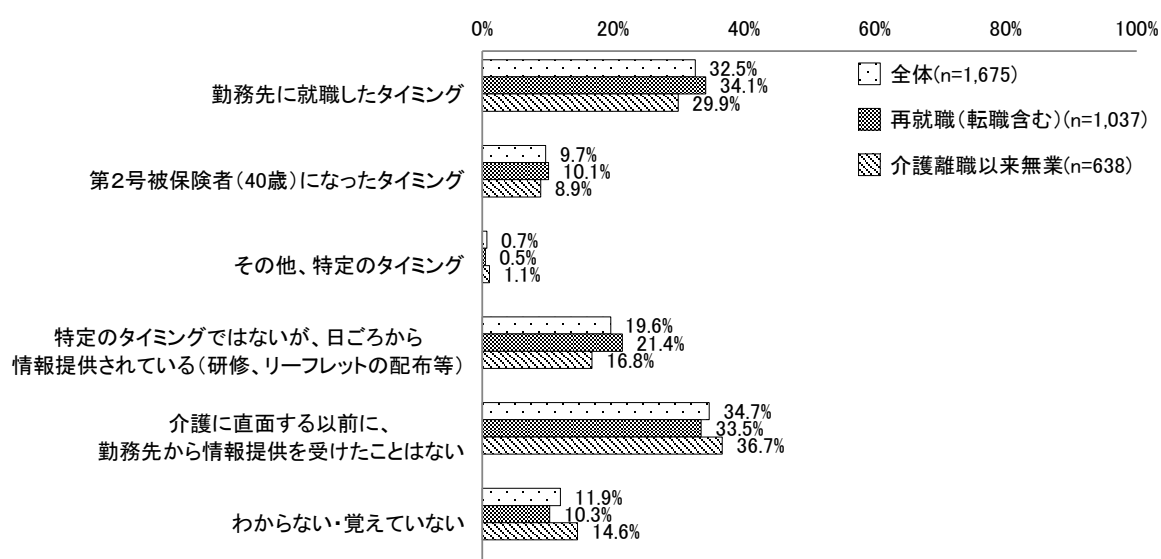
4-3. 介護や「仕事と介護の両立」に関する相談や情報収集について

(1) 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供

①両立支援制度について

手助・介護を始める以前に両立支援制度に関して職場からの情報提供があったかどうか、また、どのような機会に情報提供があったかをみると、「全体」では、「介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない」が 34.7%となっている。情報提供の機会としては、「勤務先に就職したタイミング」が 32.5%となっている。

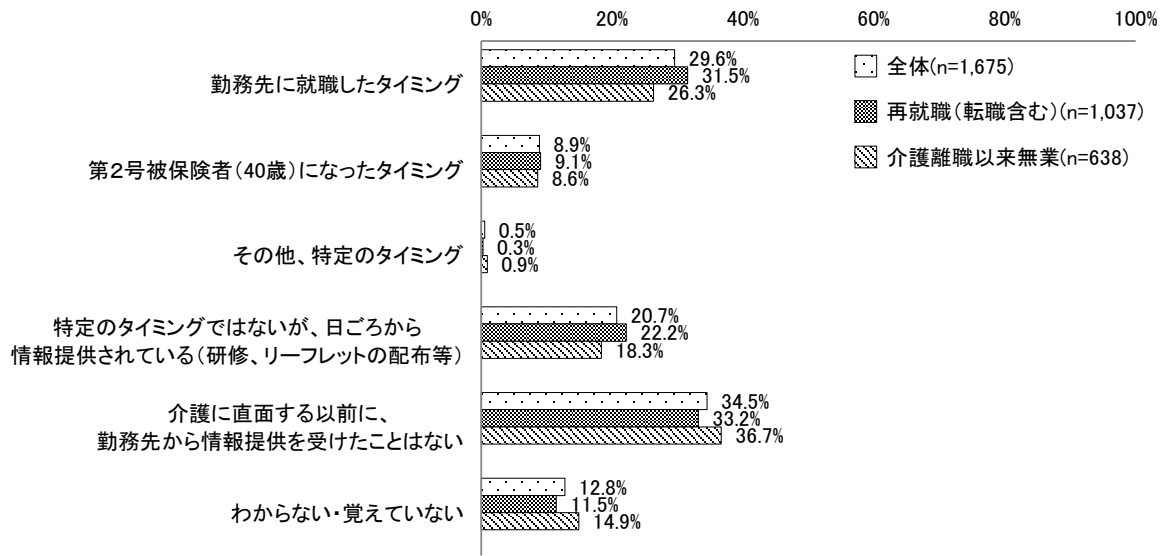
図表 140 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ①両立支援制度について：複数回答 (Q10S1)



②介護保険制度について

手助・介護を始める以前に介護保険制度に関して職場からの情報提供があったかどうか、また、どのような機会に情報提供があったかをみると、「全体」では、「介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない」が 34.5%となっている。情報提供の機会としては、「勤務先に就職したタイミング」が 29.6%となっている。

図表 141 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ②介護保険制度について：複数回答 (Q10S2)

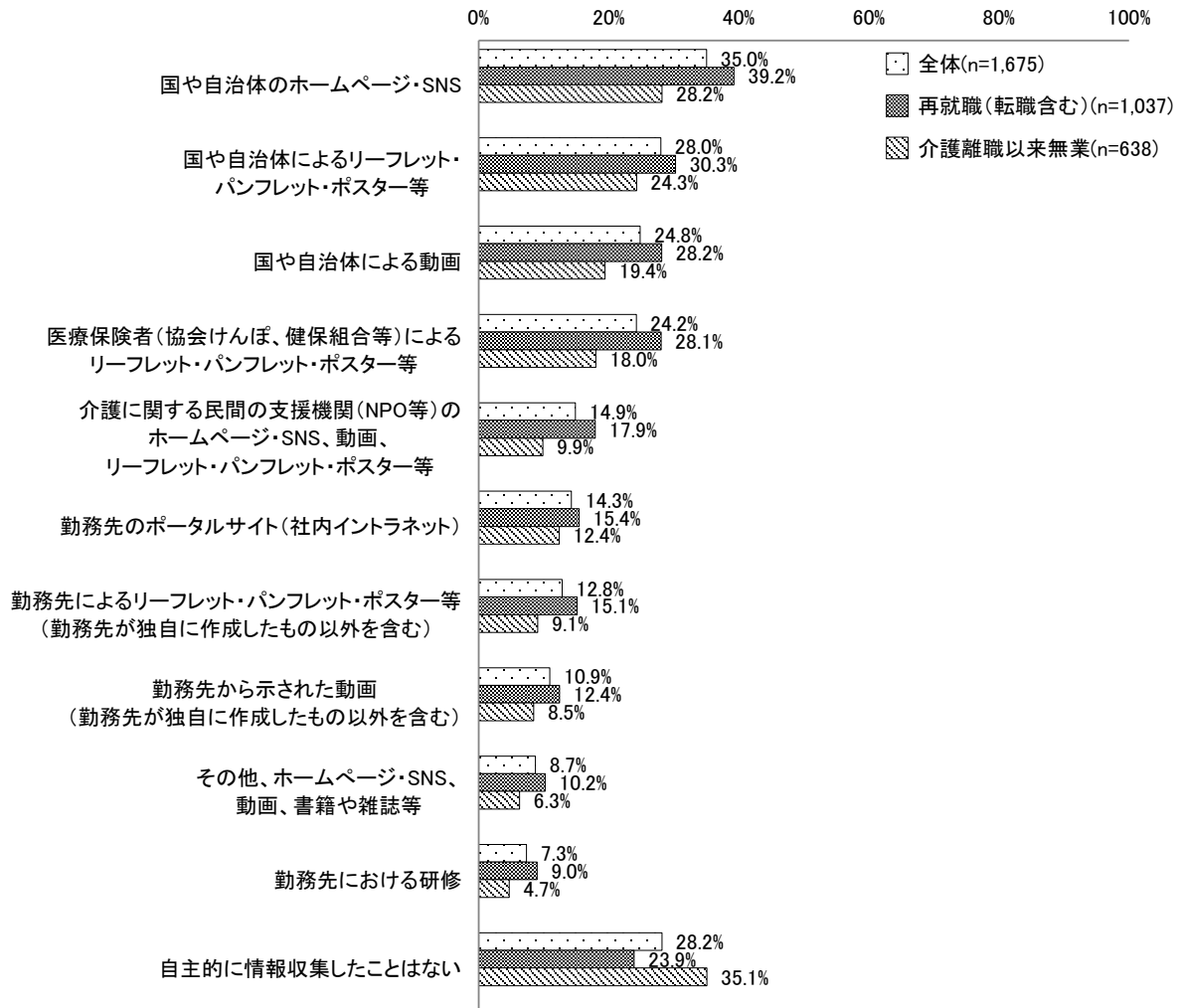


(2) 自主的に情報収集した経験

①両立支援制度について

手助・介護を始める以前・以後を問わず、両立支援制度に関して自主的に行った情報収集の経験をみると、「全体」では、「自主的に情報収集したことはない」が28.2%となっている。情報収集をした経験がある場合の情報収集先は、「国や自治体のホームページ・SNS」が35.0%、「国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等」が28.0%などとなっている。

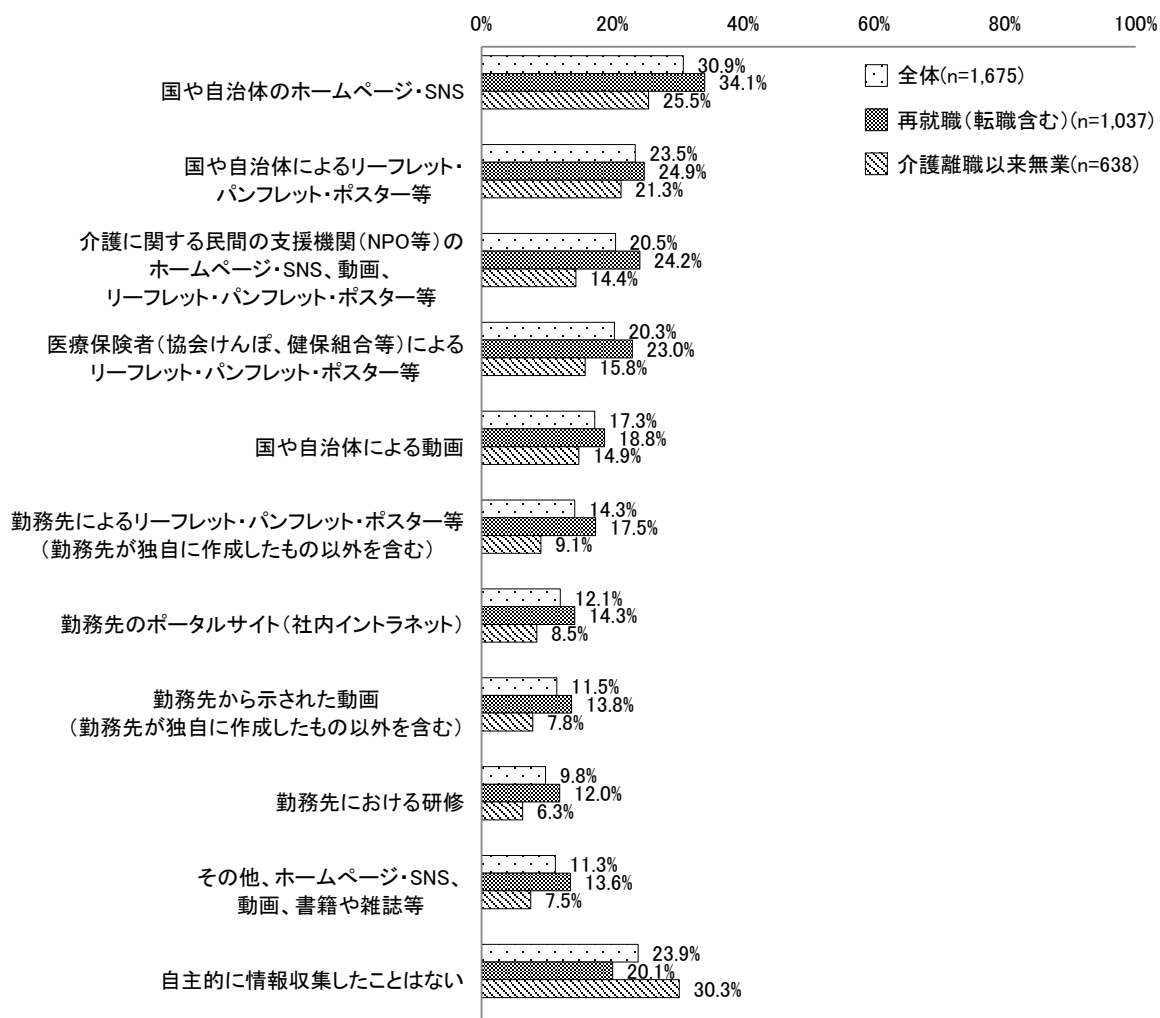
図表 142 自主的に情報収集した経験 ①両立支援制度について:複数回答 (Q11S1)



②介護保険制度について

手助・介護を始める以前・以後を問わず、介護保険制度に関して自主的に行った情報収集の経験をみると、「全体」では、「自主的に情報収集したことはない」が23.9%となっている。情報収集をした経験がある場合の情報収集先は、「国や自治体のホームページ・SNS」が30.9%、「国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等」が23.5%などとなっている。

図表 143 自主的に情報収集した経験 ②介護保険制度について：複数回答（Q11S2）

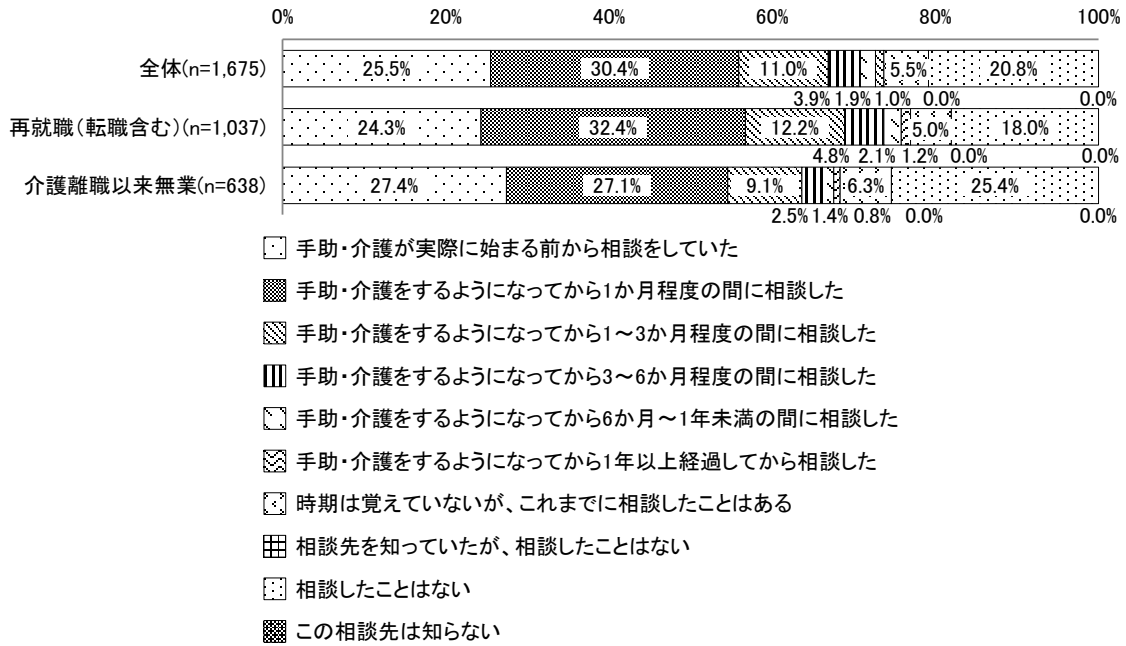


(3) 手助・介護に関する相談の状況

①手助・介護が必要な本人（被介護者）

手助・介護について、被介護者に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談したものが30.4%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた」が25.5%となっている。

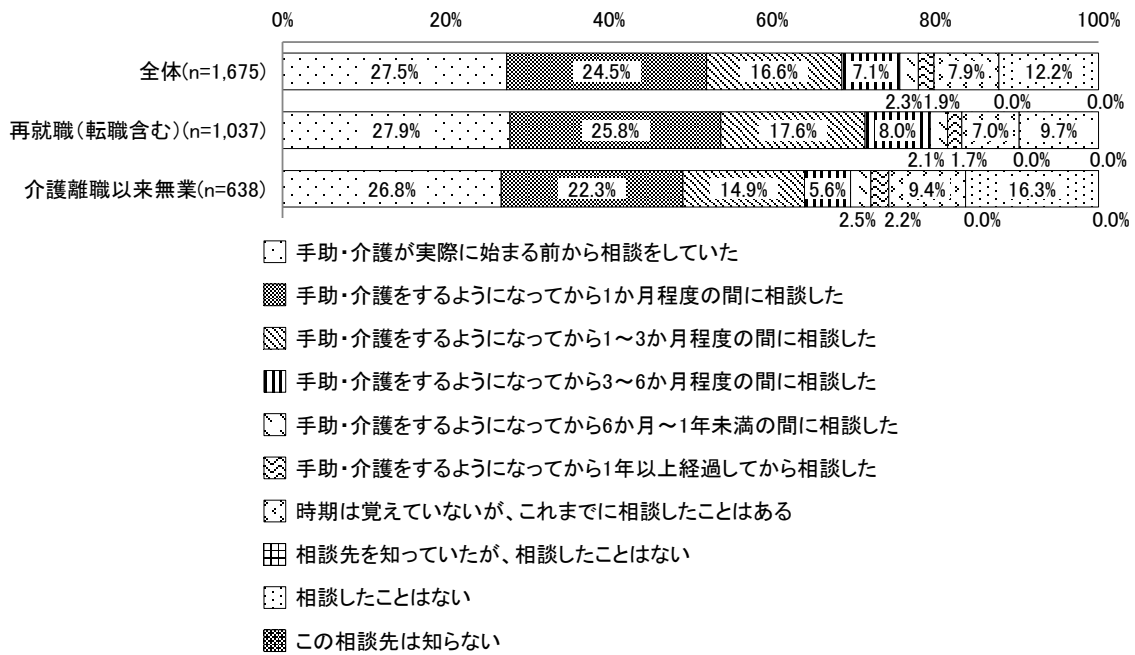
図表 144 手助・介護に関する相談の状況 ①手助・介護が必要な本人：単数回答（Q12S1）



②家族・親族

手助・介護について、家族・親族に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた」が27.5%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が24.5%となっている。

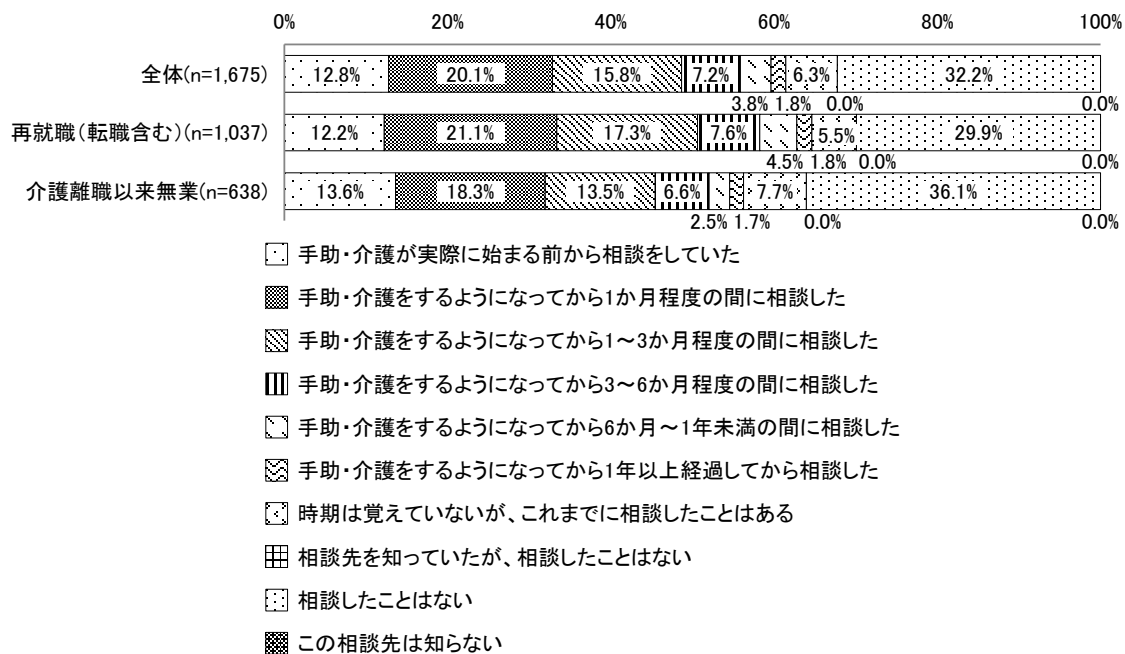
図表 145 手助・介護に関する相談の状況 ②家族・親族:単数回答 (Q12S2)



③友人・知人

手助・介護について、(回答者の)友人・知人に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談したことはない」が32.2%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が20.1%となっている。

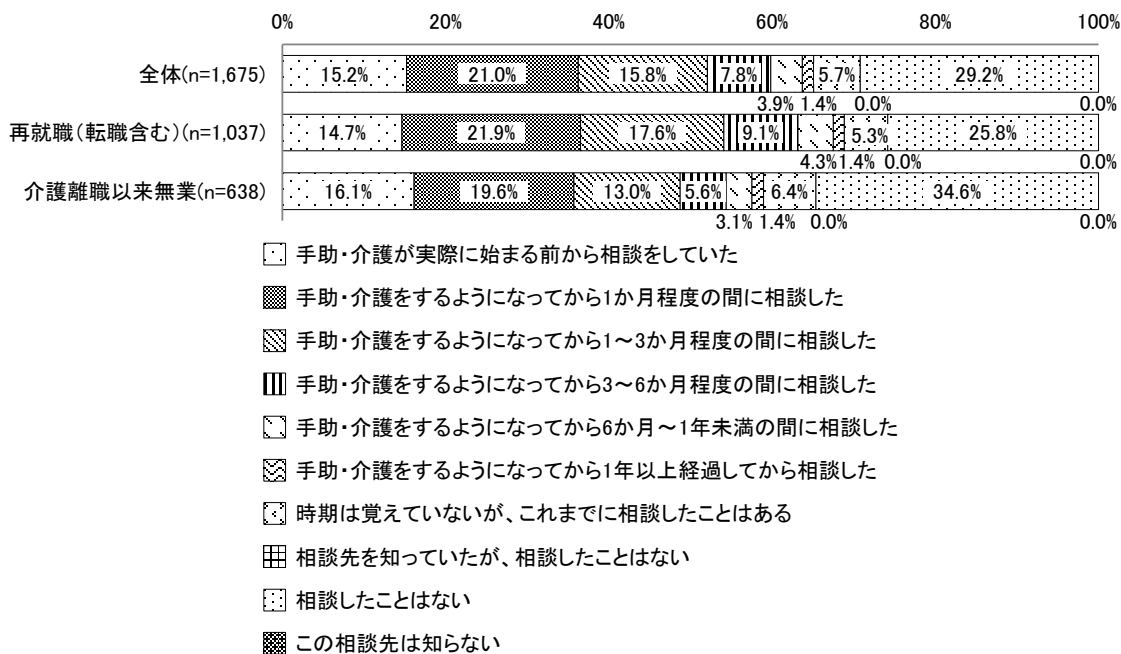
図表 146 手助・介護に関する相談の状況 ③友人・知人:単数回答 (Q12S3)



④勤務先

手助・介護について、勤務先に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「相談したことはない」が 29.2%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が 21.0%となっている。

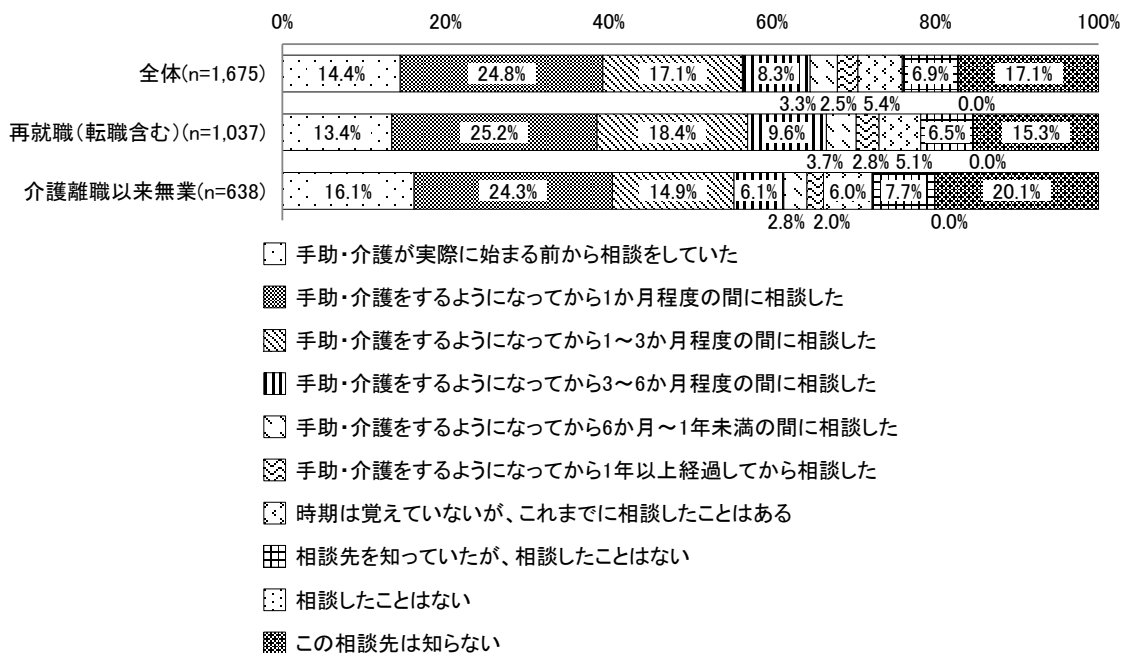
図表 147 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先：単数回答（Q12S4）



⑤市区町村の窓口

手助・介護について、市区町村の窓口で相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が24.8%でもっとも割合が高く、次いで「この相談先は知らない」が17.13%、「手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間」に相談した」が17.07%となっている。

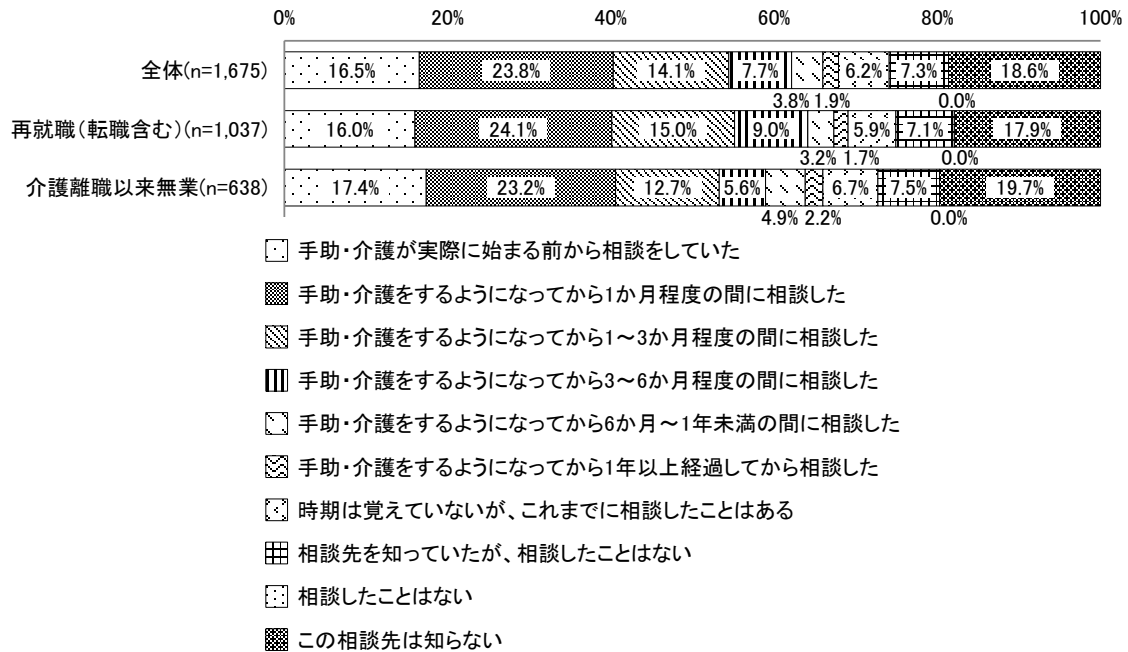
図表 148 手助・介護に関する相談の状況 ⑤市区町村の窓口：単数回答（Q12S5）



⑥病院の医療ソーシャルワーカー (MSW) や看護師

手助・介護について、病院の医療ソーシャルワーカー (MSW) や看護師に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が23.8%でもっとも割合が高く、次いで「この相談先は知らない」が18.6%となっている。

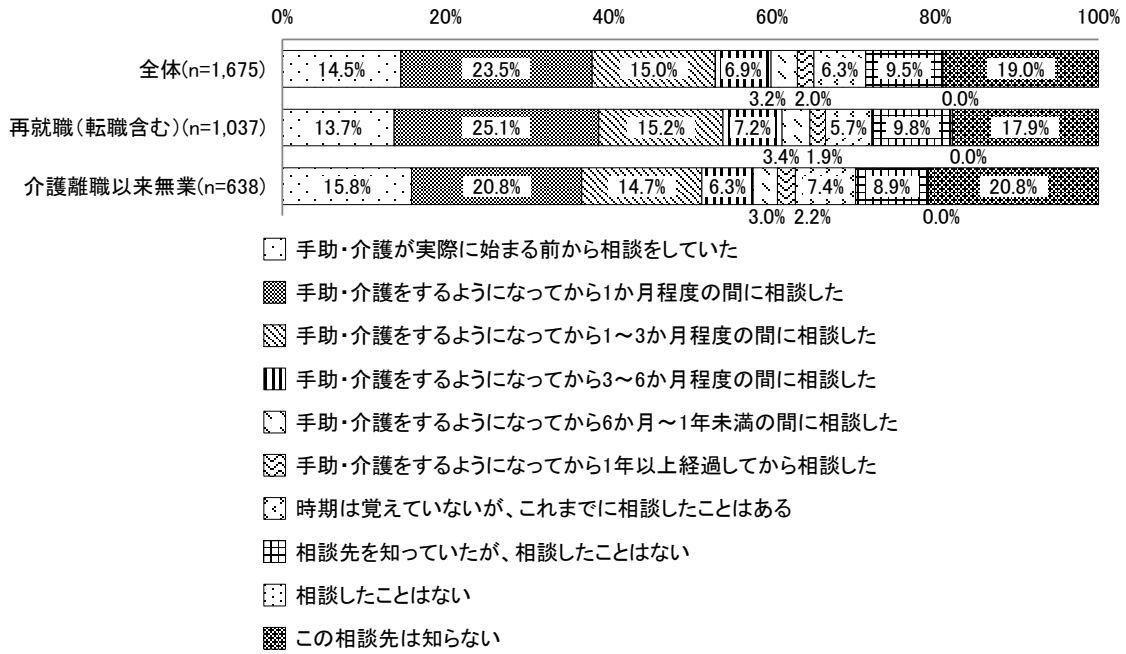
図表 149 手助・介護に関する相談の状況 ⑥病院の医療ソーシャルワーカー (MSW) や看護師:単数回答 (Q12S6)



⑦地域包括支援センター

手助・介護について、地域包括支援センターに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が23.5%でもっとも割合が高く、次いで「この相談先は知らない」が19.0%となっている。

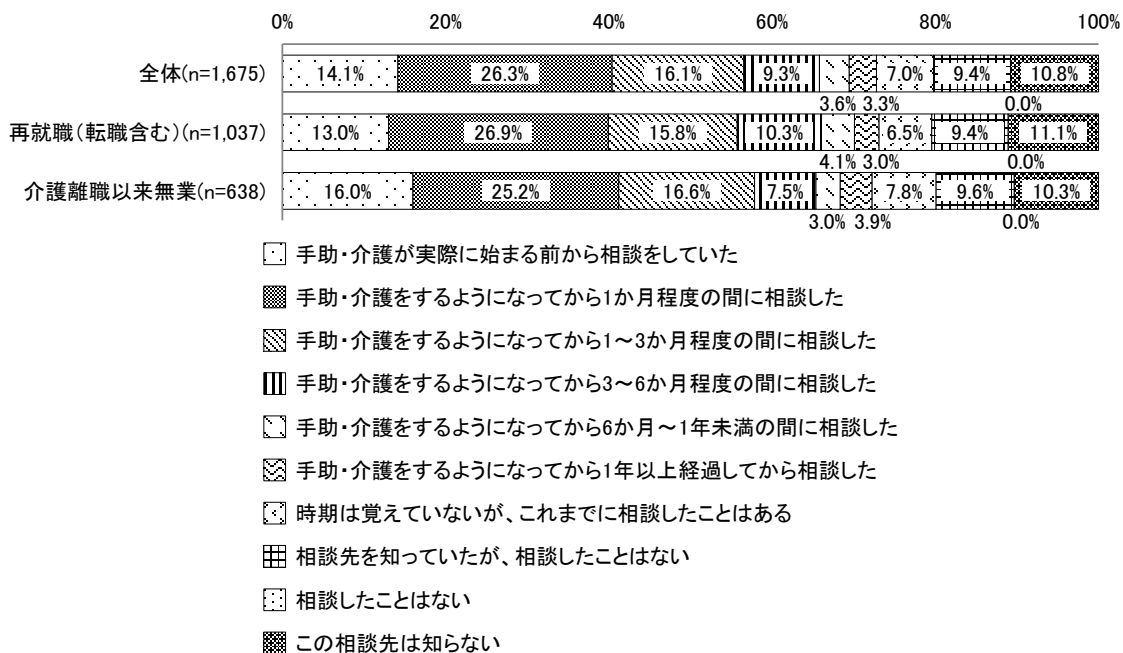
図表 150 手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター：単数回答（Q12S7）



⑧ケアマネジャー

手助・介護についてケアマネジャーに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が26.3%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間」に相談した」が16.1%となっている。

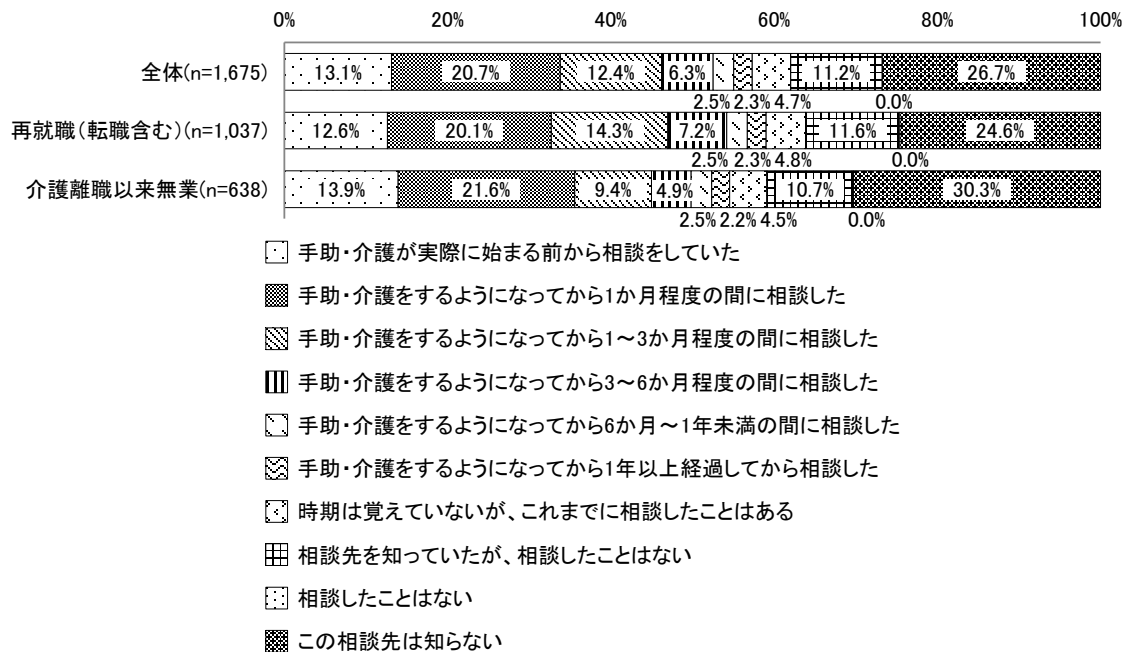
図表 151 手助・介護に関する相談の状況 ⑧ケアマネジャー：単数回答（Q12S8）



⑨相談支援専門員

手助・介護について、相談支援専門員に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が26.7%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が20.7%となっている。

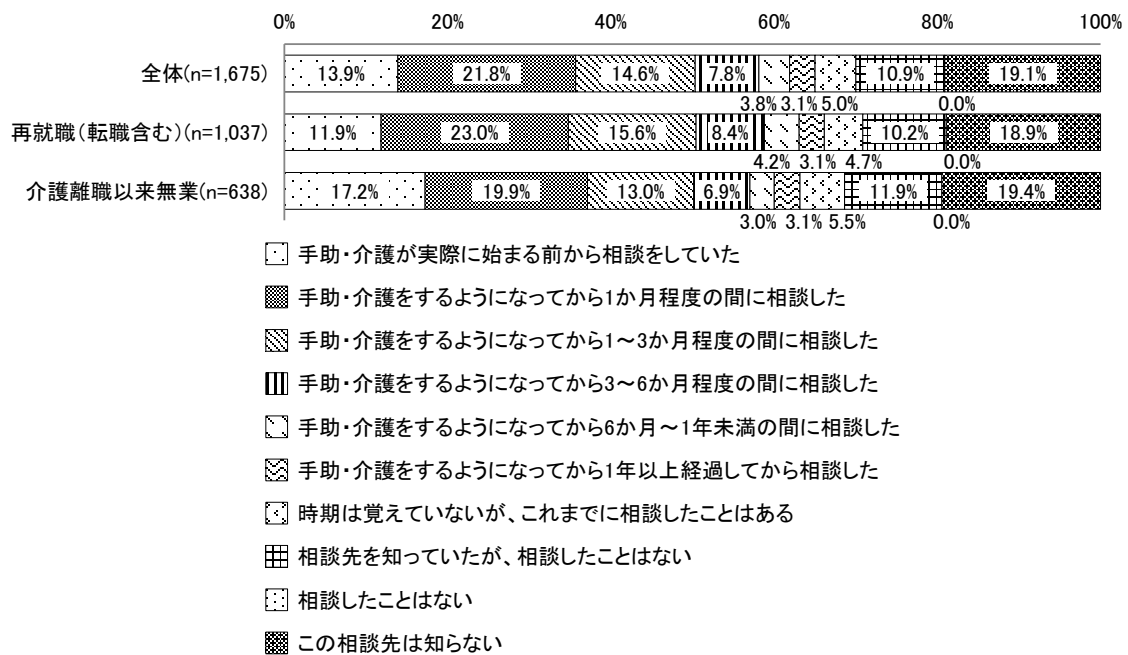
図表 152 手助・介護に関する相談の状況 ⑨相談支援専門員：単数回答（Q12S9）



⑩介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者

手助・介護について、介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が21.8%でもっとも割合が高く、次いで「この相談先は知らない」が19.1%となっている。

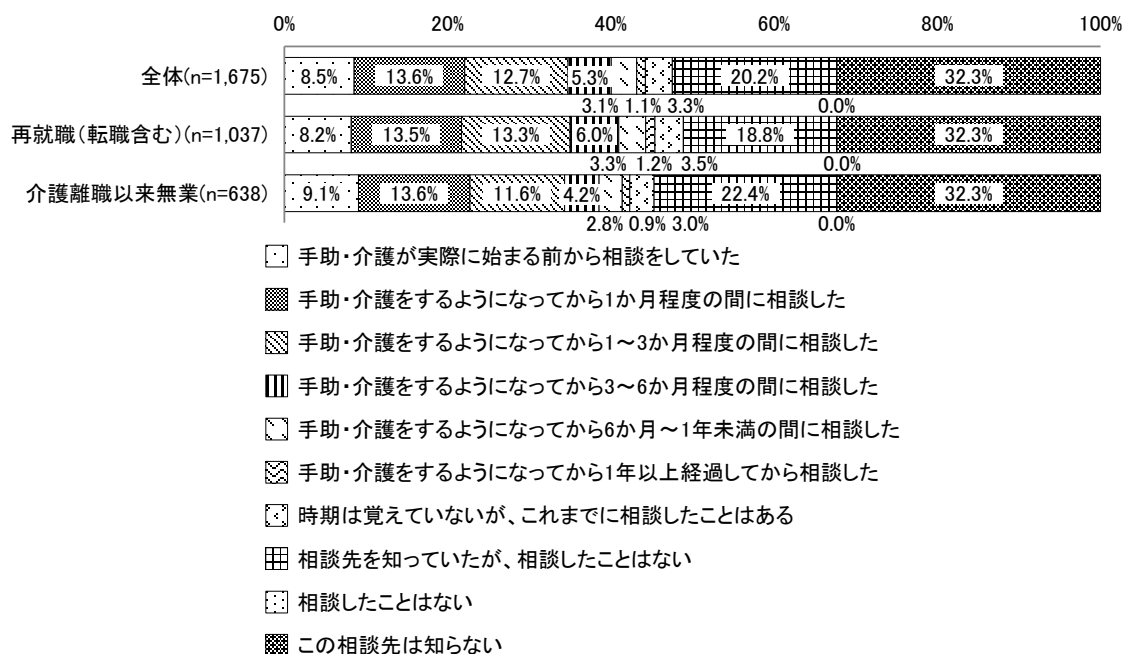
図表 153 介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者：単数回答（Q12S10）



⑪民生委員・児童委員

手助・介護について、民生委員・児童委員に相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が32.3%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が20.2%となっている。

図表 154 手助・介護に関する相談の状況 ⑪民生委員・児童委員：単数回答 (Q12S11)



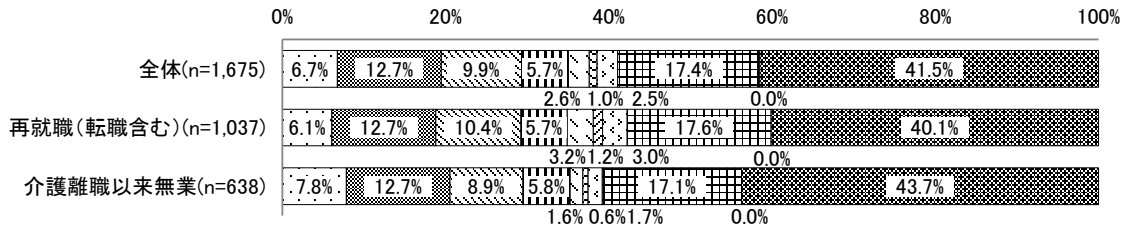
<数値表>

	合計	Q12S11.手助・介護に関する相談の状況 ⑪民生委員・児童委員										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,675	8.5	13.6	12.7	5.3	3.1	1.1	3.3	20.2	0.0	32.3	0.0
再就職(転職含む)	1,037	8.2	13.5	13.3	6.0	3.3	1.2	3.5	18.8	0.0	32.3	0.0
介護離職以来無業	638	9.1	13.6	11.6	4.2	2.8	0.9	3.0	22.4	0.0	32.3	0.0

⑫NPO・ボランティア

手助・介護について、NPO・ボランティアに相談をしたかどうか、いつごろから相談をしたかをみると、「全体」では、「この相談先は知らない」が41.5%でもっとも割合が高く、次いで「相談先を知っていたが、相談したことはない」が17.4%となっている。

図表 155 手助・介護に関する相談の状況 ⑫NPO・ボランティア:単数回答 (Q12S12)



- 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- 手助・介護をするようになってから1か月程度の間
- 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間
- 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間
- 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間
- 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから
- 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- 相談先を知っていたが、相談したことはない
- 相談したことはない
- この相談先は知らない

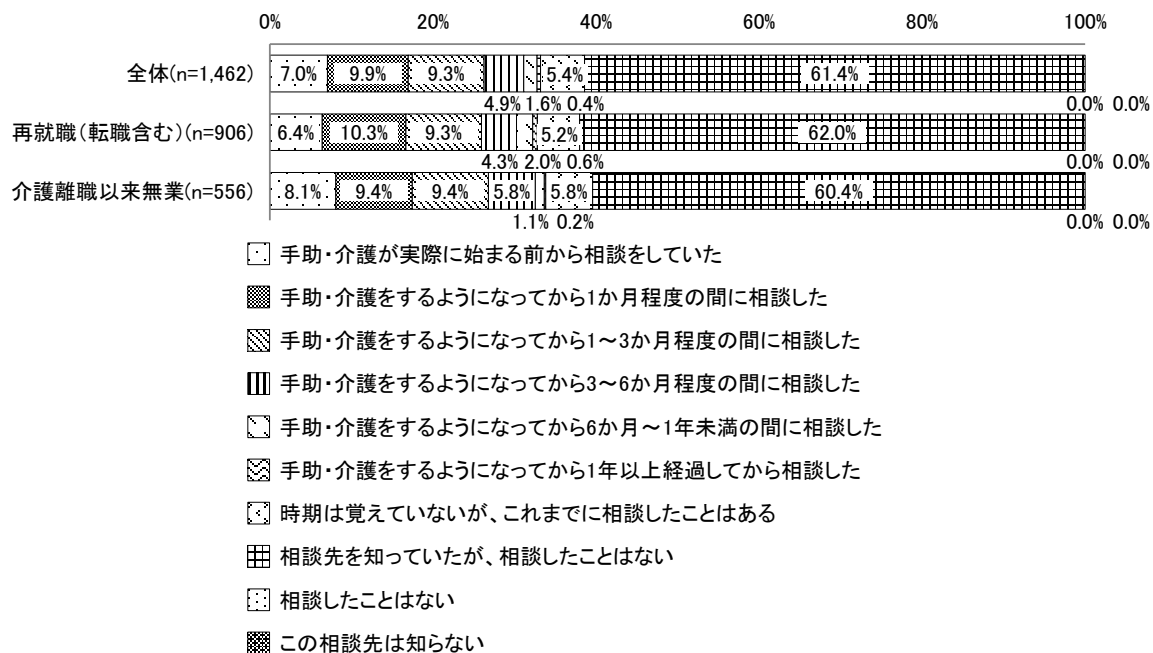
<数値表>

	合計	Q12S12.手助・介護に関する相談の状況 ⑫NPO・ボランティア										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,675	6.7	12.7	9.9	5.7	2.6	1.0	2.5	17.4	0.0	41.5	0.0
再就職(転職含む)	1,037	6.1	12.7	10.4	5.7	3.2	1.2	3.0	17.6	0.0	40.1	0.0
介護離職以来無業	638	7.8	12.7	8.9	5.8	1.6	0.6	1.7	17.1	0.0	43.7	0.0

⑬その他の窓口

手助・介護について、①～⑫以外の相談先に相談をしたことがあるか、いつごろから相談をしたかを見ると、「全体」では、「相談先を知っていたが、相談したことはない」が61.4%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護をするようになってから1か月程度の間」に相談した」が9.9%となっている。

図表 156 手助・介護に関する相談の状況 ⑬その他の窓口：単数回答（Q12S13）



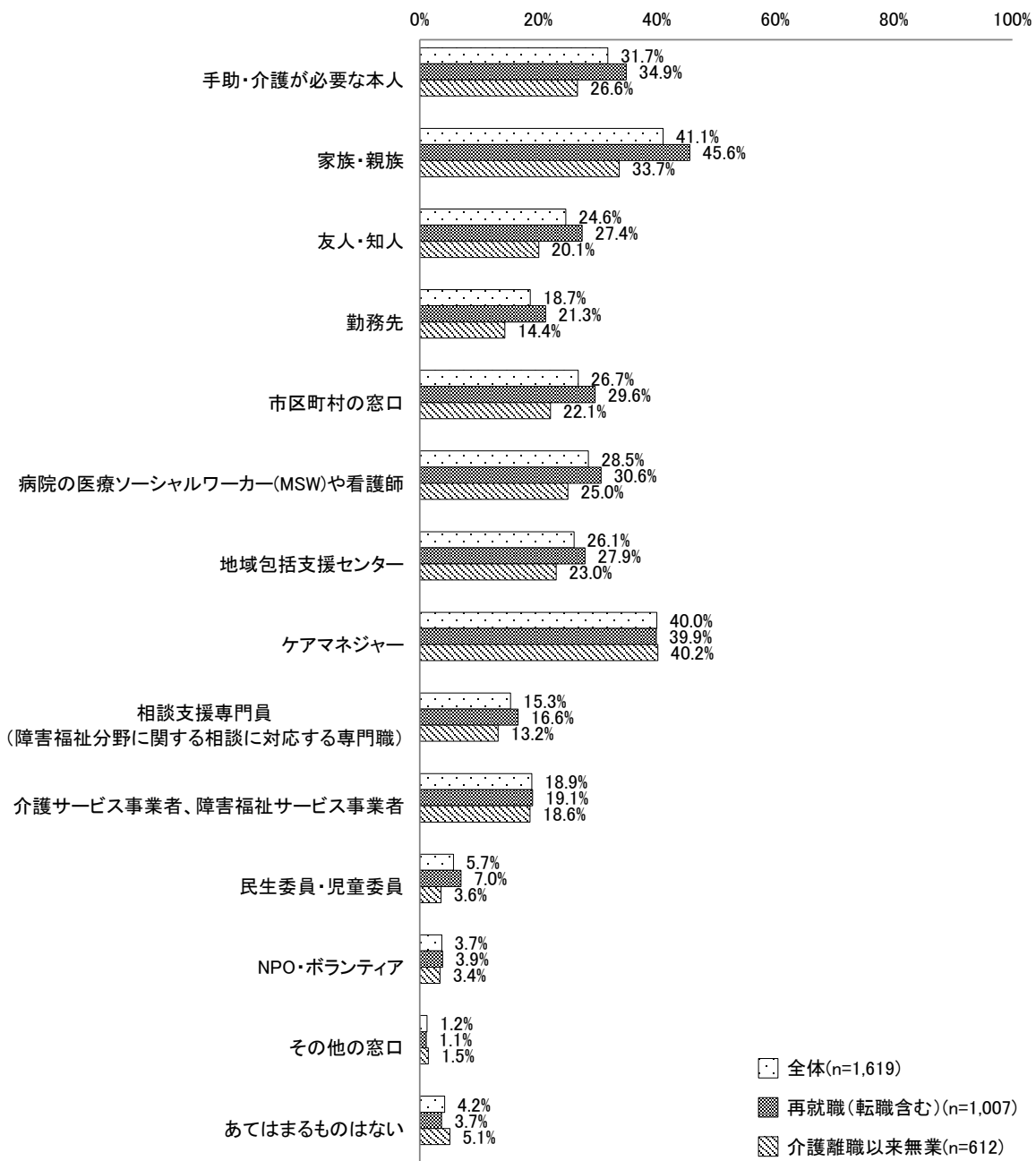
<数値表>

	合計	Q12S13.手助・介護に関する相談の状況 ⑬その他の窓口										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
全体	1,462	7.0	9.9	9.3	4.9	1.6	0.4	5.4	61.4	0.0	0.0	0.0
再就職(転職含む)	906	6.4	10.3	9.3	4.3	2.0	0.6	5.2	62.0	0.0	0.0	0.0
介護離職以来無業	556	8.1	9.4	9.4	5.8	1.1	0.2	5.8	60.4	0.0	0.0	0.0

(4) 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先

手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先をみると、「全体」では、「家族・親族」が41.1%でもっとも割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が40.0%となっている。

図表 157 手助・介護に関する相談先のうち、相談して役に立った・助けになったと思う相談先:複数回答 (Q13)

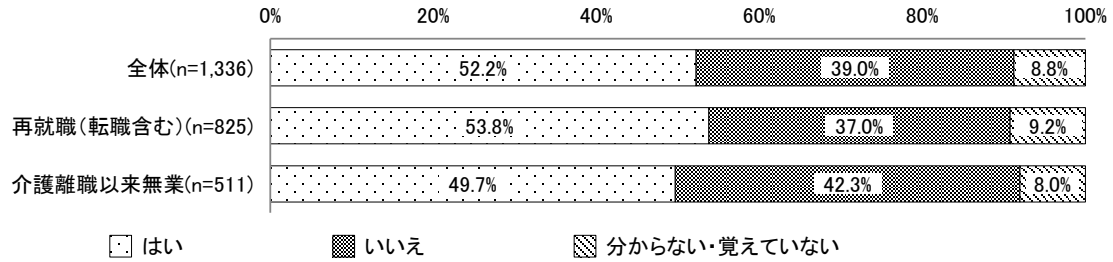


(5) ケアマネジャーへの相談の状況

①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)かどうかをみると、「全体」では「はい」が52.2%、「いいえ」が39.0%となっている。

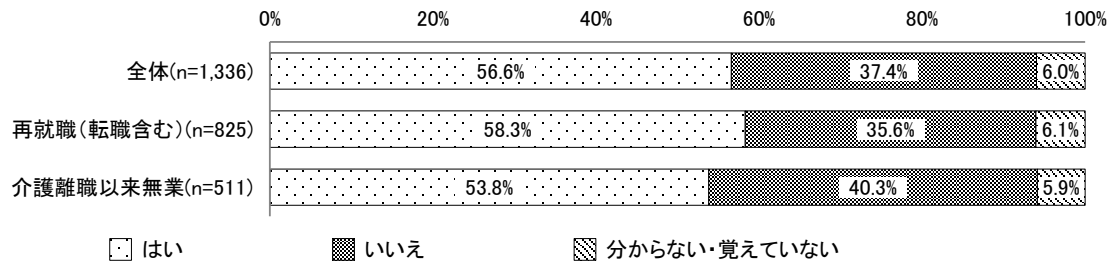
図表 158 ケアマネジャーへの相談の状況 ①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えている(いた)か:単数回答(Q14S1)



②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある(あった)か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある(あった)かどうかをみると、「全体」では「はい」が56.6%、「いいえ」が37.4%となっている。

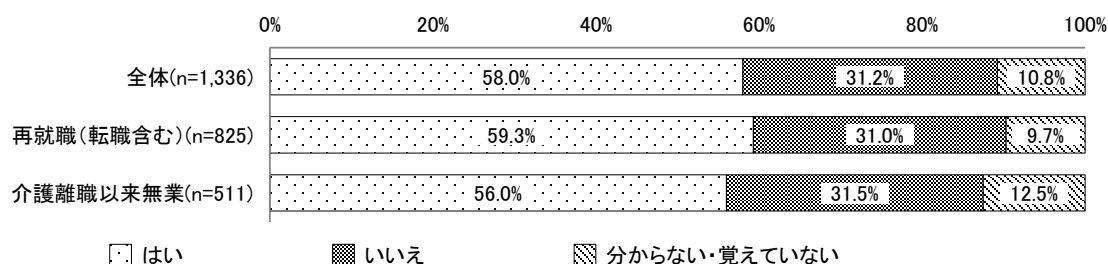
図表 159 ケアマネジャーへの相談の状況 ②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがある(あった)か:単数回答(Q14S2)



③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）かどうかをみると、「全体」では「はい」が58.0%、「いいえ」が31.2%となっている。

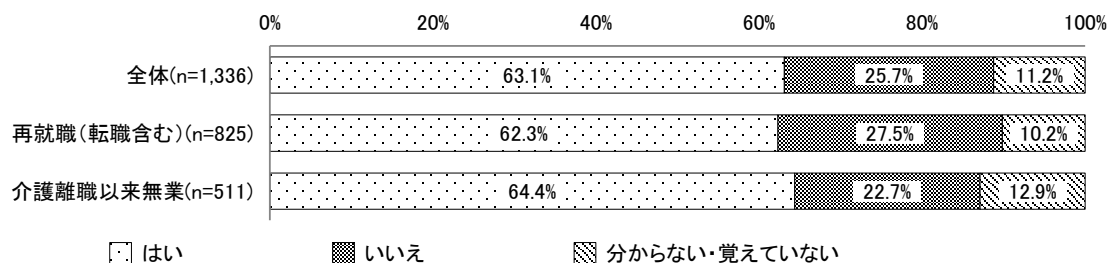
図表 160 ケアマネジャーへの相談の状況 ③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがある（あった）か：単数回答（Q14S3）



④ケアマネジャーとの間で、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）か

ケアマネジャーへの相談状況として、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）かどうかをみると、「全体」では「はい」が63.1%、「いいえ」が25.7%となっている。

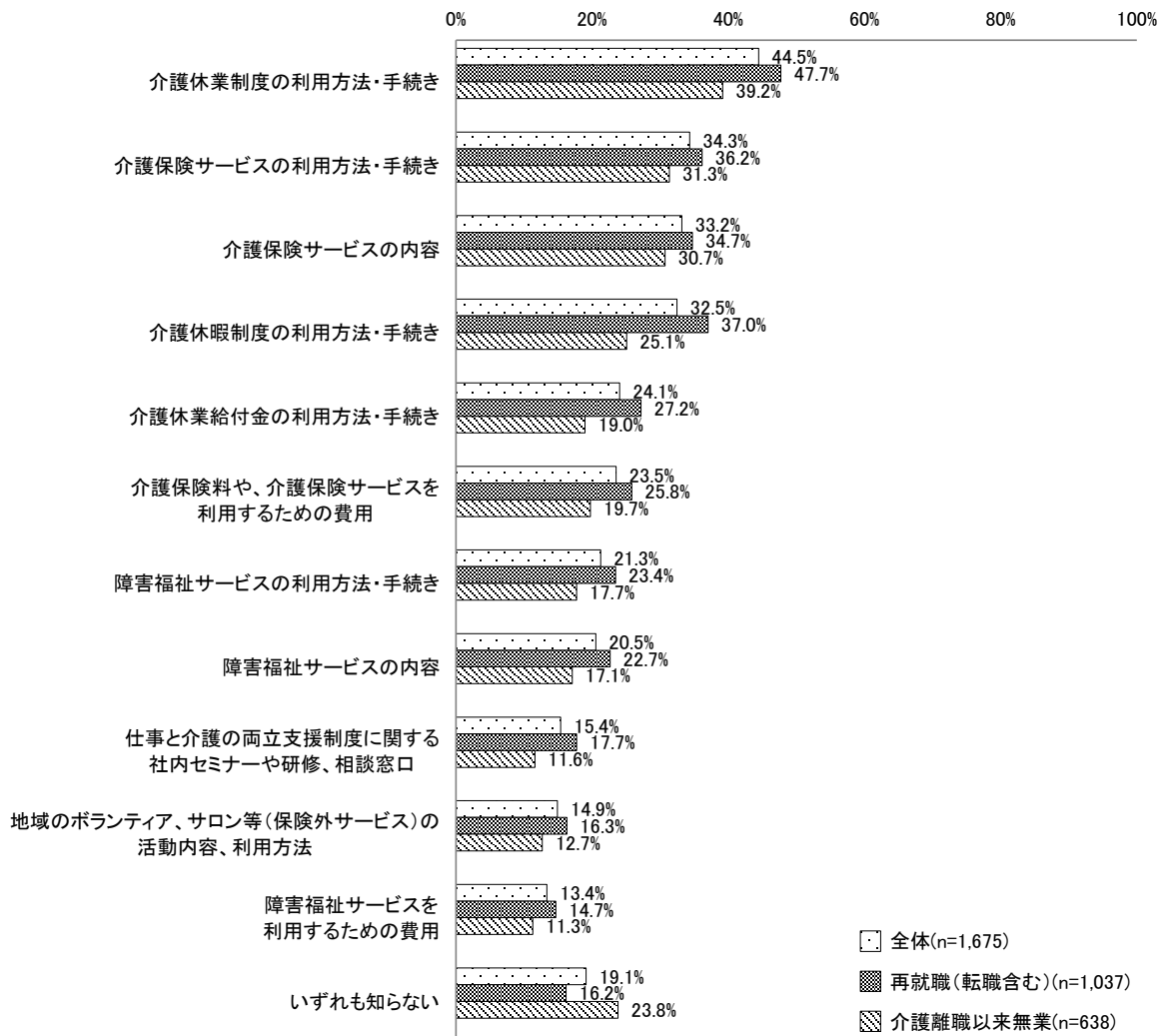
図表 161 ケアマネジャーへの相談の状況 ④ケアマネジャーとの間で、あなた自身のことを相談しやすい雰囲気や関係性がある（あった）か：単数回答（Q14S4）



(6) 両立支援制度や介護保険制度の認知状況

手助・介護を理由として離職した当時の両立支援制度や介護保険制度の認知状況をみると、「全体」では、「介護休業制度の利用方法・手続き」が44.5%でもっとも割合が高く、次いで「介護保険サービスの利用方法・手続き」が34.3%、「介護保険サービスの内容」が33.2%などとなっている。

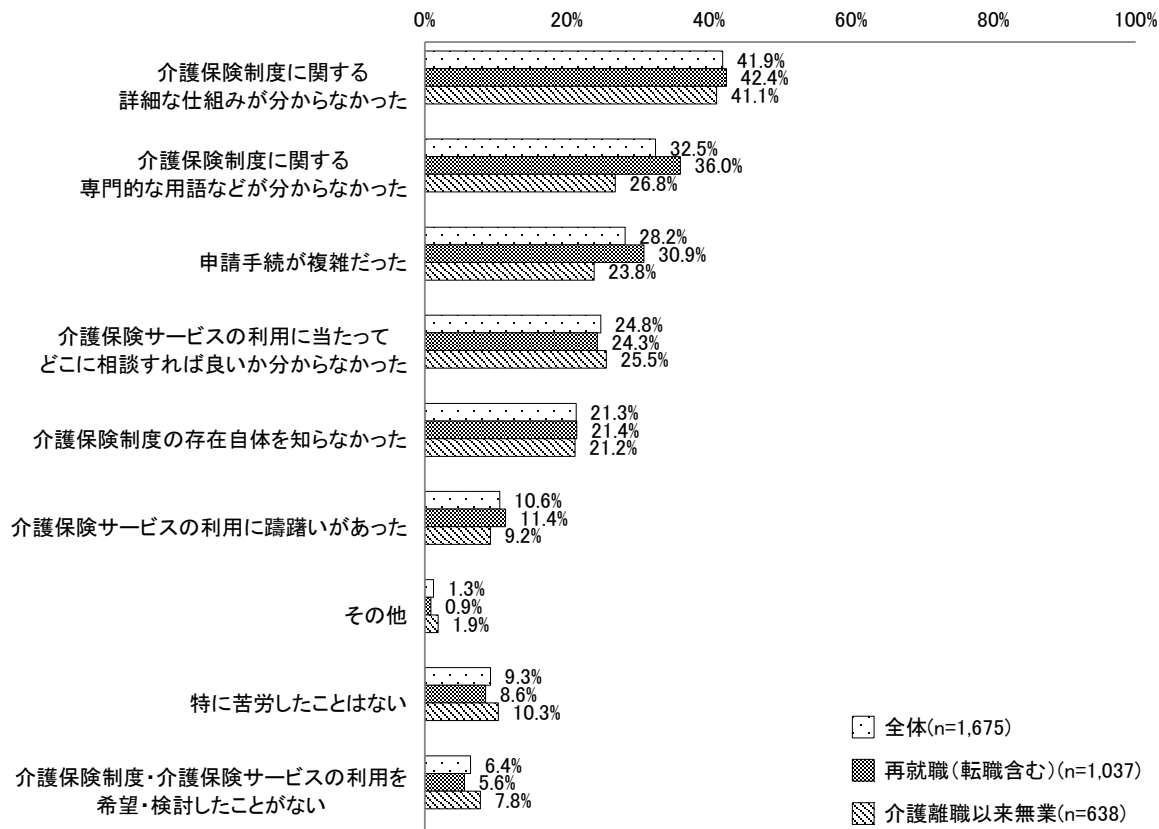
図表 162 両立支援制度や介護保険制度の認知状況：複数回答（Q15）



(7) 介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したこと

介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したことをみると、「全体」では、「介護保険制度に関する詳細な仕組みが分からなかった」が41.9%でもっとも割合が高く、次いで「介護保険制度に関する専門的な用語などが分からなかった」が32.5%となっている。

図表 163 介護保険制度・介護保険サービスの利用において苦労したこと：複数回答（Q16）

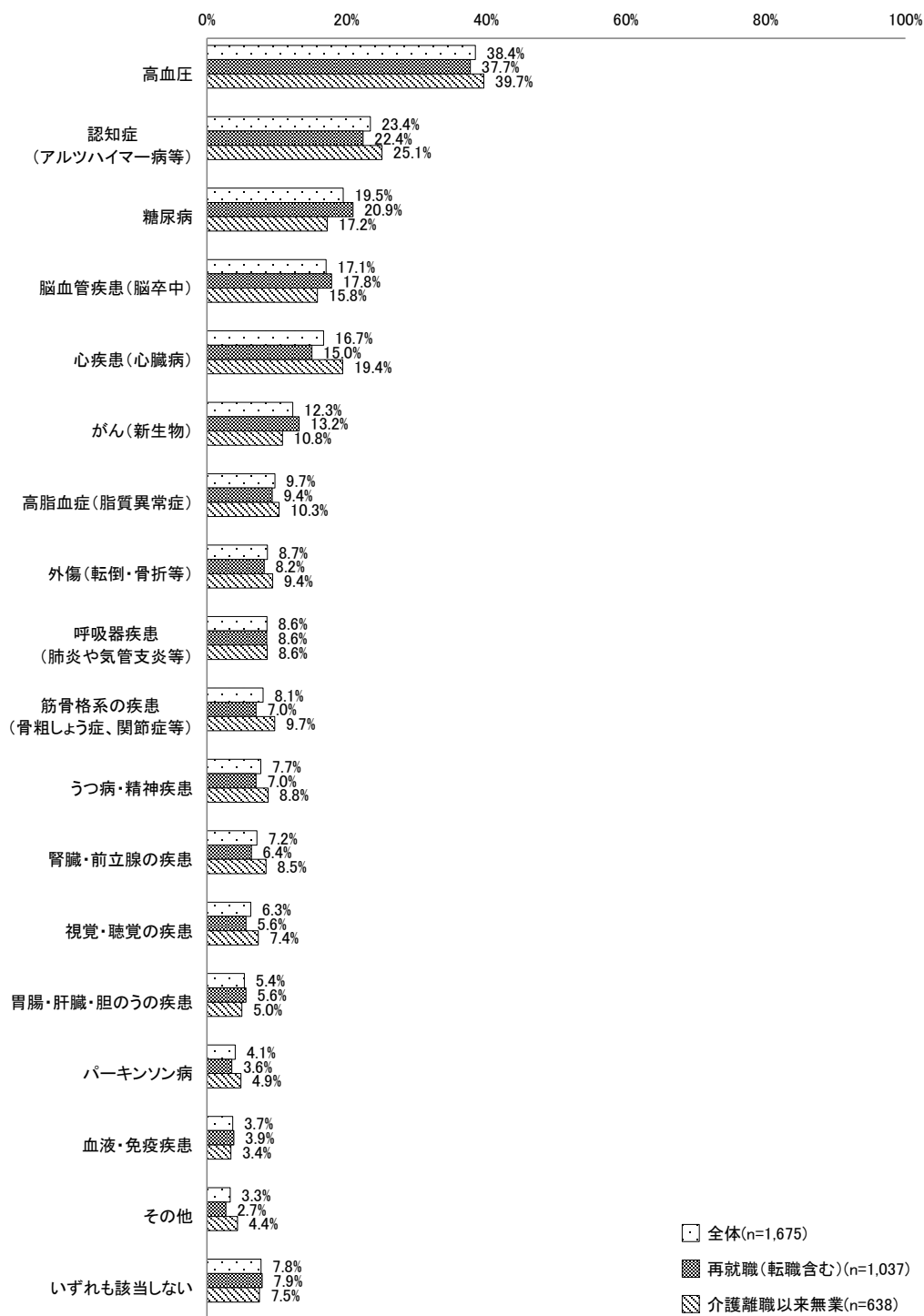


4-4. 介護の状況、介護保険サービスの利用状況

(1) 被介護者の疾患

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の疾患の状況を見ると、「全体」では、「高血圧」が38.4%でもっとも割合が高く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」が23.4%となっている。

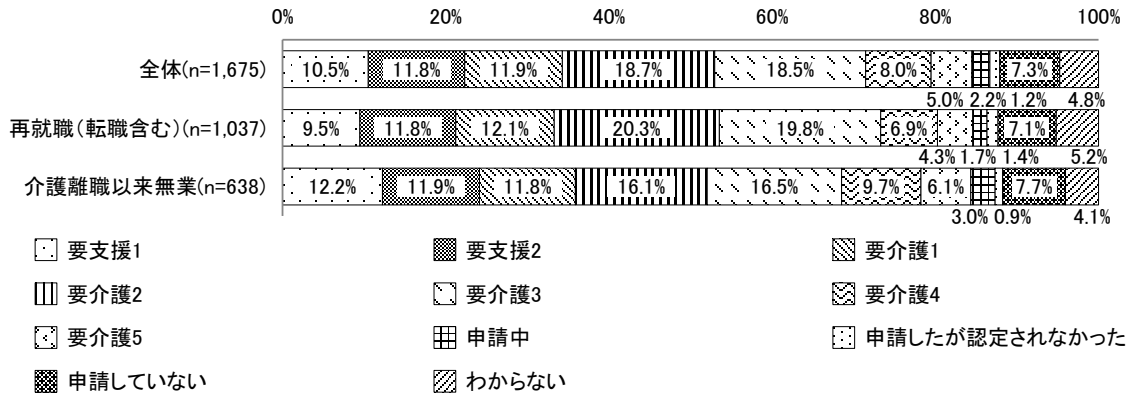
図表 164 被介護者の疾患：複数回答（Q17）



(2) 被介護者の要介護度

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の要介護度をみると、「全体」では、「要介護2」が18.7%でもっとも割合が高く、次いで「要介護3」が18.5%となっている。

図表 165 被介護者の要介護度：単数回答 (Q18)



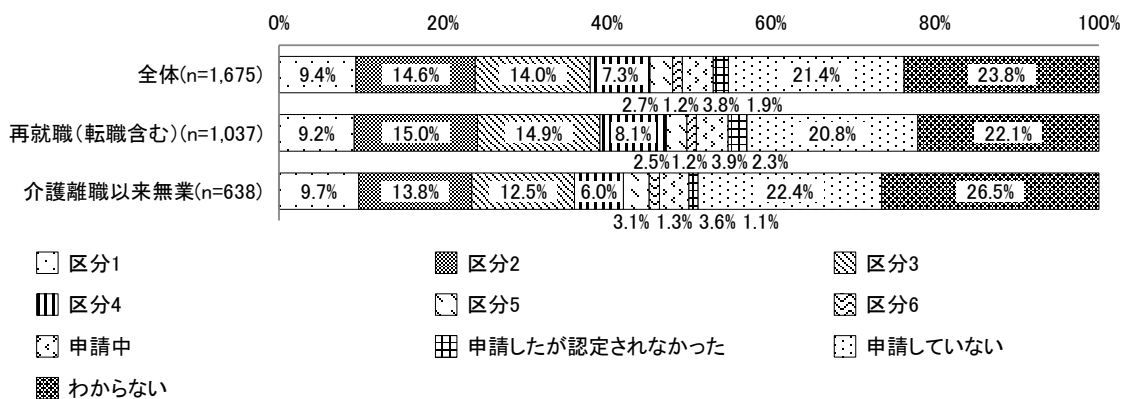
<数値表>

	合計	Q18.被介護者の要介護度											
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
全体	1,675	10.5	11.8	11.9	18.7	18.5	8.0	5.0	2.2	1.2	7.3	4.8	0.0
再就職(転職含む)	1,037	9.5	11.8	12.1	20.3	19.8	6.9	4.3	1.7	1.4	7.1	5.2	0.0
介護離職以来無業	638	12.2	11.9	11.8	16.1	16.5	9.7	6.1	3.0	0.9	7.7	4.1	0.0

(3) 被介護者の障害支援区分

手助・介護を理由として離職した当時の障害支援区分をみると、「全体」では、「わからない」が23.8%でもっとも割合が高く、次いで「申請していない」が21.4%となっている。

図表 166 被介護者の障害支援区分：単数回答 (Q19)



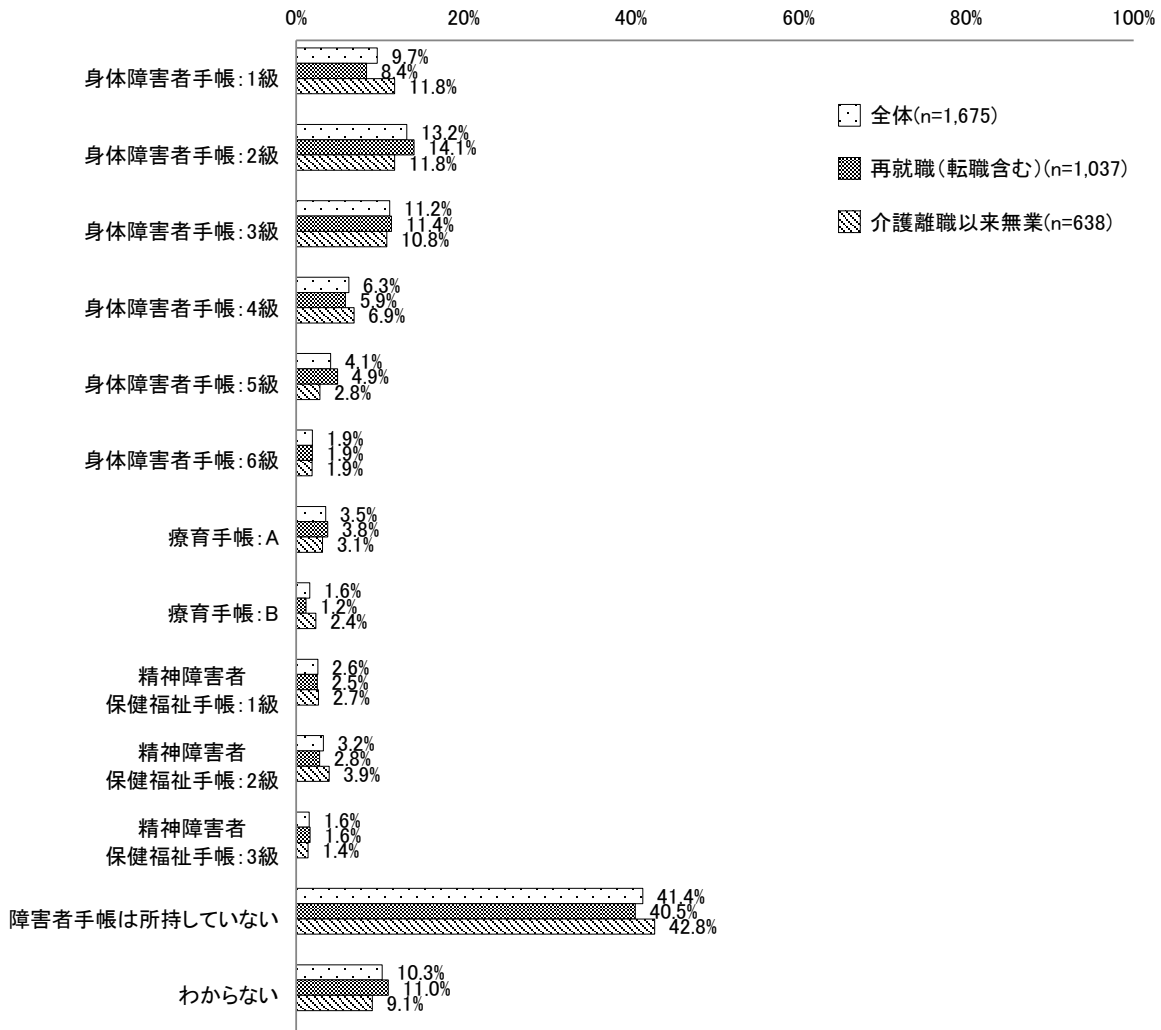
<数値表>

	合計	Q19.被介護者の障害支援区分										
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
全体	1,675	9.4	14.6	14.0	7.3	2.7	1.2	3.8	1.9	21.4	23.8	0.0
再就職(転職含む)	1,037	9.2	15.0	14.9	8.1	2.5	1.2	3.9	2.3	20.8	22.1	0.0
介護離職以来無業	638	9.7	13.8	12.5	6.0	3.1	1.3	3.6	1.1	22.4	26.5	0.0

(4) 被介護者の障害者手帳の所持状況

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の障害者手帳の所持状況をみると、「全体」では、「障害者手帳は所持していない」が41.4%でもっとも割合が高くなっている。手帳を所持している場合には、「身体障害者手帳：2級」が13.2%、「身体障害者手帳：3級」が11.2%などとなっている。

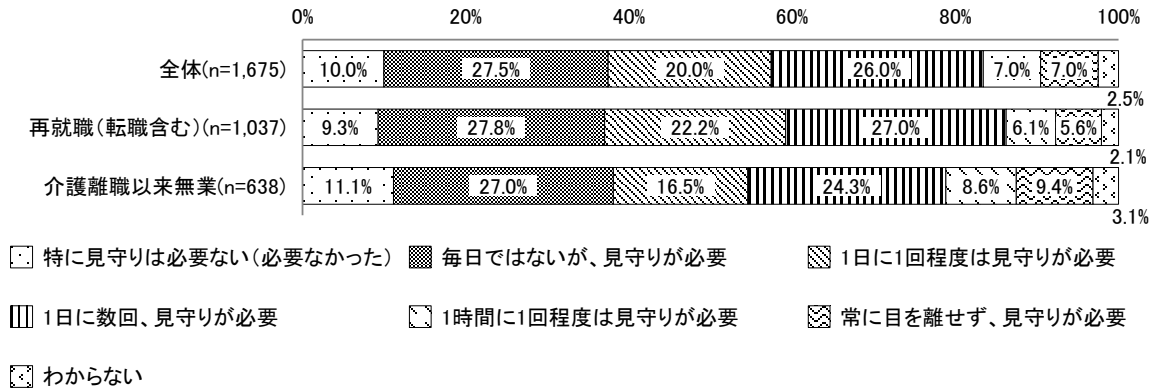
図表 167 被介護者の障害者手帳の所持状況：複数回答（Q20）



(5) 被介護者の見守りの必要性

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の見守りの必要性をみると、「全体」では、「毎日ではないが、見守りが必要」が27.5%でもっとも割合が高く、次いで「1日に数回、見守りが必要」が26.0%となっている。

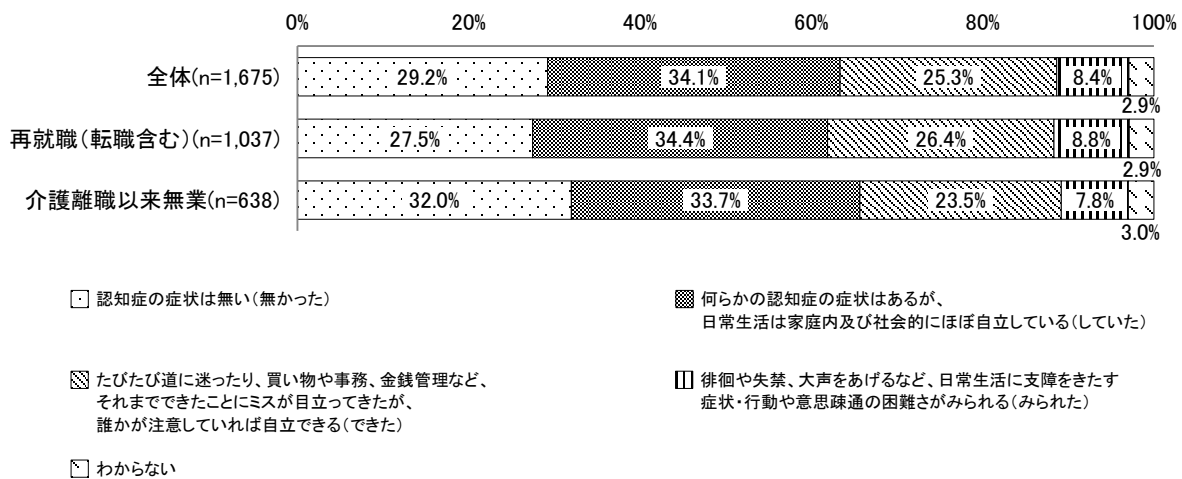
図表 168 被介護者の見守りの必要性:単数回答 (Q21)



(6) 被介護者の認知症の状況

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の認知症の状況をみると、「全体」では、「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している(していた)」が34.1%でもっとも割合が高く、次いで「認知症の症状は無い(無かった)」が29.2%となっている。

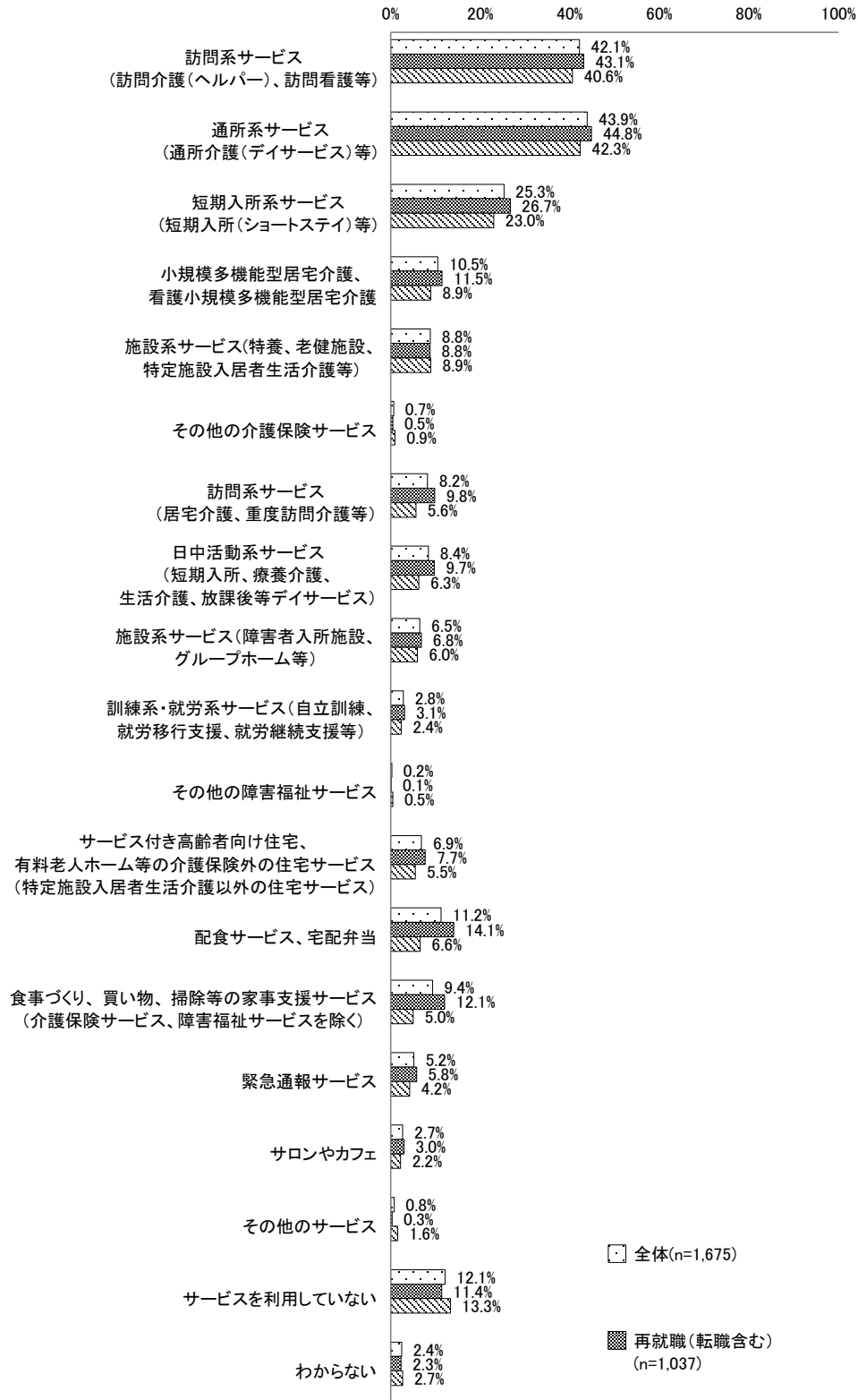
図表 169 被介護者の認知症の状況:単数回答 (Q22)



(7) 利用している（していた）サービス

手助・介護を理由として離職した当時に利用していたサービスを見ると、「全体」では、「通所系サービス(通所介護(デイサービス)等)」が43.9%でもっとも割合が高く、次いで「訪問系サービス(訪問介護(ヘルパー)、訪問看護等)」が42.1%となっている。

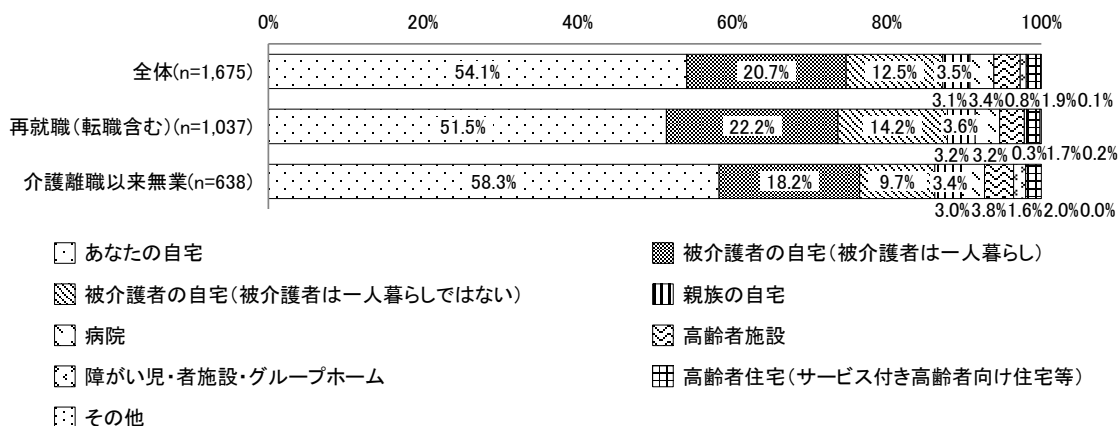
図表 170 利用している（していた）サービス:複数回答 (Q23)



(8) 被介護者の生活場所

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の生活場所をみると、「全体」では、「あなたの自宅」(回答者の自宅)が54.1%でもっとも割合が高く、次いで「被介護者の自宅(被介護者は一人暮らし)」が20.7%となっている。

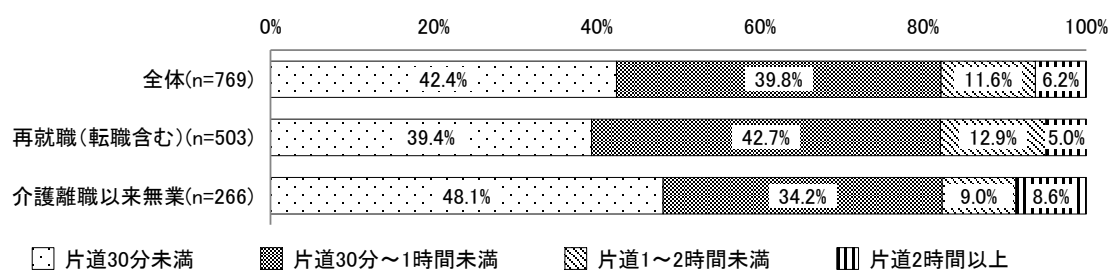
図表 171 被介護者の生活場所:単数回答 (Q24)



(9) 被介護者の生活場所への移動時間

手助・介護を理由として離職した当時の被介護者の生活場所への移動時間をみると、「全体」では、「片道30分未満」が42.4%でもっとも割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が39.8%となっている。

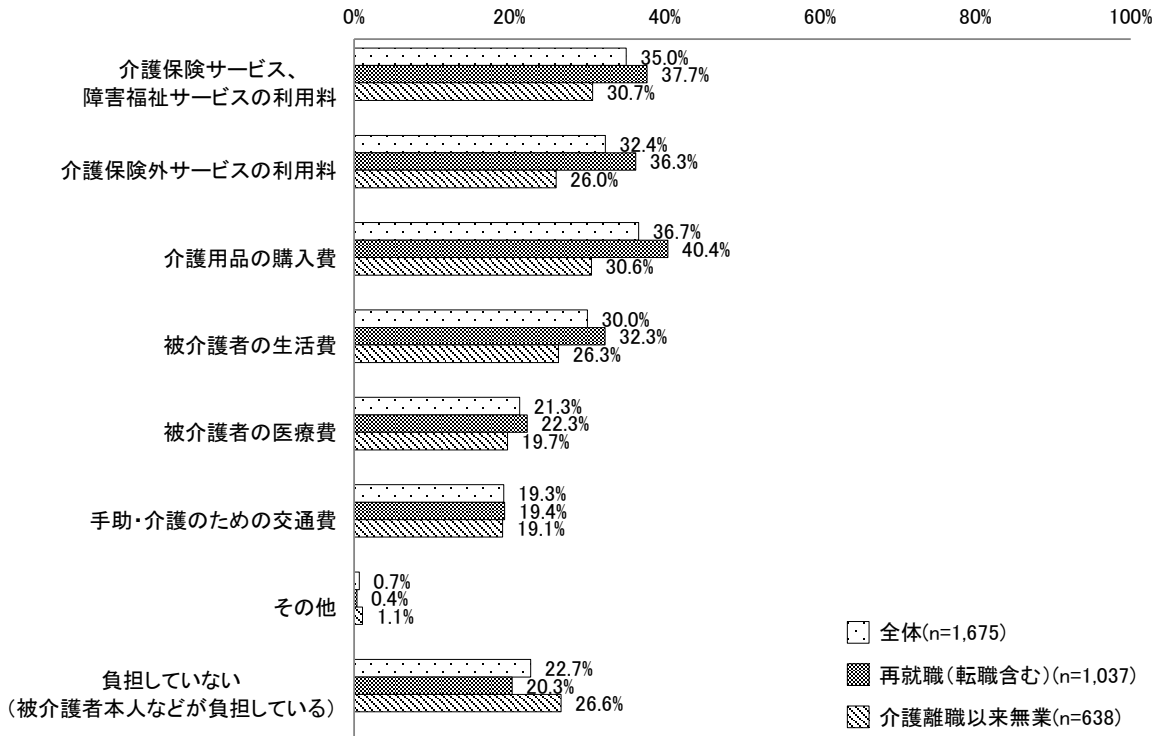
図表 172 被介護者の生活場所への移動時間:単数回答 (Q25)



(10) 手助・介護に関わる費用で負担している（していた）もの

手助・介護を理由として離職したときに手助・介護に関わる費用として回答者が負担していたものをみると、「全体」では、「介護用品の購入費」が36.7%でもっとも割合が高く、次いで「介護保険サービス、障害福祉サービスの利用料」が35.0%となっている。

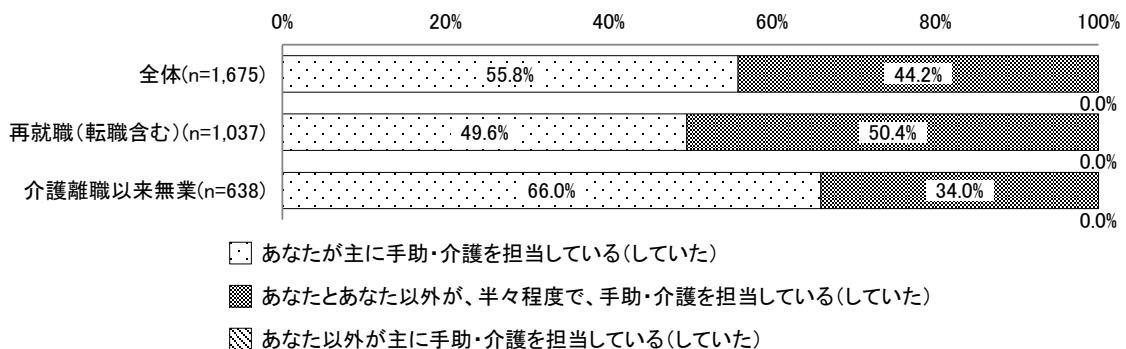
図表 173 手助・介護に関わる費用で負担している（していた）もの：複数回答（Q26）



(11) 手助・介護の主担当

手助・介護を理由として離職した当時の手助・介護の担当状況を見ると、「全体」では、「あなたが主に手助・介護を担当している（していた）」が55.8%でもっとも割合が高く、次いで「あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）」が44.2%となっている。

図表 174 手助・介護の主担当：単数回答（Q27）

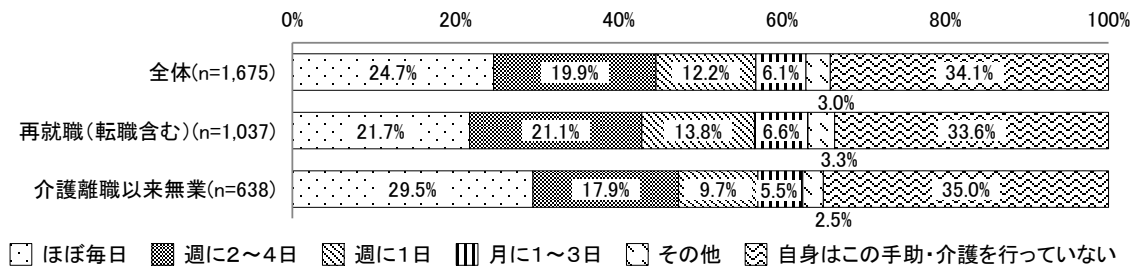


(12) 回答者が手助・介護を担う頻度

①排せつの介助

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた排泄の介助の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が34.1%でもっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が24.7%となっている。

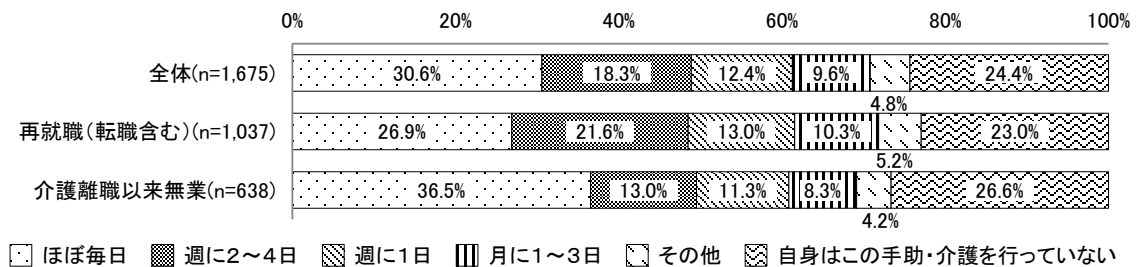
図表 175 回答者が手助・介護を担う頻度 ①排せつの介助:単数回答 (Q28S1)



②食事の介助

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた食事の介助の頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が30.6%でもっとも割合が高く、次いで「自身はこの手助・介護を行っていない」が24.4%となっている。

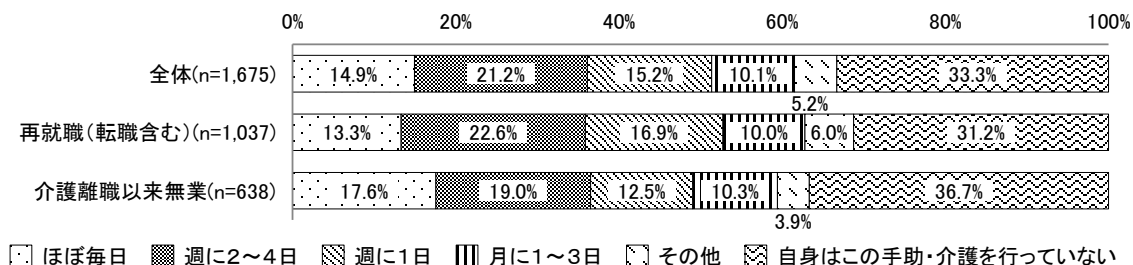
図表 176 回答者が手助・介護を担う頻度 ②食事の介助:単数回答 (Q28S2)



③入浴の介助

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた入浴の介助の頻度をみると、「全体」では、「自身はこの手助・介護を行っていない」が33.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が21.2%となっている。

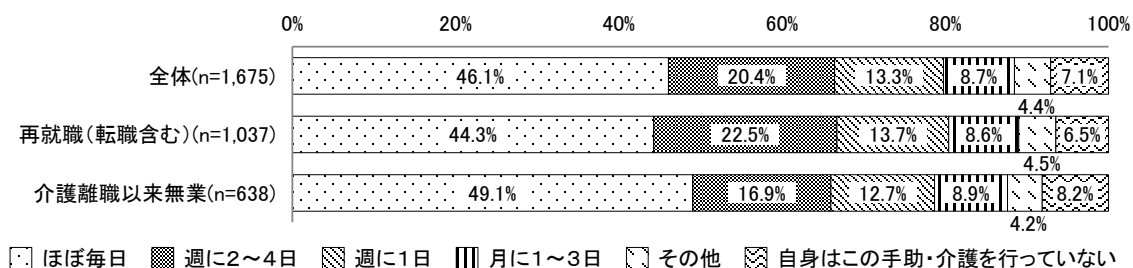
図表 177 回答者が手助・介護を担う頻度 ③入浴の介助:単数回答 (Q28S3)



④定期的な見守り、声かけ

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた定期的な見守り・声かけの頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が20.4%となっている。

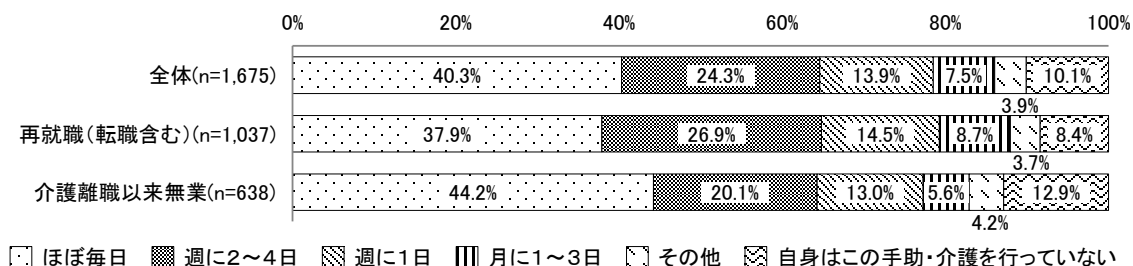
図表 178 回答者が手助・介護を担う頻度 ④定期的な見守り、声かけ:単数回答 (Q28S4)



⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援の頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が40.3%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が24.3%となっている。

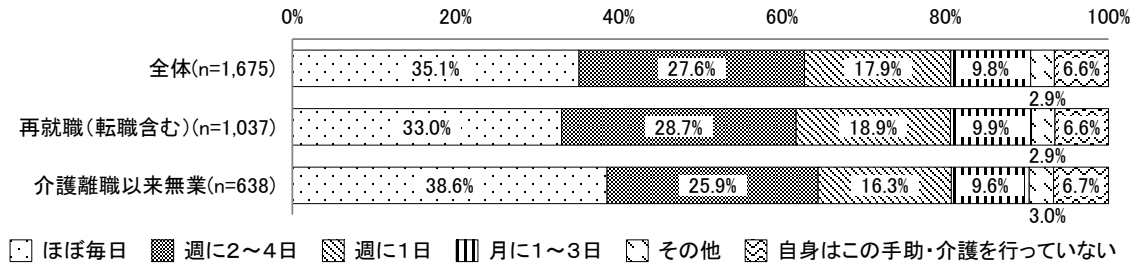
図表 179 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援:単数回答 (Q28S5)



⑥ちょっとした買い物やゴミ出し

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていたちょっとした買い物やゴミ出しの頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が35.1%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が27.6%となっている。

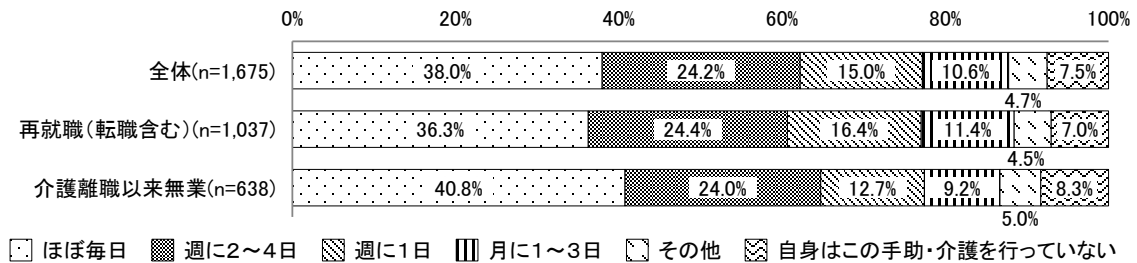
図表 180 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑥ちょっとした買い物やゴミ出し:単数回答 (Q28S6)



⑦被介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）

手助・介護を理由として離職したときに回答者が被介護者とともに過ごす頻度（外出や旅行、話相手など）をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が38.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に2～4日」が24.2%となっている。

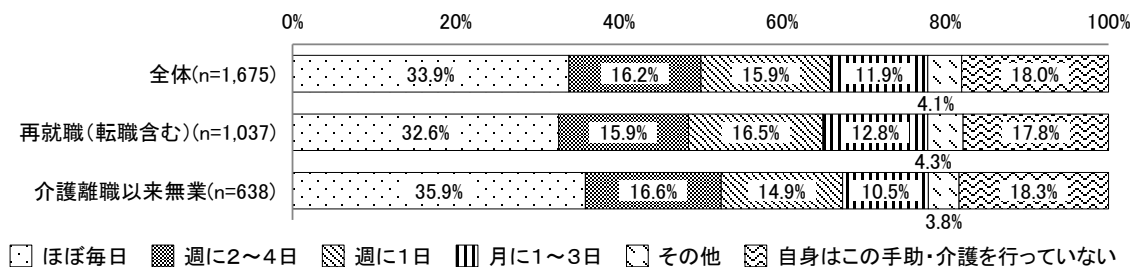
図表 181 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑦被介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）:単数回答 (Q28S7)



⑧金銭の管理

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた金銭の管理の頻度をみると、「全体」では、「ほぼ毎日」が 33.9%でもっとも割合が高く、次いで「自身はこの手助・介護を行っていない」が 18.0%となっている。

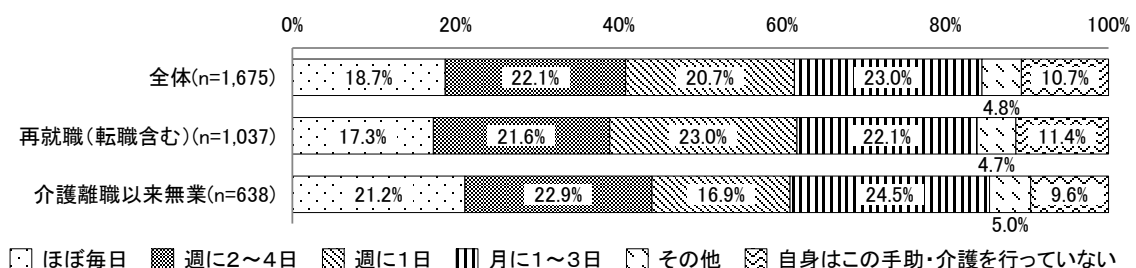
図表 182 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑧金銭の管理:単数回答 (Q28S8)



⑨通院（通所）の送迎や外出の手助

手助・介護を理由として離職したときに回答者が担っていた通院（通所）の送迎や外出の手助の頻度をみると、「全体」では、「月に1~3日」が 23.0%でもっとも割合が高く、次いで「週に2~4日」が 22.1%となっている。

図表 183 回答者が手助・介護を担う頻度 ⑨通院（通所）の送迎や外出の手助:単数回答 (Q28S9)

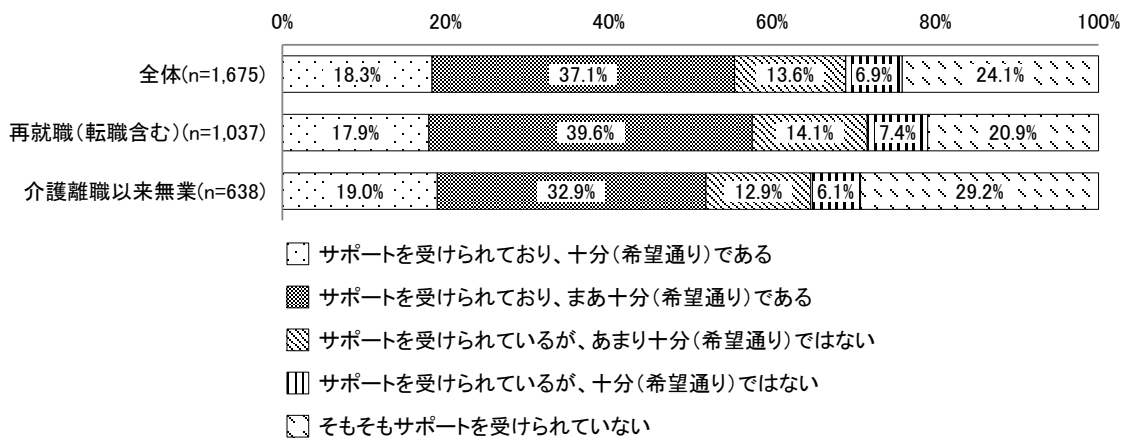


(13) 手助・介護に関する周囲からのサポート

①介護のことで、あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと

手助・介護を理由として離職した当時の周囲からのサポートとして、介護のことで心配事や愚痴を聞いてもらうサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が37.1%でもっとも割合が高く、次いで「そもそもサポートを受けられていない」が24.1%となっている。

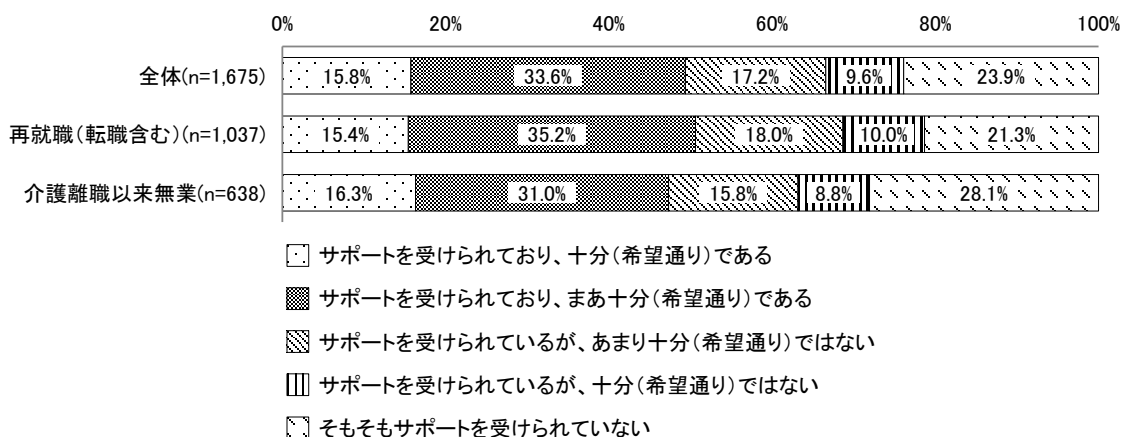
図表 184 手助・介護に関する周囲からのサポート ①介護のことで、あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと：単数回答（Q29S1）



②あなたのことを、励ましたり思いやりしてもらったり

手助・介護を理由として離職した当時の周囲からのサポートとして、励ましたり思いやりしてもらったりサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が33.6%でもっとも割合が高く、次いで「そもそもサポートを受けられていない」が23.9%となっている。

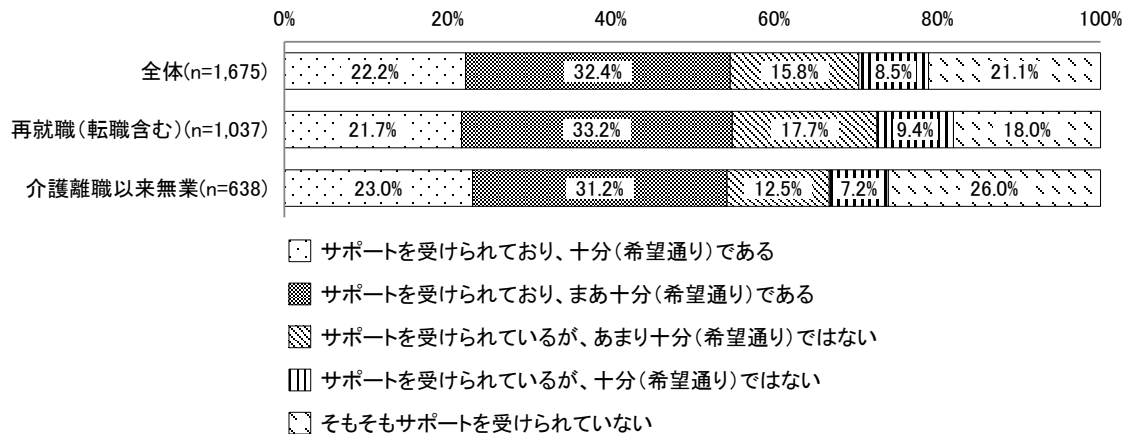
図表 185 手助・介護に関する周囲からのサポート ②あなたのことを、励ましたり思いやりしてもらったり：単数回答（Q29S2）



③あなたが用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと

手助・介護を理由として離職した当時の周囲からのサポートとして、用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうサポートを得られていたかどうかをみると、「全体」では、「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が 32.4%でもっとも割合が高く、次いで「サポートを受けられており、十分（希望通り）である」が 22.2%となっている。

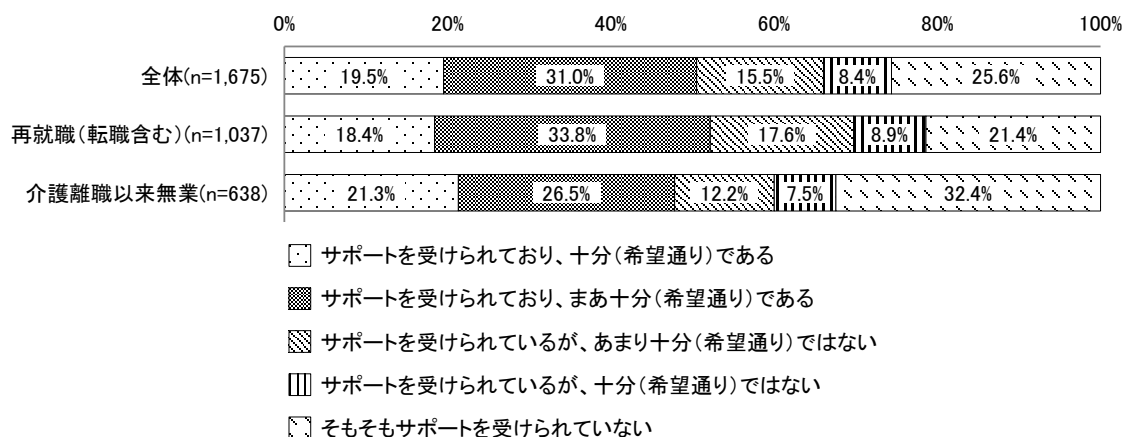
図表 186 手助・介護に関する周囲からのサポート ③あなたが用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと：単数回答（Q29S3）



④お使いや留守番などの、ちょっとした用事を頼むこと

手助・介護を理由として離職した当時の周囲からのサポートとして、お使いや留守番などのちょっとした用事を頼むことができていたかどうかをみると、「全体」では、「サポートを受けられており、まあ十分（希望通り）である」が 31.0%でもっとも割合が高く、次いで「そもそもサポートを受けられていない」が 25.6%となっている。

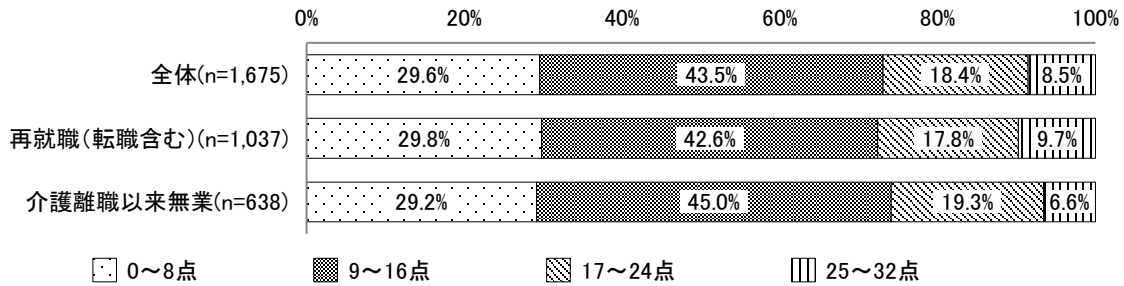
図表 187 手助・介護に関する周囲からのサポート ④お使いや留守番などの、ちょっとした用事を頼むこと：単数回答（Q29S4）



(14) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8)

介護負担の状況として、Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) のスコアをみると、「全体」では、「9～16点」が 43.5%でもっとも割合が高く、次いで「0～8点」が 29.6%となっている。

図表 188 Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) のスコア: (Q30 より作成)



注) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) の全 8 項目について、「そう思う」～「そう思わない」の 5 件法で把握した。各項目において「そう思う」= 4 点、「そう思わない」= 0 点と得点化のうえ、全 8 項目の得点を合計した値を集計した。

注) Zarit 介護負担尺度 (J-ZBI_8) については下記文献に基づく。

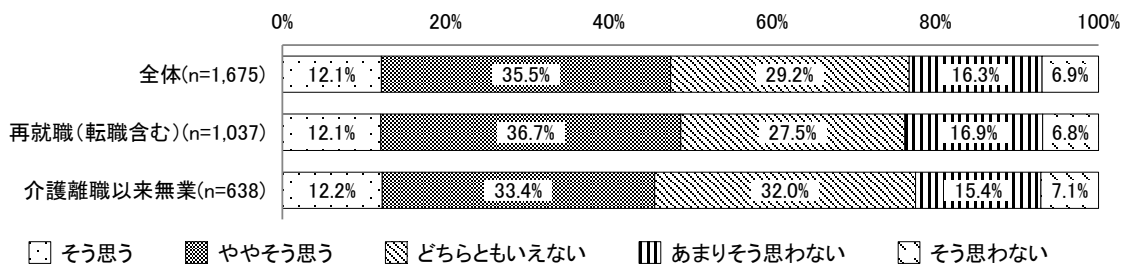
- ・荒井由美子, 田宮菜奈子, 矢野栄二. Zarit 介護負担尺度日本語版の短縮版 (J-ZBI_8) の作成: その信頼性と妥当性に関する検討. 日本老年医学会雑誌 2003;40(5):497-503
- ・荒井由美子著: Zarit 介護負担尺度日本語版/短縮版 使用手引. 三京房, 2018 年.

(15) 手助・介護の評価

①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている

手助・介護を理由として離職した当時の状況として、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」(できていた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 35.5%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 29.2%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 47.6%となっている。

図表 189 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている: 単数回答 (Q31S1)



手助・介護に関する考え（Q32S6）別にみると、「介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい」について「そう思わない」人は、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」について「あまりそう思わない」「そう思わない」と感じている割合が高い傾向がみられる。

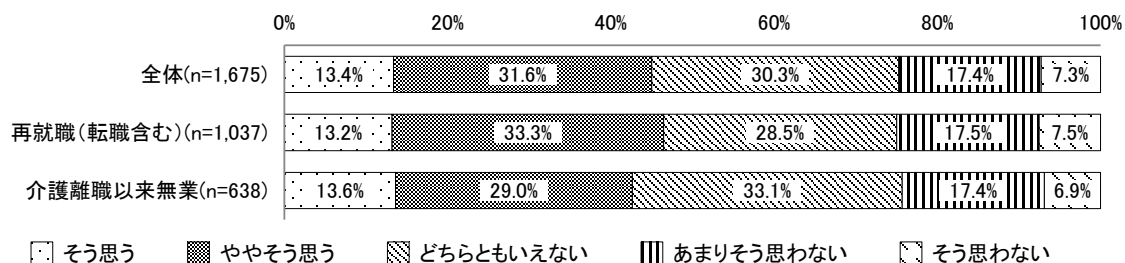
図表 190 手助・介護に関する考え（Q32S6）別、被介護者への手助・介護に関する評価：単数回答（Q31S1）

		合計	Q31S1. 被介護者への手助・介護に関する感想 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている					
			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体		1,675	12.1	35.5	29.2	16.3	6.9	0.0
Q32S6. 手助・介護に関する考え ⑥介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい	そう思う	428	20.6	30.4	25.0	15.2	8.9	0.0
	ややそう思う	670	9.9	41.0	27.3	16.3	5.5	0.0
	どちらともいえない	441	8.6	32.7	35.6	16.1	7.0	0.0
	あまりそう思わない	106	5.7	38.7	32.1	18.9	4.7	0.0
	そう思わない	30	16.7	13.3	26.7	26.7	16.7	0.0

②自分にとって納得のいく形での介護ができている

手助・介護を理由として離職した当時の状況として、「自分にとって納得のいく形での介護ができている」（できていた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 31.6%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 30.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 45.0%となっている。

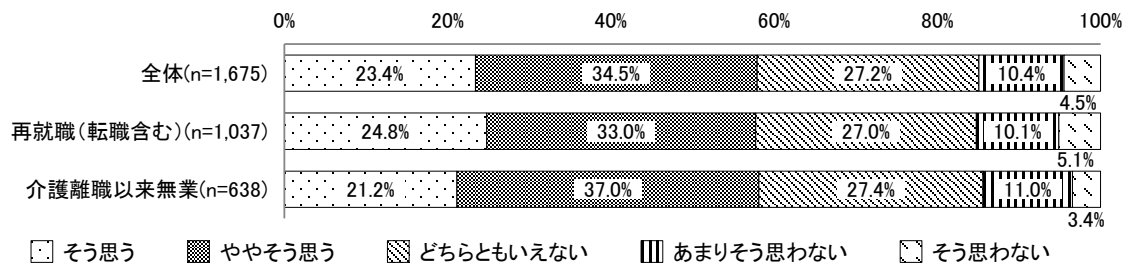
図表 191 被介護者への手助・介護に関する評価 ②自分にとって納得のいく形での介護ができている：単数回答（Q31S2）



③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる

手助・介護を理由として離職した当時の状況として、「外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる」（できていた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 34.5%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 27.2%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 57.9%となっている。

図表 192 被介護者への手助・介護に関する評価 ③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができる：単数回答（Q31S3）

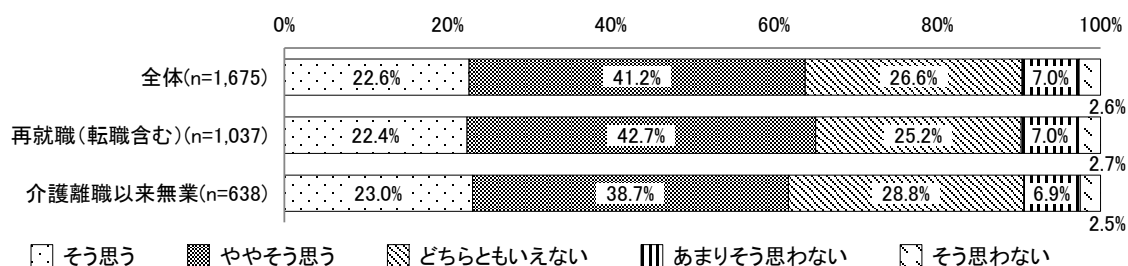


(16) 手助・介護に関する考え

①自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 41.2%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 26.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 63.8%となっている。

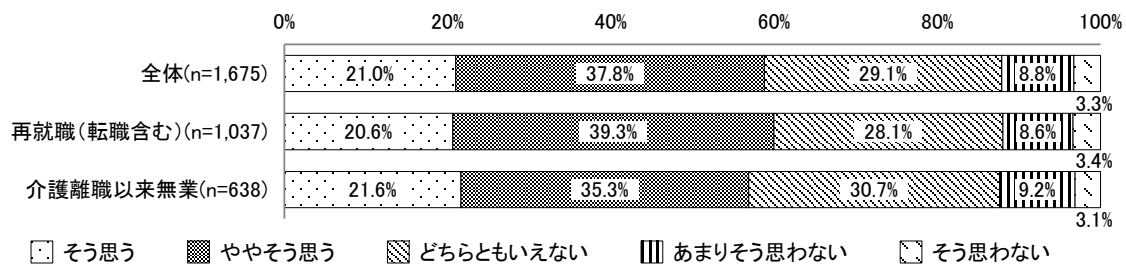
図表 193 手助・介護に関する考え ①自身が親の介護を直接行うことは親孝行になる：単数回答（Q32S1）



②家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が37.8%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が29.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は58.8%となっている。

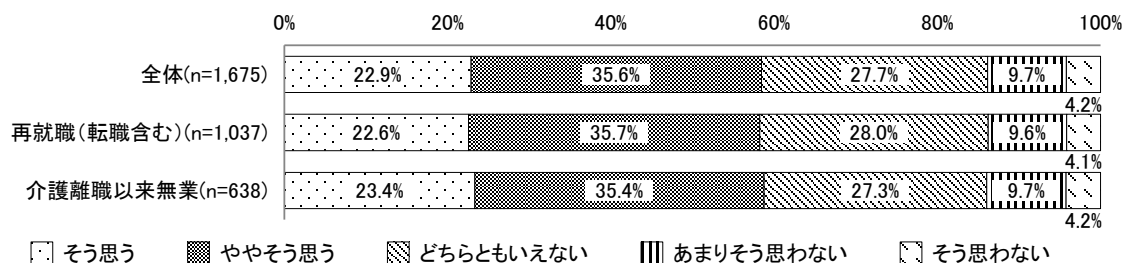
図表 194 手助・介護に関する考え ②家族が認知症になったら自分が近くにいるべきだ:単数回答 (Q32S2)



③できる限り自分や家族が介護をする方がよい

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が35.6%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が27.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は58.5%となっている。

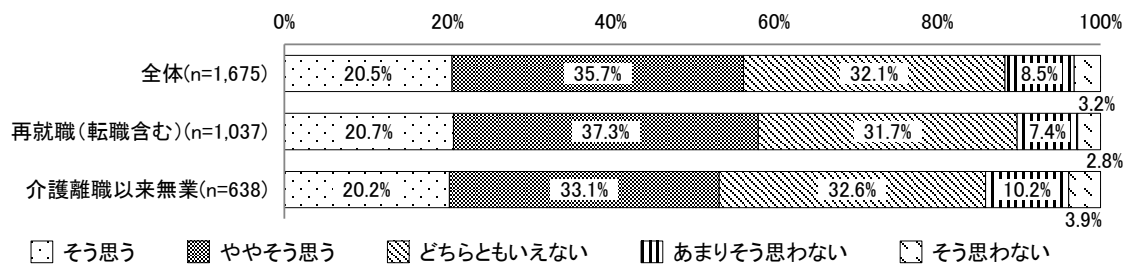
図表 195 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい:単数回答 (Q32S3)



④地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が35.7%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が32.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は56.2%となっている。

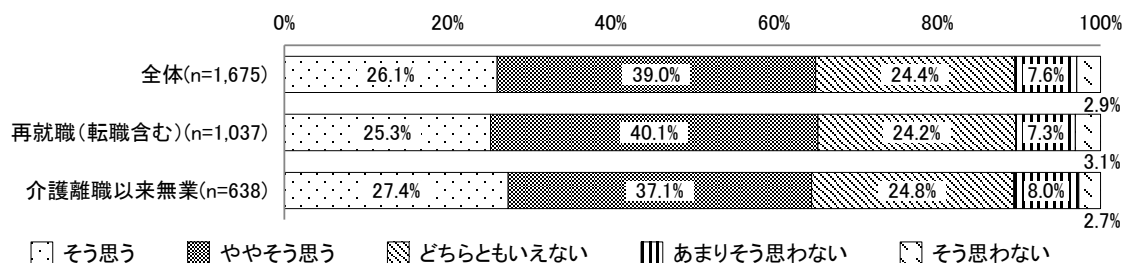
図表 196 手助・介護に関する考え ④地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う：単数回答（Q32S4）



⑤被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が39.0%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が26.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は65.1%となっている。

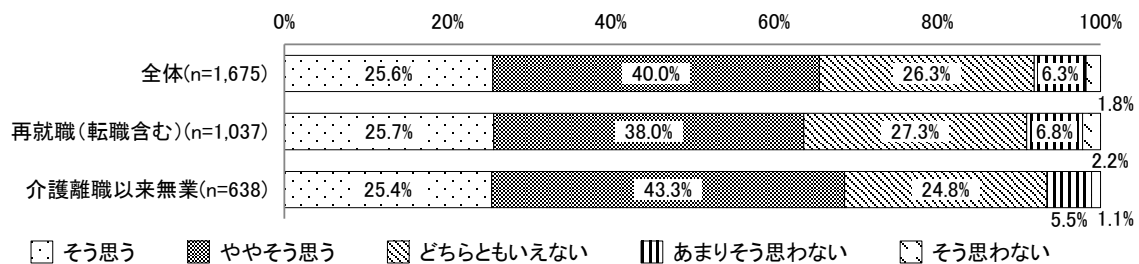
図表 197 手助・介護に関する考え ⑤被介護者が、家族自らの手で介護をしてほしいと希望するならば、叶えてあげるべきだ：単数回答（Q32S5）



⑥介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が40.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が26.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は65.6%となっている。

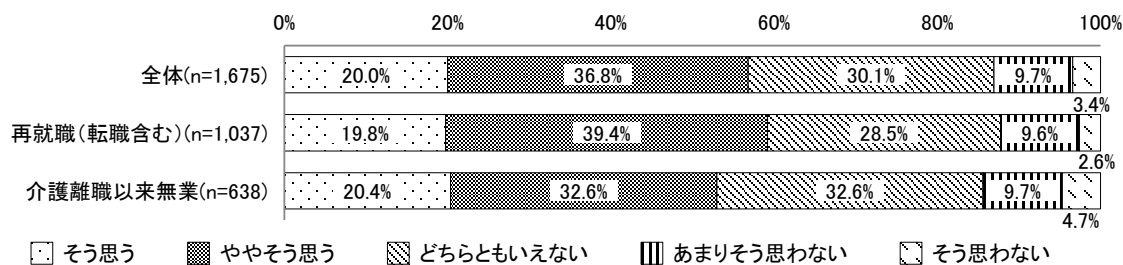
図表 198 手助・介護に関する考え ⑥介護に関することは、ケアマネジャーなど専門家の判断に従うのがよい:単数回答 (Q32S6)



⑦介護のことは会社にも相談するべきだ

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「介護のことは会社にも相談するべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が36.8%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が30.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は56.8%となっている。

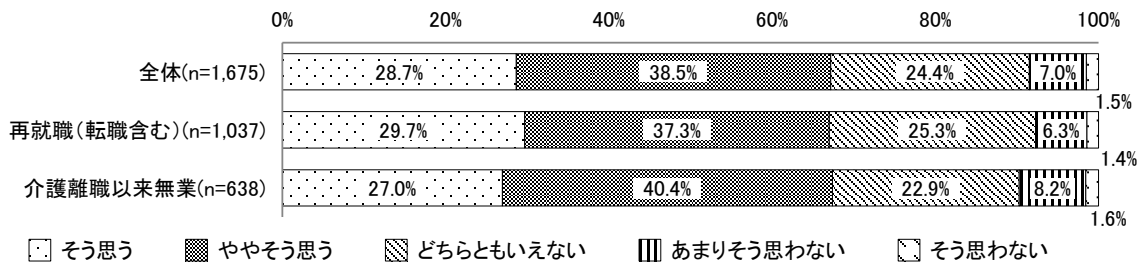
図表 199 手助・介護に関する考え ⑦介護のことは会社にも相談するべきだ:単数回答 (Q32S7)



⑧社会全体で介護を支えていくべきだ

手助・介護を理由として離職した当時の考え方として、「社会全体で介護を支えていくべきだ」と考えていたかどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が38.5%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が28.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は67.2%となっている。

図表 200 手助・介護に関する考え ⑧社会全体で介護を支えていくべきだ:単数回答 (Q32S8)

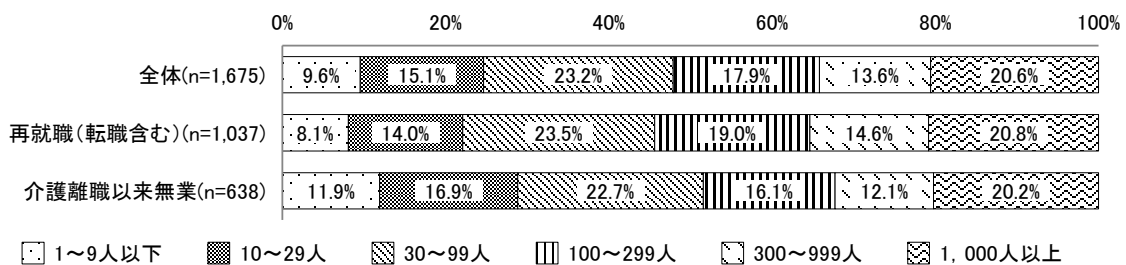


4-5. 手助・介護をしているときの仕事の状況

(1) 従業員規模

手助・介護を理由として離職した当時の勤務先の従業員規模をみると、「全体」では、「30~99人」が23.2%でもっとも割合が高く、次いで「1,000人以上」が20.6%となっている。

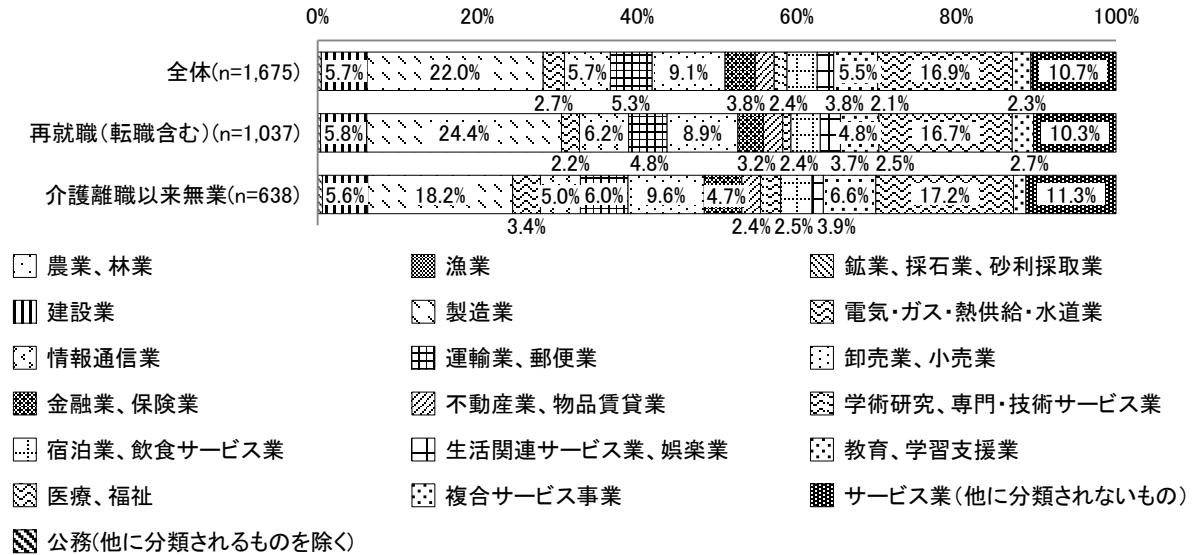
図表 201 従業員規模:単数回答 (Q33)



(2) 勤務先の業種

手助・介護を理由として離職した際の勤務先の業種をみると、「全体」では、「製造業」が22.0%でもっとも割合が高く、次いで「医療、福祉」が16.9%となっている。

図表 202 手助・介護を始めた際の業種：単数回答（SQ6）



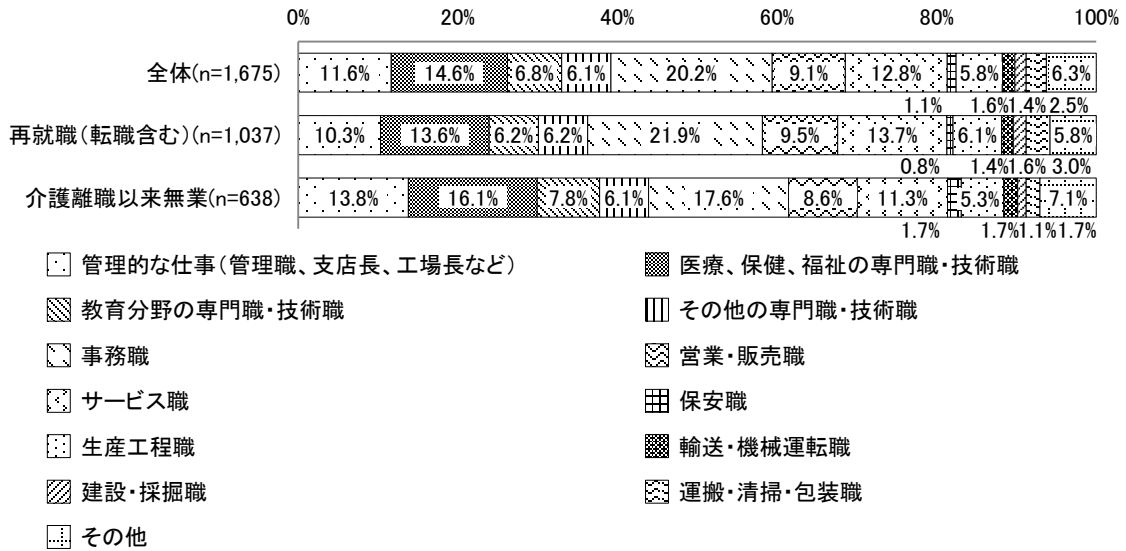
< 数値表 >

	合計	SQ6.手助・介護を始めた際の業種																
		鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)	不明
全体	1,675	0.5	5.7	22.0	2.7	5.7	5.3	9.1	3.8	2.4	1.6	3.8	2.1	5.5	16.9	2.3	10.7	0.0
再就職(転職含む)	1,037	0.4	5.8	24.4	2.2	6.2	4.8	8.9	3.2	2.4	1.1	3.7	2.5	4.8	16.7	2.7	10.3	0.0
介護離職以来無業	638	0.6	5.6	18.2	3.4	5.0	6.0	9.6	4.7	2.4	2.5	3.9	1.4	6.6	17.2	1.6	11.3	0.0

(3) 職種

手助・介護を理由として離職した際の職種をみると、「全体」では、「事務職」が20.2%でもっとも割合が高く、次いで「医療、保健、福祉の専門職・技術職」が14.6%となっている。

図表 203 職種：単数回答 (Q34)



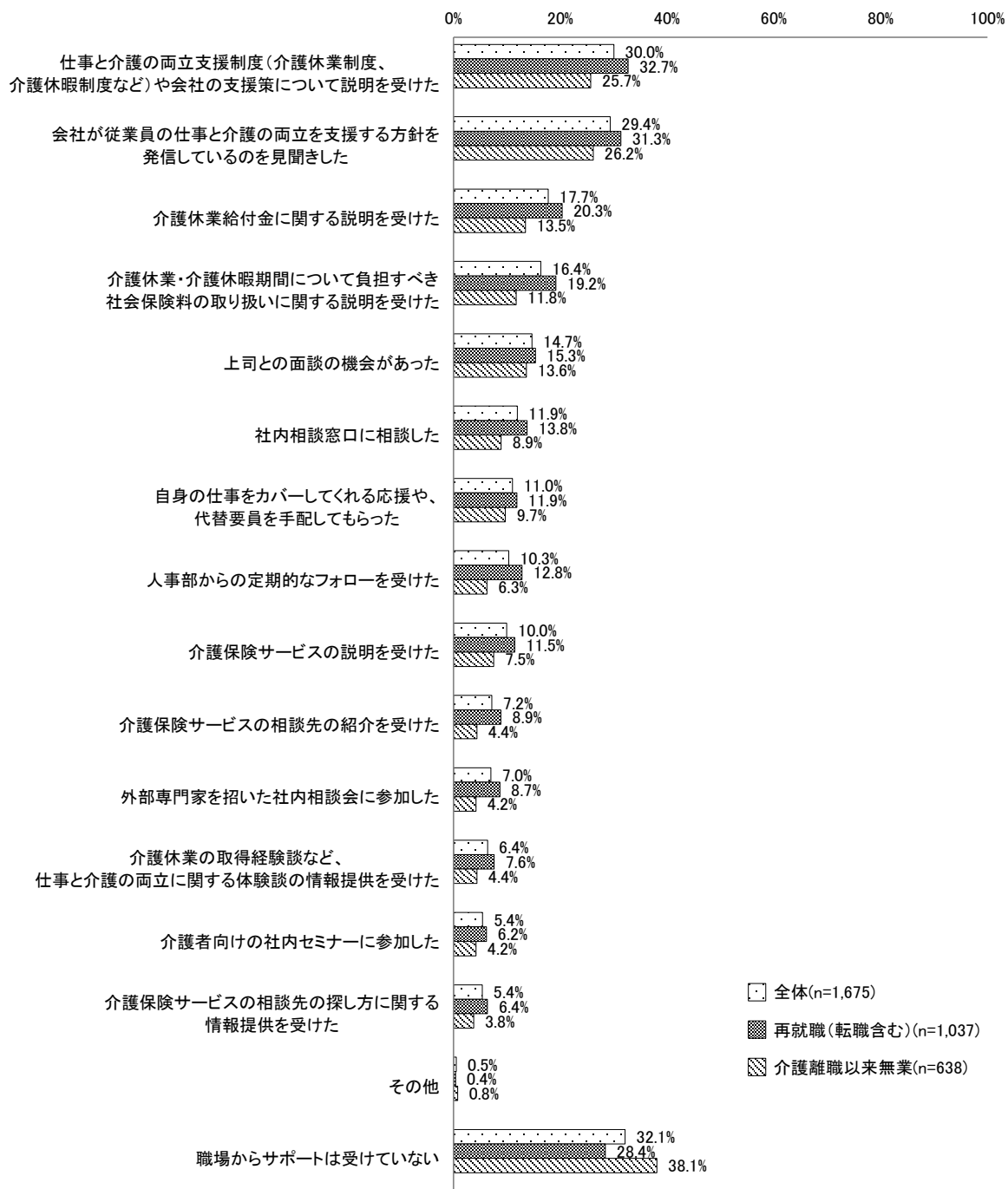
< 数値表 >

	合計	Q34 職種													不明
		管理的な仕事(管理職、支店長、工場長など)	医療、保健、福祉の専門職・技術職	教育分野の専門職・技術職	その他の専門職・技術職	事務職	営業・販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・採掘職	運搬・清掃・包装職	その他	
全体	1,675	11.6	14.6	6.8	6.1	20.2	9.1	12.8	1.1	5.8	1.6	1.4	2.5	6.3	0.0
再就職(転職含む)	1,037	10.3	13.6	6.2	6.2	21.9	9.5	13.7	0.8	6.1	1.4	1.6	3.0	5.8	0.0
介護離職以来無業	638	13.8	16.1	7.8	6.1	17.6	8.6	11.3	1.7	5.3	1.7	1.1	1.7	7.1	0.0

(4) 手助・介護に関する職場からのサポート

手助・介護を理由として離職した当時の職場からのサポートの状況をみると、「全体」では、「職場からサポートは受けていない」が32.1%でもっとも割合が高く、次いで「仕事と介護の両立支援制度（介護休業制度、介護休暇制度など）や会社の支援策について説明を受けた」が30.0%となっている。

図表 204 手助・介護に関する職場からのサポート：複数回答（Q35）

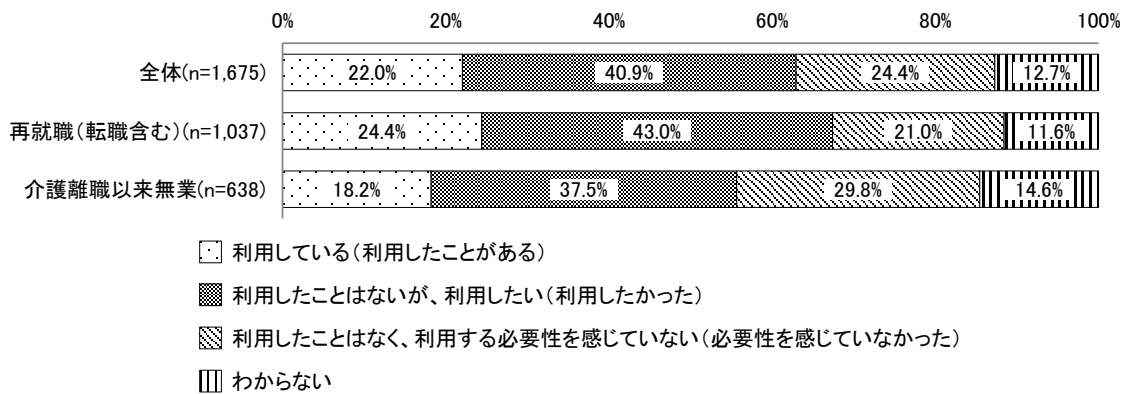


(5) 両立支援制度の利用状況

①介護休業制度（介護のために連続した期間取得できる休業制度）

手助・介護を理由として離職した当時の介護休業制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 40.9%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 24.4%となっている。

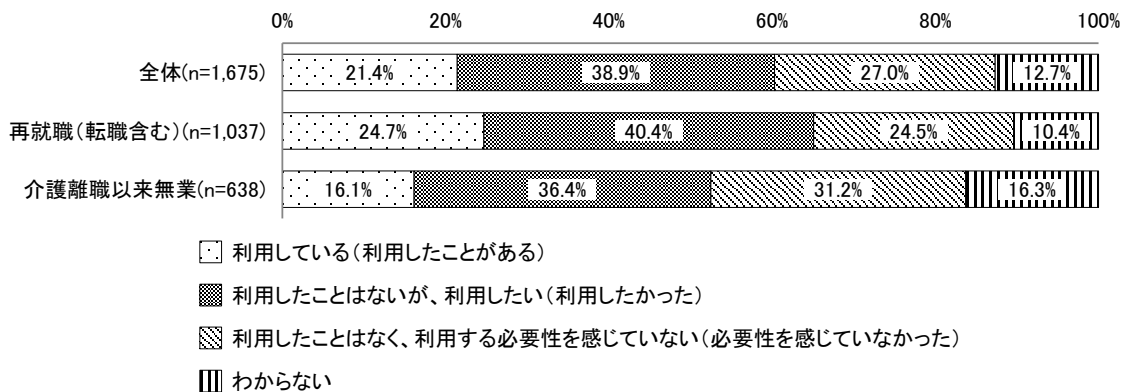
図表 205 両立支援制度の利用状況 ①介護休業制度（介護のために連続した期間取得できる休業制度）：単数回答（Q36S1）



②介護休暇制度（介護のために1日以下の単位で取得できる休暇制度）

手助・介護を理由として離職した当時の介護休暇制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が 38.9%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が 27.0%となっている。

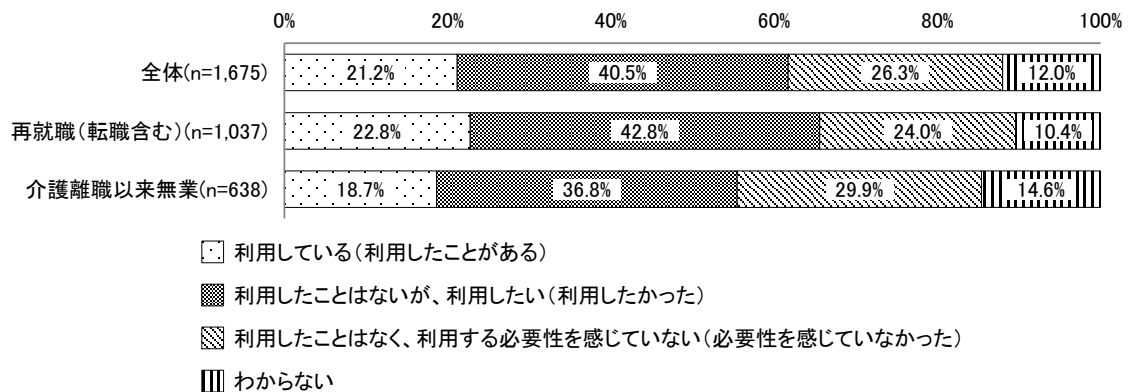
図表 206 両立支援制度の利用状況 ②介護休暇制度（介護のために1日以下の単位で取得できる休暇制度）：単数回答（Q36S2）



③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度

手助・介護を理由として離職した当時の所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が40.5%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が26.3%となっている。

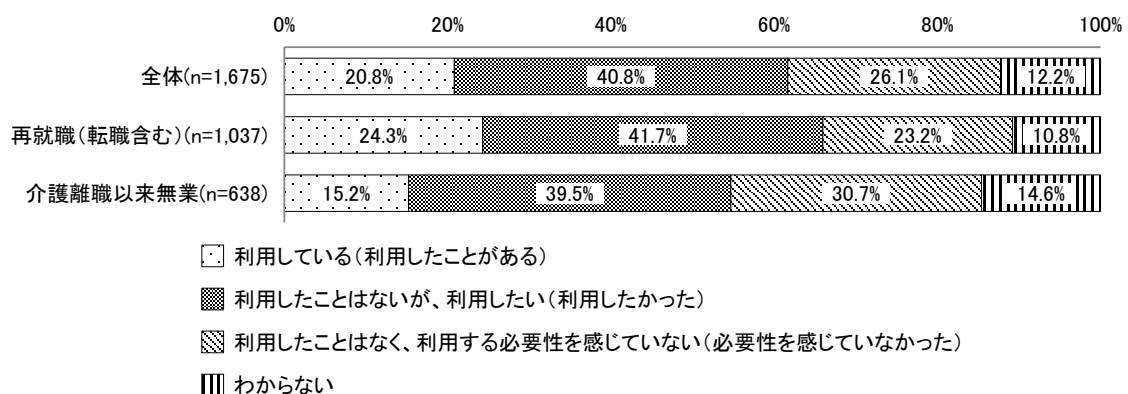
図表 207 両立支援制度の利用状況 ③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度：単数回答（Q36S3）



④早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度

手助・介護を理由として離職した当時の早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が40.8%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が26.1%となっている。

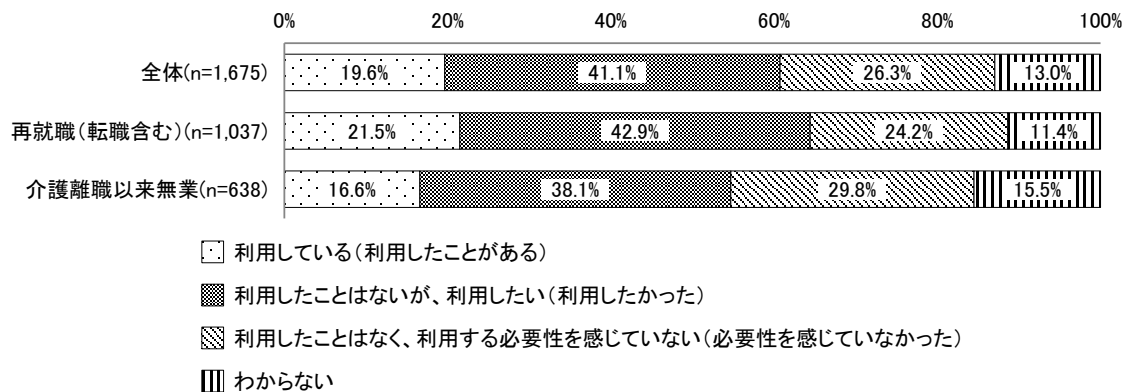
図表 208 両立支援制度の利用状況 ④早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度：単数回答（Q36S4）



⑤所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度

手助・介護を理由として離職した当時の所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度の利用状況をみると、「全体」では、「利用したことはないが、利用したい（利用したかった）」が41.1%でもっとも割合が高く、次いで「利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）」が26.3%となっている。

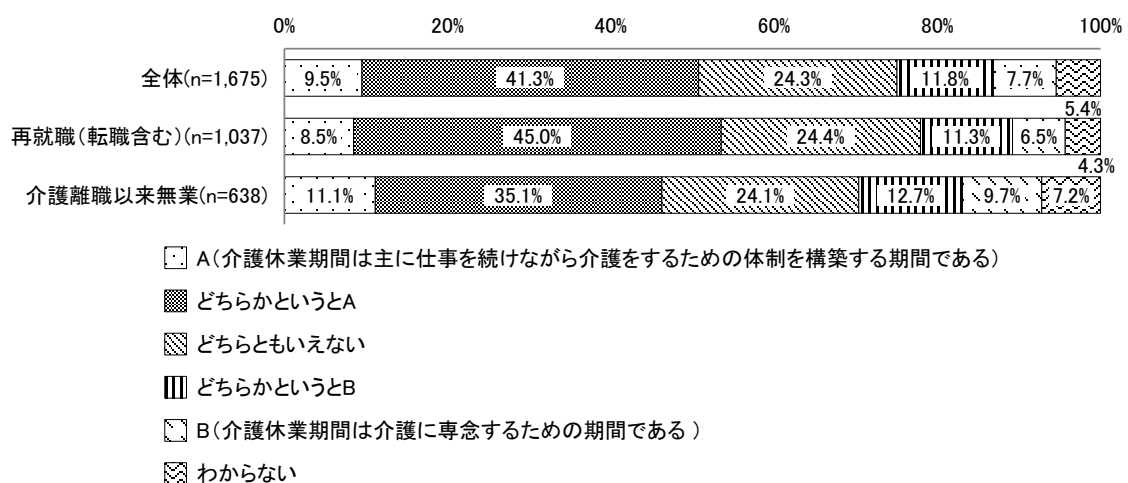
図表 209 両立支援制度の利用状況 ⑤所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度：単数回答 (Q36S5)



(6) 介護休業制度の趣旨に関する考え

介護休業制度の趣旨の認識について「A：介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」または「B：介護休業期間は介護に専念するための期間である」のどちらに近いかを把握した。結果をみると、「全体」では、「どちらかというともA」が41.3%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が24.3%となっている。「A」と「どちらかというともA」を合わせた割合は50.8%となっている。

図表 210 介護休業制度の趣旨に関する考え：単数回答 (Q37)

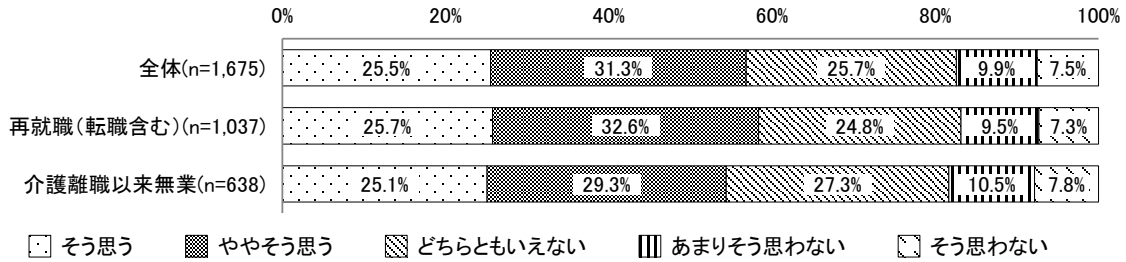


(7) 働き方や仕事の進め方の状況

① 残業が少ない

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「残業が少ない」(少なかった)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が31.3%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が25.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は56.8%となっている。

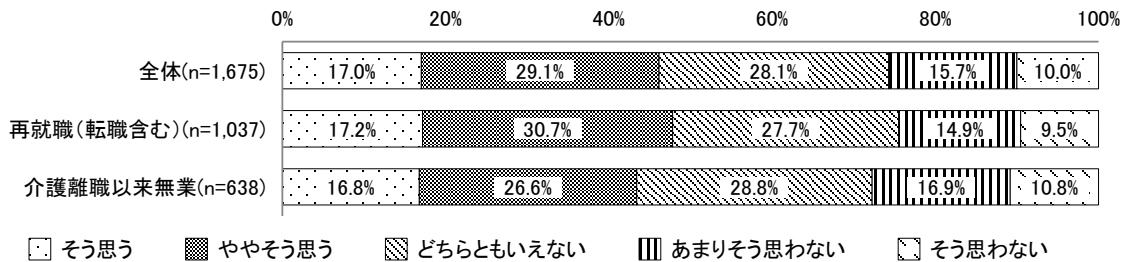
図表 211 働き方や仕事の進め方の状況 ① 残業が少ない:単数回答 (Q38S1)



② 1日の作業量を自分で決めることができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「1日の作業量を自分で決めることができる」(できた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が29.1%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が28.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は46.1%となっている。

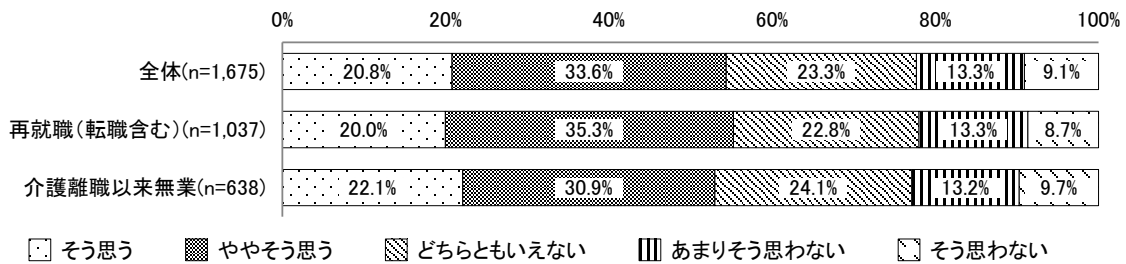
図表 212 働き方や仕事の進め方の状況 ② 1日の作業量を自分で決めることができる:単数回答 (Q38S2)



③作業のスケジュールを自分で決めることができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「作業のスケジュールを自分で決めることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が33.6%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が23.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は54.4%となっている。

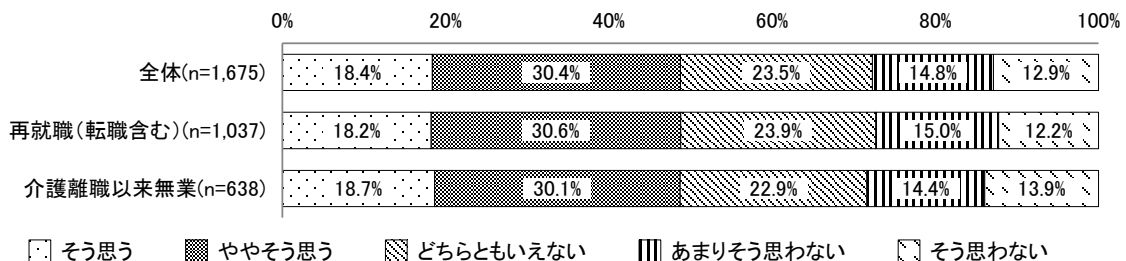
図表 213 働き方や仕事の進め方の状況 ③作業のスケジュールを自分で決めることができる：単数回答 (Q38S3)



④早出・遅出など出退勤時間を調整できる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「早出・遅出など出退勤時間を調整できる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が30.4%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が23.5%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は48.8%となっている。

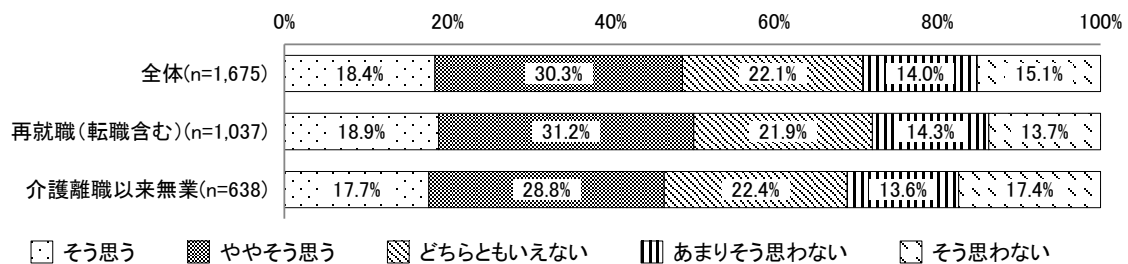
図表 214 働き方や仕事の進め方の状況 ④早出・遅出など出退勤時間を調整できる：単数回答 (Q38S4)



⑤就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が30.3%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が22.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は48.7%となっている。

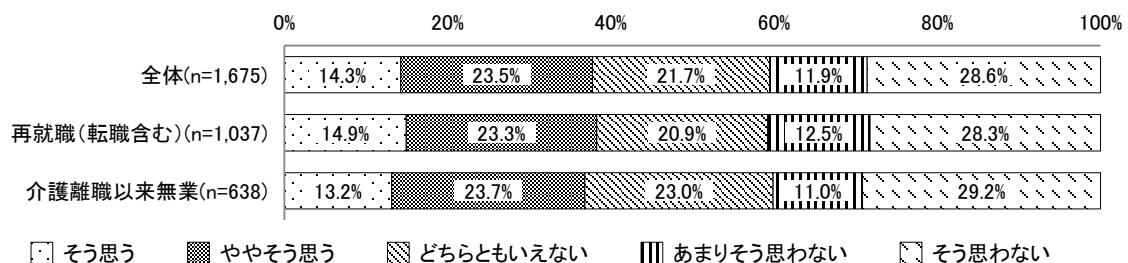
図表 215 働き方や仕事の進め方の状況 ⑤就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる：単数回答（Q38S5）



⑥テレワークをすることができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「テレワークをすることができる」（できた）かどうかをみると、「全体」では、「そう思わない」が28.6%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が23.5%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は37.8%となっている。

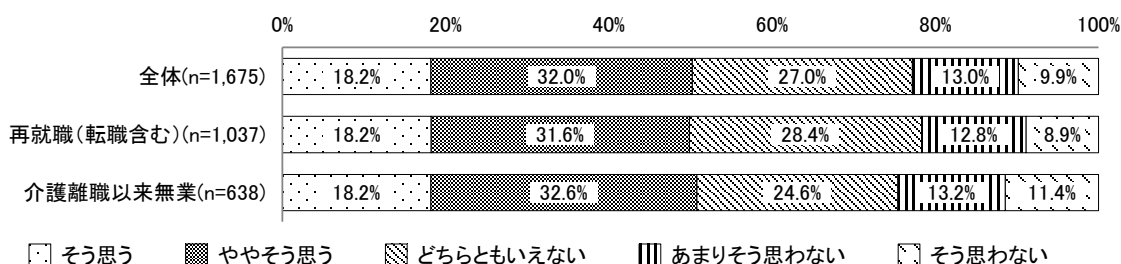
図表 216 働き方や仕事の進め方の状況 ⑥テレワークをすることができる：単数回答（Q38S6）



⑦希望どおりに休暇を取ることができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「希望どおりに休暇を取ることができる」(できた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が32.0%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が27.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は50.2%となっている。

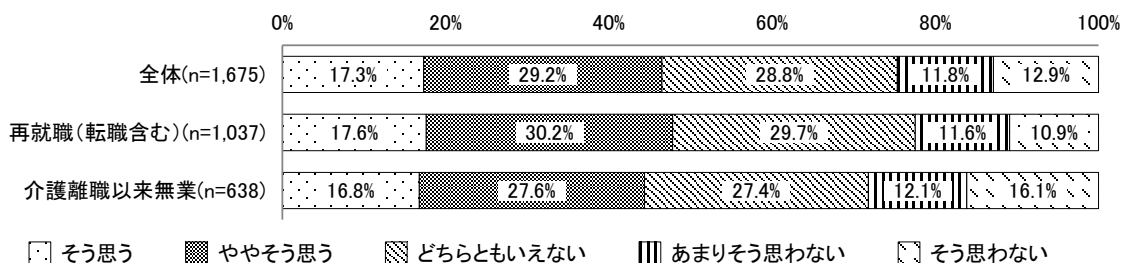
図表 217 働き方や仕事の進め方の状況 ⑦希望どおりに休暇を取ることができる:単数回答 (Q38S7)



⑧仕事と介護の両立がしやすい働き方ができる

手助・介護を理由として離職した当時の働き方や仕事の進め方の状況として、「希望どおりに休暇を取ることができる」(できた)かどうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が29.2%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が28.8%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は46.5%となっている。

図表 218 働き方や仕事の進め方の状況 ⑧仕事と介護の両立がしやすい働き方ができる:単数回答 (Q38S8)

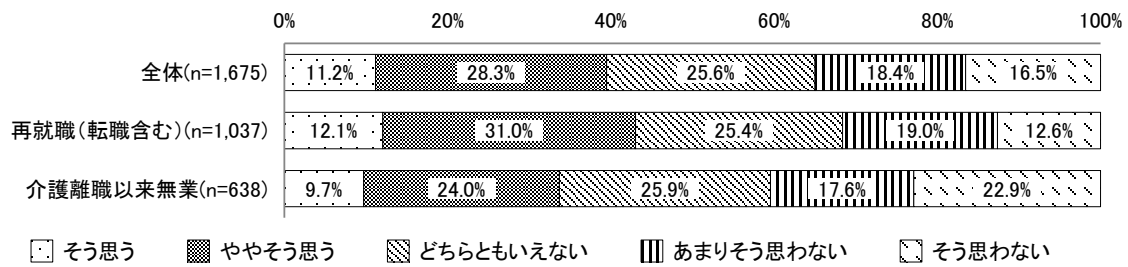


(8) 手助・介護開始後の仕事や職場の変化

①介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が28.3%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が25.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は39.5%となっている。

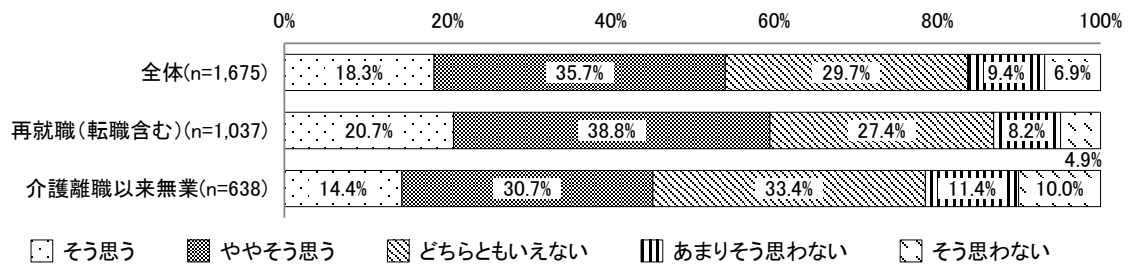
図表 219 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ①介護をする前と変わらず働くことができている（できた）か：単数回答（Q39S1）



②限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が35.7%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が29.7%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は54.0%となっている。

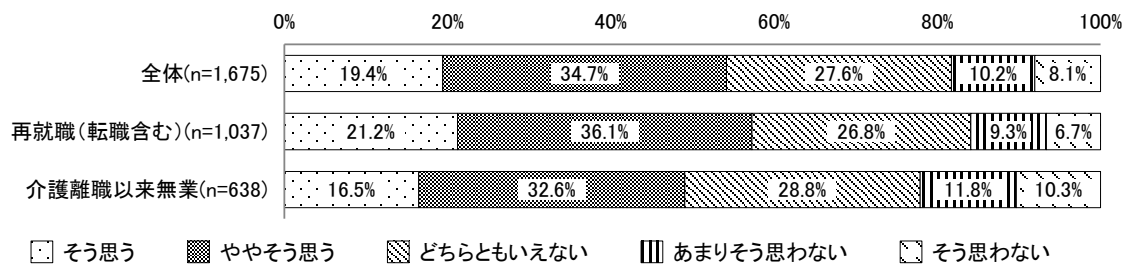
図表 220 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ②限られた時間で効率よく働くことを意識するようになったか：単数回答（Q39S2）



③仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が34.7%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が27.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は54.1%となっている。

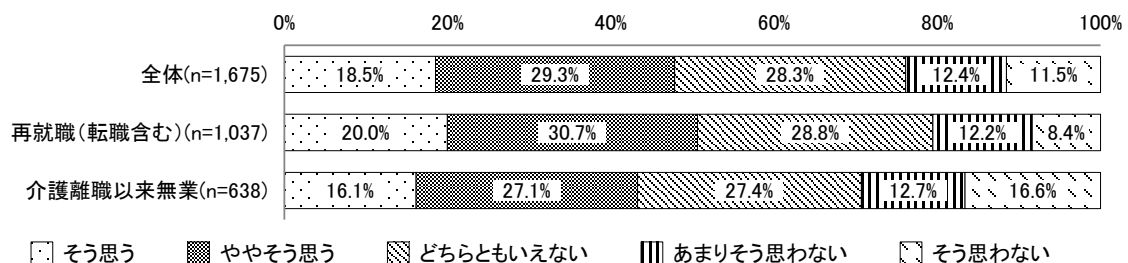
図表 221 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ③仕事を自分ひとりで抱えないことを意識するようになったか：単数回答（Q39S3）



④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が29.3%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が28.3%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は47.8%となっている。

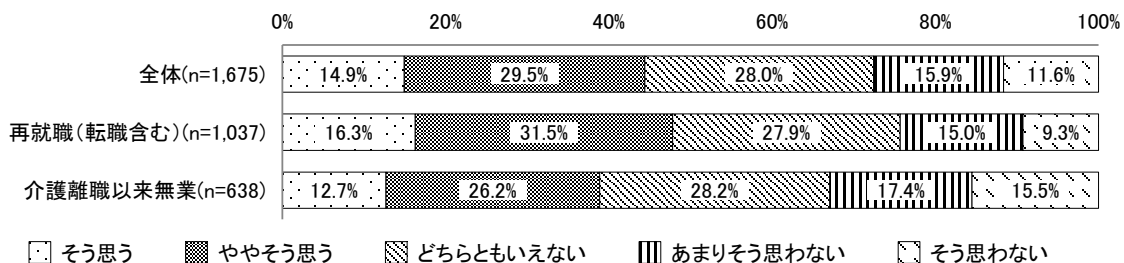
図表 222 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている（得られた）か：単数回答（Q39S4）



⑤労働時間が短くなったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「労働時間が短くなったか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が 29.5%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が 28.0%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 44.4%となっている。

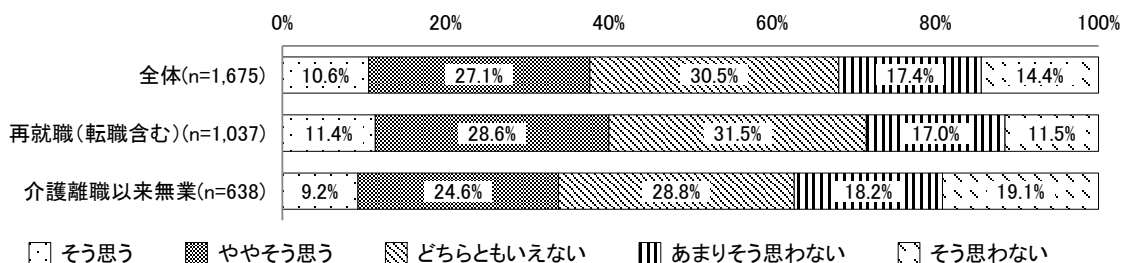
図表 223 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑤労働時間が短くなったか:単数回答 (Q39S5)



⑥担当する業務の量が減少したか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「担当する業務の量が減少したか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が 30.5%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が 27.1%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 37.7%となっている。

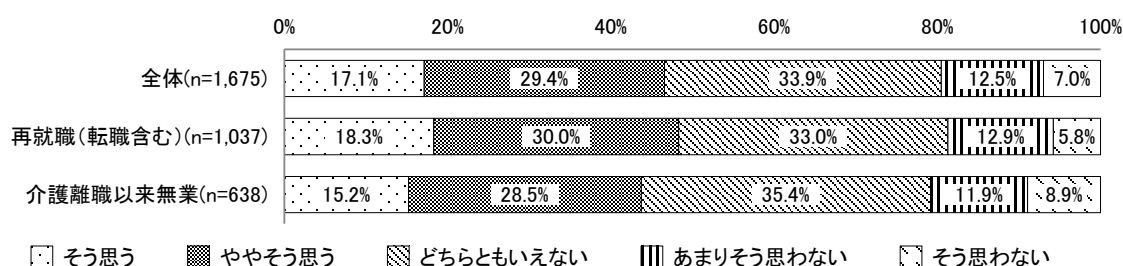
図表 224 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑥担当する業務の量が減少したか:単数回答 (Q39S6)



⑦スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が33.9%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が29.4%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は46.5%となっている。

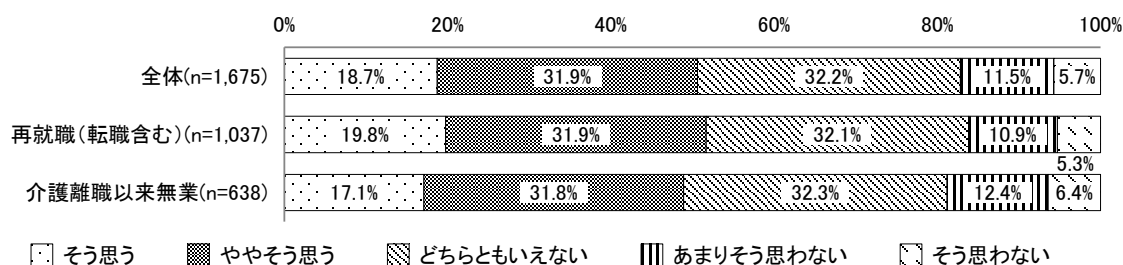
図表 225 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑦スケジュール通りに仕事を進められないことが増えたか：単数回答（Q39S7）



⑧自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が32.2%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が31.9%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は50.6%となっている。

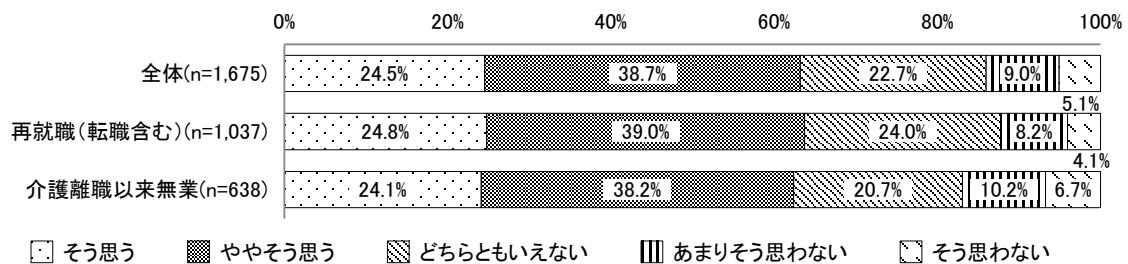
図表 226 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑧自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか：単数回答（Q39S8）



⑨被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか」どうかをみると、「全体」では、「ややそう思う」が38.7%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」が24.5%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は63.2%となっている。

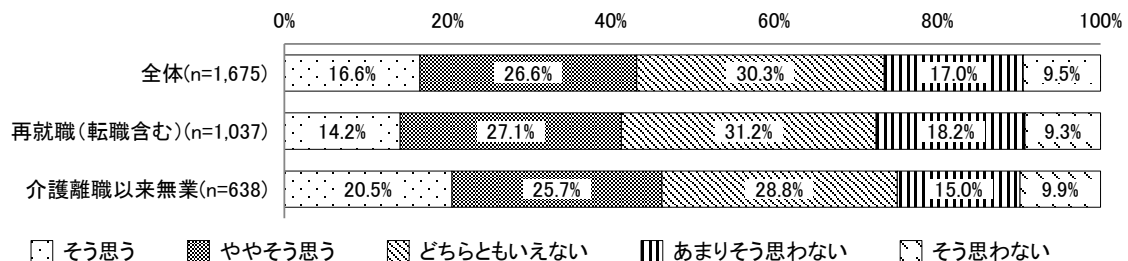
図表 227 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑨被介護者に関する用事で、休暇をとることが増えたか：単数回答（Q39S9）



⑩職場に居づらくなったか

手助・介護開始後の仕事や職場の変化として、「職場に居づらくなったか」どうかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が30.3%でもっとも割合が高く、次いで「ややそう思う」が26.6%となっている。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は43.2%となっている。

図表 228 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑩職場に居づらくなったか：単数回答（Q39S10）



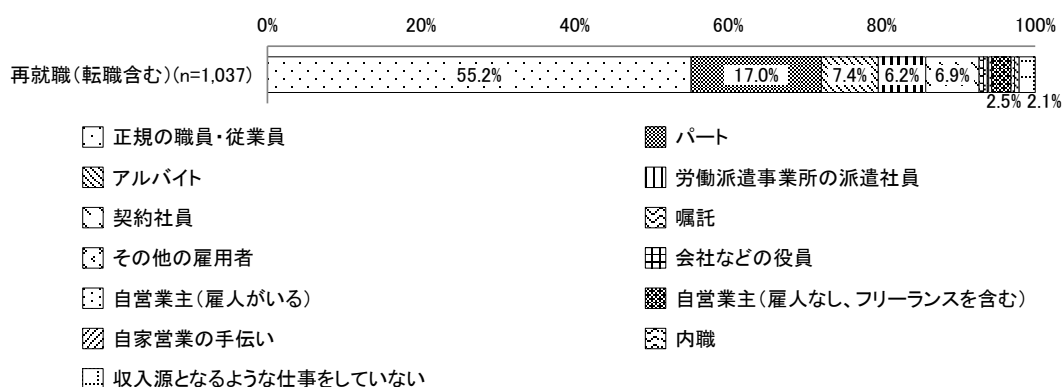
4-6. 就業継続の見込み

- 以下では、SQ7において「手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした」と回答し、かつ、SQ2で「現在、手助・介護を行っている」と回答した者を集計対象としている。

(1) 現在の就業形態

現在の就業形態をみると、「全体」では、「正規の職員・従業員」が55.2%でもっとも割合が高く、次いで「パート」が17.0%となっている。

図表 229 現在の就業形態:単数回答 (SQ10S3)



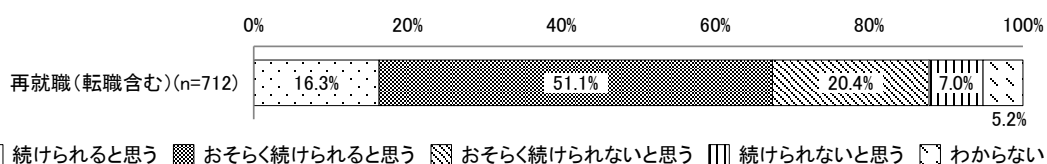
<数値表>

	合計	SQ10S3 現在の就業形態											不明		
		正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他の雇用者	会社などの役員	自営業主(雇人がいる)	自営業主(雇人なし、フリーランスを含む)	自家営業の手伝い		内職	収入源となるような仕事をしていない
再就職(転職含む)	1,037	55.2	17.0	7.4	6.2	6.9	0.6	0.5	0.2	0.4	2.5	0.5	0.6	2.1	0.0

(2) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うか

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うかどうかをみると、「全体」では、「おそらく続けられると思う」が51.1%でもっとも割合が高く、次いで「おそらく続けられないと思う」が20.4%となっている。「続けられると思う」と「おそらく続けられると思う」を合わせた割合は67.4%となっている。

図表 230 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思うか:単数回答 (Q40)

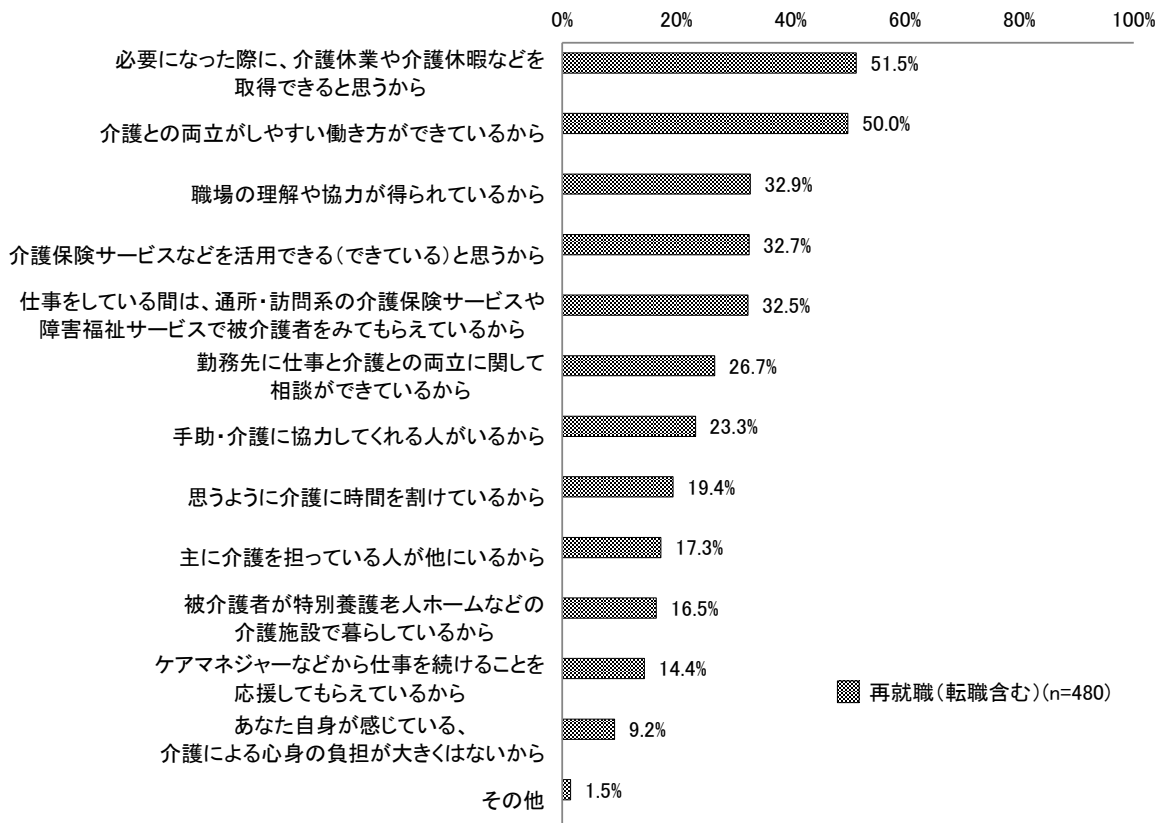


注) SQ2で「現在、手助・介護を行っている」と回答した者のうち、SQ10S3で「正規の職員・従業員」～「その他の雇用者」のいずれかを回答した者を集計対象とする。

(3) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられると思う理由

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができると思う回答者（Q41で「続けられると思う」「おそらく続けられると思う」と回答した者）について、その理由をみると、「全体」では、「必要になった際に、介護休業や介護休暇などを取得できると思うから」が51.5%でもっとも割合が高く、次いで「介護との両立がしやすい働き方ができているから」が50.0%となっている。

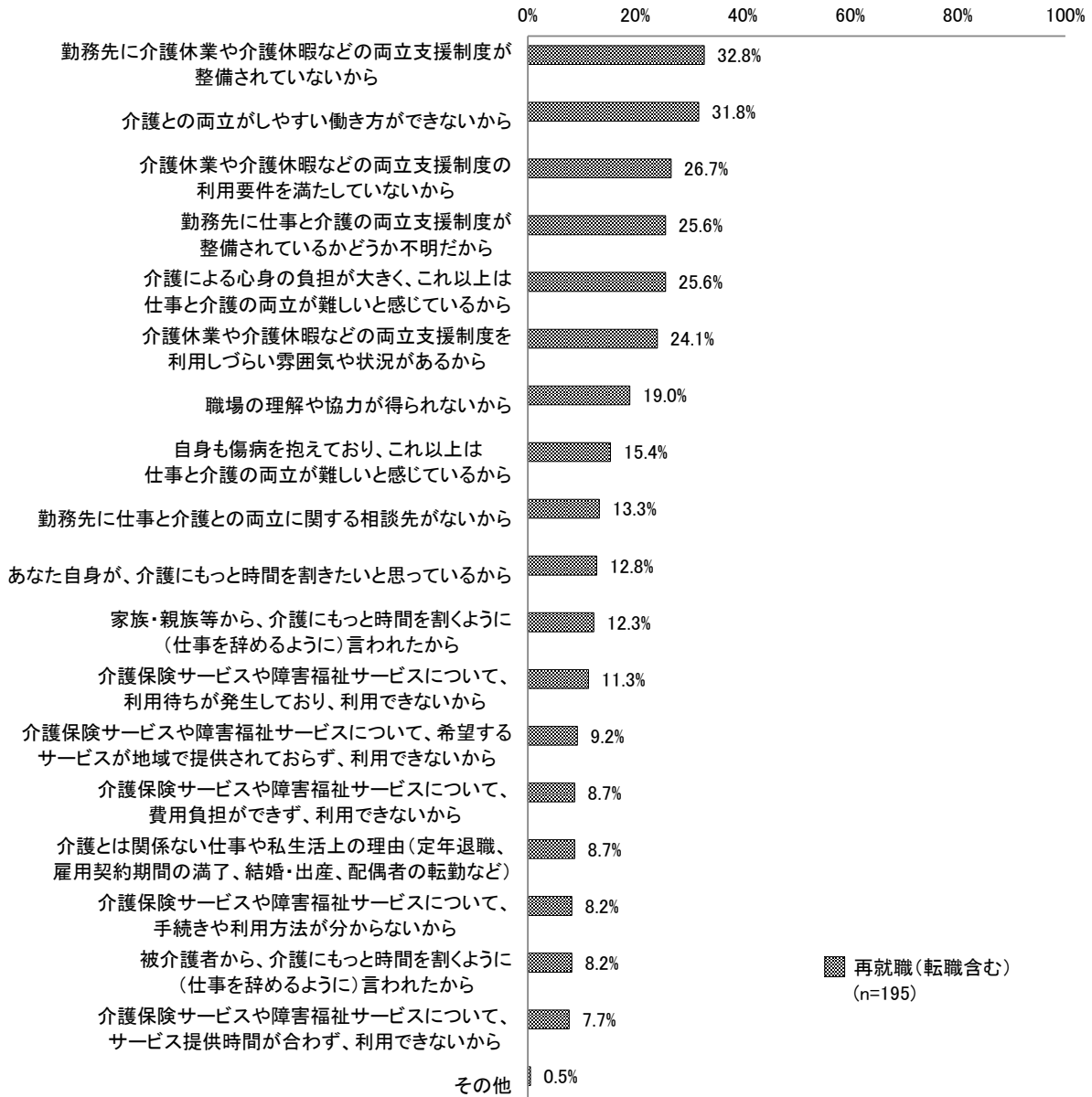
図表 231 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられると思う理由：複数回答（Q41）



(4) 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられないと思う理由

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができないと思う回答者（Q41で「おそらく続けられないと思う」「続けられないと思う」と回答した者）について、その理由をみると、「全体」では、「勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから」が32.8%でもっとも割合が高く、次いで「介護との両立がしやすい働き方ができないから」が31.8%となっている。

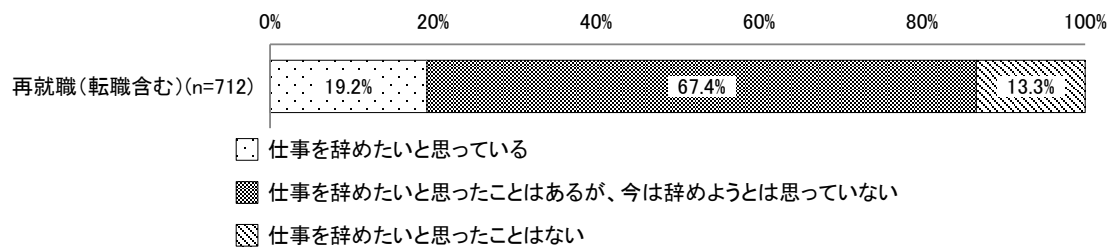
図表 232 現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられないと思う理由：複数回答（Q42）



(5) 手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるか

これまでに、手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるかどうかをみると、「全体」では、「仕事を辞めたいと思ったことはあるが、今は辞めようとは思っていない」が 67.4%でもっとも割合が高く、次いで「仕事を辞めたいと思っている」が 19.2%となっている。

図表 233 手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはあるか：単数回答（Q43）



注) SQ2で「現在、手助・介護を行っている」と回答した者のうち、SSQ10S3で「正規の職員・従業員」～「その他の雇用者」のいずれかを回答した者を集計対象とする。

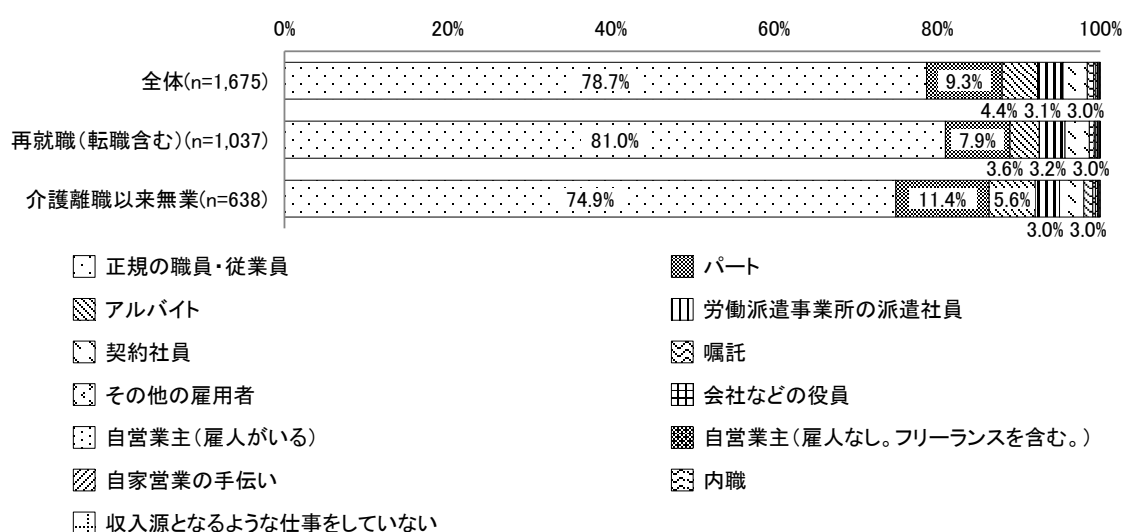
4-7. 介護離職経験について

- 以下では、SQ7において「手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない」または「手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした」と回答した者を集計対象としている。

(1) 手助・介護のために離職する直前の就業形態

手助・介護のために離職する直前の就業形態をみると、「全体」では、「正規の職員・従業員」が78.7%でもっとも割合が高く、次いで「パート」が9.3%となっている。

図表 234 手助・介護のために離職する直前の就業形態：単数回答（SQ10S1）



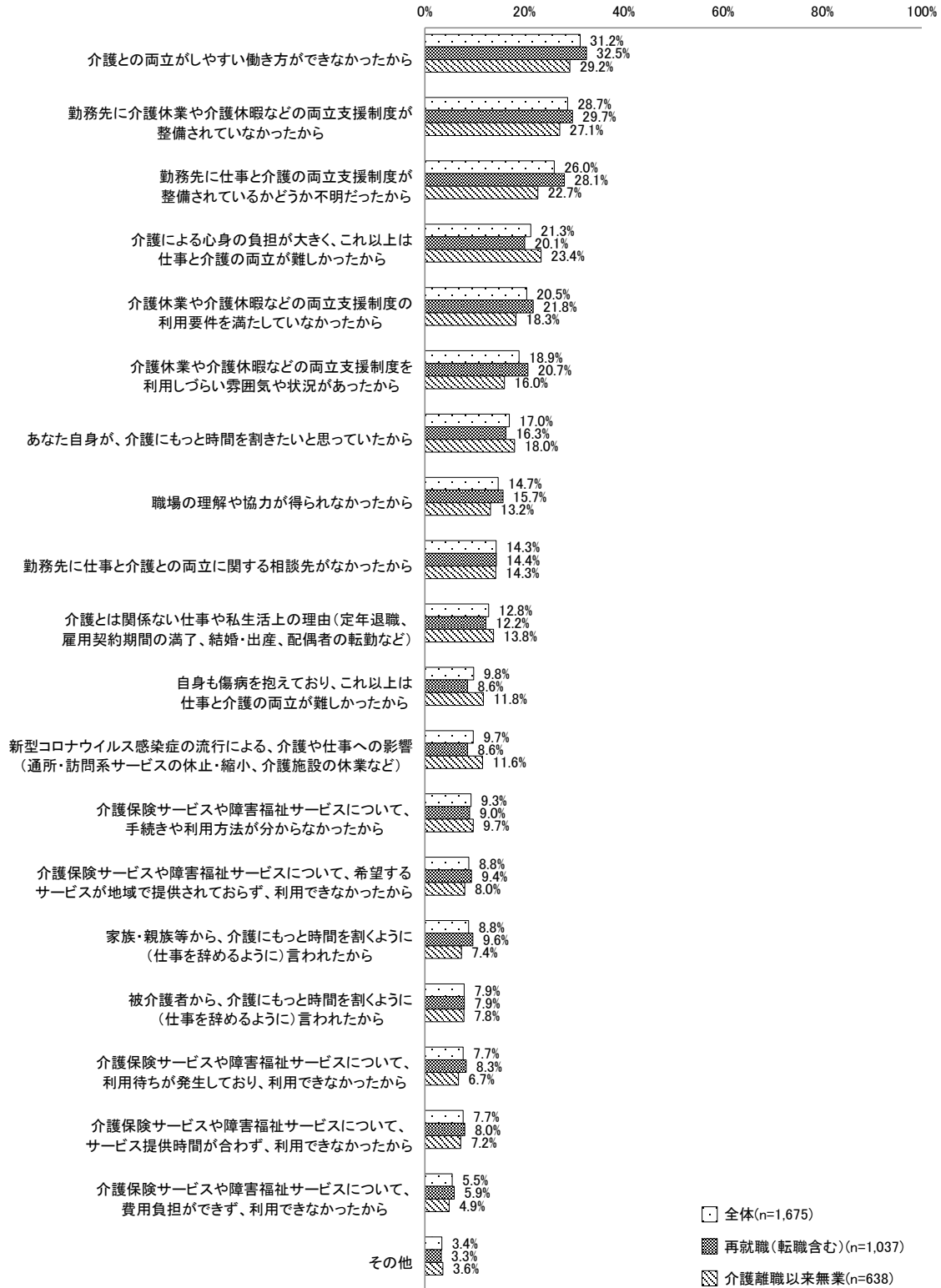
<数値表>

	合計	SQ10S1.手助・介護のために離職する直前の就業形態													
		正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働派遣事業所の派遣社員	契約社員	嘱託	その他の雇用者	会社などの役員	自営業主(雇人がいる)	自営業主(雇人なし。フリーランスを含む。)	自家営業の手伝い	内職	収入源となるような仕事をしていない	不明
全体	1,675	78.7	9.3	4.4	3.1	3.0	0.8	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
再就職(転職含む)	1,037	81.0	7.9	3.6	3.2	3.0	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
介護離職以来無業	638	74.9	11.4	5.6	3.0	3.0	1.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0

(2) 手助・介護のために、仕事を辞めた理由

手助・介護のために、仕事を辞めた理由をみると、「全体」では、「介護との両立がしやすい働き方ができなかったから」が31.2%でもっとも割合が高く、次いで「勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていなかったから」が28.7%となっている。

図表 235 手助・介護のために、仕事を辞めた理由:複数回答 (Q45)



(3) 介護離職理由の分析

介護離職者について、介護離職をした理由の上位は、以下のようになっている（図表 235）。

- 「介護との両立がしやすい働き方ができなかったから」：31.2%
- 「勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていなかったから」：28.7%
- 「勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから」：26.0%
- 「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」：21.3%
- 「介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから」：20.5%

上記の理由のうち、職場の働き方や制度以外に関するものの理由として、「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」が挙げられる。「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」の割合が高い回答者層は、以下のとおりであった。

- 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから勤務先や関係機関へ相談した回答者層（図表 236、図表 237）
- 周囲からサポートを受けられているものの、十分ではない回答者層（図表 238、図表 239）
- 被介護者の認知症が重度である回答者層（「徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる（みられた）」）（35.5%）（図表 240）
- 被介護者の生活場所への移動時間が2時間以上の回答者層（39.6%）（図表 241）
- 「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」について「あまりそう思わない」回答者層（36.3%）および「そう思わない」回答者層（37.1%）（図表 242）や「外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができている」について「そう思わない」回答者層（36.0%）（図表 243）
- 介護休業制度の趣旨について、「介護休業期間は介護に専念するための期間である」と考えている回答者層（34.9%）（図表 244）
- 働き方や仕事の進め方として、「早出・遅出など出退勤時間を調整できる」について「そう思わない」回答者層（31.9%）（図表 245）や「就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる」について「そう思わない」回答者層（37.2%）（図表 246）
- 「介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている」について「そう思わない」回答者層（35.2%）（図表 247）

図表 236 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先（Q12S4）別、介護離職理由（上位5項目）：複数回答（Q45）

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q12S4.手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先	手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	255	27.5	40.4	29.4	17.6	25.1
	手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した	352	31.8	32.1	35.5	20.5	25.6
	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した	265	28.3	29.8	41.1	17.4	25.3
	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した	130	32.3	30.0	23.1	15.4	34.6
	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した	65	32.3	27.7	33.8	15.4	20.0
	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	23	43.5	26.1	30.4	30.4	21.7
	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	96	37.5	17.7	17.7	26.0	18.8
	相談先を知っていたが、相談したことはない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談したことはない	489	32.1	21.7	10.4	27.0	8.4
この相談先は知らない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

図表 237 手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター（Q12S7）別、介護離職理由（上位5項目）：複数回答（Q45）

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q12S7.手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター	手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	243	30.0	38.3	30.0	18.9	24.3
	手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した	393	29.5	34.6	31.3	21.9	22.9
	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した	252	29.0	26.2	40.5	19.0	27.0
	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した	115	21.7	36.5	27.0	20.0	34.8
	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した	54	31.5	18.5	25.9	14.8	31.5
	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	34	44.1	41.2	29.4	35.3	23.5
	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	106	28.3	22.6	21.7	21.7	17.9
	相談先を知っていたが、相談したことはない	159	45.9	18.9	11.9	27.7	11.9
	相談したことはない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
この相談先は知らない	319	31.7	20.7	12.9	21.0	7.2	

図表 238 手助・介護に関する周囲からのサポート ①介護のことで、あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと (Q29S1) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由				
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5
Q29S1.手助・介護に関する周囲からのサポート	307	28.7	40.4	36.8	15.3	32.9
サポートを受けられており、十分(希望通り)である	621	26.4	24.8	32.2	16.1	24.2
①介護のことで、あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと	228	36.0	28.1	28.5	21.5	21.9
サポートを受けられているが、十分(希望通り)ではない	116	36.2	31.9	20.7	37.9	16.4
サポートを受けられていない	403	36.5	25.3	8.4	29.0	5.7

図表 239 手助・介護に関する周囲からのサポート ③あなたが用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと (Q29S3) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由				
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5
Q29S3.手助・介護に関する周囲からのサポート ③あなたが用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと	372	28.5	33.6	33.3	15.6	28.2
サポートを受けられており、十分(希望通り)である	543	30.8	28.5	30.9	17.1	24.9
サポートを受けられているが、十分(希望通り)ではない	264	30.3	29.5	31.1	18.9	23.1
サポートを受けられているが、十分(希望通り)ではない	143	35.7	23.8	22.4	35.0	11.9
サポートを受けられていない	353	33.7	25.2	8.5	30.0	7.1

図表 240 被介護者の認知症の状況 (Q22) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由				
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5
Q22.被介護者の認知症の状況	489	31.9	29.0	18.6	18.4	13.1
認知症の症状は無い(無かった)	572	28.7	28.7	33.6	18.7	24.0
何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している(していた)	424	34.0	30.9	28.3	25.0	25.9
たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる(できた)	141	35.5	23.4	17.0	35.5	14.2
徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる(みられた)	49	18.4	22.4	18.4	8.2	24.5
わからない						

図表 241 被介護者の生活場所への移動時間（Q25）別、介護離職理由（上位5項目）：複数回答（Q45）

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q25.被介護者の生活場所への移動時間	片道30分未満	326	33.4	27.9	21.5	27.6	13.8
	片道30分～1時間未満	306	22.9	22.9	37.3	13.4	30.4
	片道1～2時間未満	89	32.6	27.0	20.2	16.9	30.3
	片道2時間以上	48	43.8	20.8	8.3	39.6	10.4

図表 242 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている（Q31S1）別、介護離職理由（上位5項目）：複数回答（Q45）

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q31S1.被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている	そう思う	203	30.0	35.5	28.1	14.3	27.1
	ややそう思う	594	29.1	29.8	31.6	15.0	23.7
	どちらともいえない	489	25.6	25.6	25.2	19.8	17.4
	あまりそう思わない	273	38.8	26.4	19.8	36.3	17.9
	そう思わない	116	50.0	30.2	12.1	37.1	11.2

図表 243 被介護者への手助・介護に関する評価 ③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができている（Q31S3）別、介護離職理由（上位5項目）：複数回答（Q45）

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q31S3.被介護者への手助・介護に関する評価 ③外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができている	そう思う	392	27.0	31.1	34.9	16.8	31.1
	ややそう思う	578	31.1	28.7	31.1	16.6	20.1
	どちらともいえない	455	31.2	24.4	17.4	24.8	16.7
	あまりそう思わない	175	36.0	32.6	16.0	31.4	12.0
	そう思わない	75	42.7	33.3	16.0	36.0	10.7

図表 244 介護休業制度の趣旨に関する考え (Q37) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q37.介護休業制度の趣旨に関する考え	A(介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である)	159	38.4	41.5	28.3	23.3	22.0
	どちらかというA	691	32.7	31.4	32.6	20.1	24.6
	どちらともいえない	407	22.9	22.4	26.3	16.2	22.9
	どちらかというB	198	33.8	27.3	17.2	23.2	11.6
	B(介護休業期間は介護に専念するための期間である)	129	41.1	29.5	12.4	34.9	11.6
	わからない	91	25.3	16.5	9.9	26.4	7.7

図表 245 働き方や仕事の進め方の状況 ④早出・遅出など出退勤時間を調整できる (Q38S4) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q38S4.働き方や仕事の進め方の状況 ④	そう思う	308	33.4	33.8	24.0	19.5	23.4
	ややそう思う	509	28.5	28.3	30.8	19.4	22.0
	どちらともいえない	394	25.4	27.7	27.7	19.8	22.1
早出・遅出など出退勤時間を調整できる	あまりそう思わない	248	28.6	23.4	25.0	20.6	20.2
	そう思わない	216	48.1	30.6	15.7	31.9	10.2

図表 246 働き方や仕事の進め方の状況 ⑤就業時間の途中で職場を離れる (中抜けする) ことができる (Q38S5) 別、介護離職理由 (上位5項目) :複数回答 (Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由					
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから	
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5	
Q38S5.働き方や仕事の進め方の状況 ⑤	そう思う	309	32.0	35.6	28.2	17.5	24.6
	ややそう思う	508	28.0	30.7	31.5	15.6	25.2
	どちらともいえない	370	25.4	21.9	28.4	17.0	20.0
就業時間の途中で職場を離れる (中抜けする) ことができる	あまりそう思わない	235	31.5	28.1	20.0	28.5	17.4
	そう思わない	253	45.1	26.9	14.6	37.2	9.5

図表 247 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている(得られた)か(Q39S4)別、介護離職理由(上位5項目):複数回答(Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由				
		介護との両立がしやすい働き方ができなかったから	勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていなかったから	勤務先に仕事と介護の両立に関する相談先がなかったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから
全体	1,675	31.2	28.7	26.0	21.3	20.5
Q39S4.手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ④介護をしながら働くことについて、職場の理解や協力が得られている(得られた)か						
そう思う	310	24.2	33.9	35.8	15.8	28.1
ややそう思う	491	29.5	29.5	31.2	15.7	24.2
どちらともいえない	474	27.4	21.5	22.2	22.2	16.9
あまりそう思わない	207	41.1	30.0	20.8	28.0	18.8
そう思わない	193	45.6	34.7	12.4	35.2	9.3

被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている(Q31S1)別にみると、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」について「そう思わない」という人は、「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」のほかに、離職理由として「介護との両立がしやすい働き方ができなかったから」「職場の理解や協力が得られなかったから」「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」を挙げる割合が高いという傾向がある。

図表 248 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている(Q31S1)別、介護離職理由:複数回答(Q45)

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由												
		介護保険サービスや障害福祉サービスについて、手続きや利用方法が分からなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、希望するサービスが地域で提供されず、利用できなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、利用するサービスについて、利用できないから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、サービス提供時間が合わず、利用できなかったから	介護との両立が難しいから	職場の理解や協力が得られなかったから	勤務先に仕事と介護の両立に関する相談先がなかったから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	自身も病を抱えており、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから	介護とは関係ない理由(定年退職、雇用契約期間の満了、結婚・出産、配偶者の転勤など)	新型コロナウイルス感染症の流行による、介護や仕事への影響(通所・訪問系サービスの休止・縮小、介護施設の休業など)	その他	不明
全体	1,675	28.7	26.0	20.5	18.9	31.2	14.7	14.3	9.3	8.8	7.7	7.7		
Q31S1.被介護者への手助・介護に関する感想 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている														
そう思う	203	35.5	28.1	27.1	19.7	30.0	17.7	15.3	14.3	13.3	7.9	9.4		
ややそう思う	594	29.8	31.6	23.7	19.4	29.1	10.9	13.0	9.6	10.1	9.4	8.2		
どちらともいえない	489	25.6	25.2	17.4	19.4	25.6	11.7	10.6	6.1	7.8	6.1	7.8		
あまりそう思わない	273	26.4	19.8	17.9	18.3	38.8	19.8	19.8	10.3	7.7	8.8	7.0		
そう思わない	116	30.2	12.1	11.2	14.7	50.0	30.2	22.4	9.5	1.7	2.6	3.4		

被介護者の要介護度（Q18）別にみると、「要支援1」では離職理由として「勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから」を挙げる割合が高いという傾向がみられる。（図表 249）

図表 249 被介護者の要介護度（Q18）別、介護離職理由：複数回答（Q45）

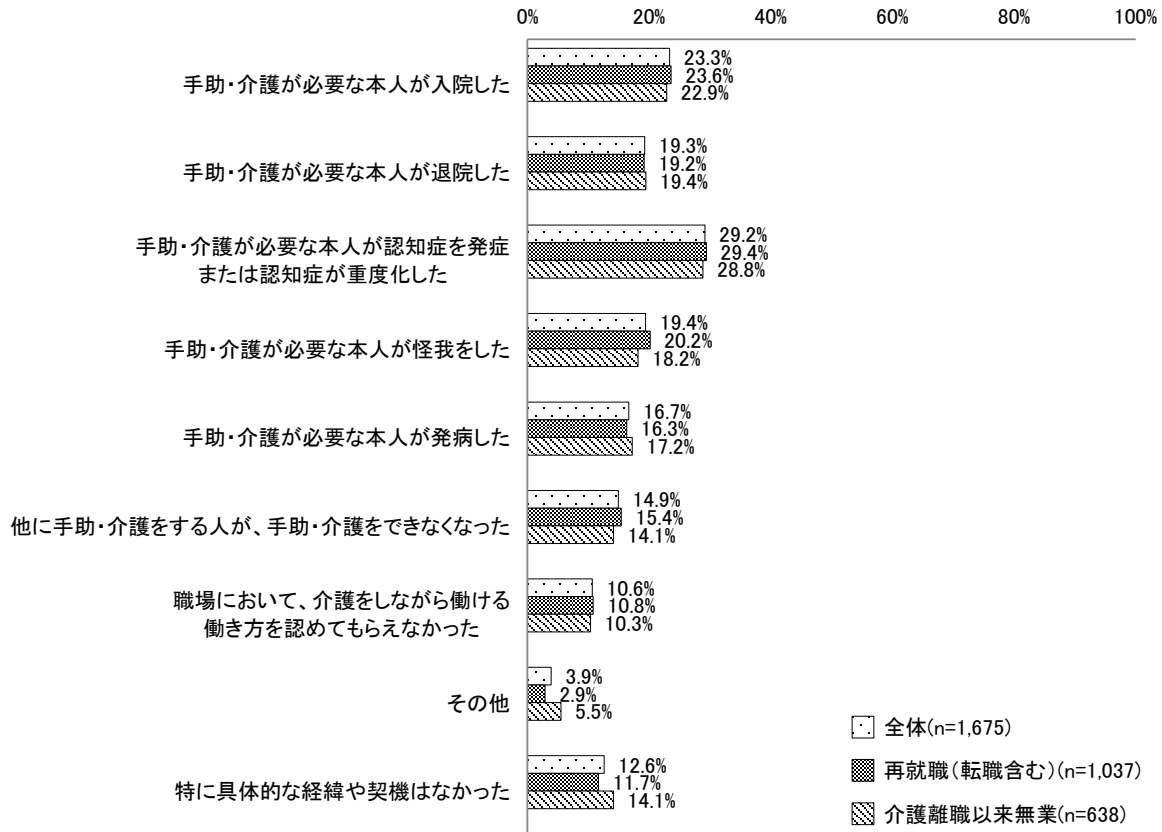
	合計	Q45. 手助・介護のために、仕事を辞めた理由										
		勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから	勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度を利用しているが満足していなかったから	介護休業や介護休暇などの両立支援制度を利用しづらい雰囲気や状況があったから	介護との両立がしやすい働き方できなかったから	職場の理解や協力がなかったから	勤務先に仕事と介護の両立に関する相談がなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、手続きや利用方法が分からなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、希望するサービスが地域で提供されなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、利用待ちが発生しておらず、利用できなかったから	介護保険サービスや障害福祉サービスについて、サービス提供時間が合わず、利用できなかったから
全体	1,675	28.7	26.0	20.5	18.9	31.2	14.7	14.3	9.3	8.8	7.7	7.7
Q18. 被介護者の要介護度												
要支援1	176	35.2	39.2	27.3	15.9	21.6	9.1	11.9	6.8	6.8	8.0	7.4
要支援2	198	35.4	34.3	24.2	17.2	22.2	14.1	8.6	8.6	5.1	6.6	7.1
要介護1	200	29.0	28.5	19.0	20.5	28.5	13.5	16.0	10.5	7.0	4.5	6.0
要介護2	313	29.1	25.9	21.1	22.0	36.1	15.3	13.1	11.5	10.2	8.0	10.5
要介護3	310	28.4	27.7	20.0	21.3	35.8	15.5	18.1	9.4	13.2	11.9	9.4
要介護4	134	23.9	13.4	24.6	20.1	42.5	20.1	15.7	6.7	11.9	11.9	6.7
要介護5	84	25.0	8.3	10.7	15.5	22.6	6.0	15.5	7.1	8.3	0.0	1.2
申請中	37	32.4	37.8	18.9	24.3	29.7	18.9	8.1	21.6	5.4	16.2	10.8
申請したが認定されなかった	20	25.0	30.0	20.0	20.0	15.0	30.0	20.0	15.0	20.0	15.0	10.0
申請していない	123	22.8	11.4	13.0	13.0	37.4	18.7	17.1	7.3	2.4	2.4	4.9
わからない	80	17.5	20.0	15.0	12.5	30.0	15.0	13.8	6.3	8.8	3.8	7.5

	合計	Q45. 手助・介護のために、仕事を辞めた理由									
		介護保険サービスや障害福祉サービスについて、費用ができず、利用できなかったから	あなた自身や介護の両立をうまくやることができなかったから	被介護者から介護の両立を辞めようと言われたから	家族・親等から、介護にもっと時間を割くように（仕事を辞めるように）言われたから	介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しくなったから	自身も傷病を抱えており、これ以上は介護の両立が難しくなったから	介護とは関係ない仕事や生活上の理由（定年退職、雇用契約満了、結婚・出産、配偶者の転勤など）	新型コロナウイルス感染症の流行による、介護や仕事への影響（通所・訪問サービスの休止・サービスの縮小、介護施設の休業など）	その他	不明
全体	1,675	5.5	17.0	7.9	8.8	21.3	9.8	12.8	9.7	3.4	0.0
Q18. 被介護者の要介護度											
要支援1	176	4.0	11.9	7.4	5.7	11.4	6.3	7.4	9.1	1.7	0.0
要支援2	198	4.5	11.6	4.5	9.6	17.2	8.6	13.1	10.1	1.5	0.0
要介護1	200	2.0	16.5	7.5	8.0	22.0	8.5	13.0	4.5	5.5	0.0
要介護2	313	5.8	15.3	9.9	8.3	25.2	8.9	12.1	10.5	3.2	0.0
要介護3	310	6.1	19.0	8.4	9.7	22.3	11.6	14.2	10.6	3.5	0.0
要介護4	134	8.2	26.9	9.0	9.7	27.6	11.2	13.4	9.0	4.5	0.0
要介護5	84	4.8	20.2	3.6	7.1	27.4	7.1	13.1	11.9	3.6	0.0
申請中	37	2.7	10.8	16.2	16.2	24.3	5.4	18.9	16.2	0.0	0.0
申請したが認定されなかった	20	20.0	20.0	15.0	25.0	25.0	10.0	25.0	10.0	5.0	0.0
申請していない	123	8.9	21.1	7.3	8.9	22.8	17.9	13.8	10.6	4.9	0.0
わからない	80	5.0	16.3	6.3	6.3	11.3	10.0	12.5	11.3	3.8	0.0

(4) 手助・介護のために仕事を辞めることを決心した、具体的な経緯や契機

手助・介護のために仕事を辞めることを決心した、具体的な経緯や契機をみると、「全体」では、「手助・介護が必要な本人が認知症を発症または認知症が重度化した」が29.2%でもっとも割合が高く、次いで「手助・介護が必要な本人が入院した」が23.3%となっている。

図表 250 手助・介護のために仕事を辞めることを決心した、具体的な経緯や契機:複数回答 (Q46)

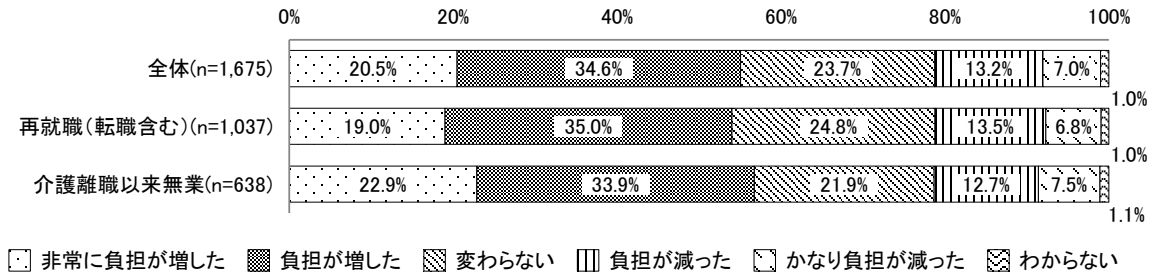


(5) 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化

①精神面

手助・介護を機に仕事を辞めてからの回答者自身の精神面での変化をみると、「全体」では、「負担が増した」が34.6%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が23.7%となっている。

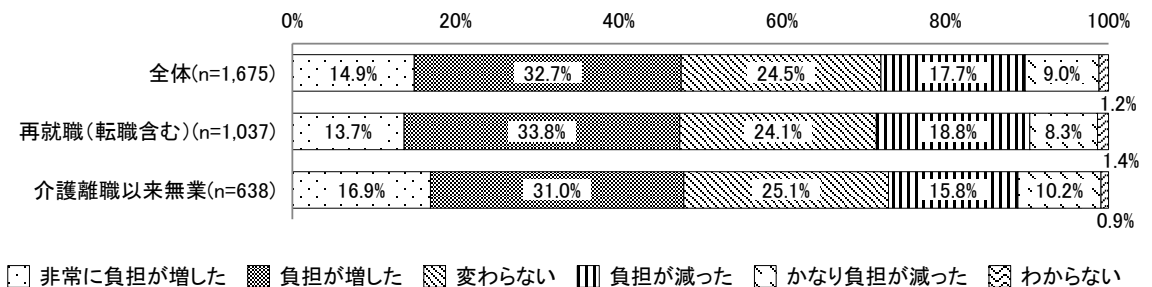
図表 251 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ①精神面:単数回答 (Q48S1)



②肉体面

手助・介護を機に仕事を辞めてからの回答者自身の肉体面での変化をみると、「全体」では、「負担が増した」が32.7%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が24.5%となっている。

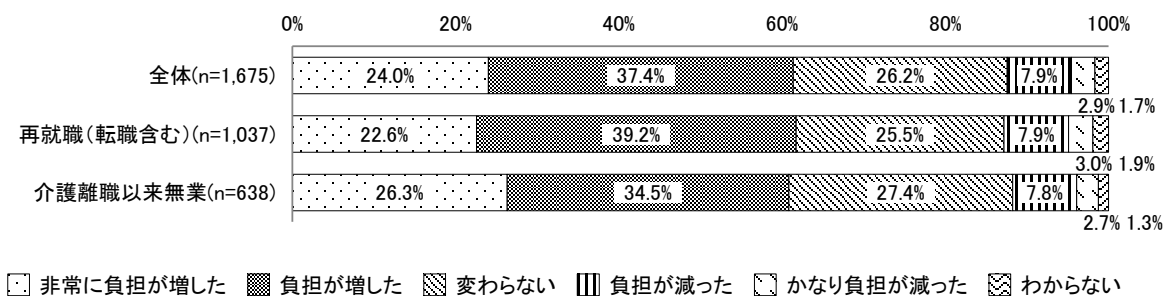
図表 252 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ②肉体面:単数回答 (Q48S2)



③経済面

手助・介護を機に仕事を辞めてからの回答者自身の経済面での変化をみると、「全体」では、「負担が増した」が37.4%でもっとも割合が高く、次いで「変わらない」が26.2%となっている。

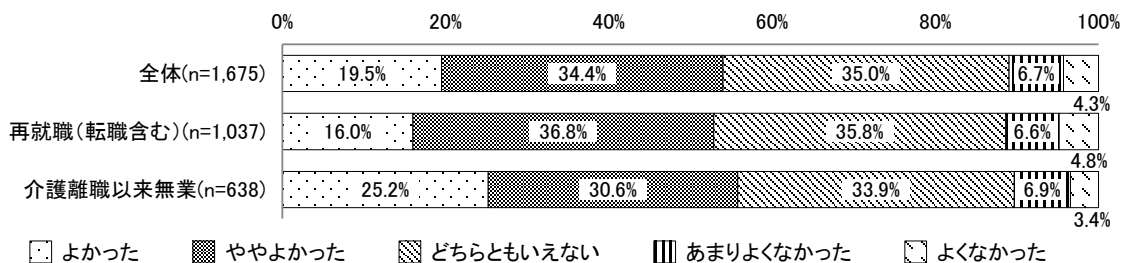
図表 253 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ③経済面:単数回答 (Q48S3)



(6) 手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか

手助・介護を機に仕事を辞めたことを回答者がどのように評価しているかをみると、「全体」では、「どちらともいえない」が35.0%でもっとも割合が高く、次いで「ややよかった」が34.4%となっている。

図表 254 手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか:単数回答 (Q49)



手助・介護を機に仕事を辞めたことについてよかったという評価をしている割合が高い傾向がみられたのは、被介護者の要介護度が「要支援2」「要介護5」の層（図表 256；「要支援2」「要介護5」は「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が6割を超える）や「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」について「そう思う」「ややそう思う」という層（図表 258）であった。

また、手助・介護を機に仕事を辞めたことについてよかったという評価をしている層では、離職理由として「あなた自身が、介護にもっと時間を割きたいと思っていたから」を挙げる割合が高い傾向（図表 262）がみられた。

手助・介護を機に仕事を辞めたことについてよくなかったという評価をしている割合が高い傾向がみられたのは、手助・介護をするようになってから1年以上経過してから、勤務先に相談をしている層（図表 255）、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」かどうかについて「そう思わない」層（図表 257）、仕事を辞めてからの変化として精神面・肉体面・経済面で「非常に負担が増した」層（図表 259、図表 260、図表 261）であった。

また、手助・介護を機に仕事を辞めたことについてよくなかったという評価をしている層では、離職理由として「介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから」「職場の理解や協力が得られなかったから」を挙げる割合が高い傾向（図表 262）がみられた。

図表 255 手助・介護に関する相談の状況 ④勤務先別 (Q12S4)、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (SQ49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよかった	どちらともいえな い	あまりよ く な か つ た	よくな か つ た	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q12S4.手助・ 介護に関する 相談の状況 ④勤務先	手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	255	25.5	32.2	32.5	5.5	4.3	0.0
	手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した	352	17.0	40.3	33.0	6.5	3.1	0.0
	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した	265	9.1	44.5	32.8	4.9	8.7	0.0
	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した	130	13.1	42.3	34.6	6.2	3.8	0.0
	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した	65	18.5	27.7	35.4	13.8	4.6	0.0
	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	23	17.4	39.1	17.4	21.7	4.3	0.0
	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある	96	17.7	31.3	40.6	8.3	2.1	0.0
	相談先を知っていたが、相談したことはない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談したことはない	489	26.2	25.2	38.9	6.5	3.3	0.0
この相談先は知らない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

図表 256 被介護者の要介護度別 (Q18)、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (SQ49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ か つ た	どちらと も い え な い	あまりよ く な か つ た	よくな か つ た	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q18.被介護 者の要介護 度	要支援1	176	18.2	38.6	36.9	4.0	2.3	0.0
	要支援2	198	19.2	44.4	30.3	4.5	1.5	0.0
	要介護1	200	15.5	35.0	39.0	8.0	2.5	0.0
	要介護2	313	16.0	37.7	30.4	7.3	8.6	0.0
	要介護3	310	16.8	32.6	35.8	9.0	5.8	0.0
	要介護4	134	27.6	25.4	38.8	6.0	2.2	0.0
	要介護5	84	41.7	22.6	28.6	4.8	2.4	0.0
	申請中	37	10.8	27.0	45.9	8.1	8.1	0.0
	申請したが認定されなかった	20	20.0	30.0	35.0	15.0	0.0	0.0
	申請していない	123	21.1	34.1	34.1	6.5	4.1	0.0
わからない	80	22.5	26.3	45.0	3.8	2.5	0.0	

図表 257 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている (Q31S1) 別、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (Q49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ か つ た	どちらと も い え な い	あまりよ く な か つ た	よくな か つ た	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q31S1.被介護者への手 助・介護に関する感想 ①介護をしながらも、自 分自身の生活を大事にで きている	そう思う	203	40.4	28.1	23.6	5.9	2.0	0.0
	ややそう思う	594	18.0	46.3	30.0	4.5	1.2	0.0
	どちらともいえない	489	15.5	30.9	45.8	5.3	2.5	0.0
	あまりそう思わない	273	16.1	27.5	34.1	12.5	9.9	0.0
	そう思わない	116	15.5	16.4	37.9	11.2	19.0	0.0

図表 258 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい (Q32S3) 別、
手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (Q49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ かった	どちらと もいえな い	あまりよ くなかつ た	よくな かった	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q32S3.手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい	そう思う	383	28.7	33.2	29.0	7.0	2.1	0.0
	ややそう思う	596	18.0	42.3	33.2	4.0	2.5	0.0
	どちらともいえない	464	15.9	28.9	42.0	6.0	7.1	0.0
	あまりそう思わない	162	13.6	28.4	38.3	14.8	4.9	0.0
	そう思わない	70	20.0	25.7	30.0	12.9	11.4	0.0

図表 259 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ①精神面 (Q48S1) 別、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (Q49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ かった	どちらと もいえな い	あまりよ くなかつ た	よくな かった	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q48S1.手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ①精神面	非常に負担が増した	343	24.2	21.9	31.2	11.4	11.4	0.0
	負担が増した	579	15.2	42.0	34.0	6.9	1.9	0.0
	変わらない	397	15.6	36.5	44.1	3.5	0.3	0.0
	負担が減った	221	19.5	35.7	32.1	6.3	6.3	0.0
	かなり負担が減った	118	42.4	28.0	21.2	2.5	5.9	0.0
	わからない	17	5.9	11.8	70.6	11.8	0.0	0.0

図表 260 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ②肉体面 (Q48S2) 別、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (Q49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ かった	どちらと もいえな い	あまりよ くなかつ た	よくな かった	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q48S2.手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ②肉体面	非常に負担が増した	250	26.4	19.2	30.4	11.2	12.8	0.0
	負担が増した	548	15.5	37.6	36.9	7.7	2.4	0.0
	変わらない	410	16.3	39.3	39.5	3.9	1.0	0.0
	負担が減った	296	17.6	39.9	32.1	4.4	6.1	0.0
	かなり負担が減った	151	35.8	25.8	29.1	6.0	3.3	0.0
	わからない	20	15.0	25.0	40.0	20.0	0.0	0.0

図表 261 手助・介護を機に仕事を辞めてからの変化 ③経済面 (Q48S3) 別、手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価:単数回答 (Q49)

	合計	Q49.手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価しているか						
		よかった	ややよ かった	どちらと もいえな い	あまりよ く な か つ た	よくな か つ た	不明	
全体	1,675	19.5	34.4	35.0	6.7	4.3	0.0	
Q48S3.手助・ 介護を機に仕 事を辞めてか らの変化 ③ 経済面	非常に負担が増した	402	20.9	22.9	30.3	10.7	15.2	0.0
	負担が増した	626	19.8	39.3	34.8	5.3	0.8	0.0
	変わらない	439	21.9	38.3	35.1	3.9	0.9	0.0
	負担が減った	132	9.8	37.9	45.5	6.8	0.0	0.0
	かなり負担が減った	48	10.4	27.1	50.0	12.5	0.0	0.0
	わからない	28	17.9	28.6	32.1	14.3	7.1	0.0

図表 262 手助・介護を機に仕事を辞めたことの評価 (Q49) 別、介護離職理由:複数回答 (Q45)

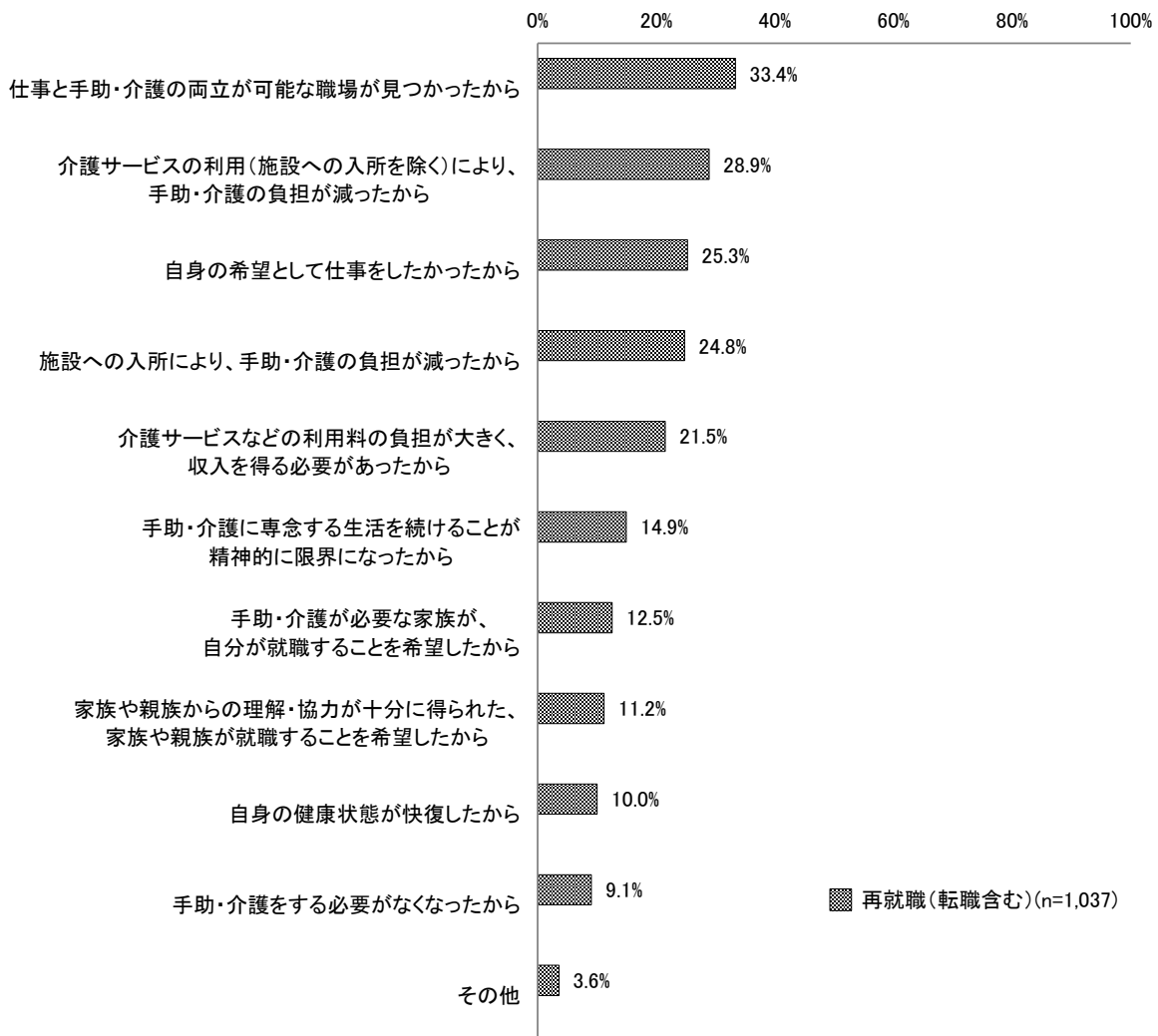
	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由											
		勤務先に 介護休業 や介護休 暇などの 両立支援 制度が整 備されて いなかった から	勤務先に 介護休業 や介護休 暇などの 両立支援 制度が整 備されて いなかった から	介護休業 や介護休 暇などの 両立支援 制度の利 用要件を 満たして いなかった から	介護休業 や介護休 暇などの 両立支援 制度を利 用しづら い雰囲気 や状況が あったか ら	介護とし 両立がし やすい働 き方がで きなかつ たから	職場の理 解や協力 が得られ なかつた から	勤務先に 介護と 両立に関 する相談 先がなかつ たから	介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、手続 きや利用 方法が分 からなかつ たから	介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、希望 するサー ビスが地 域で提供 されてお らず、利 用できな かつたか ら	介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、利用 待ちが発 生してお り、利用 できなかつ たから	介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、サー ビス提供 時間が合 わず、利 用できな かつたか ら	介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、サー ビス提供 時間が合 わず、利 用できな かつたか ら
全体	1,675	28.7	26.0	20.5	18.9	31.2	14.7	14.3	9.3	8.8	7.7	7.7	
Q49.手助・介護 を機に仕事を 辞めたことを どのように評 価しているか	よかった	327	30.6	16.8	13.8	17.1	37.0	19.3	16.8	10.1	6.4	7.0	7.0
	ややよかつた	577	32.2	34.0	24.4	18.5	31.7	12.3	13.5	10.4	11.4	9.2	9.2
	どちらとも いえない	587	23.7	25.6	20.3	19.3	26.2	12.4	12.3	6.8	8.0	6.3	5.5
	あまりよ くなかつた	112	28.6	23.2	23.2	23.2	33.9	17.9	21.4	14.3	8.0	8.9	13.4
	よくなかつた	72	33.3	12.5	16.7	20.8	37.5	27.8	15.3	8.3	6.9	8.3	8.3

	合計	Q45.手助・介護のために、仕事を辞めた理由										
		介護保険 サービス や障害福 祉サービ スについ て、費用 負担がで きず、利 用できな かつたか ら	あなた自 身が、介 護にもつ と時間を 割きたい と思っ ていたか ら	被介護者 から、介 護にもつ と時間を 割くよう に(仕事 を辞める ように) 言われた から	家族・親 族等か ら、介護 にもつと 時間を割 くように 促された から(仕事 を辞める ように) 言われた から	介護によ る心身の 負担が大 きく、こ れ以上は 仕事と介 護の両立 が難しく なかつた から	自身も傷 病を抱え ており、 これ以上 は仕事と 介護の両 立が難し かつたか ら	介護とは 関係ない 仕事や私 生活上の 理由(定 年退職、 雇用契約 期間の満 了、結婚 ・出産、 配偶者 の転勤 など)	新型コロナ ウイルス 感染症の 流行によ る、介護 や仕事 への影響 (通所・ 訪問系 サービスの 休止・縮 小、介護 施設の休 業など)	その他	不明	
全体	1,675	5.5	17.0	7.9	8.8	21.3	9.8	12.8	9.7	3.4	0.0	
Q49.手助・介護 を機に仕事を 辞めたことを どのように評 価しているか	よかつた	327	5.8	28.7	4.9	5.2	27.2	11.9	12.8	9.2	8.9	0.0
	ややよかつた	577	5.0	17.7	9.2	10.4	19.6	8.7	12.8	10.4	1.9	0.0
	どちらとも いえない	587	4.9	11.8	7.3	7.5	17.2	8.5	12.8	8.7	2.6	0.0
	あまりよ くなかつた	112	12.5	13.4	10.7	16.1	23.2	16.1	15.2	14.3	0.9	0.0
	よくなかつた	72	1.4	5.6	11.1	11.1	38.9	9.7	9.7	8.3	1.4	0.0

(7) 手助・介護のために仕事を辞めてから、再就職(転職含む)した理由

手助・介護のために仕事を辞めてから、再就職(転職含む)した理由をみると、「全体」では、「仕事と手助・介護の両立が可能な職場が見つかったから」が33.4%でもっとも割合が高く、次いで「介護サービスの利用(施設への入所を除く)により、手助・介護の負担が減ったから」が28.9%となっている。

図表 263 手助・介護のために仕事を辞めてから、再就職(転職含む)した理由:複数回答(Q50)



(8) どのような相談窓口があると相談したいと思えるか (自由回答)

どのような相談窓口があると相談したいと思えるかを自由回答で把握した。主な回答は以下の通りであった。

図表 264 どのような相談窓口があると相談したいと思えるか:自由回答 (Q51S1)

家族間でトラブルが起きないように、(ケアマネジャーのヒアリングの際など) 介護者全員と会話するなどしてもらえそうな相談窓口だと良いと思います。
役所以外でも専門知識を持った方や、今までに介護の経験がある方たちが世間話的な感じで相談に乗ってくれるような相談コンビニみたいな場所。
匿名でチャットなどででも相談できる場所があるとありがたいです。自分の時間が夜間くらいしかなく、電話だと家族を起こしてしまうためです。それに文字として残したほうが読み返しやすいためです。
具体的に相談がなくても、将来のため事前にアドバイスしていただけるような窓口があればいざという時慌てなくてよいので、そのような相談窓口があればよいと思います。
介護や療育も含めて、社会として障害児を預かる保育施設へのアクセスがどういった手順でいけば繋がれるのか具体的に早い段階でアドバイスしてくれるところ。
1つの窓口で介護や自分の暮らしに関することを全て相談できるような窓口。その人の相談内容や状況を一括で把握できるシステムや窓口があると便利。
子供が親の面倒を見るのは当たり前で面倒をみないのは親不孝だという親を子供にも家庭と生活があるということを諭してくれる相談先。
土日祝や平日の夜遅くなどでも専門家が相談に乗ってくれるような窓口や電話相談があると相談したいと思える。
身近なスーパーでちょっとしたなんでも相談コーナーを設けたスペースがあると気軽に行ってみようかなと思う。

5. 就業継続者と介護離職者の比較

就業継続者と介護離職者の集計結果を比較したところ、以下のような傾向がみられた。なお、本章における集計は、就業継続者と介護離職者のいずれについても、Q27 において「あなたが主に手助・介護を担当している（していた）」および「あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）」と回答した者を集計対象としている。

①情報収集・相談

就業継続者に比べて、介護離職者が適切な相談先へ相談できていない、介護保険サービスに繋がっていないという傾向は確認できなかった。実際にはその逆の関係を示す結果となっている。具体的には以下のような傾向が見られた。

- 介護離職者のほうが、手助・介護を始める以前に、職場から両立支援制度や介護保険制度に関する情報提供を受けている割合が高い。（図表 265、図表 266）
- 介護離職者のほうが、両立支援制度や介護保険制度について自主的に情報収集を行っている割合が高い。（図表 267、図表 268）
- 介護離職者のほうが、地域包括支援センターやケアマネジャーに相談をしている割合が高い。特にいずれの相談先についても「手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間に関した」という割合が高い。（図表 269、図表 270）
- 介護離職者のほうが、ケアマネジャーに対して自身のことを相談できている割合が高い。（図表 271、図表 272、図表 273）

図表 265 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ①両立支援制度について：単数回答 (Q10S1)

	合計	Q10S1. 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ①両立支援制度について						
		勤務先に就職したタイミング	第2号被保険者になったタイミング	その他、特定のタイミング	特定のタイミングではないが、日ごろから情報提供されている	介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない	わからない・覚えていない	不明
就業継続者	1,160	7.2	1.8	0.4	12.8	58.6	20.9	0.0
介護離職者	1,675	32.5	9.7	0.7	19.6	34.7	11.9	0.0

図表 266 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ②介護保険制度について：単数回答 (Q10S2)

	合計	Q10S2. 手助・介護を始める以前の職場からの情報提供 ②介護保険制度について						
		勤務先に就職したタイミング	第2号被保険者になったタイミング	その他、特定のタイミング	特定のタイミングではないが、日ごろから情報提供されている	介護に直面する前に、勤務先から情報提供を受けたことはない	わからないうい・覚えていない	不明
就業継続者	1,160	7.3	3.2	0.4	14.9	54.9	20.8	0.0
介護離職者	1,675	29.6	8.9	0.5	20.7	34.5	12.8	0.0

図表 267 自主的に情報収集した経験 ①両立支援制度について：複数回答 (Q11S1)

	合計	Q11S1. 自主的に情報収集した経験 ①両立支援制度について											
		国や自治体のホームページ・SNS	国や自治体による動画	国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	医療保険者によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	勤務先のポータルサイト	勤務先から示された動画	勤務先によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	勤務先における研修	介護に関する民間の支援機関のホームページ・SNS、動画、リーフレット・パンフレット・ポスター等	その他、ホームページ・SNS、動画、書籍や雑誌等	自主的に情報収集したことはない	不明
就業継続者	1,160	24.9	7.3	13.0	10.5	8.4	4.1	5.9	5.7	12.3	9.6	50.2	0.0
介護離職者	1,675	35.0	24.8	28.0	24.2	14.3	10.9	12.8	7.3	14.9	8.7	28.2	0.0

図表 268 自主的に情報収集した経験 ②介護保険制度について：複数回答 (Q11S2)

	合計	Q11S1. 自主的に情報収集した経験 ①両立支援制度について											
		国や自治体のホームページ・SNS	国や自治体による動画	国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	医療保険者によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	勤務先のポータルサイト	勤務先から示された動画	勤務先によるリーフレット・パンフレット・ポスター等	勤務先における研修	介護に関する民間の支援機関のホームページ・SNS、動画、リーフレット・パンフレット・ポスター等	その他、ホームページ・SNS、動画、書籍や雑誌等	自主的に情報収集したことはない	不明
就業継続者	1,160	24.9	7.3	13.0	10.5	8.4	4.1	5.9	5.7	12.3	9.6	50.2	0.0
介護離職者	1,675	35.0	24.8	28.0	24.2	14.3	10.9	12.8	7.3	14.9	8.7	28.2	0.0

図表 269 手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター：単数回答 (Q12S7)

	合計	Q12S7. 手助・介護に関する相談の状況 ⑦地域包括支援センター										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間に相談した	手助・介護をするようになってから1~3か月程度の間に相談した	手助・介護をするようになってから3~6か月程度の間に相談した	手助・介護をするようになってから6か月~1年未満の間に相談した	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	時期は覚えていないが、これまで相談したことはない	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
就業継続者	1,160	10.8	17.1	5.8	3.2	1.9	2.2	7.2	16.6	0.0	35.2	0.0
介護離職者	1,675	14.5	23.5	15.0	6.9	3.2	2.0	6.3	9.5	0.0	19.0	0.0

図表 270 手助・介護に関する相談の状況 ⑧ケアマネジャー:単数回答 (Q12S8)

	合計	Q12S8. 手助・介護に関する相談の状況 ⑧ケアマネジャー										
		手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた	手助・介護をするようになってから1か月程度の間にご相談した	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間にご相談した	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した	時期は覚えていないが、これまで相談したことはない	相談先を知っていたが、相談したことはない	相談したことはない	この相談先は知らない	不明
就業継続者	1,160	16.8	23.7	8.1	5.0	2.8	3.6	8.5	12.9	0.0	18.5	0.0
介護離職者	1,675	14.1	26.3	16.1	9.3	3.6	3.3	7.0	9.4	0.0	10.8	0.0

図表 271 ケアマネジャーへの相談の状況 ①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えているか:単数回答 (Q14S1)

	合計	Q14S1. ケアマネジャーへの相談の状況 ①あなた自身のことをケアマネジャーに相談したいと考えているか			
		はい	いいえ	分からない・覚えていない	不明
就業継続者	795	41.3	46.5	12.2	0.0
介護離職者	1,336	52.2	39.0	8.8	0.0

図表 272 ケアマネジャーへの相談の状況 ②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがあるか:単数回答 (Q14S2)

	合計	Q14S2. ケアマネジャーへの相談の状況 ②あなた自身のことをケアマネジャーに相談したことがあるか			
		はい	いいえ	分からない・覚えていない	不明
就業継続者	795	37.7	54.3	7.9	0.0
介護離職者	1,336	56.6	37.4	6.0	0.0

図表 273 ケアマネジャーへの相談の状況 ③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがあるか:単数回答 (Q14S3)

	合計	Q14S3. ケアマネジャーへの相談の状況 ③ケアマネジャーからあなたに対して、あなた自身のことを相談してもよいという声かけがあるか			
		はい	いいえ	分からない・覚えていない	不明
就業継続者	795	39.0	41.3	19.7	0.0
介護離職者	1,336	58.0	31.2	10.8	0.0

②制度やサービスの利用・周囲のサポート

介護離職者と就業継続者を比較した際に、就業継続者に比べ介護離職者が制度やサービスを利用できていない、サポートを得られていないという傾向は確認できなかった。実際にはその逆を示す結果となっている。具体的には以下のような傾向が見られた。

- 介護離職者のほうが、介護休業、介護休暇、所定労働時間や労働日数を短くする短時間勤務などを利用している割合が高い。(図表 274、図表 275、図表 276)

- 介護離職者のほうが、周囲からのサポートとして、「心配事や愚痴を聞いてもらう」「励ましたり思いやりしてもらおう」「代わりに被介護者の介護をしてもらう」「お使いや留守番などの、ちょっとした用事を頼む」などのサポートを得られている割合が高い。
(図表 277、図表 278、図表 279、図表 280)
- 介護離職者のほうが、職場からのサポートについて、「会社が従業員の仕事と介護の両立を支援する方針を発信しているのを見聞きした」「仕事と介護の両立支援制度(介護休業制度、介護休暇制度など)や会社の支援策について説明を受けた」などの割合が高い。
(図表 281)

図表 274 両立支援制度の利用状況 ①介護休業制度:単数回答 (Q36S1)

	合計	Q36S1. 両立支援制度の利用状況 ①介護休業制度				
		利用している	利用したことはないが、利用したい	利用したことはないが、利用する必要性を感じていない	わからない	不明
就業継続者	1,160	11.0	31.7	43.3	14.0	0.0
介護離職者	1,675	22.0	40.9	24.4	12.7	0.0

図表 275 両立支援制度の利用状況 ②介護休暇制度:単数回答 (Q36S2)

	合計	Q36S2. 両立支援制度の利用状況 ②介護休暇制度				
		利用している	利用したことはないが、利用したい	利用したことはないが、利用する必要性を感じていない	わからない	不明
就業継続者	1,160	12.6	33.4	39.3	14.7	0.0
介護離職者	1,675	21.4	38.9	27.0	12.7	0.0

図表 276 両立支援制度の利用状況 ③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務制度:単数回答 (Q36S3)

	合計	Q36S3. 両立支援制度の利用状況 ③所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務制度				
		利用している	利用したことはないが、利用したい	利用したことはないが、利用する必要性を感じていない	わからない	不明
就業継続者	1,160	9.9	34.1	41.3	14.7	0.0
介護離職者	1,675	21.2	40.5	26.3	12.0	0.0

図表 277 手助・介護に関する周囲からのサポート ①介護のことで、
あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと：単数回答（Q29S1）

	合計	Q29S1. 手助・介護に関する周囲からのサポート ①介護のことで、あなたの心配事や愚痴を聞いてもらうこと					不明
		サポートを受けられており、十分である	サポートを受けられており、まあ十分である	サポートを受けられているが、あまり十分ではない	サポートを受けられているが、十分ではない	そもそもサポートを受けていない	
就業継続者	1,160	12.4	31.0	10.0	5.6	40.9	0.0
介護離職者	1,675	18.3	37.1	13.6	6.9	24.1	0.0

図表 278 手助・介護に関する周囲からのサポート ②あなたのことを、
励ましたり思いやりしてもらったこと：単数回答（Q29S2）

	合計	Q29S2. 手助・介護に関する周囲からのサポート ②あなたのことを、励ましたり思いやりしてもらったこと					不明
		サポートを受けられており、十分である	サポートを受けられており、まあ十分である	サポートを受けられているが、あまり十分ではない	サポートを受けられているが、十分ではない	そもそもサポートを受けていない	
就業継続者	1,160	11.6	27.9	11.3	6.1	43.0	0.0
介護離職者	1,675	15.8	33.6	17.2	9.6	23.9	0.0

図表 279 手助・介護に関する周囲からのサポート ③あなたが用事があるときなどに、
代わりに被介護者の介護をしてもらうこと：単数回答（Q29S3）

	合計	Q29S3. 手助・介護に関する周囲からのサポート ③あなたが用事があるときなどに、代わりに被介護者の介護をしてもらうこと					不明
		サポートを受けられており、十分である	サポートを受けられており、まあ十分である	サポートを受けられているが、あまり十分ではない	サポートを受けられているが、十分ではない	そもそもサポートを受けていない	
就業継続者	1,160	18.3	29.6	10.5	6.9	34.7	0.0
介護離職者	1,675	22.2	32.4	15.8	8.5	21.1	0.0

図表 280 手助・介護に関する周囲からのサポート ④お使いや留守番などの、ちょっとした用事を頼むこと：単数回答（Q29S4）

	合計	Q29S4. 手助・介護に関する周囲からのサポート ④お使いや留守番などの、ちょっとした用事を頼むこと					不明
		サポートを受けられており、十分である	サポートを受けられており、まあ十分である	サポートを受けられているが、あまり十分ではない	サポートを受けられているが、十分ではない	そもそもサポートを受けていない	
就業継続者	1,160	14.8	28.0	10.8	5.1	41.3	0.0
介護離職者	1,675	19.5	31.0	15.5	8.4	25.6	0.0

図表 281 手助・介護に関する職場からのサポート：複数回答（Q35）

	合計	Q35. 手助・介護に関する職場からのサポート								
		会社が従業員の仕事と介護の両立を支援する方針を発信しているのを見聞きした	仕事と介護の両立や会社の支援策について説明を受けた	介護休業給付金に関する説明を受けた	介護休業・介護休暇期間について負担すべき社会保険料の取り扱いに関する説明を受けた	社内相談窓口相談した	外部専門家を招いた社内相談会に参加した	人事部からの定期的なフォローを受けた	上司との面談の機会があった	介護者向けの社内セミナーに参加した
就業継続者	1,160	17.3	13.2	8.6	7.8	4.8	2.2	5.0	13.1	2.2
介護離職者	1,675	29.4	30.0	17.7	16.4	11.9	7.0	10.3	14.7	5.4

	合計	Q35. 手助・介護に関する職場からのサポート							
		介護休業の取得経験など、仕事と介護の両立に関する体験談の提供を受けた	自身の仕事をカバーしてくれる応援や、代替要員を手配してもらった	介護保険サービスの説明を受けた	介護保険サービスの相談先を紹介を受けた	介護保険サービスの相談先の探し方に関する情報提供を受けた	その他	職場からサポートは受けていない	不明
就業継続者	1,160	2.6	6.8	5.6	3.9	3.2	1.1	57.0	0.0
介護離職者	1,675	6.4	11.0	10.0	7.2	5.4	0.5	32.1	0.0

③介護負担

介護離職者と就業継続者を比較した際に、就業継続者に比べ介護離職者において、介護負担が大きい傾向が見られた。具体的には以下のような傾向が見られた。

- 介護離職者のほうが、被介護者について、要介護認定の申請をしている割合が高い。要介護度の分布をみると、「要支援1」(+4.6%¹)や「要支援2」(+7.2%)の割合が高い。(図表 282)
- 介護離職者のほうが、被介護者について障害者支援認定を申請している割合が高く、就業継続者との差が大きい(+13.4%)。被介護者が障害者手帳を所持している割合も介護離職者において高い(+16.3%)。(図表 283、図表 284)
- 介護離職者のほうが、被介護者に認知症の症状が見られる割合が高い(+5.5%)。「徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さが見られる」という重度な状態よりも、「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」(+9.0%)、「たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる」などの低中度の症状である割合が高い(+6.2%)。(図表 285)
- 介護離職者のほうが、手助・介護を担っている種類が多く、特に「排泄の介助」(+26.9%)、「食事の介助」(+21.3%)、「入浴の介助」(+27.1%)の割合が高い。また、介護離職のほうが、手助・介護を担っている頻度も高く、例えば、「排泄の介助」については、「ほぼ毎日」が+8.1%、「週に2～4日」が+10.2%の差となっている。(図表 286、図表 287、図表 288)
- 被介護者の生活場所への移動時間について、介護離職者では「片道30分未満」の割合が

¹ 就業継続者に比較して、介護離職者のほうが当該項目の割合が高いことについて「+〇%」の形で、割合が低いことについて「-〇%」の形で示している。以降同様。

低く (-11.5%)、「片道 30 分～1 時間未満」の割合が高い (+15.1%) 傾向がみられた。
(図表 289)

図表 282 被介護者の要介護度：単数回答 (Q18)

	合計	Q18. 被介護者の要介護度											
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
就業継続者	1,160	6.3	8.2	11.7	17.0	18.6	10.9	6.6	1.5	1.0	12.8	5.3	0.0
介護離職者	1,675	10.5	11.8	11.9	18.7	18.5	8.0	5.0	2.2	1.2	7.3	4.8	0.0

図表 283 被介護者の障害支援区分：単数回答 (Q19)

	合計	Q19. 被介護者の障害支援区分										
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	申請中	申請したが認定されなかった	申請していない	わからない	不明
就業継続者	1,160	4.7	7.4	5.3	2.8	1.5	0.9	2.4	1.5	34.8	38.8	0.0
介護離職者	1,675	9.4	14.6	14.0	7.3	2.7	1.2	3.8	1.9	21.4	23.8	0.0

図表 284 被介護者の障害者手帳の所持状況：複数回答 (Q20)

	合計	Q20. 被介護者の障害者手帳の所持状況													
		身体障害者手帳：1級	身体障害者手帳：2級	身体障害者手帳：3級	身体障害者手帳：4級	身体障害者手帳：5級	身体障害者手帳：6級	療育手帳：A	療育手帳：B	精神障害者保健福祉手帳：1級	精神障害者保健福祉手帳：2級	精神障害者保健福祉手帳：3級	障害者手帳は所持していない	わからない	不明
就業継続者	1,160	7.1	6.1	7.2	2.7	1.8	1.2	0.9	0.9	1.0	0.7	0.9	57.7	14.1	0.0
介護離職者	1,675	9.7	13.2	11.2	6.3	4.1	1.9	3.5	1.6	2.6	3.2	1.6	41.4	10.3	0.0

図表 285 被介護者の認知症の状況：単数回答 (Q22)

	合計	Q22. 被介護者の認知症の状況					
		認知症の症状は無い	何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している	たびたび認知症の道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意すれば自立できる	徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる	わからない	不明
就業継続者	1,160	42.2	25.2	19.1	9.6	3.9	0.0
介護離職者	1,675	29.2	34.1	25.3	8.4	2.9	0.0

図表 286 回答者が手助・介護を担う頻度 ①排せつの介助:単数回答 (Q28S1)

	合計	Q28S1. 回答者が手助・介護を担う頻度 ①排せつの介助						不明
		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他	自身はこの手助・介護を行っていない	
就業継続者	1,160	16.6	9.7	6.2	4.1	2.5	61.0	0.0
介護離職者	1,675	24.7	19.9	12.2	6.1	3.0	34.1	0.0

図表 287 回答者が手助・介護を担う頻度 ②食事の介助:単数回答 (Q28S2)

	合計	Q28S2. 回答者が手助・介護を担う頻度 ②食事の介助						不明
		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他	自身はこの手助・介護を行っていない	
就業継続者	1,160	23.3	15.2	8.1	5.4	2.3	45.7	0.0
介護離職者	1,675	30.6	18.3	12.4	9.6	4.8	24.4	0.0

図表 288 回答者が手助・介護を担う頻度 ③入浴の介助:単数回答 (Q28S3)

	合計	Q28S3. 回答者が手助・介護を担う頻度 ③入浴の介助						不明
		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他	自身はこの手助・介護を行っていない	
就業継続者	1,160	7.5	13.7	9.2	5.9	3.3	60.4	0.0
介護離職者	1,675	14.9	21.2	15.2	10.1	5.2	33.3	0.0

図表 289 被介護者の生活場所への移動時間:単数回答 (Q25)

	合計	Q25. 被介護者の生活場所への移動時間					不明
		片道30分未満	片道30分～1時間未満	片道1～2時間未満	片道2時間以上		
就業継続者	592	53.9	24.7	11.5	10.0	0.0	
介護離職者	769	42.4	39.8	11.6	6.2	0.0	

④介護に関する考え方

介護離職者と就業継続者を比較した際に、就業継続者に比べ介護離職者において、自身が介護を行うべきだとの考え方が強い傾向がみられた。具体的には以下のような傾向が見られた。

- 介護離職者のほうが、「できる限り自分や家族が介護をする方がよい」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高い (+5.9%)。(図表 290)
- 介護離職者のほうが、「地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高い (+9.8%)。(図表 291)
- 介護離職者のほうが、「介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が低く (-9.9%)、「あまりそう思わない」

「そう思わない」の割合が高い (+6.6%)。(図表 292)

図表 290 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や
家族が介護をする方がよい:単数回答 (Q32S3)

	合計	Q32S3. 手助・介護に関する考え ③できる限り自分や家族が介護をする方がよい					不明
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
就業継続者	1,160	18.4	34.1	31.6	10.9	5.0	0.0
介護離職者	1,675	22.9	35.6	27.7	9.7	4.2	0.0

図表 291 手助・介護に関する考え ④地域や社会から、
家族が被介護者を介護することを求められていると思う:単数回答 (Q32S4)

	合計	Q32S4. 手助・介護に関する考え ④地域や社会から、家族が被介護者を介護することを求められていると思う					不明
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
就業継続者	1,160	13.0	33.4	37.1	12.9	3.5	0.0
介護離職者	1,675	20.5	35.7	32.1	8.5	3.2	0.0

図表 292 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、
自分自身の生活を大事にできている:単数回答 (Q31S1)

	合計	Q31S1. 被介護者への手助・介護に関する評価 ①介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている					不明
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
就業継続者	1,160	20.0	37.5	25.9	12.3	4.3	0.0
介護離職者	1,675	12.1	35.5	29.2	16.3	6.9	0.0

⑤手助・介護が仕事に与えた影響

介護離職者と就業継続者を比較した際に、就業継続者に比べ介護離職者において、手助・介護を始めて以降に仕事に影響が及んでいる様子が見られた。

- 介護離職者のほうが、「介護をする前と変わりなく働くことができている」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が低く (-22.7%)、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が高い (+19.4%)。(図表 293)
- 介護離職者のほうが、「労働時間が短くなった」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高く (+18.8%)、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が低い (-15.2%)。(図表 294)
- 介護離職者のほうが、「自分が思うように能力を發揮できないことが増えた」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高く (+20.3%)、「あまりそう思わない」「そ

う思わない」の割合が低い (-16.3%)。(図表 295)

- 介護離職者のほうが、「職場に居づらくなった」について、「そう思う」「ややそう思う」という割合が高く (+27.0%)、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が低い (-31.9%)。(図表 296)

図表 293 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ①介護をする前と
変わりなく働くことができているか:単数回答 (Q39S1)

	合計	Q39S1. 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ①介護をする前と変わりなく働くことができているか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明
就業継続者	1,160	23.8	38.4	22.2	11.0	4.6	0.0
介護離職者	1,675	11.2	28.3	25.6	18.4	16.5	0.0

図表 294 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑤労働時間が短くなったか:単数回答 (Q39S5)

	合計	Q39S5. 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑤労働時間が短くなったか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明
就業継続者	1,160	7.7	17.9	31.6	21.4	21.4	0.0
介護離職者	1,675	14.9	29.5	28.0	15.9	11.6	0.0

図表 295 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑧自分が思うように
能力を発揮できないことが増えたか:単数回答 (Q39S8)

	合計	Q39S8. 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑧自分が思うように能力を発揮できないことが増えたか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明
就業継続者	1,160	9.3	21.0	36.2	20.9	12.6	0.0
介護離職者	1,675	18.7	31.9	32.2	11.5	5.7	0.0

図表 296 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑩職場に居づらくなったか:単数回答 (Q39S10)

	合計	Q39S10. 手助・介護開始後の仕事や職場の変化 ⑩職場に居づらくなったか					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明
就業継続者	1,160	3.3	12.8	25.5	26.4	32.0	0.0
介護離職者	1,675	16.6	26.6	30.3	17.0	9.5	0.0


6. 資料編


6-1. アンケート調査票

スクリーニング調査 (SQ)

ご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

 「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。


 アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

C1

100%

本調査では、あなたの「手助（てだすけ）・介護」のご経験等について伺います。
本調査における「手助・介護」の定義は、以下のとおりです。

日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けをすることとします。なお、具体的には、排せつや入浴等の「身体介護」、施設や遠距離での「介護」に加え、定期的な声掛け（見守り）、食事の支度や掃除、洗濯などの家事、ちょっとした買い物やゴミ出し、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理等の手助けも含むこととします。

.....  ここまで改ページ

Q1

あなたの性別をお答えください。

単一回答 必須回答

① 男性

② 女性



Q2

あなたは、家族の手助・介護を行ったことがありますか。

※高齢者介護に限らず、障がいをお持ちのお子さんの手助・介護なども含みます。

単一回答 必須回答

[▲ とじる](#)

① 現在、手助・介護を行っている

② すでに手助・介護を終えている（現在は行っていない）

③ これまでに手助・介護をしたことはない



Q3

あなたが現在手助・介護をしている、または、直近で手助・介護をしていた家族の続柄をお答えください。

※これまで複数回手助・介護のご経験がある場合は、直近で手助・介護をしていたときについてお答えください。（以降も同様です。）

※現在または直近で手助・介護をしていたときに、複数の方の手助・介護をしている（していた）場合、最も時間をかけて手助・介護をしている（していた）相手についてお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 配偶者・パートナー
- ② 子ども
- ③ 孫
- ④ あなたの父
- ⑤ あなたの母
- ⑥ あなたの祖父母
- ⑦ あなたのおじ・おば
- ⑧ あなたの兄弟・姉妹
- ⑨ その他、あなたの親族
- ⑩ 配偶者・パートナーの父
- ⑪ 配偶者・パートナーの母
- ⑫ 配偶者・パートナーの祖父母
- ⑬ 配偶者・パートナーのおじ・おば
- ⑭ 配偶者・パートナーの兄弟・姉妹
- ⑮ その他、配偶者・パートナーの親族



Q4

以下では、あなたが現在している、または、直近でしていた【【Q3の選択内容】】に対する手助・介護についてお答えください。（以降も同様です。）
あなたと、現在手助・介護をしている、または、直近で手助・介護をしていた【【Q3の選択内容】】の年齢をお答えください。

★ 必須回答

とじる

①手助・介護を始めたときの、あなたの年齢 歳

②手助・介護を始めたときの、【【Q3の選択内容】】の年齢 歳

③現在の、あなたの年齢 歳



Q5

現在している、または、直近でしていた手助・介護について、手助・介護を始めた際に、あなたは仕事をしていましたか。

仕事をしていた方は、あてはまる主な就業形態をお答えください。

仕事をされていなかった方は「13.収入源となるような仕事をしていなかった」を選んでください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 正規の職員・従業員
- ② パート
- ③ アルバイト
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 契約社員
- ⑥ 嘱託
- ⑦ その他の雇用者（雇われている人のうち1～6以外）
- ⑧ 会社などの役員
- ⑨ 自営業主（雇人がいる）
- ⑩ 自営業主（雇人なし。フリーランスを含む。）
- ⑪ 自家営業の手伝い
- ⑫ 内職
- ⑬ 収入源となるような仕事をしていなかった



ここで改ページ

Q6

手助・介護を始めた当時の主なお勤め先の業種をお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 農業、林業
- ② 漁業
- ③ 鉱業、採石業、砂利採取業
- ④ 建設業
- ⑤ 製造業
- ⑥ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ⑦ 情報通信業
- ⑧ 運輸業、郵便業
- ⑨ 卸売業、小売業
- ⑩ 金融業、保険業
- ⑪ 不動産業、物品賃貸業
- ⑫ 学術研究、専門・技術サービス業
- ⑬ 宿泊業、飲食サービス業
- ⑭ 生活関連サービス業、娯楽業
- ⑮ 教育、学習支援業
- ⑯ 医療、福祉
- ⑰ 複合サービス事業
- ⑱ サービス業（他に分類されないもの）
- ⑲ 公務（他に分類されるものを除く）



Q7

あなたは、現在または直近で手助・介護をしている間に、手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はありますか。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 手助・介護を理由として仕事を辞めて以来、仕事をしていない
- ② 手助・介護を理由として仕事を辞めた後、再就職（転職含む）をした
- ③ 手助・介護を理由として仕事を辞めた経験はない



Q8

手助・介護を始めてから、手助・介護を理由として仕事を辞めるまでの期間をお答えください。

※これまで複数回手助・介護を理由として離職したご経験がある場合は、最初に仕事を辞めた際のご経験についてお答えください。（以降も同様です。）

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 1ヶ月未満
- ② 1～3ヶ月未満
- ③ 3～6ヶ月未満
- ④ 6ヶ月～1年未満
- ⑤ 1年以上
- ⑥ わからない



Q9

手助・介護を理由として仕事を辞めたのは、いつごろですか。（転職のために離職をした場合も含む。）

必須回答

▲ とじる

西暦 (半角数字) 年頃



Q10

以下の各時点における、あなたの就業形態についてお答えください。

○ 単一回答 ★ 必須回答

0/3

¹ 手助・介護のために離職する直前 ▲

- ① 正規の職員・従業員
- ② パート
- ③ アルバイト
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 契約社員
- ⑥ 嘱託
- ⑦ その他の雇用者（雇われている人のうち1～6以外）
- ⑧ 会社などの役員
- ⑨ 自営業主（雇人がいる）
- ⑩ 自営業主（雇人なし、フリーランスを含む）

⑪ 自家営業の手伝い

⑫ 内職

⑬ 収入源となるような仕事をしていない

² 手助・介護を終えた時点 ▲

収入源となるような...

- ① 正規の職員・従業員
- ② パート
- ③ アルバイト
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
- ⑤ 契約社員
- ⑥ 嘱託
- ⑦ その他の雇用者（雇われている人のうち1～6以外）
- ⑧ 会社などの役員

-
- ⑩ 自営業主（雇人なし、フリーランスを含む）
-
- ⑪ 自家営業の手伝い
-
- ⑫ 内職
-
- ⑬ 収入源となるような仕事をしていない
-
- ³ 現在 ▲
-
- ① 正規の職員・従業員
-
- ② パート
-
- ③ アルバイト
-
- ④ 労働派遣事業所の派遣社員
-
- ⑤ 契約社員
-
- ⑥ 嘱託
-
- ⑦ その他の雇用者（雇われている人のうち1～6以外）
-
- ⑧ 会社などの役員
-
- ⑨ 自営業主（雇人がいる）
-
- ⑩ 自営業主（雇人なし、フリーランスを含む）
-
- ⑪ 自家営業の手伝い
-
- ⑫ 内職
-
- ⑬ 収入源となるような仕事をしていない
-



アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

本調査 (Q)

手助・介護に関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いいたします。

-  「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。
-  アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

C1

100%

以下では、あなたが現在している、または、直近でしていた手助・介護に関連してお伺いします。

- 手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。
- 手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

.....  [ここで改ページ](#)

Q1

手助・介護をしていた当時の、あなたのお住まいの地域をお答えください。

※これまで複数回手助・介護を理由として離職したご経験がある場合は、直近のご経験についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答

必須回答

[▲ とじる](#)

以下を選択 

.....  [ここで改ページ](#)

Q2

手助・介護をしていた当時の、あなた自身の婚姻状況についてお答えください。

※事実婚を含みます。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答

必須回答

▲ とじる

- ① 配偶者・パートナーがいる (いた)
- ② 配偶者・パートナーはいない (いなかった)



Q3

手助・介護をしていた当時の、あなたと同居していた方をお答えください。(いくつでも)

※いわゆる二世帯住宅、同じ敷地内で別の棟に住んでいる場合を含みます。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

複数回答

必須回答

▲ とじる

- 1 ひとり暮らし
- 2 配偶者・パートナー
- 3 子ども → 当時の末子年齢 歳
- 4 孫
- 5 あなたの父
- 6 あなたの母

7 あなたの祖父

8 あなたの祖母

9 あなたのおじ・おば

10 あなたの兄弟・姉妹

11 その他あなたの親族

12 配偶者・パートナーの父

13 配偶者・パートナーの母

14 配偶者・パートナーの祖父

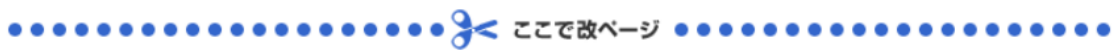
15 配偶者・パートナーの祖母

16 配偶者・パートナーのおじ・おば

17 配偶者・パートナーの兄弟・姉妹

18 その他配偶者・パートナーの親族

19 その他



Q4

手助・介護をしていた当時の、あなたの年収（税込み）をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

とじる

① 100万円未満

② 100～200万円未満

③ 200～300万円未満

④ 300～400万円未満

⑤ 400～600万円未満

⑥ 600～800万円未満

⑦ 800～1000万円未満

⑧ 1000～1200万円未満

⑨ 1200～2000万円未満

⑩ 2000万円以上

⑪ わからない



Q5

手助・介護をしていた当時の、世帯年収（税込み）をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 100万円未満
- ② 100～200万円未満
- ③ 200～300万円未満
- ④ 300～400万円未満
- ⑤ 400～600万円未満
- ⑥ 600～800万円未満
- ⑦ 800～1000万円未満
- ⑧ 1000～1200万円未満
- ⑨ 1200～2000万円未満
- ⑩ 2000万円以上
- ⑪ わからない



Q6

あなたが現在している、または、直近でしていた【【SC3の選択内容】】に対する手助・介護について、その手助・介護の状況についてお伺いします。（以降も同様です。）

【【SC3の選択内容】】について、あなた自身が手助・介護をするようになった主な経緯をお答えください。（いくつでも）

✓ 複数回答

★ 必須回答

とじる

- 1 【【SC3の選択内容】】が入院した
- 2 【【SC3の選択内容】】が退院した
- 3 【【SC3の選択内容】】が認知症を発症または認知症が重度化した
- 4 【【SC3の選択内容】】が怪我をした
- 5 【【SC3の選択内容】】が発病した
- 6 新たに怪我や発病したわけではないが、元々の持病・症状が悪化した
- 7 他に手助・介護をする人が、手助・介護をできなくなった
- 8 その他（具体的に：）
- 9 特に明確な原因はなかった



Q7

あなたが通算で手助・介護をしている（していた）期間についてお答えください。

単一回答 必須回答

- ① 1か月未満
- ② 1か月～3か月未満
- ③ 3か月～6か月未満
- ④ 6か月～1年未満
- ⑤ 1年～3年未満
- ⑥ 3年～5年未満
- ⑦ 5年～10年未満
- ⑧ 10年以上



Q8

あなたが介護を始める以前のことについて伺います。（いくつでも）
家庭や職場、地域の方々との関わりについてお答えください。

複数回答 必須回答

▲ とじる

- 1 【【SC3の選択内容】】と日常的なかかわりがある
- 2 【【SC3の選択内容】】が住む地域の方々（近隣住民など）とのかかわりがある
- 3 家族のことを気軽に話せる友人や知人がいる
- 4 あなたの職場の人に対して、自分自身のプライベートなことも話しやすい関係がある
- 5 介護に関連する内容以外も含め、日ごろから市区町村の広報物や、回覧板などを見ている
- 6 介護に関連する内容以外も含め、市区町村の窓口で相談に行くことがある
- 7 いずれも該当しない



Q9

手助・介護をするようになってから、【【SC3の選択内容】】との関係性に変化はありましたか。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 良くなった
- ② どちらかといえば良くなった
- ③ 変わらない
- ④ どちらかといえば悪くなった
- ⑤ 悪くなった



ここで改ページ

Q10

あなたが介護を始める以前のことについて伺います。

あなたは、介護を始める以前に、**勤務先から**両立支援制度や介護保険制度などについて情報提供を受けたことはありますか。ある場合、そのタイミングをお答えください。(いくつでも)

複数回答 必須回答

▲ とじる

0/2

- 1 両立支援制度について (介護休業や介護休暇など) ▼
 - 2 介護保険制度について ▲
- 1 勤務先に就職したタイミング
 - 2 第2号被保険者(40歳)になったタイミング
 - 3 その他、特定のタイミング
(具体的に:)
 - 4 特定のタイミングではないが、日ごろから情報提供されている(研修、リーフレットの配布等)
 - 5 介護に直面する以前に、勤務先から情報提供を受けたことはない
 - 6 わからない・覚えていない

✕ 閉じる



ここで改ページ

Q11

あなたは、手助・介護に関して、自主的に情報収集したことがありますか。ある場合は、どのような方法や情報源から情報を得ましたか。あてはまるものを全てお選びください。

※介護を始める以前・以後を問わず、これまでのご経験をお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 両立支援制度について（介護休業や介護休暇など） | ▼ |
| 2 | 介護保険制度について | ▲ |
| 1 | 国や自治体のホームページ・SNS | |
| 2 | 国や自治体による動画 | |
| 3 | 国や自治体によるリーフレット・パンフレット・ポスター等 | |
| 4 | 医療保険者（協会けんぽ、健保組合等）によるリーフレット・パンフレット・ポスター等 | |
| 5 | 勤務先のポータルサイト（社内イントラネット） | |
| 6 | 勤務先から示された動画（勤務先が独自に作成したもの以外を含む） | |
| 7 | 勤務先によるリーフレット・パンフレット・ポスター等（勤務先が独自に作成したもの以外を含む） | |
| 8 | 勤務先における研修 | |
| 9 | 介護に関する民間の支援機関（NPO等）のホームページ・SNS、動画、リーフレット・パンフレット・ポスター等 | |
| 10 | その他、ホームページ・SNS、動画、書籍や雑誌等 | |
| 11 | 自主的に情報収集したことはない | |



Q12

あなたは、手助・介護に関して以下のような相談先に相談したことがありますか。相談したことがある場合は、手助・介護をするようになってから最初に相談した時期をお答えください。

相談したことがない場合、相談先を知っていたかどうか（選択肢8または9）をお答えください。

【「その他の窓口」以外必須】

◎ 単一回答

▲ とじる

0/13

¹ 手助・介護が必要な本人 ▲

- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
- ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
- ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
- ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
- ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
- ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
- ⑨ 相談したことはない
- ⑩ この相談先は知らない

² 家族・親族 ▲

- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
- ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
- ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
- ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
- ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
- ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
- ⑨ 相談したことはない

⑩ この相談先は知らない
³ 友人・知人 ▲
① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
⑨ 相談したことはない
⑩ この相談先は知らない
⁴ 勤務先 ▲
① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
⑨ 相談したことはない
⑩ この相談先は知らない
⁵ 市区町村の窓口 ▲
① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した

③	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間にご相談した
④	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した
⑤	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した
⑥	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
⑦	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
⑧	相談先を知っていたが、相談したことはない
⑨	相談したことはない
⑩	この相談先は知らない
6 病院の医療ソーシャルワーカー(MSW)や看護師 ▲	
①	手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
②	手助・介護をするようになってから1か月程度の間にご相談した
③	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間にご相談した
④	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した
⑤	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した
⑥	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
⑦	時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
⑧	相談先を知っていたが、相談したことはない
⑨	相談したことはない
⑩	この相談先は知らない
7 地域包括支援センター ▲	
①	手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
②	手助・介護をするようになってから1か月程度の間にご相談した
③	手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間にご相談した
④	手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した
⑤	手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した
⑥	手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した

<input type="radio"/>	⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
<input type="radio"/>	⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
<input checked="" type="radio"/>	⑨ 相談したことはない
<input type="radio"/>	⑩ この相談先は知らない
⁸	ケアマネジャー ▲
<input type="radio"/>	① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
<input type="radio"/>	② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
<input type="radio"/>	⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
<input type="radio"/>	⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
<input type="radio"/>	⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
<input checked="" type="radio"/>	⑨ 相談したことはない
<input type="radio"/>	⑩ この相談先は知らない
⁹	相談支援専門員（障害福祉分野に関する相談に対応する専門職） ▲
<input type="radio"/>	① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
<input type="radio"/>	② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
<input type="radio"/>	⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
<input type="radio"/>	⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
<input type="radio"/>	⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
<input type="radio"/>	⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
<input checked="" type="radio"/>	⑨ 相談したことはない
<input type="radio"/>	⑩ この相談先は知らない

¹⁰ 介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者 ▲

- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
- ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
- ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
- ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
- ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
- ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
- ⑨ 相談したことはない
- ⑩ この相談先は知らない

¹¹ 民生委員・児童委員 ▲

- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
- ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した
- ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間相談した
- ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間相談した
- ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
- ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
- ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
- ⑨ 相談したことはない
- ⑩ この相談先は知らない

¹² NPO・ボランティア ▲

- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
- ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間相談した
- ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間相談した

- ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した
 - ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した
 - ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
 - ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
 - ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
 - ⑨ 相談したことはない
 - ⑩ この相談先は知らない
- ¹³ その他の窓口
- ① 手助・介護が実際に始まる前から相談をしていた
 - ② 手助・介護をするようになってから1か月程度の間にご相談した
 - ③ 手助・介護をするようになってから1～3か月程度の間にご相談した
 - ④ 手助・介護をするようになってから3～6か月程度の間にご相談した
 - ⑤ 手助・介護をするようになってから6か月～1年未満の間にご相談した
 - ⑥ 手助・介護をするようになってから1年以上経過してから相談した
 - ⑦ 時期は覚えていないが、これまでに相談したことはある
 - ⑧ 相談先を知っていたが、相談したことはない
 - ⑨ 相談したことはない
 - ⑩ この相談先は知らない



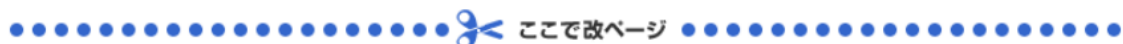
Q13

相談した中で役に立った・助けになったと思う相談先について、あてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- 1 手助・介護が必要な本人
- 2 家族・親族
- 3 友人・知人
- 4 勤務先
- 5 市区町村の窓口
- 6 病院の医療ソーシャルワーカー(MSW)や看護師
- 7 地域包括支援センター
- 8 ケアマネジャー
- 9 相談支援専門員（障害福祉分野に関する相談に対応する専門職）
- 10 介護サービス事業者、障害福祉サービス事業者
- 11 民生委員・児童委員
- 12 NPO・ボランティア
- 13 その他の窓口 【Q12S13FAの選択内容】
- 14 あてはまるものはない



Q15

両立支援制度や介護保険制度などのうち、あなたが知っていたものをお答えください。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

<両立支援制度について>

- 1 介護休業制度の利用方法・手続き
- 2 介護休暇制度の利用方法・手続き
- 3 介護休業給付金の利用方法・手続き
- 4 仕事と介護の両立支援制度に関する社内セミナーや研修、相談窓口

<介護保険制度について>

- 5 介護保険サービスの利用方法・手続き
- 6 介護保険サービスの内容
- 7 介護保険料や、介護保険サービスを利用するための費用

<障害福祉サービスについて>

- 8 障害福祉サービスの利用方法・手続き
- 9 障害福祉サービスの内容
- 10 障害福祉サービスを利用するための費用

<その他の地域資源等について>

- 11 地域のボランティア、サロン等（保険外サービス）の活動内容、利用方法
- 12 いずれも知らない



Q16

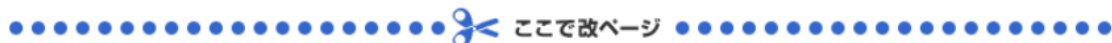
あなたは介護保険制度に関する情報を入手する際や、介護保険サービスの利用を希望してから実際に利用を始めるまでの間に、どのような苦勞がありましたか。（いくつでも）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

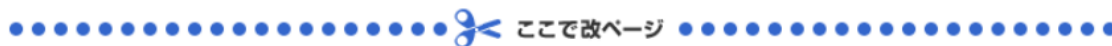
- 1 介護保険制度の存在自体を知らなかった
- 2 介護保険制度に関する詳細な仕組みが分からなかった
- 3 介護保険制度に関する専門的な用語などが分からなかった
- 4 申請手続きが複雑だった
- 5 介護保険サービスの利用に当たってどこに相談すれば良いか分からなかった
- 6 介護保険サービスの利用に躊躇いがあった
- 7 その他（具体的に：）
- 8 特に苦勞したことはない
- 9 介護保険制度・介護保険サービスの利用を希望・検討したことがない



C2

あなたが現在している、または、直近でしていた手助・介護の状況についてお伺いします。

- 手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。
- 手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。



Q17

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】は、下記のような傷病を抱えていましたか。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 高血圧
- 2 脳血管疾患（脳卒中）
- 3 心疾患（心臓病）
- 4 糖尿病
- 5 高脂血症（脂質異常症）
- 6 呼吸器疾患（肺炎や気管支炎等）
- 7 胃腸・肝臓・胆のうの疾患
- 8 腎臓・前立腺の疾患
- 9 筋骨格系の疾患（骨粗しょう症、関節症等）
- 10 外傷（転倒・骨折等）
- 11 がん（新生物）
- 12 血液・免疫疾患
- 13 うつ病・精神疾患
- 14 認知症（アルツハイマー病等）
- 15 パーキンソン病
- 16 視覚・聴覚の疾患
- 17 その他（）
- 18 いずれも該当しない



Q18

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】の要介護度をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

① 要支援1

② 要支援2

③ 要介護1

④ 要介護2

⑤ 要介護3

⑥ 要介護4

⑦ 要介護5

⑧ 申請中

⑨ 申請したが認定されなかった

⑩ 申請していない

⑪ わからない



Q19

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】の障害支援区分をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答 必須回答

↓ とじる

① 区分1

② 区分2

③ 区分3

④ 区分4

⑤ 区分5

⑥ 区分6

⑦ 申請中

⑧ 申請したが認定されなかった

⑨ 申請していない

⑩ わからない



Q20

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】の障害者手帳の状況をお答えください。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

※療育手帳や精神障害者保健福祉手帳の名称や等級は自治体により異なる場合がございます。下表を目安に近いと思われるものを選んでください。

▼ 画像をクリックすると、拡大表示してご覧いただけます。 ▼



✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 身体障害者手帳：1級

2 身体障害者手帳：2級

3 身体障害者手帳：3級

4 身体障害者手帳：4級

5 身体障害者手帳：5級

6 身体障害者手帳：6級

7 療育手帳：A

8 療育手帳：B

9 精神障害者保健福祉手帳：1級

10 精神障害者保健福祉手帳：2級

11 精神障害者保健福祉手帳：3級

12 障害者手帳は所持していない

13 わからない



Q21

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】の見守りの必要性についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

とじる

- ① 特に見守りは必要ない（必要なかった）
- ② 毎日ではないが、見守りが必要
- ③ 1日に1回程度は見守りが必要
- ④ 1日に数回、見守りが必要
- ⑤ 1時間に1回程度は見守りが必要
- ⑥ 常に目を離せず、見守りが必要
- ⑦ わからない



Q22

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】の認知症の状況をお答えください。認知症の診断の有無に関わらず、近いものをお選びください。

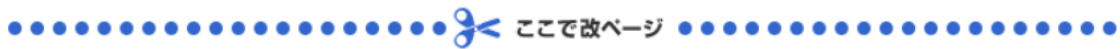
※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 認知症の症状は無い（無かった）
- ② 何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している（していた）
- ③ たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる（できた）
- ④ 徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる（みられた）
- ⑤ わからない



Q23

【【SC3の選択内容】】が利用している（していた）サービスをお答えください。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

複数回答 必須回答

▲ とじる

<介護保険サービス>

- ① 訪問系サービス(訪問介護（ヘルパー）、訪問看護等)
- ② 通所系サービス(通所介護（デイサービス）等)
- ③ 短期入所系サービス(短期入所（ショートステイ）等)
- ④ 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

Q24

あなたが手助・介護をしている（していた）【【SC3の選択内容】】は、主にどこで生活していますか（していましたか）。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

↓ とじる

<同居している>

① あなたの自宅

<同居していない>

② 手助・介護している【【SC3の選択内容】】の自宅（【【SC3の選択内容】】は一人暮らしである）

③ 手助・介護している【【SC3の選択内容】】の自宅（【【SC3の選択内容】】は一人暮らしではない）

④ 親族の自宅

⑤ 病院

⑥ 高齢者施設

⑦ 障がい児・者施設・グループホーム

⑧ 高齢者住宅（サービス付き高齢者向け住宅等）

⑨ その他（具体的に：）



Q25

あなたの自宅から【【SC3の選択内容】】のところへ、日常的な手段（電車、自動車、飛行機など）で移動する場合、どの程度の時間がかかりますか（かかりましたか）。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

とじる

- ① 片道30分未満
- ② 片道30分～1時間未満
- ③ 片道1～2時間未満
- ④ 片道2時間以上



Q26

【【SC3の選択内容】】について、手助・介護に関わる費用で、あなたが負担している（していた）ものはありますか。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

1 介護保険サービス、障害福祉サービスの利用料

2 介護保険外サービスの利用料

3 介護用品の購入費

4 【【SC3の選択内容】】の生活費

5 【【SC3の選択内容】】の医療費

6 手助・介護のための交通費

7 その他

8 負担していない（被介護者本人などが負担している）



Q27

手助・介護を主に担当している（していた）のはどなたですか（どなたでしたか）。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

○ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

① あなたが主に手助・介護を担当している（していた）

② あなたとあなた以外が、半々程度で、手助・介護を担当している（していた）

③ あなた以外が主に手助・介護を担当している（していた）



Q30

普段の生活で、以下のように思うことはありますか（ありましたか）。1～8について、それぞれあてはまるものをお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

※本検査の著作権は株式会社三京房に帰属します。

単一回答 必須回答

▲ とじる

0/8

著作権上の都合から非表示



Q31

あなたは【【SC3の選択内容】】の手助・介護について、どのように感じていますか（感じていましたか）。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/3

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 介護をしながらも、自分自身の生活を大事にできている | ▼ |
| 2 | 自分にとって納得のいく形での介護ができている | ▼ |
| 3 | 外部（家族以外）のサービス利用なども含め、被介護者にしてあげたいと思うことができている | ▲ |

① そう思う

② ややそう思う

③ どちらともいえない

④ あまりそう思わない

⑤ そう思わない



C3

以下では、あなたが現在している、または、直近でしていた手助・介護と、仕事との両立についてお伺いします。

- 手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。
- 手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。



Q33

あなたの主な勤め先の従業員数をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

単一回答 必須回答

とじる

- ① 1～9人以下
- ② 10～29人
- ③ 30～99人
- ④ 100～299人
- ⑤ 300～999人
- ⑥ 1,000人以上



Q34

あなたの主な職種をお答えください。

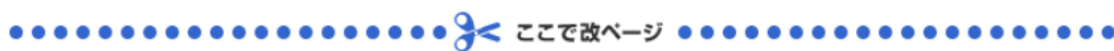
※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

○ 単一回答 ★ 必須回答

↓ とじる

- ① 管理的な仕事（管理職、支店長、工場長など）
- ② 医療、保健、福祉の専門職・技術職
- ③ 教育分野の専門職・技術職
- ④ 2及び3以外の専門職・技術職
- ⑤ 事務職
- ⑥ 営業・販売職
- ⑦ サービス職
- ⑧ 保安職
- ⑨ 生産工程職
- ⑩ 輸送・機械運転職
- ⑪ 建設・採掘職
- ⑫ 運搬・清掃・包装職
- ⑬ その他



Q35

あなたは、手助・介護をするようになってから、職場からどのようなサポートを受けましたか。（いくつでも）

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 会社が従業員の仕事と介護の両立を支援する方針を発信しているのを見聞きした
- 2 仕事と介護の両立支援制度（介護休業制度、介護休暇制度など）や会社の支援策について説明を受けた
- 3 介護休業給付金に関する説明を受けた
- 4 介護休業・介護休暇期間について負担すべき社会保険料の取り扱いに関する説明を受けた
- 5 社内相談窓口相談した
- 6 外部専門家を招いた社内相談会に参加した
- 7 人事部からの定期的なフォローを受けた
- 8 上司との面談の機会があった
- 9 介護者向けの社内セミナーに参加した
- 10 介護休業の取得経験談など、仕事と介護の両立に関する体験談の情報提供を受けた
- 11 自身の仕事をカバーしてくれる応援や、代替要員を手配してもらった
- 12 介護保険サービスの説明を受けた
- 13 介護保険サービスの相談先の紹介を受けた
- 14 介護保険サービスの相談先の探し方に関する情報提供を受けた
- 15 その他（）
- 16 職場からサポートは受けていない



Q36

あなたは現在または直近の手助・介護のために、以下の勤務先の制度・仕組みを利用しましたか。

※利用したことがない制度について、勤務先に制度がない場合も利用意向をお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがない方は、あなたが手助・介護をするようになってから6か月以内の状況についてお答えください。

※手助・介護を理由として離職をされたことがある方は、手助・介護を理由として離職された当時の状況についてお答えください。

※1：介護休業制度 対象家族1人につき、通算93日まで、3回を上限として分割して休業できる制度。

※2：介護休暇制度 対象家族が1人の場合は年5日まで、2人以上の場合は年10日まで、1日単位、半日単位及び時間単位で取得できる休暇制度。

単一回答 必須回答

↓ とじる

0/5

1	介護休業制度（介護のために連続した期間取得できる休業制度）	▼
2	介護休暇制度（介護のために1日以下の単位で取得できる休暇制度）	▼
3	所定の労働時間や労働日数を短くする短時間勤務（時短）制度	▼
4	早出・遅出など出退勤時間を調整する制度やフレックスタイム制度	▼
5	所定外労働（残業や休日労働）を免除する制度	▲

- ① 利用している（利用したことがある）
- ② 利用したことはないが、利用したい（利用したかった）
- ③ 利用したことはなく、利用する必要性を感じていない（必要性を感じていなかった）
- ④ わからない



Q37

介護休業制度の趣旨について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

A：介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である

B：介護休業期間は介護に専念するための期間である

※介護休業を取得したことがある方は、取得する前のお考えにてお答えください。

※介護休業を取得したことがない方は、手助・介護を始めた当時のお考えにてお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① A
- ② どちらかというともA
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかというともB
- ⑤ B
- ⑥ わからない



Q38

あなたの働き方や仕事の進め方の状況としてあてはまるものをお答えください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▼ ひらく

0/8

1	残業が少ない	▼
2	1日の作業量を自分で決めることができる	▼
3	作業のスケジュールを自分で決めることができる	▼
4	早出・遅出など出退勤時間を調整できる	▼
5	就業時間の途中で職場を離れる（中抜けする）ことができる	▼
6	テレワークをすることができる	▼
7	希望どおりに休暇を取ることができる	▼
8	仕事と介護の両立がしやすい働き方ができる	▲

① そう思う

② ややそう思う

③ どちらともいえない

④ あまりそう思わない

⑤ そう思わない



C4

以下では、現在している手助・介護と仕事の両立の今後についてお伺いします。



Q40

現在、働きながら手助・介護をしている方に伺います。

あなたは、現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けることができますか。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 続けられると思う
- ② おそらく続けられると思う
- ③ おそらく続けられないと思う
- ④ 続けられないと思う
- ⑤ わからない



Q41

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられると思う理由は何ですか。
(いくつでも)

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

<勤務先に関する理由>

- 1 必要になった際に、介護休業や介護休暇などを取得できると思うから
- 2 介護との両立がしやすい働き方ができているから
- 3 職場の理解や協力が得られているから
- 4 勤務先に仕事と介護との両立に関して相談ができているから

<介護保険サービス・障害福祉サービスなどに関する理由>

- 5 介護保険サービスなどを活用できる（できている）と思うから
- 6 仕事をしている間は、通所・訪問系の介護保険サービスや障害福祉サービスで被介護者をみてもらえているから
- 7 被介護者が特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしているから
- 8 ケアマネジャーなどから仕事を続けることを応援してもらえているから

<あなた自身や周囲の人に関する理由>

- 9 思うように介護に時間を割けているから
- 10 主に介護を担っている人が他にいるから
- 11 手助・介護に協力してくれる人がいるから
- 12 あなた自身が感じている、介護による心身の負担が大きくはないから

<その他>

- 13 その他（具体的に：）



Q42

現在の勤務先で手助・介護をしながら、仕事を続けられないと思う理由は何ですか。
(いくつでも)

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

<勤務先に関する理由>

- 1 勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていないから
- 2 勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だから
- 3 介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていないから
- 4 介護休業や介護休暇などの両立支援制度を利用しづらい雰囲気や状況があるから
- 5 介護との両立がしやすい働き方ができないから
- 6 職場の理解や協力が得られないから
- 7 勤務先に仕事と介護との両立に関する相談先がないから

<介護保険サービス・障害福祉サービスなどに関する理由>

- 8 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、手続きや利用方法が分からないから
- 9 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、希望するサービスが地域で提供されておらず、利用できないから
- 10 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、利用待ちが発生しており、利用できないから
- 11 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、サービス提供時間が合わず、利用できないから
- 12 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、費用負担ができず、利用できないから

<あなた自身やご家族、被介護者に関する理由>

- 13 あなた自身が、介護にもっと時間を割きたいと思っているから
- 14 被介護者から、介護にもっと時間を割くように（仕事を辞めるように）言われたから
- 15 家族・親族等から、介護にもっと時間を割くように（仕事を辞めるように）言われたから
- 16 介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しいと感じているから
- 17 自身も傷病を抱えており、これ以上は仕事と介護の両立が難しいと感じているから

<その他>

18 介護とは関係ない仕事や私生活上の理由（定年退職、雇用契約期間の満了、結婚・出産、配偶者の転勤など）

19 その他（具体的に：）



ここで改ページ

Q43

あなたは手助・介護を主たる理由として、仕事を辞めたいと思ったことはありますか。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 仕事を辞めたいと思っている
- ② 仕事を辞めたいと思ったことはあるが、今は辞めようとは思っていない
- ③ 仕事を辞めたいと思ったことはない



ここで改ページ

Q44

介護をしながら仕事を続けるうえで役立ったこと、自身で工夫したこと、仕事を続けられると思った具体的なエピソードなどを教えてください。

▲ とじる

【1】 介護をしながら仕事を続けるうえで役立ったこと

【2】 介護をしながら仕事を続けるために自身で工夫したこと

【3】 仕事を続けられると思った具体的なエピソード



ここで改ページ

C5

以下では、現在または直近の手助・介護をしている間に、手助・介護を理由として仕事を辞めた経験についてお伺いします。

※これまで複数回手助・介護を理由として離職したご経験がある場合は、最初に仕事を辞めた際のご経験についてお答えください。



Q45

あなたが家族の手助・介護のために、仕事を辞めたのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

<勤務先の要因>

- 1 勤務先に介護休業や介護休暇などの両立支援制度が整備されていなかったから
- 2 勤務先に仕事と介護の両立支援制度が整備されているかどうか不明だったから
- 3 介護休業や介護休暇などの両立支援制度の利用要件を満たしていなかったから
- 4 介護休業や介護休暇などの両立支援制度を利用しづらい雰囲気や状況があったから
- 5 介護との両立がしやすい働き方ができなかったから
- 6 職場の理解や協力が得られなかったから
- 7 勤務先に仕事と介護との両立に関する相談先がなかったから

<介護保険サービス・障害福祉サービスの要因>

- 8 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、手続きや利用方法が分からなかったから
- 9 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、希望するサービスが地域で提供されておらず、利用できなかったから
- 10 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、利用待ちが発生しており、利用できなかったから
- 11 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、サービス提供時間が合わず、利用できなかったから
- 12 介護保険サービスや障害福祉サービスについて、費用負担ができず、利用できなかったから

<あなた自身や、被介護者の状況・希望等>

- 13 あなた自身が、介護にもっと時間を割きたいと思っていたから
- 14 被介護者から、介護にもっと時間を割くように（仕事を辞めるように）言われたから
- 15 家族・親族等から、介護にもっと時間を割くように（仕事を辞めるように）言われたから
- 16 介護による心身の負担が大きく、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから
- 17 自身も傷病を抱えており、これ以上は仕事と介護の両立が難しかったから

<その他>

- 18 介護とは関係ない仕事や私生活上の理由（定年退職、雇用契約期間の満了、結婚・出産、配偶者の転勤など）
- 19 新型コロナウイルス感染症の流行による、介護や仕事への影響（通所・訪問系サービスの休止・縮小、介護施設の休業など）
- 20 その他（具体的に：）



Q46

あなたが家族の手助・介護のために仕事を辞めることを決心した、具体的な経緯や契機はありましたか。（いくつでも）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 手助・介護が必要な本人が入院した
- 2 手助・介護が必要な本人が退院した
- 3 手助・介護が必要な本人が認知症を発症または認知症が重度化した
- 4 手助・介護が必要な本人が怪我をした
- 5 手助・介護が必要な本人が発病した
- 6 他に手助・介護をする人が、手助・介護をできなくなった
- 7 職場において、介護をしながら働ける働き方を認めてもらえなかった
- 8 その他（具体的に：）
- 9 特に具体的な経緯や契機はなかった



Q47

あなたが離職した理由・きっかけや、当時の状況について、できるだけ具体的にお答えください。

▲ とじる

0/500文字



Q48

家族の手助・介護を機に仕事を辞めて、あなた自身にどのような変化がありましたか。

単一回答 必須回答

▲ とじる

0/3

1	精神面	▼
2	肉体面	▼
3	経済面	▲

- ① 非常に負担が増した
- ② 負担が増した
- ③ 変わらない
- ④ 負担が減った
- ⑤ かなり負担が減った
- ⑥ わからない

..... ✂ ここまで改ページ

Q49

総じて、手助・介護を機に仕事を辞めたことをどのように評価していますか。

単一回答 必須回答

- ① よかった
- ② ややよかった
- ③ どちらともいえない
- ④ あまりよくなかった
- ⑤ よくなかった

..... ✂ ここまで改ページ

Q50

あなたが手助・介護のために仕事を辞めてから、再就職(転職含む)した理由をお答えください。(いくつでも)

✓ 複数回答

★ 必須回答

↓ とじる

- 1 仕事と手助・介護の両立が可能な職場が見つかったから
- 2 介護サービスの利用(施設への入所を除く)により、手助・介護の負担が減ったから
- 3 施設への入所により、手助・介護の負担が減ったから
- 4 介護サービスなどの利用料の負担が大きく、収入を得る必要があったから
- 5 自身の希望として仕事をしなかったから
- 6 手助・介護に専念する生活を続けることが精神的に限界になったから
- 7 手助・介護が必要な家族が、自分が就職することを希望したから
- 8 家族や親族からの理解・協力が十分に得られた、家族や親族が就職することを希望したから
- 9 自身の健康状態が快復したから
- 10 手助・介護をする必要がなくなったから
- 11 その他 ()



Q51

どのような相談窓口があれば、介護について相談したいと思えますか。
また、どのような支援やサービスがあれば、介護をしながら仕事を続けることができ
ると思いますか。
これまでのご経験を踏まえ、あなたのお考えをお聞かせください。

▲ とじる

【1】 どのような相談窓口があると相談したいと思えるか

(自由記述:)

(回答例: 専門職が分かりやすい言葉で説明してくれる、相談窓口が駅から近い場所にある、介護以
外に関する自身の悩みも相談できる)

【2】 どのような支援やサービスがあるとよいか

(自由記述:)

(回答例: 地域の方による見守りがあれば、自分が帰宅するまでの間は親の見守りをお願いできて離
職せずに済んだと思う)

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信

令和5年度 老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業

介護離職者の離職理由の詳細等の調査及び
勤労世代の介護離職防止に資する
介護保険制度の広報資料等の作成

報告書

令和6年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社